平成３０年度　千葉市まちづくりアンケート
～わたしから！未来につなぐ　まちづくり～
報　告　書

平成３１年３月

千　　葉　　市

目 次

Ⅰ 調査の概要 1

１ 調査の目的 1
２ 調査の対象及び方法 1
３ 回収状況 1
４ 標本抽出 2
５ 報告書の見方 2

Ⅱ 回答者の属性 3

（１） 性別 3
（２） 年齢 3
（３） 居住区 4
（４） 居住年数 4
（５） 職業 4
（６） 通勤・通学先 4
（７） 住まいの状況 5
（８） ひとり暮らし世帯 5
（９） 同居している年代 5
（１０） 障害のある方の同居 6
（１１） 介護が必要な方の同居 6

Ⅲ 調査結果の概要 7

１ 生活実感について 7
２ 行動実感について 9
３ 千葉市での生活の満足度及び定住意向について 9

Ⅳ 調査結果 11

１ 生活実感について 13
（１） 緑の豊かさについて 13
（２） 水辺の魅力について 18
（３） 農業や農村に親しめる環境について 23
（４） 安心して出産・育児ができる環境について 29
（５） 小中学校における教育環境の充実について 39

（７）　障害のある人が暮らしやすい環境について 59
（８）　男女共同参画の考え方の定着について 69
（９）　スポーツを楽しめる機会について 79
（１０）文化・芸術活動に親しめる環境について 84
（１１）地域で市民が学べる環境について 89
（１２）公共交通の利便性について 94
（１３）道路の移動のしやすさについて 99
（１４）まちの魅力について 104

２　行動実感について 109
（１５）地域や社会に役立つ活動について 109
（１６）ふだん行っていることなどについて 115

３　千葉市での生活の満足度及び定住意向について 116
（１７）千葉市での生活の満足度について 116
（１８）今後の定住意向について 122

４　自由意見回答の結果 131

【参考】使用した調査票 136

Ⅰ 調査の概要

１ 調査の目的

本調査は、市民の生活環境に対する意識や市政への要望、評価等を把握し、今後の市政運営の基礎的資料とすることを目的として実施した。

２ 調査の対象及び方法

（１）調査対象 10,000人（千葉市に居住する１５歳以上の市民から無作為抽出）
（２）調査方法 配布は郵送、回答は郵送又はインターネット(WEB)によるアンケート調査
（３）調査期間 平成３０年９月３０日～１０月２９日

３ 回収状況

① 回収状況

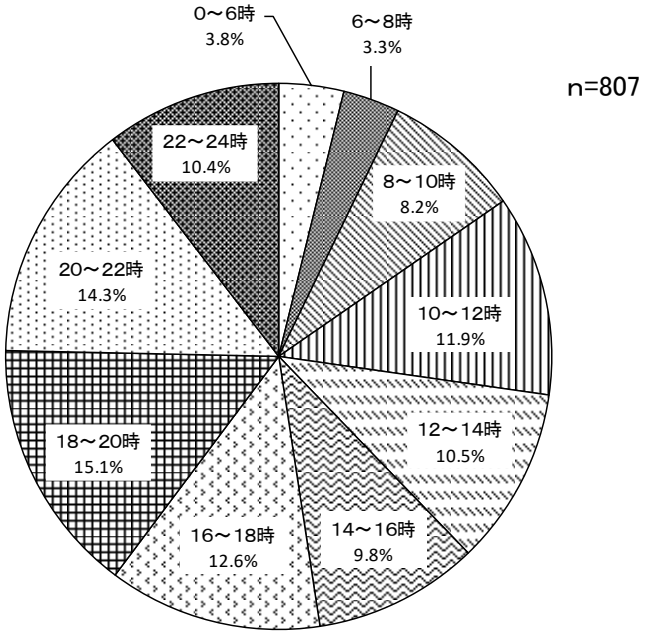
（１） 配布数 10,000 票
（２） 回収数　3,398 票（一般回答：2,591、インターネット(WEB)回答：807）
（３） 回収率　 34.0%（うちインターネット(WEB)回答率：23.7%）

②ＷＥＢによる時間帯別の回答状況

今回のアンケートでは、初めてＷＥＢを併用した調査を実施した。
ＷＥＢでは回答時間帯の追跡が可能である。回答時間帯別の結果は、以下の通りとなっている。

■時間帯別状況

最も多い回答時間帯は、18～20 時（15.1%）。次いで 20～22 時（14.3%）となっており、ともに夜間となっている。両方を合わせると約 3 割弱となっている。



４ 標本抽出

対象者の抽出に当たっては、2018年6月末時点の住民基本台帳に登録されている15歳以上の人口の男女比に基づき、無作為に抽出した。各地域の配布数と回答数（率）については、以下に示す。

抽出データ	男性		女性		計		回収数（率）	
中央区	1,087	21.9%	1,063	21.1%	2,150	21.5%	710	33.0%
花見川区	923	18.6%	940	18.7%	1,863	18.6%	589	31.6%
稲毛区	819	16.5%	824	16.4%	1,643	16.4%	579	35.2%
若葉区	793	16.0%	784	15.6%	1,577	15.8%	499	31.6%
緑区	647	13.0%	672	13.3%	1,319	13.2%	463	35.1%
美浜区	693	14.0%	755	15.0%	1,319	13.2%	552	41.8%
総計	4,962		5,038		10,000		3,392	34.0%

＊無回答「6」を除く

５ 報告書の見方

(1) 回答の比率は、総数を100％として算出し、小数第２位を四捨五入しているため、合計が100％にならない場合がある。

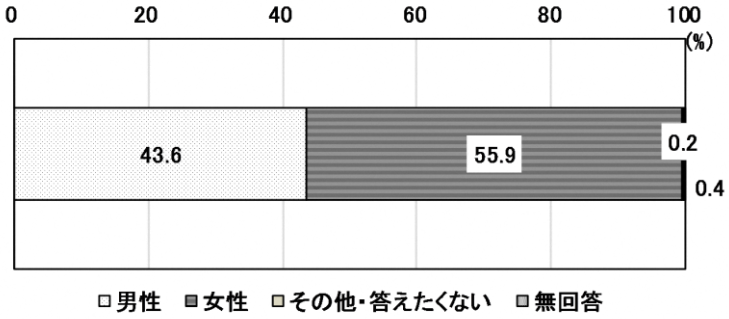
(2) 複数回答の質問は、回答者数(＝総数)を分母として比率を算出しているため、合計が100％を超える場合がある。

(3) 統計学上50サンプル以下の集計(回答者数)は信頼性が低い。そのため、クロス集計については、50サンプル以上を記述の対象としている。

(4) 図や表、文章では、数値の一部（内訳10%未満の一部）を視認上に省略して表記している箇所がある。

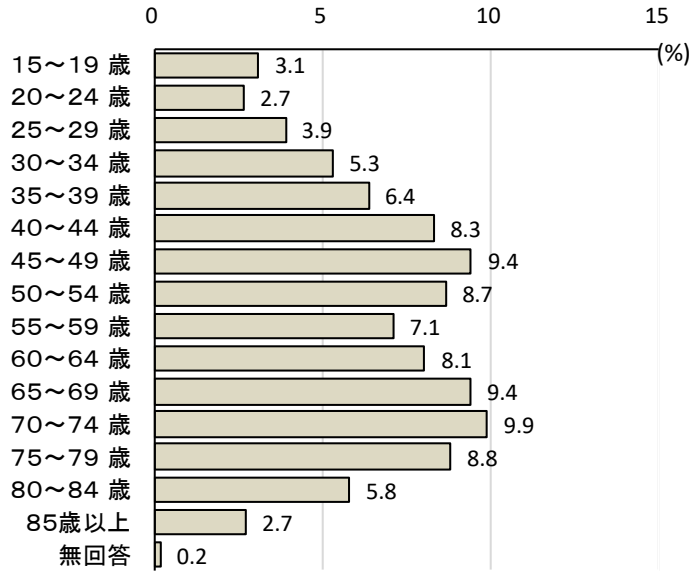
Ⅱ 回答者の属性

（1） 性別



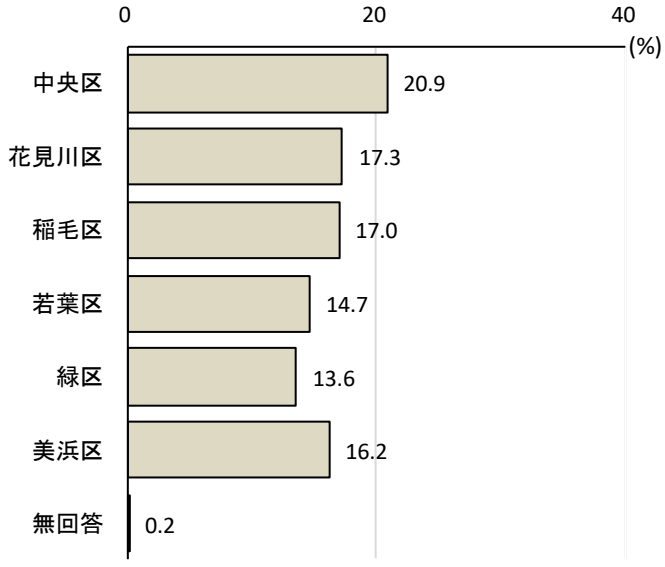
No.	カテゴリ	実数	%
1	男性	1,480	43.6
2	女性	1,898	55.9
3	その他・答えたくない	8	0.2
4	無回答	12	0.4
	サンプル数（% ベース）	3,398	100

（2） 年齢



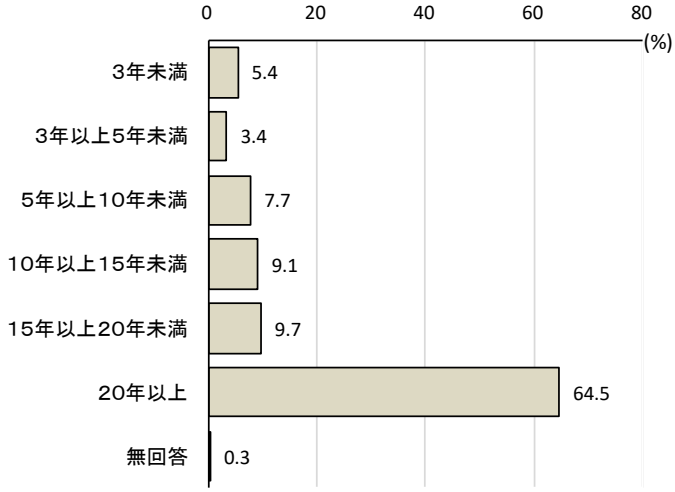
No.	カテゴリ	実数	%
1	15～19 歳	106	3.1
2	20～24 歳	91	2.7
3	25～29 歳	133	3.9
4	30～34 歳	181	5.3
5	35～39 歳	217	6.4
6	40～44 歳	283	8.3
7	45～49 歳	321	9.4
8	50～54 歳	295	8.7
9	55～59 歳	242	7.1
10	60～64 歳	274	8.1
11	65～69 歳	320	9.4
12	70～74 歳	337	9.9
13	75～79 歳	300	8.8
14	80～84 歳	198	5.8
15	85歳以上	93	2.7
16	無回答	7	0.2
	サンプル数（% ベース）	3,398	100

（3） 居住区



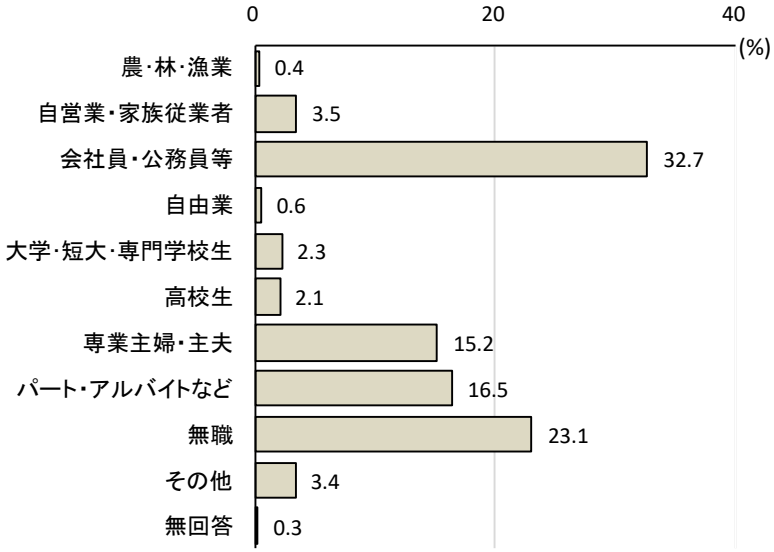
No.	カテゴリ	実数	%
1	中央区	710	20.9
2	花見川区	589	17.3
3	稲毛区	579	17.0
4	若葉区	499	14.7
5	緑区	463	13.6
6	美浜区	552	16.2
7	無回答	6	0.2
	サンプル数（% ベース）	3,398	100

（4）居住年数



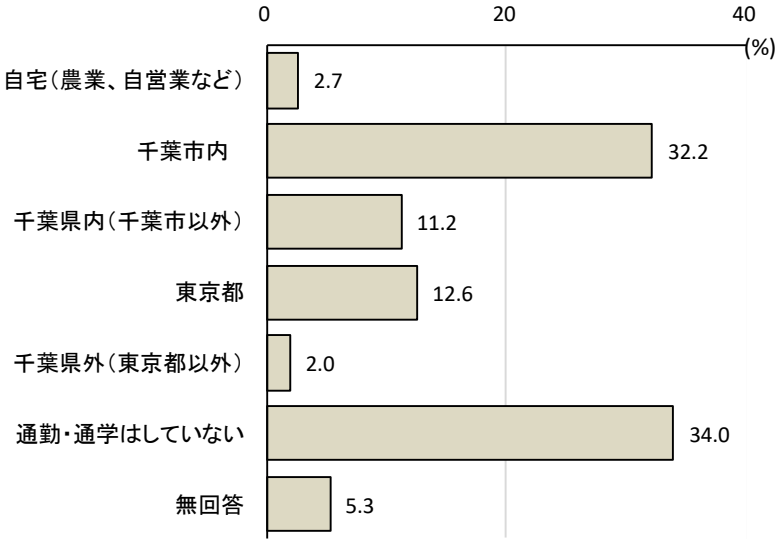
No.	カテゴリ	実数	%
1	3年未満	183	5.4
2	3年以上5年未満	114	3.4
3	5年以上10年未満	262	7.7
4	10年以上15年未満	308	9.1
5	15年以上20年未満	328	9.7
6	20年以上	2,193	64.5
7	無回答	10	0.3
	サンプル数（% ベース）	3,398	100

（5）職業



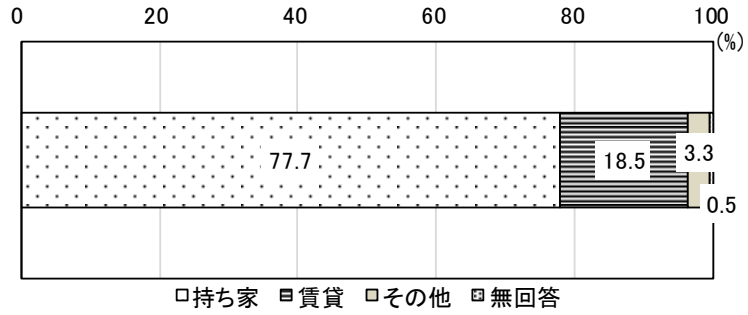
No.	カテゴリ	実数	%
1	農･林･漁業	14	0.4
2	自営業・家族従業者	119	3.5
3	会社員・公務員等	1,111	32.7
4	自由業	19	0.6
5	大学･短大･専門学校生	77	2.3
6	高校生	71	2.1
7	専業主婦・主夫	518	15.2
8	パート・アルバイトなど	559	16.5
9	無職	785	23.1
10	その他	115	3.4
11	無回答	10	0.3
	サンプル数（% ベース）	3,398	100

（6）通勤・通学先



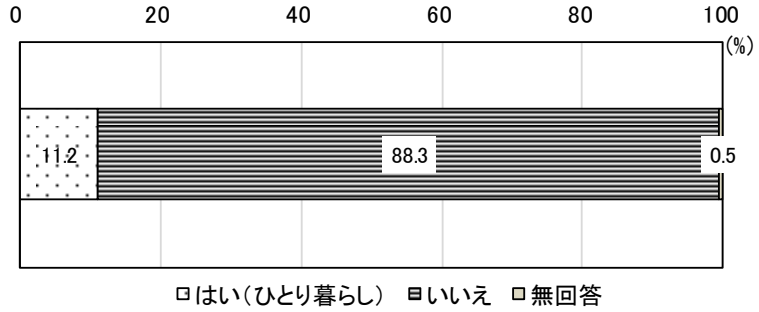
No.	カテゴリ	実数	%
1	自宅（農業、自営業など）	91	2.7
2	千葉市内	1,094	32.2
3	千葉県内（千葉市以外）	382	11.2
4	東京都	427	12.6
5	千葉県外（東京都以外）	68	2.0
6	通勤・通学はしていない	1,154	34.0
7	無回答	181	5.3
	サンプル数（% ベース）	3,397	100

（7）住まいの状況



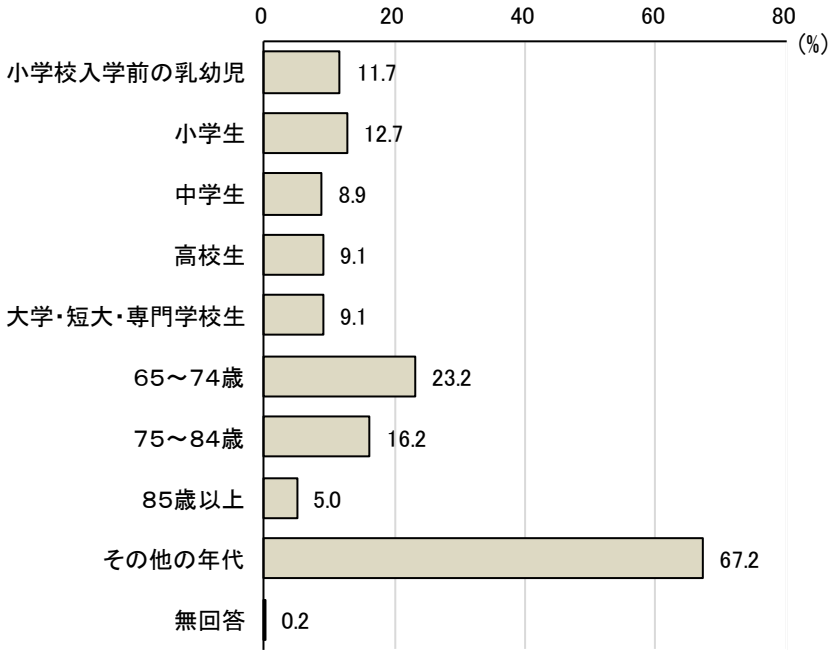
No.	カテゴリ	実数	%
1	持ち家	2,641	77.7
2	賃貸	628	18.5
3	その他	112	3.3
4	無回答	17	0.5
	サンプル数（% ベース）	3,398	100

（8）ひとり暮らし世帯



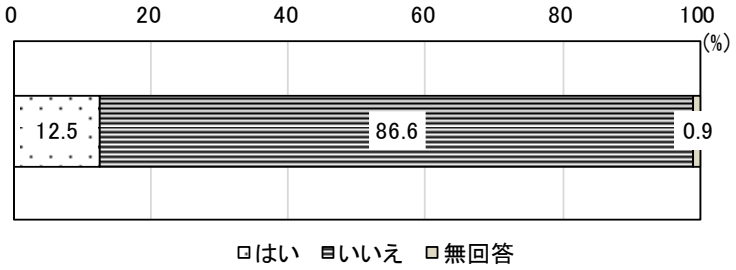
No.	カテゴリ	実数	%
1	はい（ひとり暮らし）	379	11.2
2	いいえ	3,001	88.3
3	無回答	18	0.5
	サンプル数（% ベース）	3,398	100

（9）同居している年代



No.	カテゴリ	実数	%
1	小学校入学前の乳幼児	351	11.7
2	小学生	381	12.7
3	中学生	266	8.9
4	高校生	272	9.1
5	大学・短大・専門学校生	272	9.1
6	65～74歳	695	23.2
7	75～84歳	487	16.2
8	85歳以上	150	5.0
9	その他の年代	2,016	67.2
10	無回答	5	0.2
	サンプル数（% ベース）	3,001	100

（１０）障害のある方の同居



No.	カテゴリ	実数	%
1	はい	425	12.5
2	いいえ	2,944	86.6
3	無回答	29	0.9
	サンプル数（% ベース）	3,398	100

（１１）介護が必要な方の同居

No.	カテゴリ	実数	%
1	はい	289	8.5
2	いいえ	3,077	90.6
3	無回答	32	0.9
	サンプル数（% ベース）	3,398	100

Ⅲ 調査結果の概要

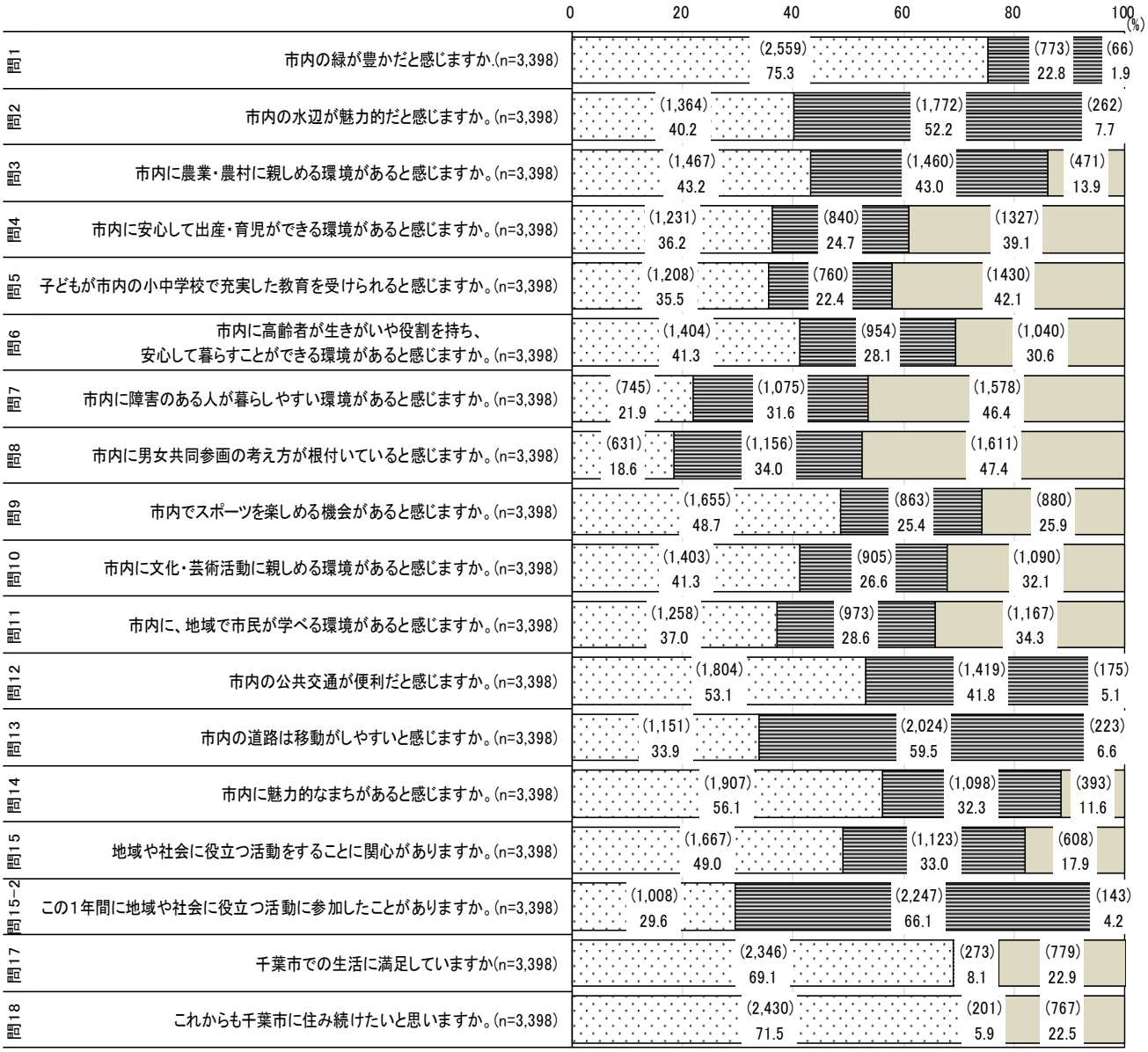


図１　全体の回答結果

※選択肢

肯定的回答

Q1～Q14:そう感じる／どちらかと言えばそう感じる
Q15:関心がある／どちらかと言えば関心がある
Q15-2:週1回以上／月1回以上／2～3か月に1回程度／4か月～
Q17:満足している／どちらかと言えば満足している
Q18:住み続けたい／どちらかと言えば済み続けたい

否定的回答

Q1～Q14:そう感じない／どちらかと言えばそう感じない
Q15:関心がない／どちらかと言えば関心がない
Q15-2:参加しなかった
Q17:満足していない／どちらかと言えば満足していない
Q18:他の地域に転居したい／どちらかと言えば他の地域に転居

わからない他

Q1～Q15-2:わからない／無回答
Q17-18どちらとも言えない／無回答

※選択肢
肯定的回答
Q1～Q14：そう感じる／どちらかと言えばそう感じる
Q15：関心がある／どちらかと言えば関心がある
Q15-2：週1回以上／月1回以上／2～3か月に1回程度／4か月～1年位1回程度参加した
Q17：満足している／どちらかと言えば満足している
Q18：住み続けたい／どちらかと言えば済み続けたい

否定的回答
Q1～Q14：そう感じない／どちらかと言えばそう感じない
Q15：関心がない／どちらかと言えば関心がない
Q15-2：参加しなかった
Q17：満足していない／どちらかと言えば満足していない
Q18：他の地域に転居したい／どちらかと言えば他の地域に転居したい

わからない他
Q1～Q15-2：わからない／無回答
Q17-18どちらとも言えない／無回答

（１）生活実感について

（テーマ１～テーマ１４）　　図１「全体の回答結果」参照

○半数以上が肯定的に回答した設問は、「市内の緑が豊かだと感じる」、「市内の公共交通が便利だと感じる」、「市内に魅力的なまちがあると感じる」の３つの設問だった。
○半数以上が否定的に回答した設問は、「市内の水辺が魅力的だと感じる」、「市内の道路は移動がしやすいと感じる」の２つの設問だった。
○「わからない他」と回答した人が他の回答と比較して相対的に多かったのは、「小中学校で充実した教育を受けられると感じる」、「障害のある人が暮らしやすい環境があると感じる」、「男女共同参画の考え方が根付いていると感じる」の３つの設問で、回答者の４割を超えた。
○肯定的な回答をした人が、否定的な回答をした人を上回った設問は９つであった。一方、否定的な回答をした人が肯定的な回答をした人を上回った設問は、４つであった。
また、どちらとも言えない設問が１つであった。

（参考）※下線は過半数を超えた設問

（１）肯定的な回答が否定的な回答を上回った設問
- **市内の緑が豊かだと感じる**
- 安心して出産・育児ができる環境がある
- 小中学校で充実した教育を受けられる
- 高齢者が生きがいや役割を持ち、安心して暮らすことができる環境がある
- スポーツを楽しめる機会がある
- 文化・芸術活動に親しめる環境がある
- 地域に市民が学べる環境がある
- **公共交通が便利だと感じる**
- **魅力的なまちがあると感じる**

（２）否定的な回答が肯定的な回答を上回った設問
- **水辺が魅力的だと感じる**
- 障害のある人が暮らしやすい環境があると感じる
- 男女共同参画の考え方が根付いていると感じる
- **市内の道路は移動がしやすいと感じる**

（３）どちらとも言えない設問
- 農業・農村に親しめる環境がある

（２）行動実感について

（テーマ１５～テーマ１５－２）　　図１「全体の回答結果」参照

○地域や社会に役立つ活動をすることに関心があると肯定的に回答した人は４９．１％で、否定的な回答をした人（３３％）を上回った。
○一方、この１年間に地域や社会に役立つ活動に参加したことがあるかの問に対しては、参加しなかったと回答した人が６６．１％であったのに対し、参加したことがある人は、２９．７％という結果となった。

（３）千葉市での生活の満足度及び定住意向について

（テーマ１７～テーマ１８）　　図１「全体の回答結果」参照

○千葉市での生活の満足度、定住意向ともに約７割の人が肯定的に回答し、否定的な回答をした人（約１割）を大きく上回る結果となった。

Ⅳ 調査の分析

調査の分析の見方

「Ⅳ　調査の分析」のテーマ１から１４の文中で使用する、「全体の回答状況」、「グループ別の回答状況」、「個別の回答状況」は、以下を指すものとする。

①全体の回答状況

アンケートの各テーマにおいて、【すべての方】を対象に

「１　そう感じる」、「２　どちらかと言えばそう感じる」、「３　どちらかと言えばそう感ない」、「４　そう感じない」、「５　わからない」

の回答状況を集計したもの。

②グループ別の回答状況

アンケートの各テーマにおいて、

「１　そう感じる」、「２　どちらかと言えばそう感じる」、「３　どちらかと言えばそう感ない」、「４　そう感じない」と回答した理由を問う選択肢をグループ化して集計したもの。

例：テーマ１　緑の豊かさについて

　　郊外の緑：「１　田園風景が見られる」、「２　里山（森林）が多い」と回答した人の内、または「２」または「１，２」と回答した人をｎとして算出したもの。

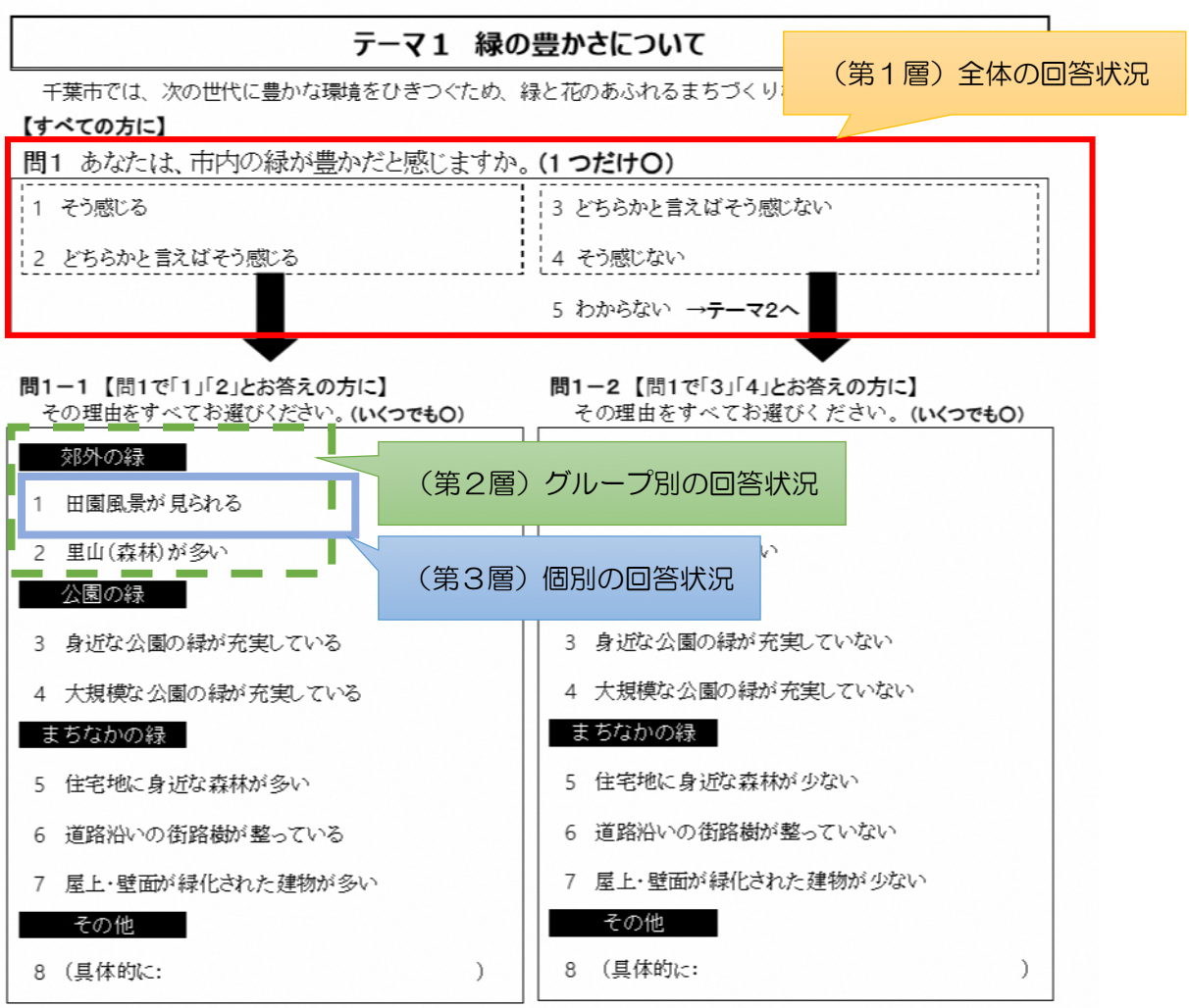
③個別の回答状況

アンケートの各テーマにおいて、

「１　そう感じる」、「２　どちらかと言えばそう感じる」、

「３　どちらかと言えばそう感じない」、「４　そう感じない」と回答した理由を問う選択肢を集計したもの。

アンケート調査票


テーマ１　緑の豊かさについて
千葉市では、次の世代に豊かな環境をひきつぐため、緑と花のあふれるまちづくり
【すべての方に】
問1　あなたは、市内の緑が豊かだと感じますか。(1 つだけ○)
1　そう感じる
2　どちらかと言えばそう感じる
3　どちらかと言えばそう感じない
4　そう感じない
5　わからない　→テーマ2へ
（第１層）全体の回答状況
問1－1 【問1で「1」「2」とお答えの方に】
その理由をすべてお選びください。(いくつでも○)
郊外の緑
1　田園風景が見られる
2　里山(森林)が多い
公園の緑
3　身近な公園の緑が充実している
4　大規模な公園の緑が充実している
まちなかの緑
5　住宅地に身近な森林が多い
6　道路沿いの街路樹が整っている
7　屋上・壁面が緑化された建物が多い
その他
8　(具体的に:　　)
問1－2 【問1で「3」「4」とお答えの方に】
その理由をすべてお選びください。(いくつでも○)
3　身近な公園の緑が充実していない
4　大規模な公園の緑が充実していない
まちなかの緑
5　住宅地に身近な森林が少ない
6　道路沿いの街路樹が整っていない
7　屋上・壁面が緑化された建物が少ない
その他
8　(具体的に:　　)
（第２層）グループ別の回答状況
（第３層）個別の回答状況

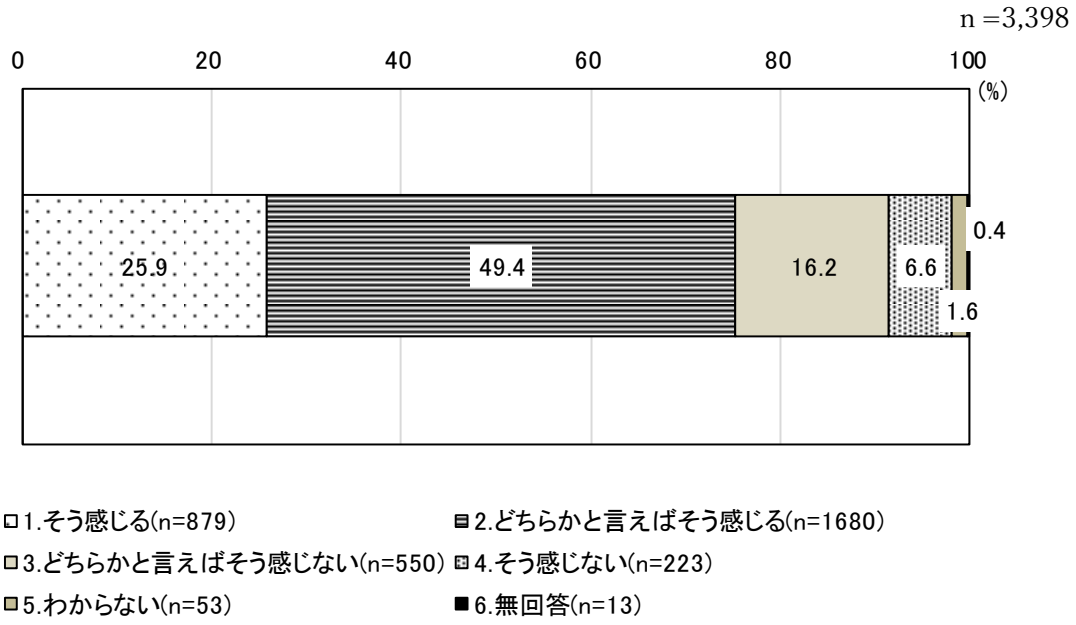
1　生活実感について

（1）緑の豊かさについて

千葉市では、次の世代に豊かな環境をひきつぐため、緑と花のあふれるまちづくりを推進しています。

問1　あなたは、市内の緑が豊かだと感じますか。（一つだけ○）

全体の回答状況

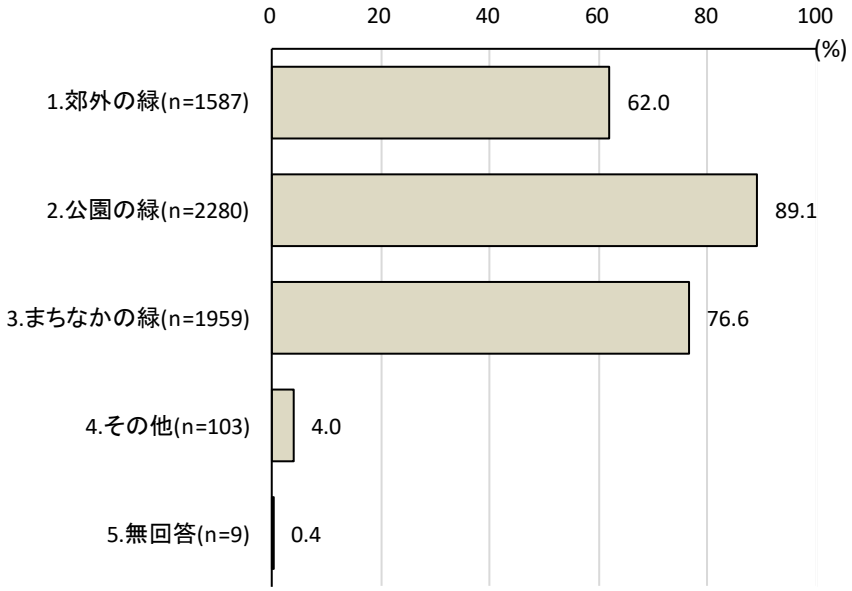


千葉市の緑の豊かさについては、「どちらかと言えばそう感じる」（49.4%）の比率が最も高く、「そう感じる」（25.9%）と合せた「肯定的回答（計）」は、75.3%だった。一方、「どちらかと言えばそう感じない」（16.2%）と「そう感じない」（6.6%）を合わせた「否定的回答（計）」は、22.8%であった。

千葉市の緑が豊かだと感じる理由

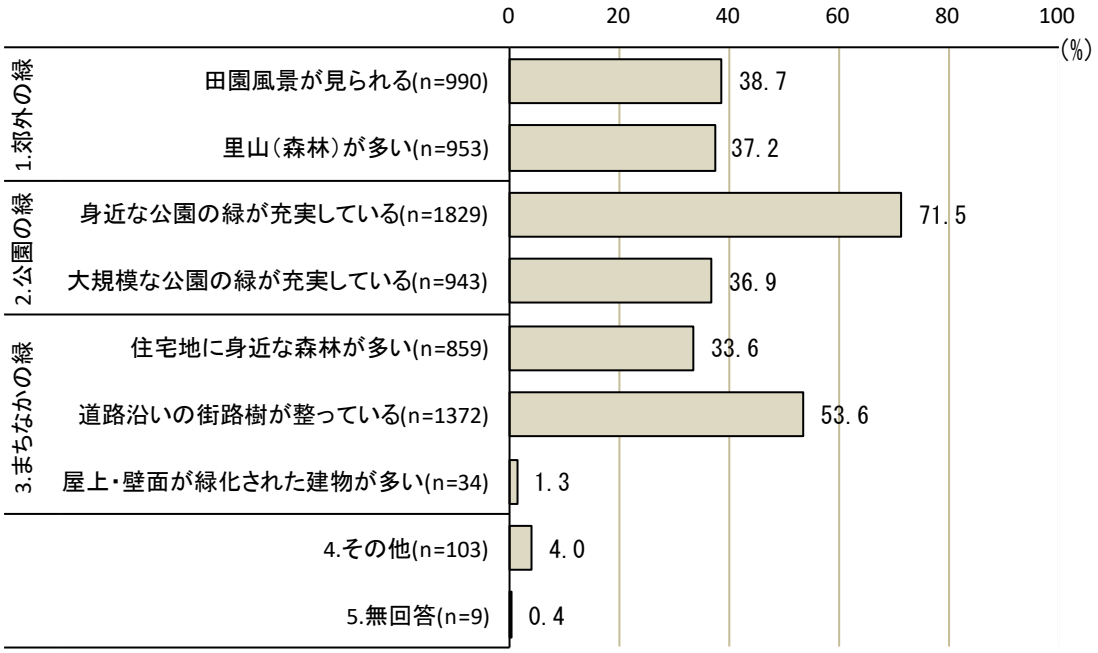
問１－１
　　【問１で「１　そう感じる」、「２　どちらかと言えばそう感じる」とお答えの方に】
その理由をすべてお選びください。（いくつでも○）

１）グループ別の回答状況



　市内の緑が豊かだと感じる理由にとしては、「公園の緑」（89.1%）の比率が最も高く、次に「まちなかの緑」（76.6%）、「郊外の緑」（62.0%）となっている。

2）個別の回答状況



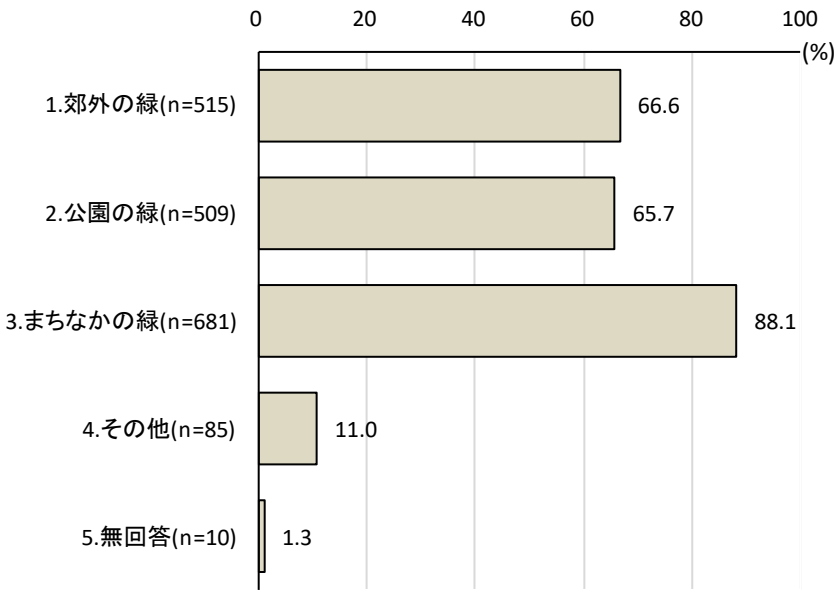
市内の緑が豊かだと感じる理由としては、「身近な公園の緑が充実している」（71.5%）の比率が最も高く、次に「道路沿いの街路樹が整っている」（53.6%）となっている。

一方、「屋上・壁面が緑化された建物が多い」の比率は、1.3%と、最も低かった。

千葉市の緑が豊かだと感じない理由

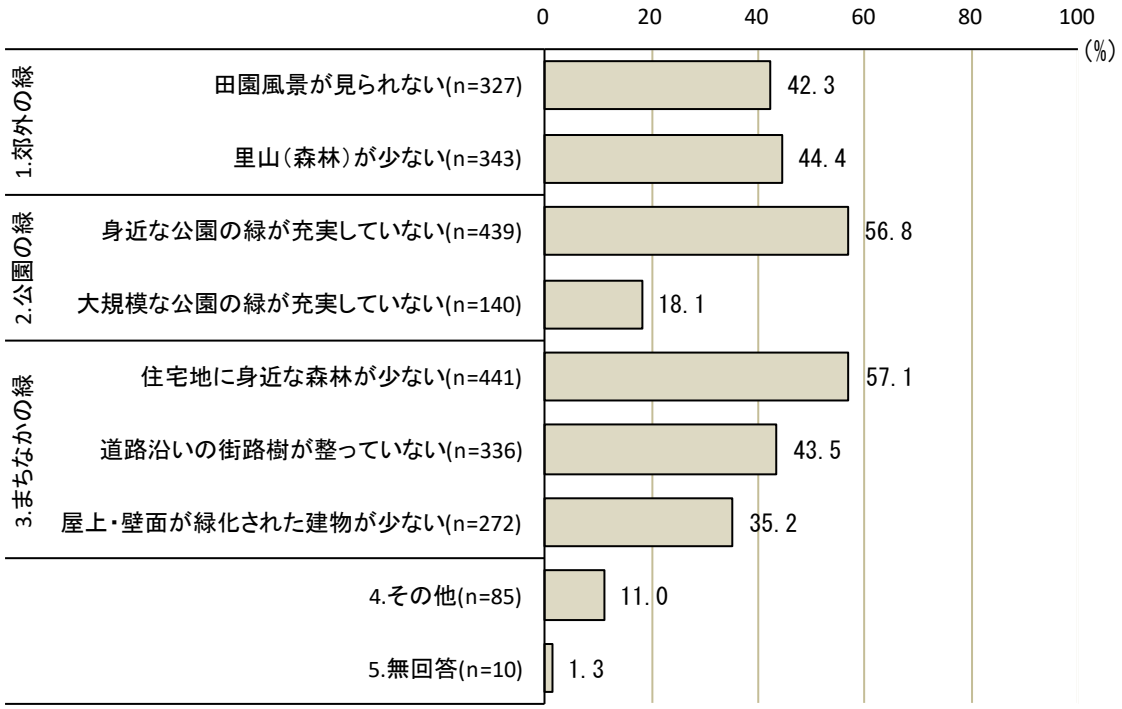
問１－２
　　【問１で「３　どちらかと言えばそう感じない」、「４　そう感じない」とお答えの方に】
　その理由をすべてお選びください。（いくつでも○）

１）グループ別の回答状況



　市内の緑が豊かだと感じない理由にとしては、「まちなかの緑」（88.1%）の比率が最も高く、次に「郊外の緑」（66.6%）、「公園の緑」（65.7%）となっている。

2）個別の回答状況



市内の緑が豊かだと感じない理由としては、「住宅地に身近な森林が少ない」（57.1%）の比率が最も高く、次に「身近な公園の緑が充実していない」（56.8%）となっている。

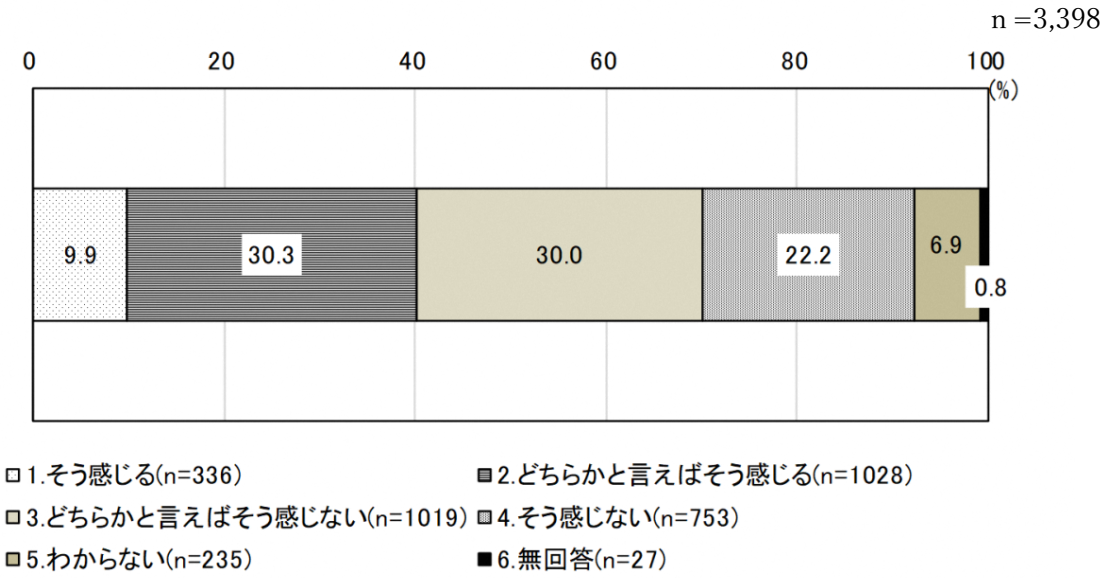
一方、「大規模な公園の緑が充実していない」の比率は、18.1%と、最も低かった。

（2）水辺の魅力について

千葉市では、やすらぎとにぎわいのある水辺の空間づくりのため、海辺の活性化などを推進しています。

問２　あなたは、市内の水辺が魅力的だと感じますか。（一つだけ○）

全体の回答状況

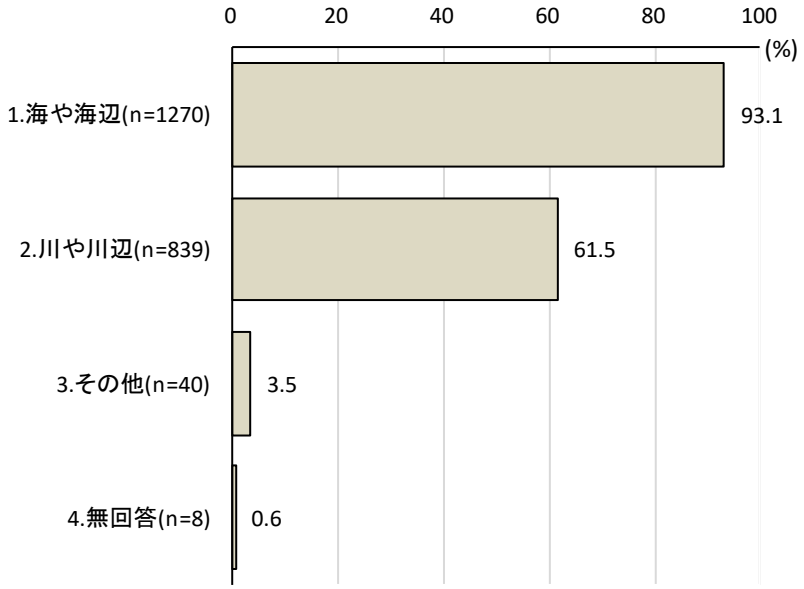


市内の水辺が魅力的だと感じるかついては、「どちらかと言えばそう感じる」（30.3%）の比率が最も高く「そう感じる」（9.9%）と合せた「肯定的回答（計）」は、40.2%だった。一方、「どちらかと言えばそう感じない」（30.0%）と「そう感じない」（22.2%）を合わせた「否定的回答（計）」は、52.2%であった。

千葉市の水辺が豊かだと感じる理由

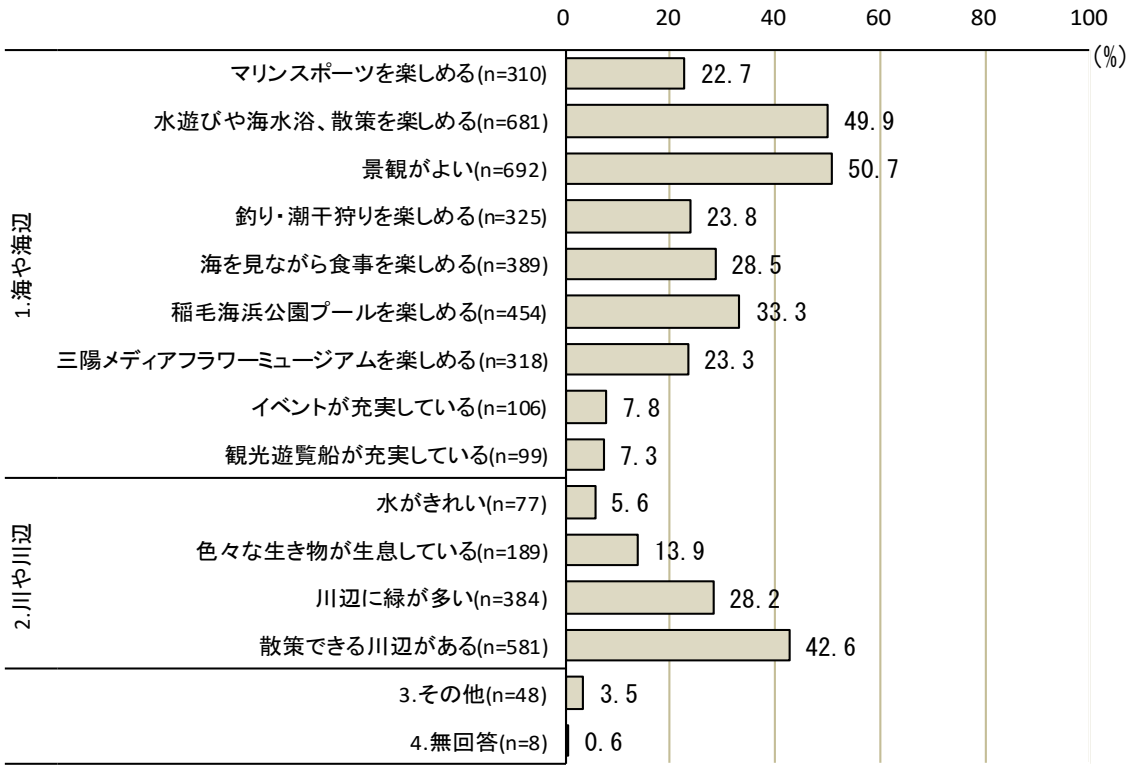
問２－１
　　【問２で「１　そう感じる」、「２　どちらかと言えばそう感じる」とお答えの方に】
その理由をすべてお選びください。（いくつでも○）

１）グループ別の回答状況



市内の水辺が豊かだと感じる理由としては、「海や海辺」（93.1%）の比率が最も高く、次に「川や川辺」（61.5%）となっている。

2）個別の回答状況



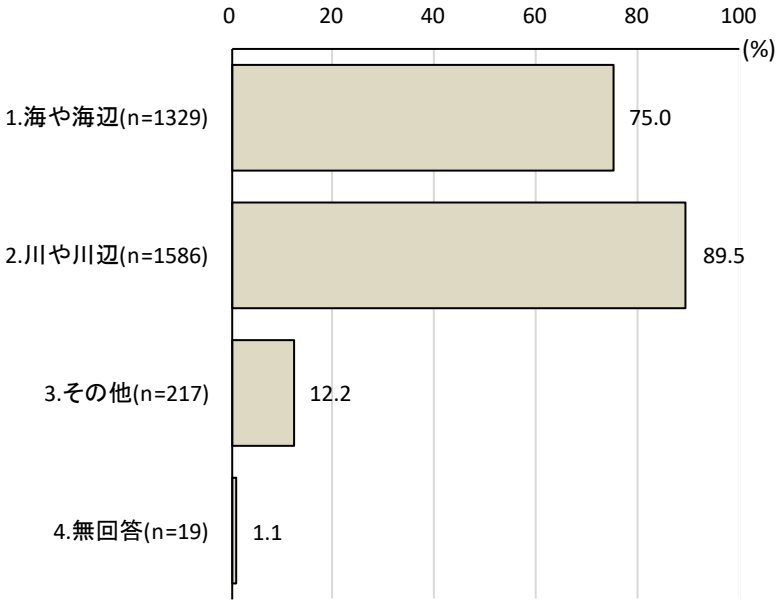
市内の水辺が豊かだと感じる理由としては、「（海や海辺の）景観がよい」（50.7%）の比率が最も高く、次に「（海や海辺で）水遊びや海水浴、散策を楽しめる」（49.9%）、「散策できる川辺がある」（42.6%）となっている。

一方、「（川や川辺の）水がきれい」の比率は、5.6%と、最も低かった。

千葉市の水辺が豊かだと感じない理由

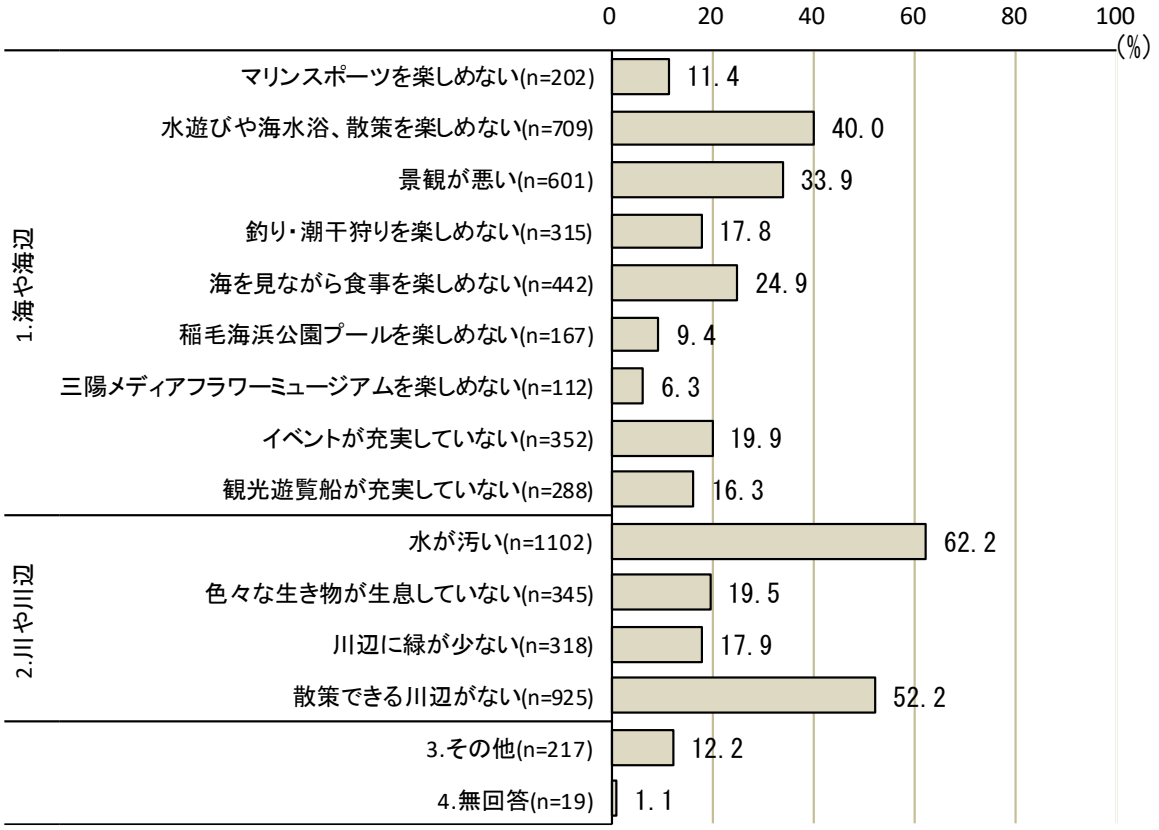
問２－２
　　【問２で「３　どちらかと言えばそう感じない」、「４　そう感じない」とお答えの方に】
その理由をすべてお選びください。（いくつでも〇）

1）グループ別の回答状況



市内の水辺が豊かだと感じない理由としては、「川や川辺」（89.5%）の比率が最も高く、次に「海や海辺」（75.0%）となっている。

2）個別の回答状況



市内の水辺が豊かだと感じない理由としては、「（川や川辺の）水が汚い」（62.2%）の比率が最も高く、次に「散策できる川辺がない」（52.2%）、「（海や海辺で）水遊びや海水浴、散策を楽しめない」（40.0%）となっている。

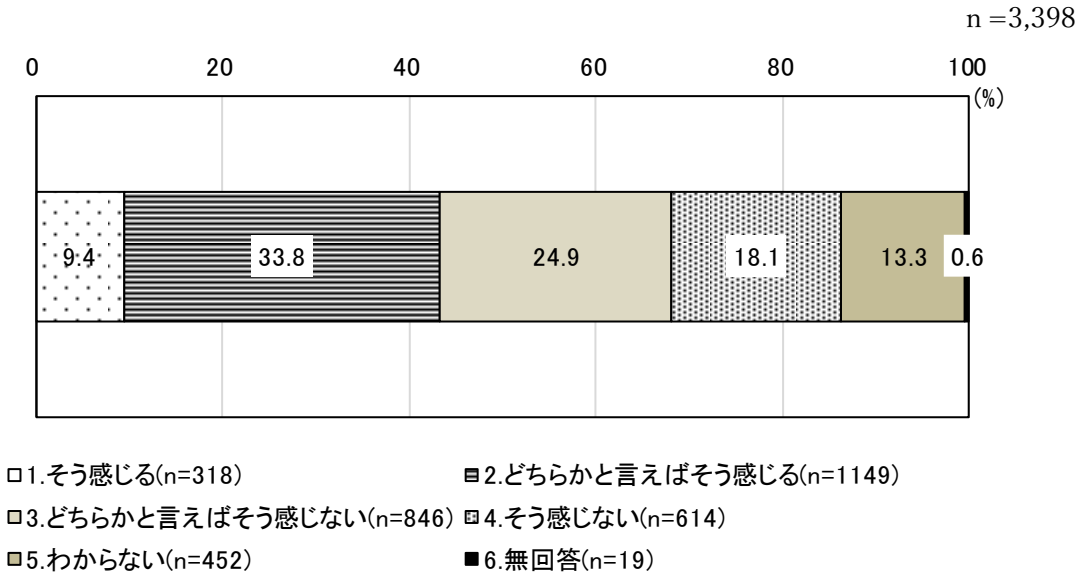
一方、「三陽メディアフラワーミュージアムを楽しめない」（6.3%）の比率は、最も低かった。

（３）農業や農村に親しめる環境について

千葉市では、市民が農業や市内産農産物に親しみを感じられるよう、農業を体験できる環境の整備や地産地消の推進などに取り組んでいます。

問３　あなたは、市内に農業・農村に親しめる環境があると感じますか。（一つだけ○）

全体の回答状況



市内に農業・農村に親しめる環境があるかについては、「どちらかと言えばそう感じる」（33.8%）の比率が最も高く、「そう感じる」（9.4%）と合せた「肯定的回答（計）」は、43.2%だった。

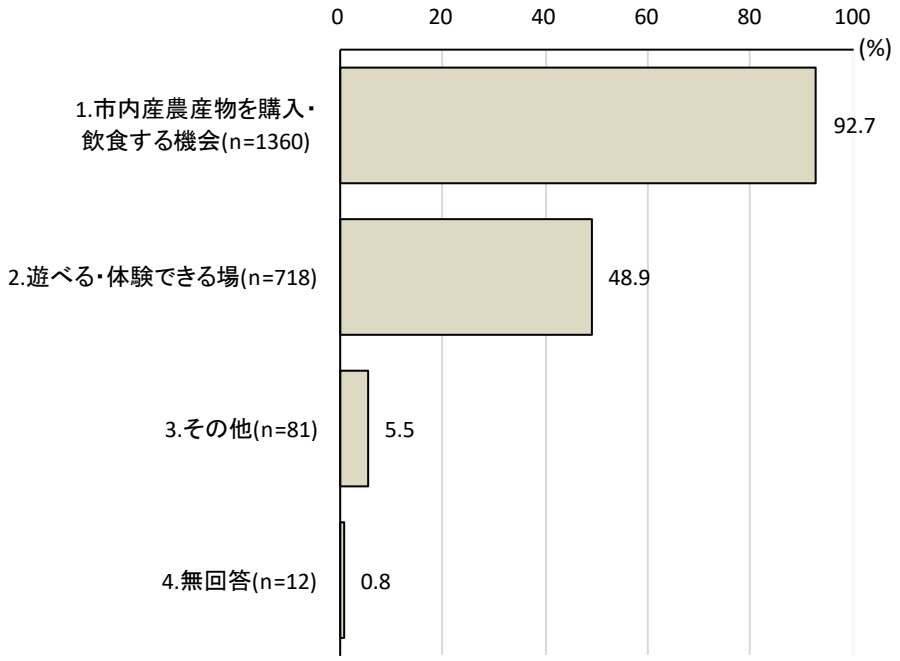
一方、「どちらかと言えばそう感じない」（24.9%）と「そう感じない」（18.1%）を合わせた「否定的回答（計）」は、43.0%であった。

なお、「わからない」が 13.3%であった。

千葉市に農業・農村に親しめる環境があると感じる理由

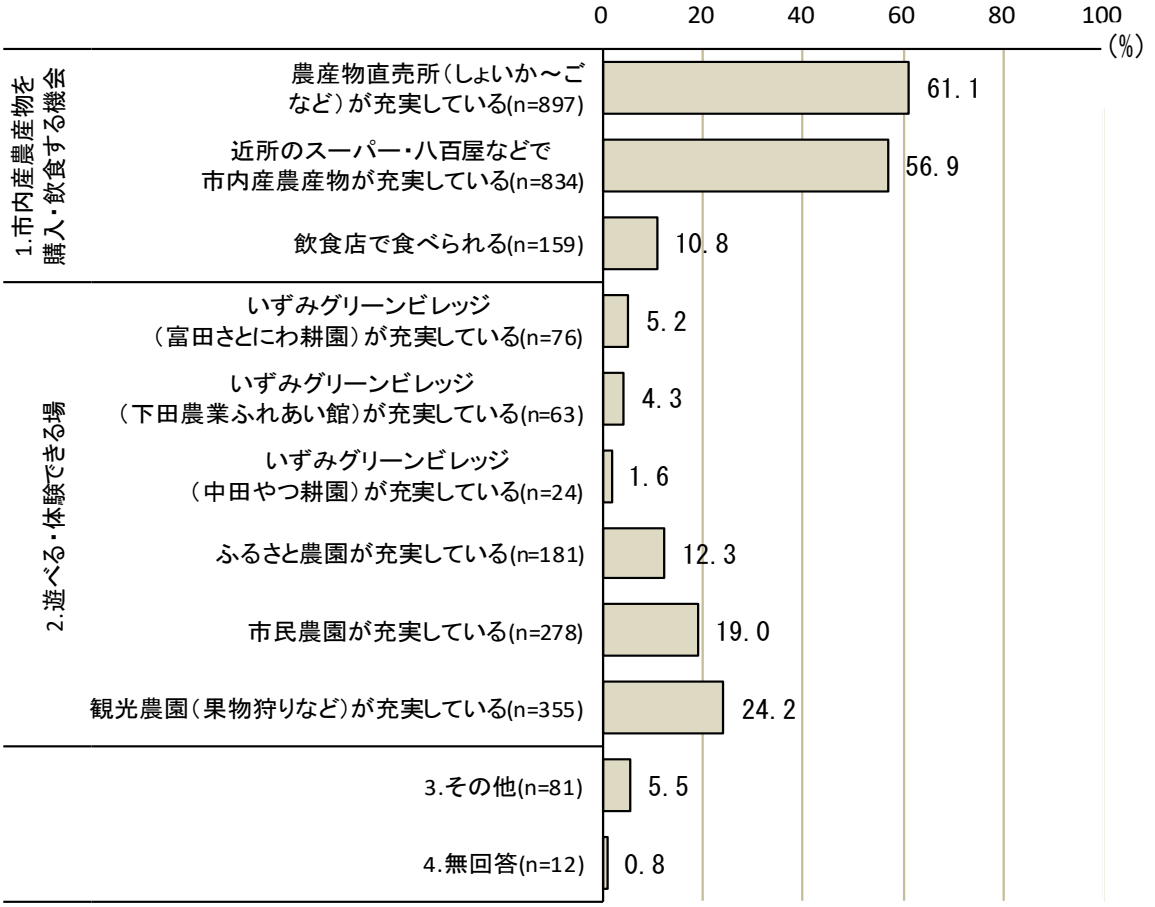
問３－１
　　【問３で「１　そう感じる」、「２　どちらかと言えばそう感じる」とお答えの方に】
その理由をすべてお選びください。（いくつでも○）

1）グループ別の回答状況



　市内に農業・農村に親しめる環境があると感じる理由としては、「市内産農産物を購入・飲食する機会」（92.7%）の比率が最も高く、次に「遊べる・体験できる場」（48.9%）となっている。

2) 個別の回答状況



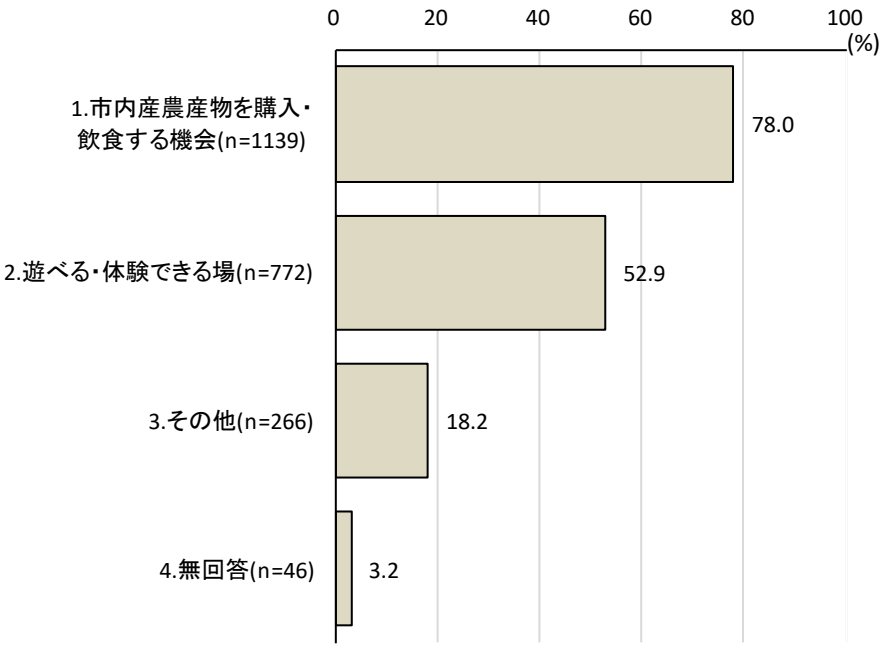
市内に農業・農村に親しめる環境があると感じる理由としては、「農産物直売所（しょいか～ごなど）が充実している」（61.1%）の比率が最も高く、次に「近所のスーパー・八百屋などで市内産農産物が充実している」（56.9%）、「観光農園（果物狩りなど）が充実している」（24.2%）となっている。

一方、「いずみグリーンビレッジ（富田さとにわ耕園:5.2%、下田農業ふれあい館:4.3%、中田やつ耕園:1.6%）が充実している」の比率は、他の選択肢に比べ、最も低かった。

千葉市に農業・農村に親しめる環境があると感じない理由

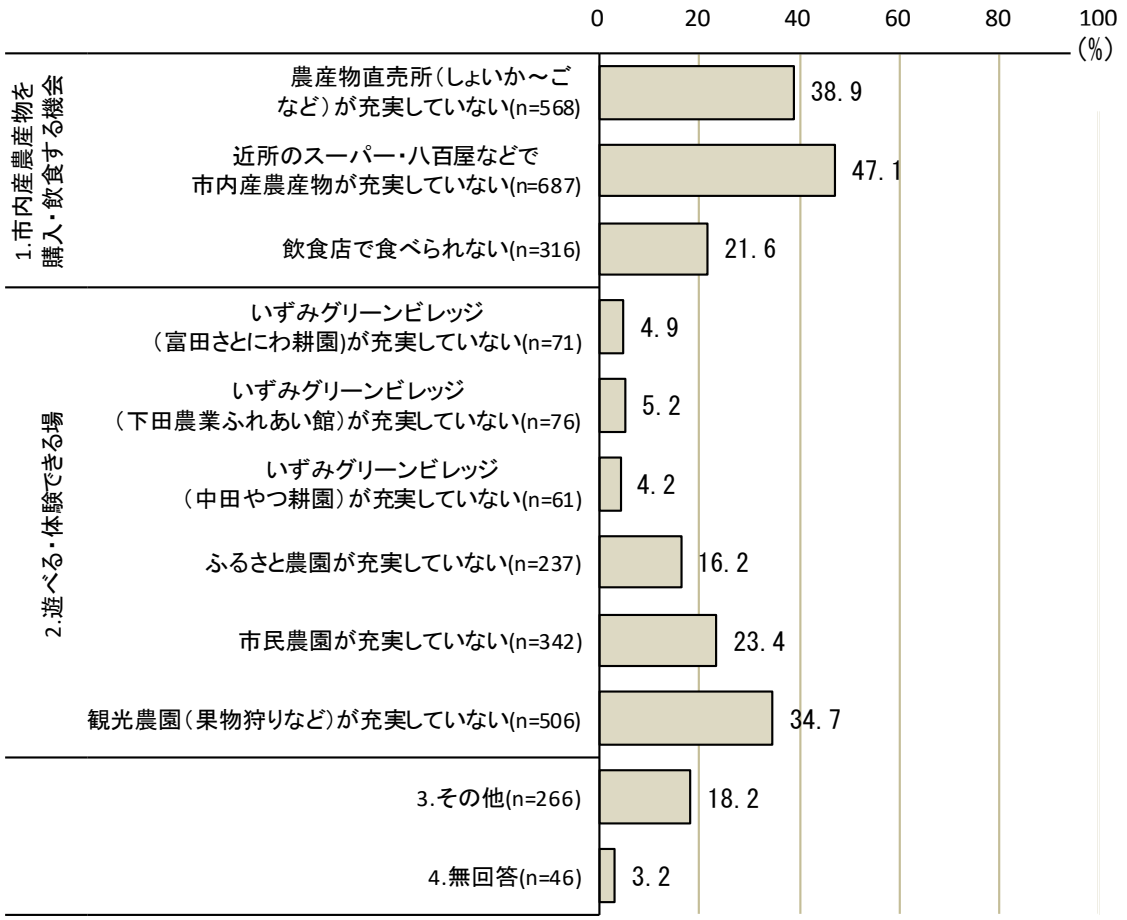
問３－２
　　【問３で「３　どちらかと言えばそう感じない」、「４　そう感じない」とお答えの方に】
　その理由をすべてお選びください。（いくつでも○）

1）グループ別の回答状況



市内に農業・農村に親しめる環境があると感じない理由としては、「市内産農産物を購入・飲食する機会」（78.0%）の比率が最も高く、次に「遊べる・体験できる場」（52.9%）となっている。

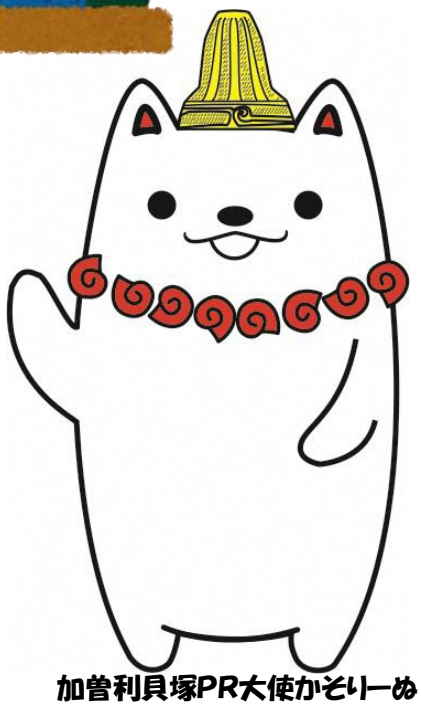
2) 個別の回答状況



市内に農業・農村に親しめる環境があると感じない理由としては、「近所のスーパー・八百屋などで市内産農産物が充実していない」（47.1%）の比率が最も高く、次に「農産物直売所（しょいか～ごなど）が充実していない」（38.9%）、「観光農園（果物狩りなど）が充実していない」（34.7%）となっている。

一方、「いずみグリーンビレッジ（富田さとにわ耕園:4.9%、下田農業ふれあい館:5.2%、中田やつ耕園:4.2%）が充実していない」の比率は、他の選択肢に比べ、最も低かった。

次ページから続く、
（4）「安心して出産・育児ができる環境」
（5）「小中学校における教育環境の充実」
（6）「高齢者が生きがいや役割を持ち、
　　安心して暮らすことができる環境」
（7）「障害のある人が暮らしやすい環境」
（8）「男女共同参画の考え方の定着」については、
　回答者の属性から当事者を抜き出して、クロス集計を行っています。



加曽利貝塚PR大使かそりーぬ

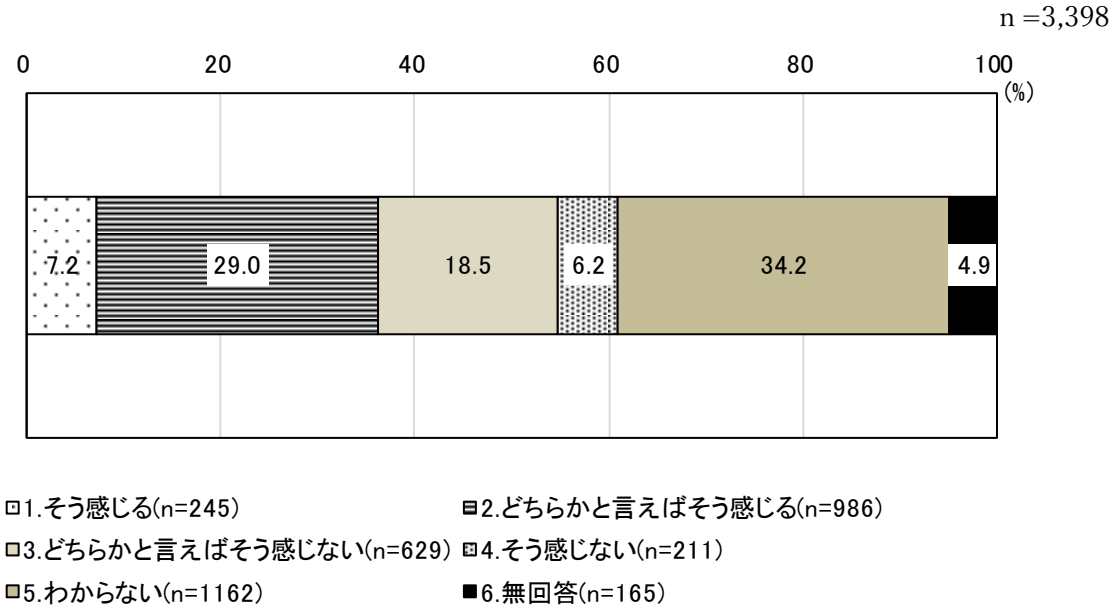
（4）安心して出産・育児ができる環境について

千葉市では子どもを産み、育てやすい環境づくりのため、多様な保育サービスの提供など、子育て支援の充実に取り組んでいます。

問４　あなたは、市内に安心して出産・育児ができる環境があると感じますか。（一つだけ○）

全体の回答状況

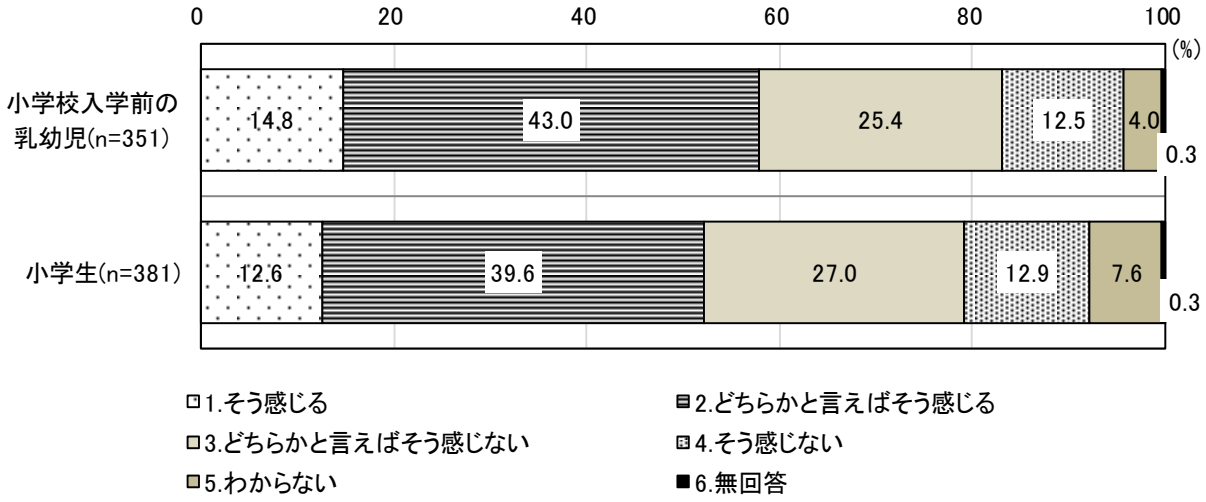
■回答者全員■



市内に安心して出産・育児ができる環境があるかについては、「どちらかと言えばそう感じる」（29.0%）と「そう感じる」（7.2%）を合せた「肯定的回答（計）」は、36.2%だった。一方、「どちらかと言えばそう感じない」（18.5%）と「そう感じない」（6.2%）を合わせた「否定的回答（計）」は、24.7%であった。

なお、「わからない」（34.2%）の比率が最も高かった。

■小学校入学前の乳幼児、及び小学生のいる世帯■



小学校入学前の乳幼児のいる世帯は、「どちらかと言えばそう感じる」（43.0%）の比率が最も高く、「そう感じる」（14.8%）と合せた「肯定的回答（計）」は、57.8%だった。一方、「どちらかと言えばそう感じない」（25.4%）と「そう感じない」（12.5%）を合わせた「否定的回答（計）」は、37.9%であった。

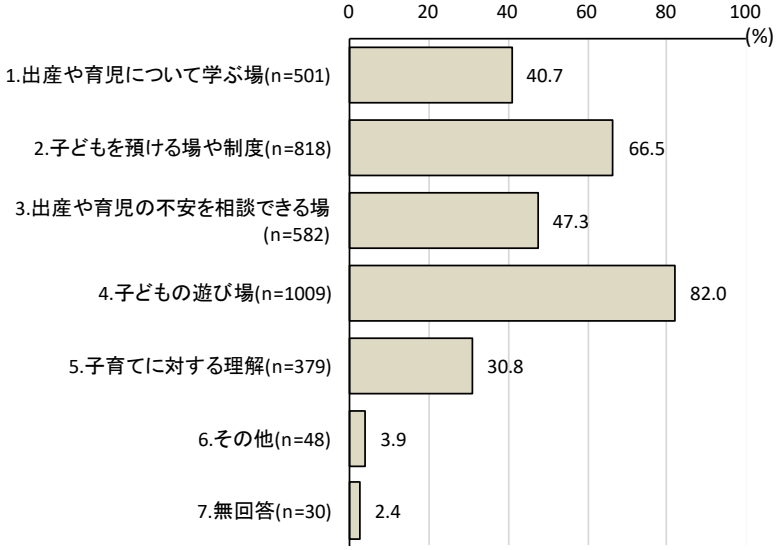
また、小学生のいる世帯は、「どちらかと言えばそう感じる」（39.6%）の比率が最も高く、「そう感じる」（12.6%）と合せた「肯定的回答（計）」は、52.2%だった。一方、「どちらかと言えばそう感じない」（27.0%）と「そう感じない」（12.9%）を合わせた「否定的回答（計）」は、39.9%であった。

千葉市に安心して出産・育児ができる環境があると感じる理由

問４－１
　　【問４で「１　そう感じる」、「２　どちらかと言えばそう感じる」とお答えの方に】
その理由をすべてお選びください。（いくつでも○）

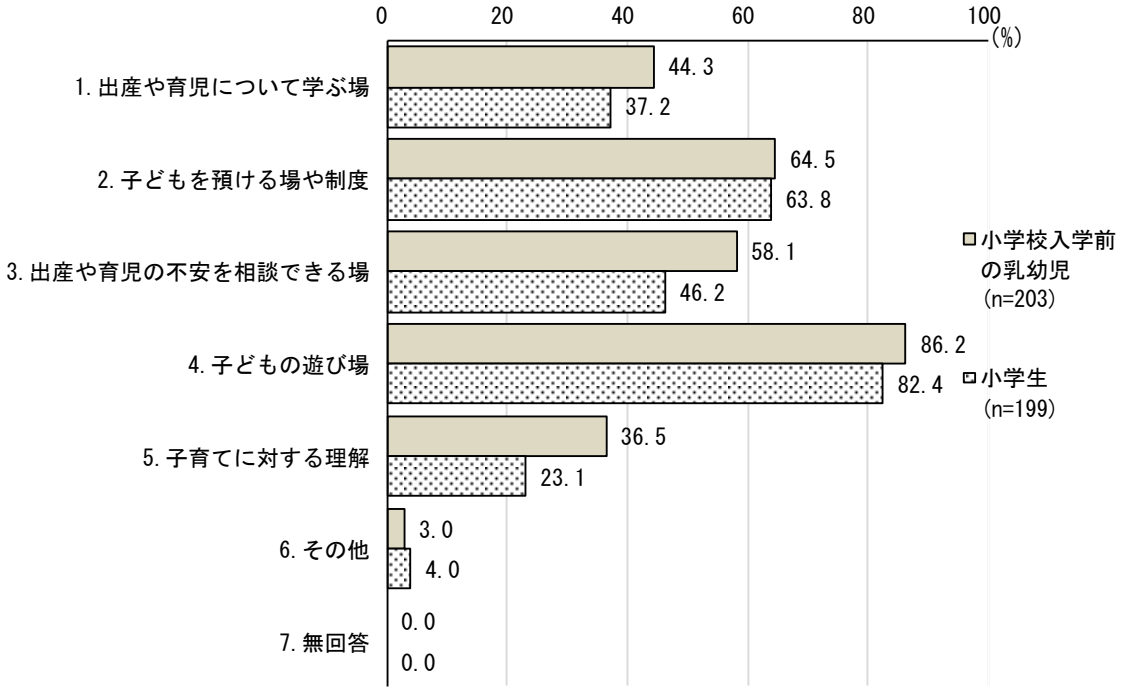
1）グループ別の回答状況

■回答者全員■



　市内に安心して出産・育児ができる環境があると感じる理由としては、「子どもの遊び場」（82.0%）の比率が最も高く、次に「子どもを預ける場や制度」（66.5%）、「出産や育児の不安を相談できる場」（47.3%）となっている。

■小学校入学前の乳幼児、及び小学生のいる世帯■

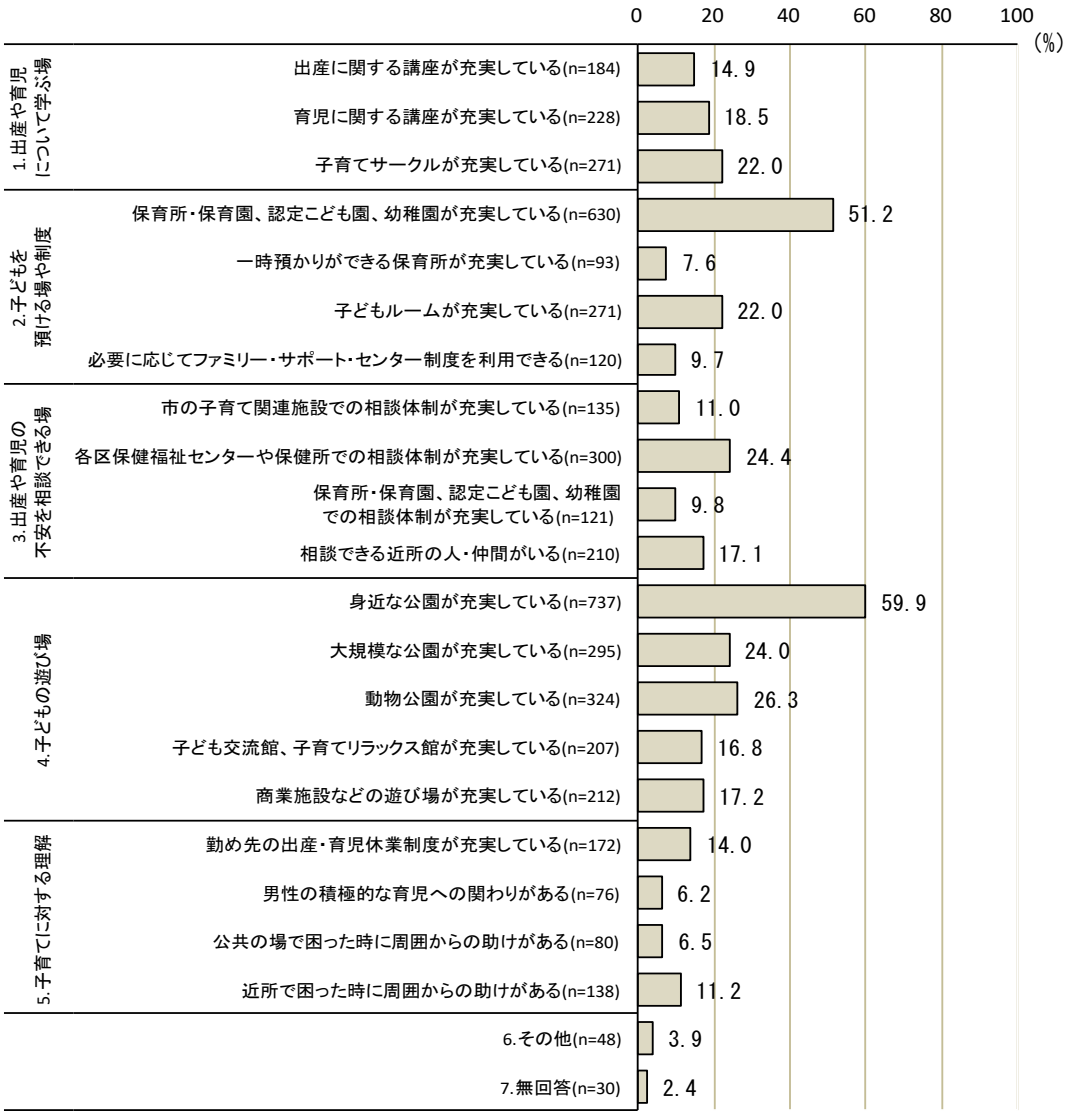


小学校入学前の乳幼児のいる世帯では、「子どもの遊び場」（86.2%）の比率が最も高く、次に「子どもを預ける場や制度」（64.5%）、「出産や育児の不安を相談できる場」（58.1%）となっている。

また、小学生のいる世帯においても、「子どもの遊び場」（82.4%）の比率が最も高く、次に「子どもを預ける場や制度」（63.8%）、「出産や育児の不安を相談できる場」（46.2%）となっている。

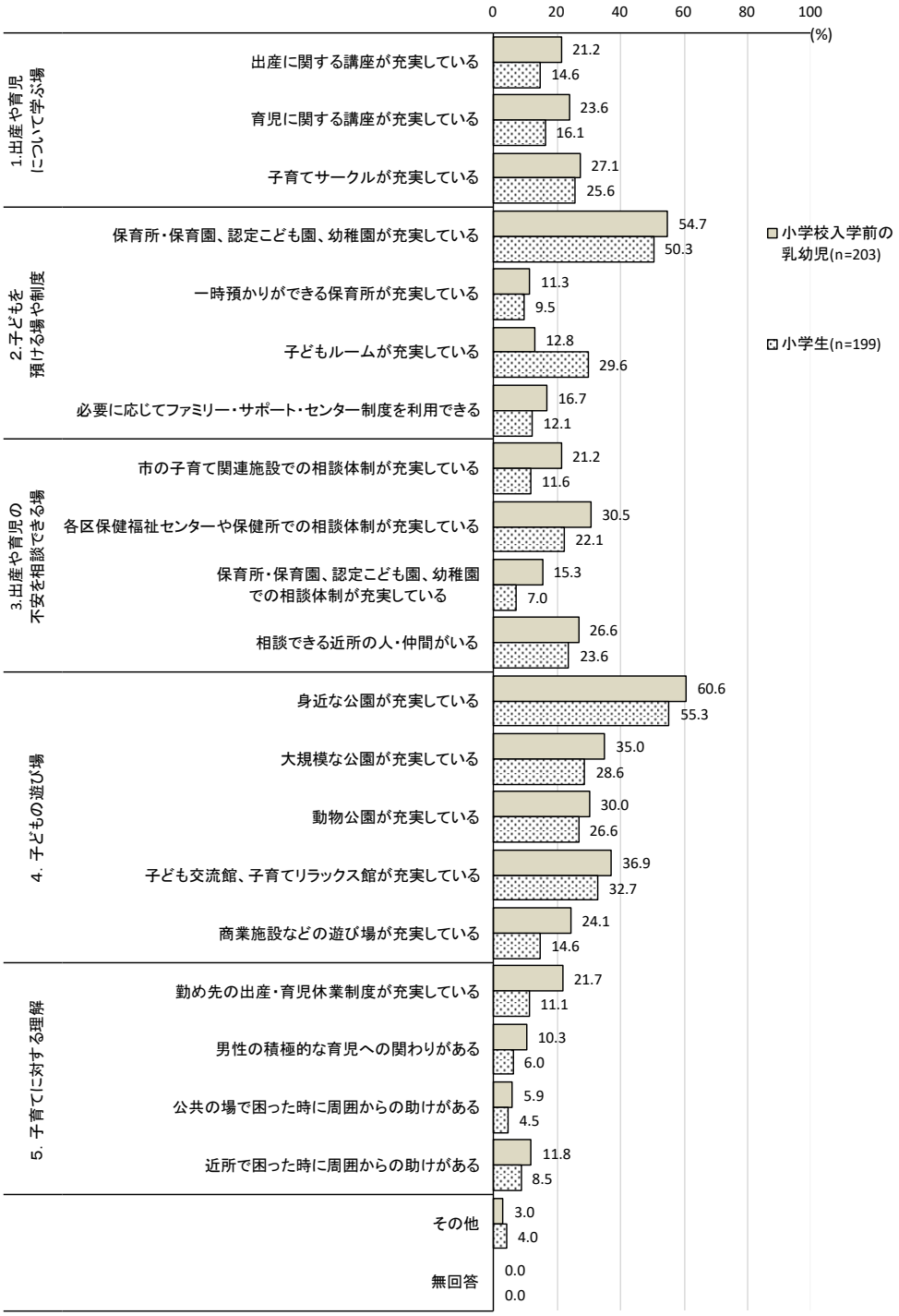
2) 個別の回答状況

■回答者全員■



市内に安心して出産・育児ができる環境があると感じる理由としては、「身近な公園が充実している」（59.9%）の比率が最も高く、次に「保育所・保育園、認定こども園、幼稚園が充実している」（51.2%）となっている。

■小学校入学前の乳幼児、及び小学生のいる世帯■



小学校入学前の乳幼児のいる世帯では、「身近な公園が充実している」（60.6%）の比率が最も高く、次に「保育所・保育園、認定こども園、幼稚園が充実している」（54.7%）、「子ども交流館、子育てリラックス館が充実している」（36.9%）となっている。

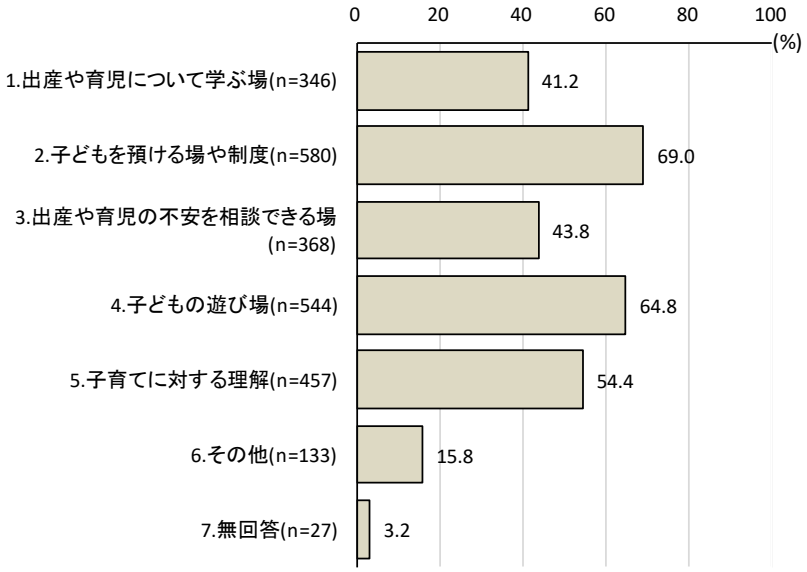
小学生のいる世帯においても、同様に、「身近な公園が充実している」（55.3%）の比率が最も高く、次に「保育所・保育園、認定こども園、幼稚園が充実している」（50.3%）、「子ども交流館、子育てリラックス館が充実している」（32.7%）となっている。

千葉市に安心して出産・育児ができる環境があると感じない理由

問４－２
【問４で「３　どちらかと言えばそう感じない」、「４　そう感じない」とお答えの方に】
その理由をすべてお選びください。（いくつでも○）

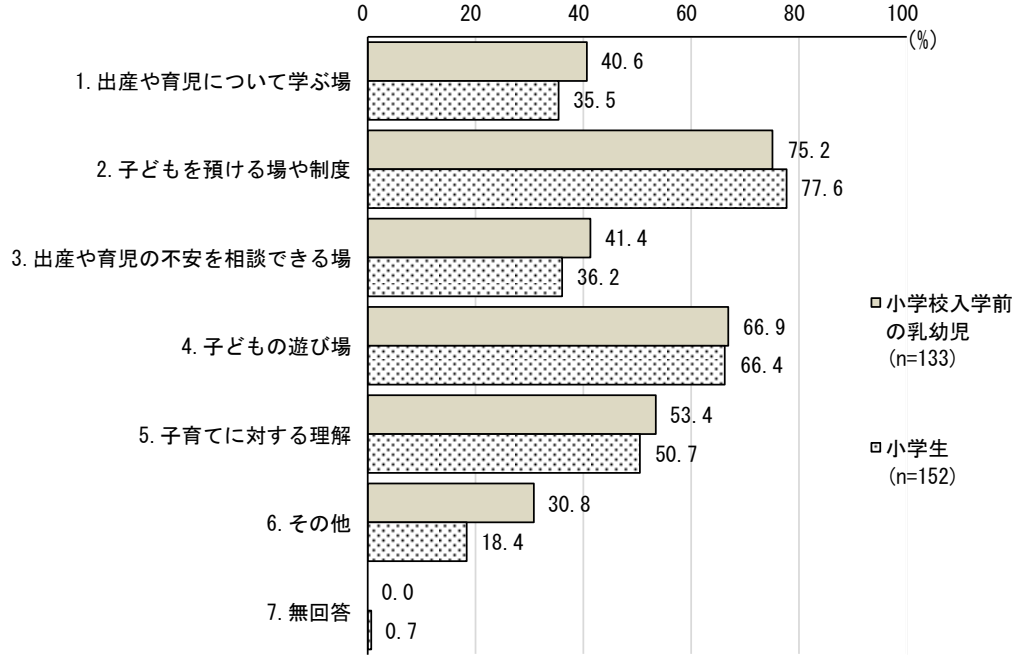
1）グループ別の回答状況

■回答者全員■



市内に安心して出産・育児ができる環境があると感じない理由としては、「子どもを預ける場や制度」（69.0%）の比率が最も高く、次に「子どもの遊び場」（64.8%）、「子育てに対する理解」（54.4%）となっている。

■小学校入学前の乳幼児、及び小学生のいる世帯■



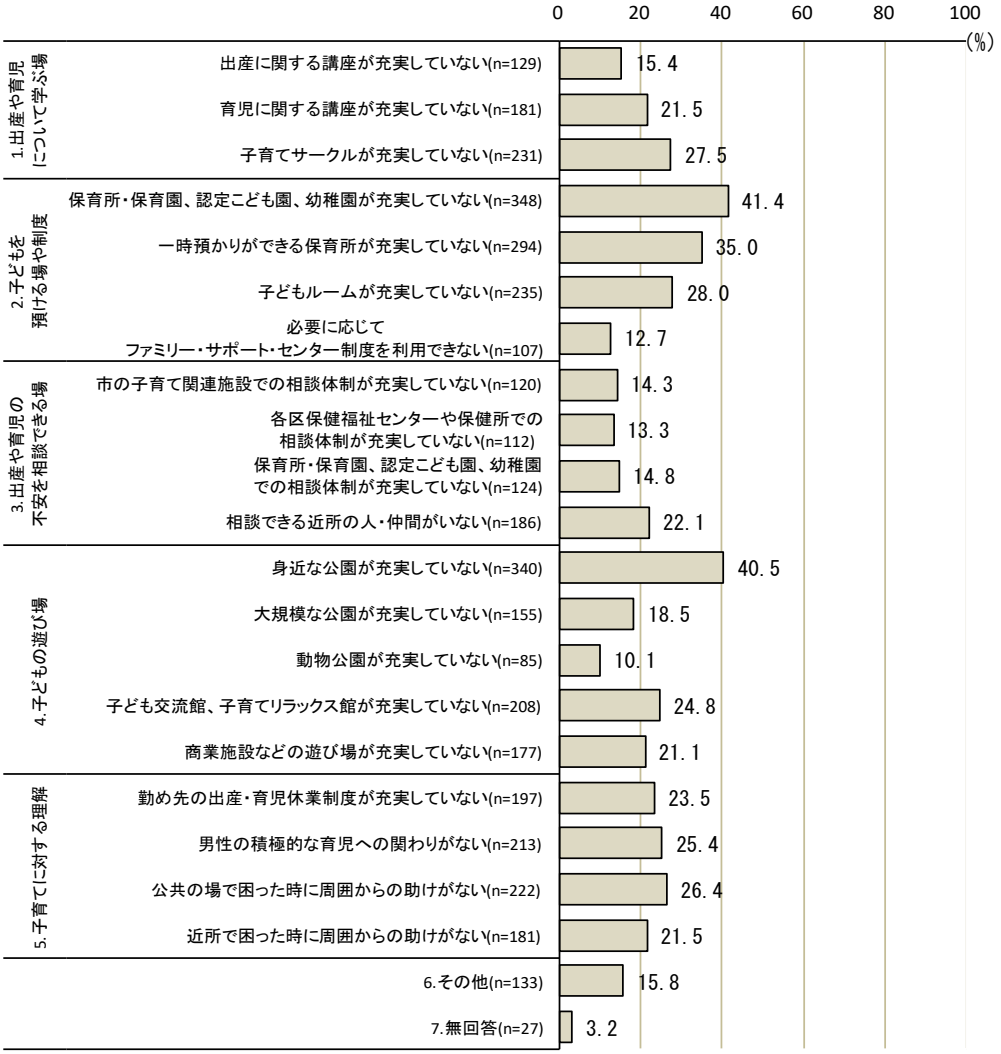
小学校入学前の乳幼児のいる世帯では、「子どもを預ける場や制度」（75.2%）の比率が最も高く、次に「子どもの遊び場」（66.9%）、「子育てに対する理解」（53.4%）となっている。

小学生のいる世帯においても、同様に、「子どもを預ける場や制度」（77.6%）の比率が最も高く、次に「子どもの遊び場」（66.4%）、「子育てに対する理解」（50.7%）となっている。

特に、「子どもを預ける場や制度」については、回答者全員に比べ、比率が高くなっている。

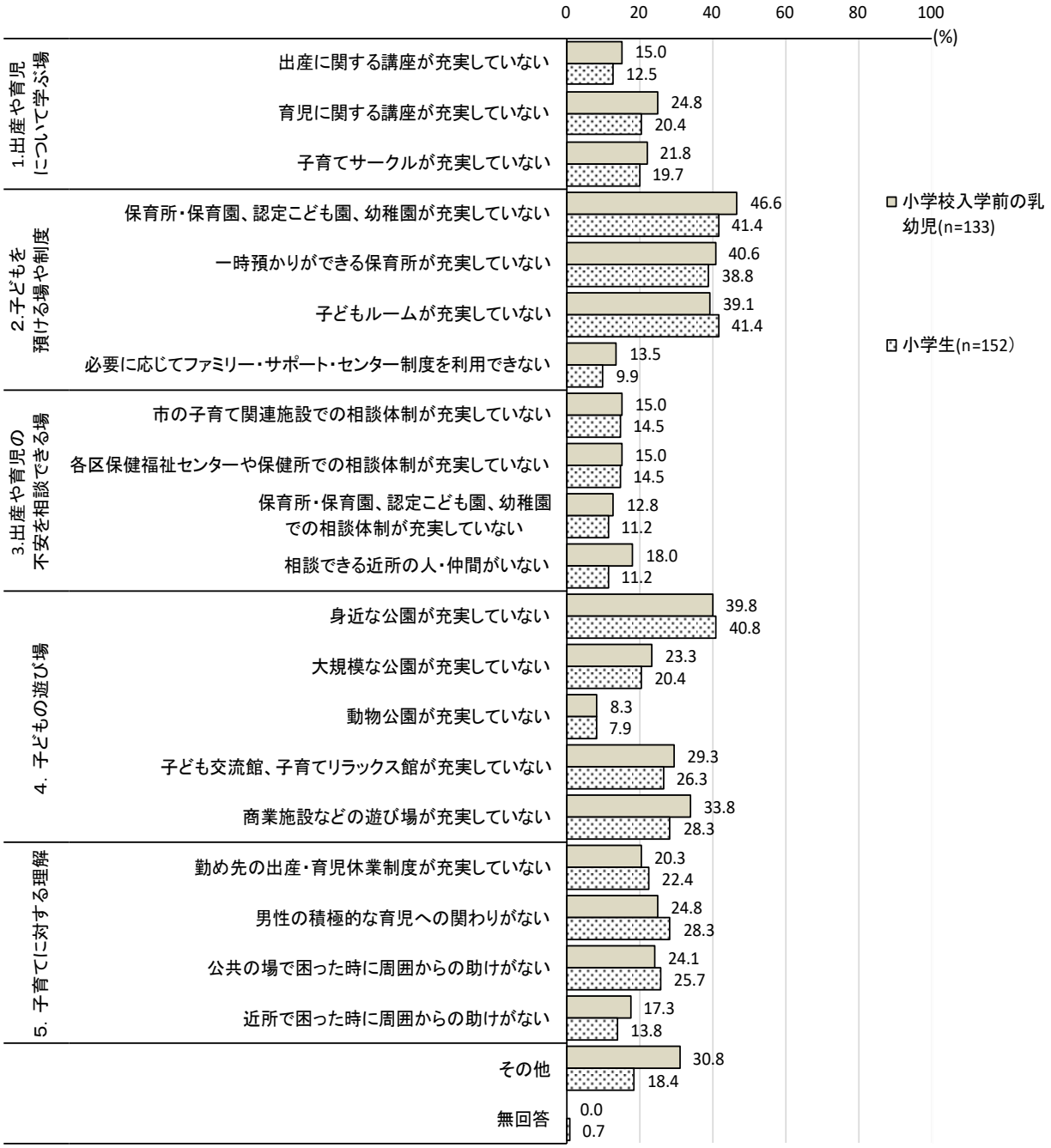
2) 個別の回答状況

■回答者全員■



市内に安心して出産・育児ができる環境があると感じない理由としては、「保育所・保育園、認定こども園、幼稚園が充実していない」（41.4%）の比率が最も高く、次に「身近な公園が充実していない」（40.5%）、「一時預かりができる保育所が充実していない」（35.0%）となっている。

■小学校入学前の乳幼児、及び小学生のいる世帯■



小学校入学前の乳幼児のいる世帯では、「保育所・保育園、認定こども園、幼稚園が充実していない」（46.6%）の比率が最も高く、次に「一時預かりができる保育所が充実していない」（40.6%）、「身近な公園が充実していない」（39.8%）、「子どもルームが充実していない」（39.1%）となっている。

小学生のいる世帯においては、「保育所・保育園、認定こども園、幼稚園が充実していない」と「子どもルームが充実していない」（41.4%）の比率が最も高く、次に、「身近な公園が充実していない」（40.8%）、「一時預かりができる保育所が充実していない」（38.8%）となっている。

（５）小中学校における教育環境の充実について

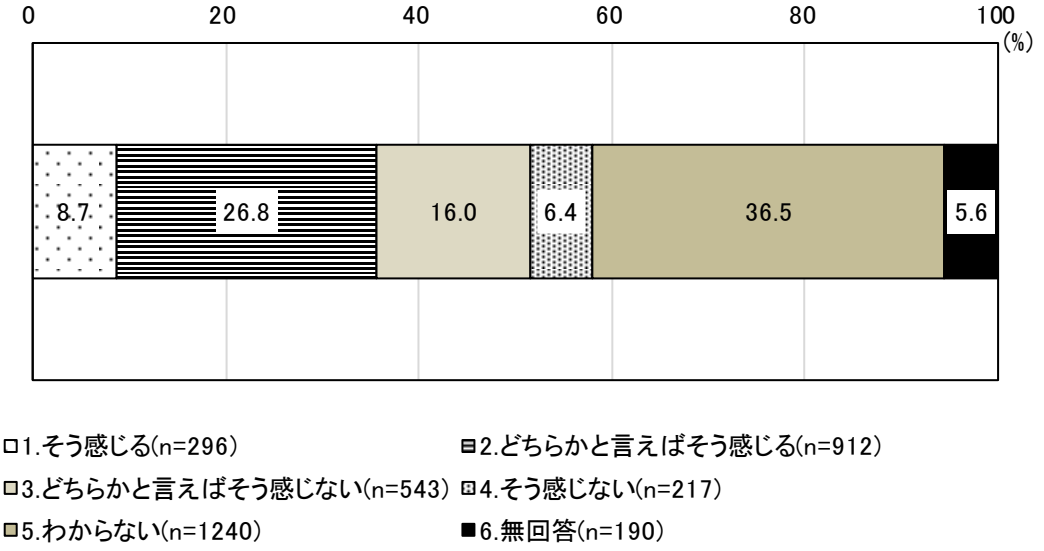
千葉市では、未来を担う人材を育てるため、学校教育の充実や、学校と地域が一体となって子どもを守り育む体制づくりなどを推進しています。

問５　あなたは、子どもが市内の小中学校で充実した教育を受けられると感じますか。
（一つだけ○）

全体の回答状況

■回答者全員■

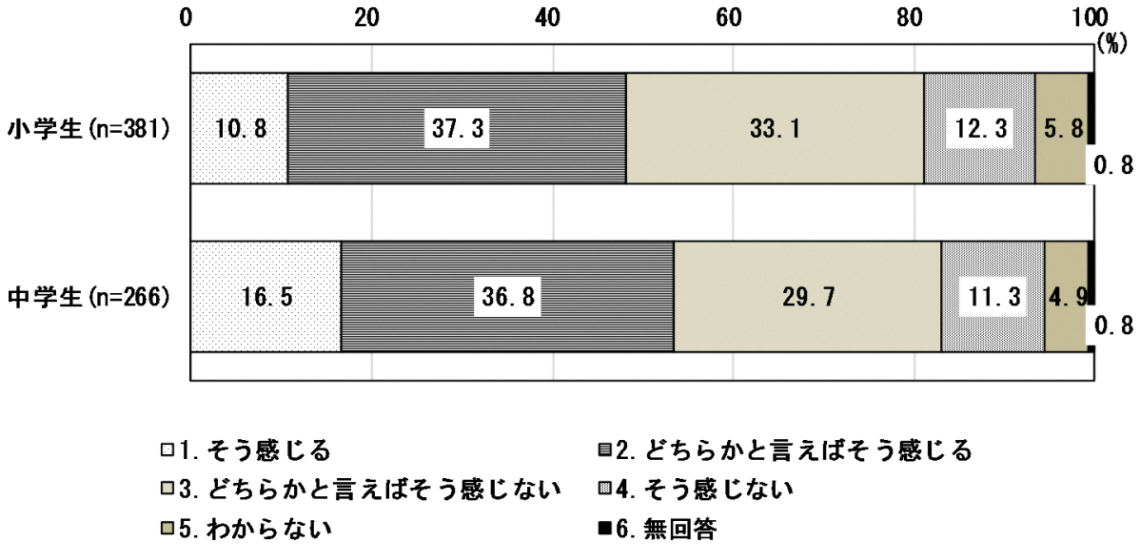
n =3,398



子どもが市内の小中学校で充実した教育を受けられると感じるかについては、「どちらかと言えばそう感じる」（26.8%）と「そう感じる」（8.7%）を合わせた「肯定的回答（計）」は、35.5%だった。一方、「どちらかと言えばそう感じない」（16.0%）と「そう感じない」（6.4%）を合わせた「否定的回答（計）」は、22.4%であった。

なお、「わからない」（36.5%）の比率が最も高かった。

■小学生及び中学生のいる世帯■



小学生のいる世帯では、「どちらかと言えばそう感じる」（37.3%）の比率が最も高く、「そう感じる」（10.8%）と合せた「肯定的回答（計）」は、48.1%だった。一方、「どちらかと言えばそう感じない」（33.1%）と「そう感じない」（12.3%）を合わせた「否定的回答（計）」は、45.4%であった。

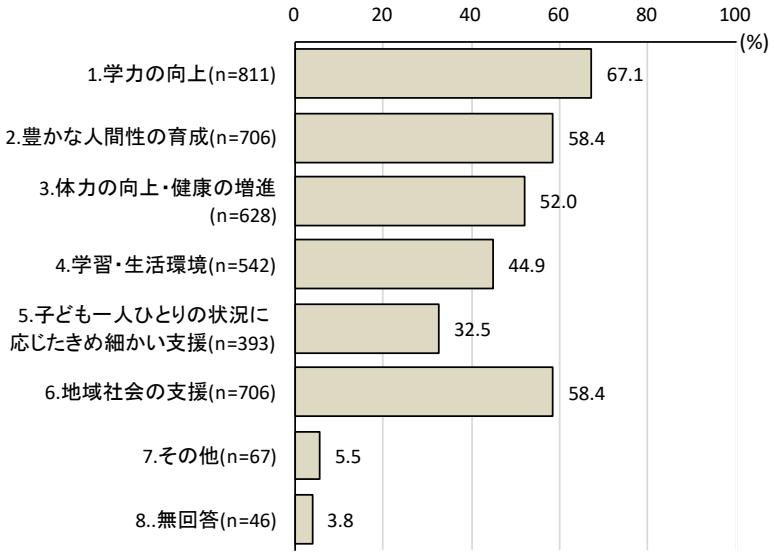
中学生のいる世帯では、「どちらかと言えばそう感じる」（36.8%）の比率が最も高く、「そう感じる」（16.5%）と合せた「肯定的回答（計）」は、53.3%だった。一方、「どちらかと言えばそう感じない」（29.7%）と「そう感じない」（11.3%）を合わせた「否定的回答（計）」は、41.0%であった。

千葉市内の小中学校で充実した教育を受けられると感じる理由

問５－１
　　【問５で「１　そう感じる」、「２　どちらかと言えばそう感じる」とお答えの方に】
　その理由をすべてお選びください。（いくつでも○）

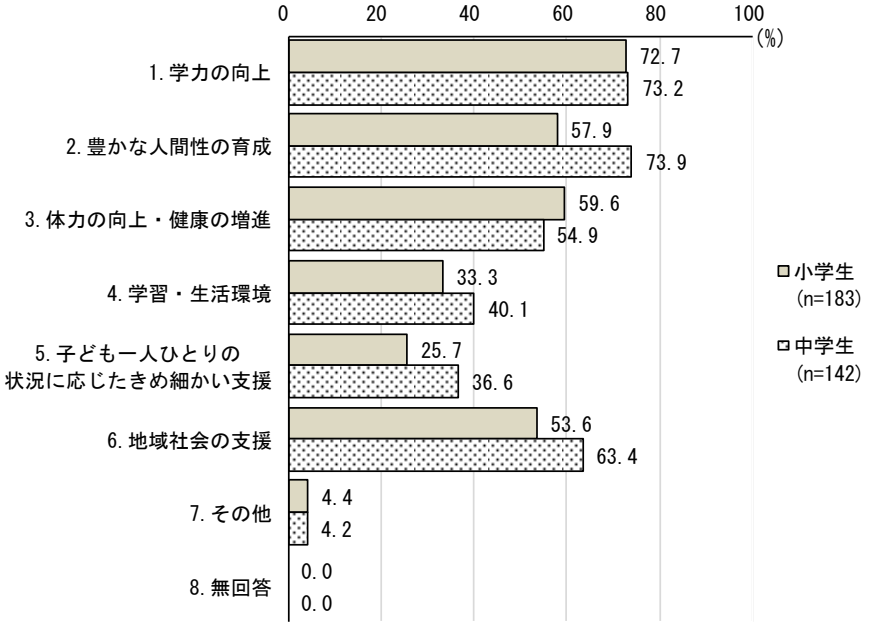
1）グループ別の回答状況

■回答者全員■



　子どもが市内の小中学校で充実した教育を受けられると感じる理由としては、「学力の向上」（67.1%）の比率が最も高く、次に「豊かな人間性の育成」及び「地域社会の支援」（58.4%）、「体力の向上・健康の増進」（52.0%）となっている。
　一方、「子ども一人ひとりの状況に応じたきめ細かい支援」（32.5%）の比率が最も低くなっている。

■小学生及び中学生のいる世帯■



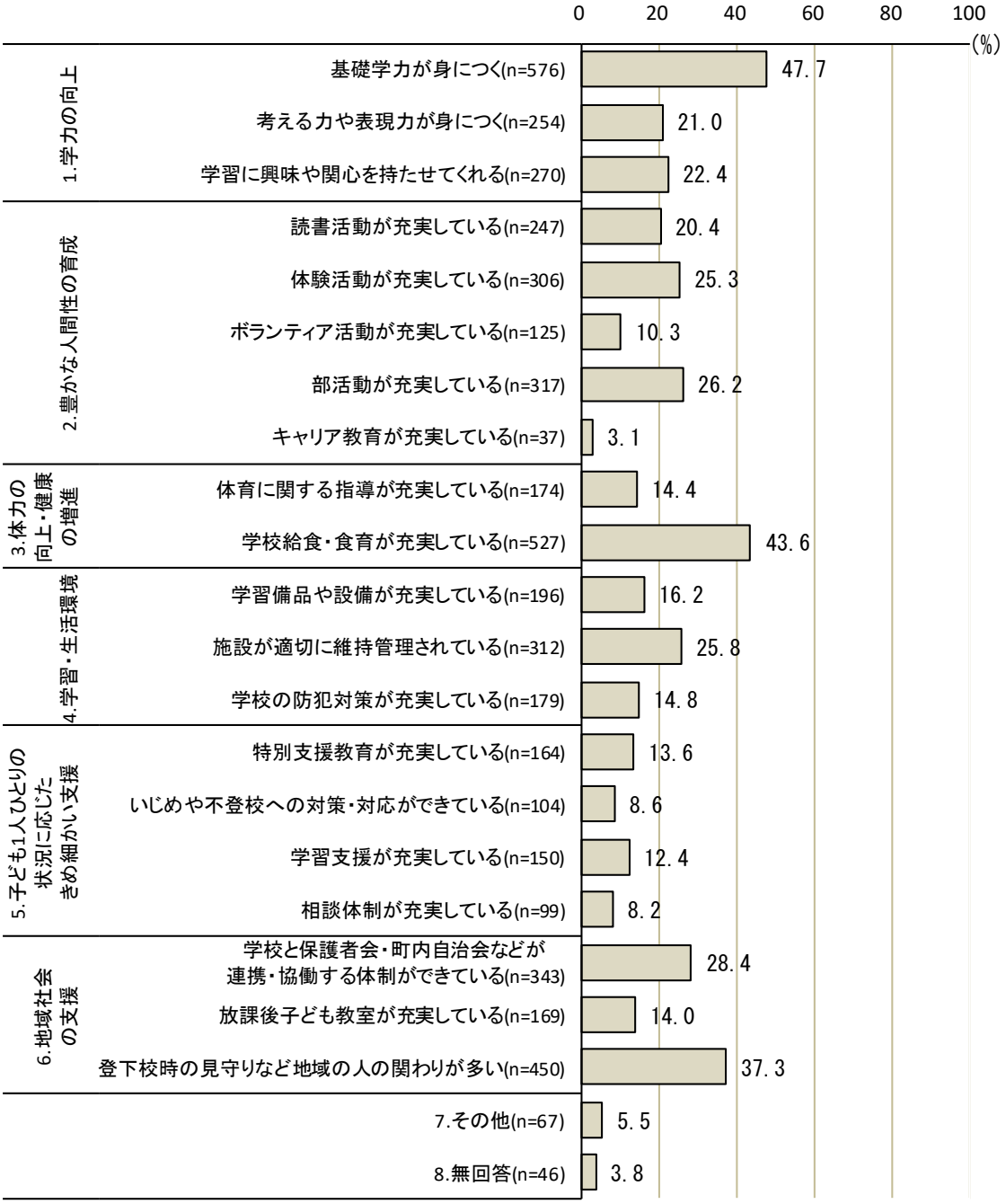
小学生のいる世帯では、「学力の向上」（72.7%）の比率が最も高く、次に「体力の向上・健康の増進」（59.6%）、「豊かな人間性の育成」（57.9%）となっている。

一方、「子ども一人ひとりの状況に応じたきめ細かい支援」（25.7%）の比率が最も低くなっており、全員の回答状況（32.5%）と比べても、低くなっている。

中学生のいる世帯では、「豊かな人間性の育成」（73.9%）の比率が最も高く、次に「学力の向上」（73.2%）、「地域社会の支援」（63.4%）となっている。

2) 個別の回答状況

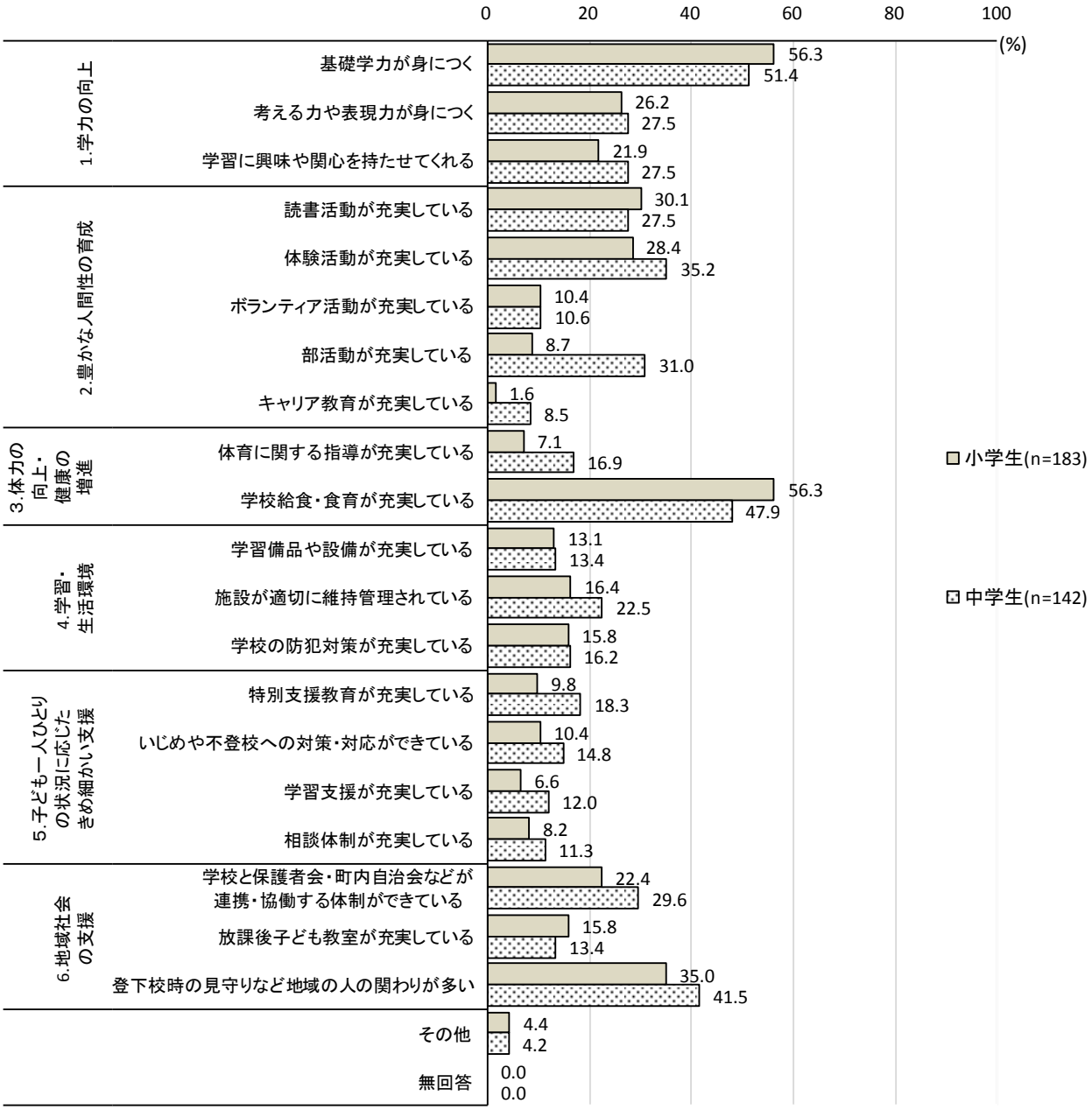
■回答者全員■



子どもが市内の小中学校で充実した教育を受けられると感じる理由としては、「基礎学力が身につく」（47.7%）の比率が最も高く、次に「学校給食・食育が充実している」（43.6%）、「登下校時の見守りなど地域の人の関わりが多い」（37.3%）となっている。

一方、「キャリア教育が充実している」（3.1%）の比率が、最も低くなっている。

■小学生及び中学生のいる世帯■



小学生のいる世帯では、「基礎学力が身につく」及び「学校給食・食育が充実している」（56.3%）の比率が最も高く、次に、「登下校時の見守りなど地域の人の関わりが多い」（35.0%）となっている。一方、「キャリア教育が充実している」（1.6%）の比率が、最も低くなっている。

中学生のいる世帯では、「基礎学力が身につく」（51.4%）の比率が最も高く、次に「学校給食・食育が充実している」（47.9%）、「登下校時の見守りなど地域の人の関わりが多い」（41.5%）となっている。一方、「キャリア教育が充実している」（8.5%）の比率が、最も低くなっているものの、全員の回答状況（3.1%）と比べて高かった。

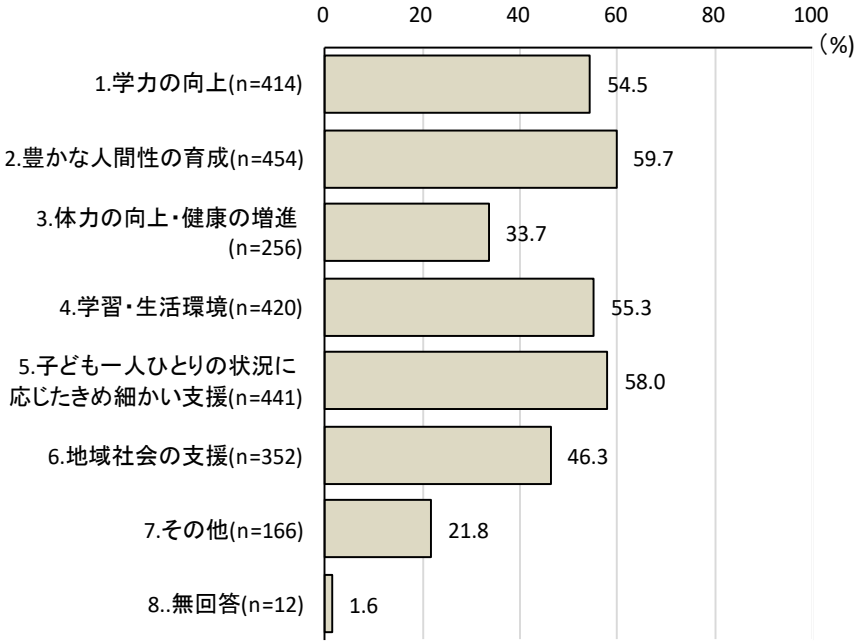
なお、「部活動が充実している」については、小学生のいる世帯（8.7%）よりも、中学生のいる世帯（31.0%）の方が高かった。

千葉市内の小中学校で充実した教育を受けられると感じない理由

問５－２
【問５で「３　どちらかと言えばそう感じない」、「４　そう感じない」とお答えの方に】
その理由をすべてお選びください。（いくつでも○）

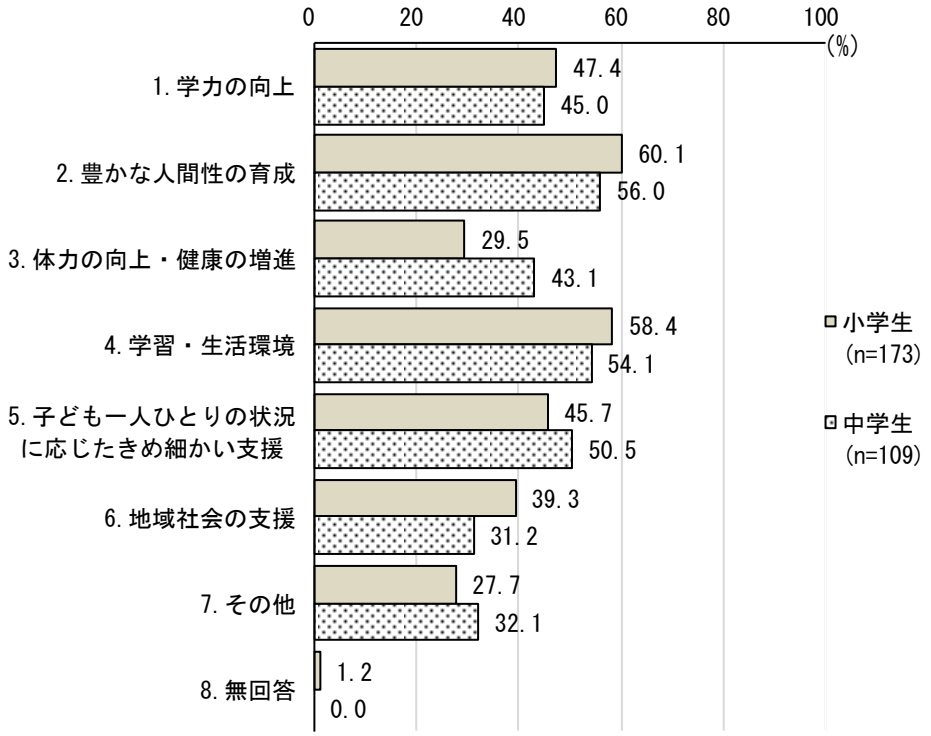
1）グループ別の回答状況

■回答者全員■



子どもが市内の小中学校で充実した教育を受けられると感じない理由としては、「豊かな人間性の育成」（59.7%）の比率が最も高く、次に「子ども一人ひとりの状況に応じたきめ細かい支援」（58.0%）、「学習・生活環境」（55.3%）、「学力の向上」（54.5%）となっている。

■小学生及び中学生のいる世帯■

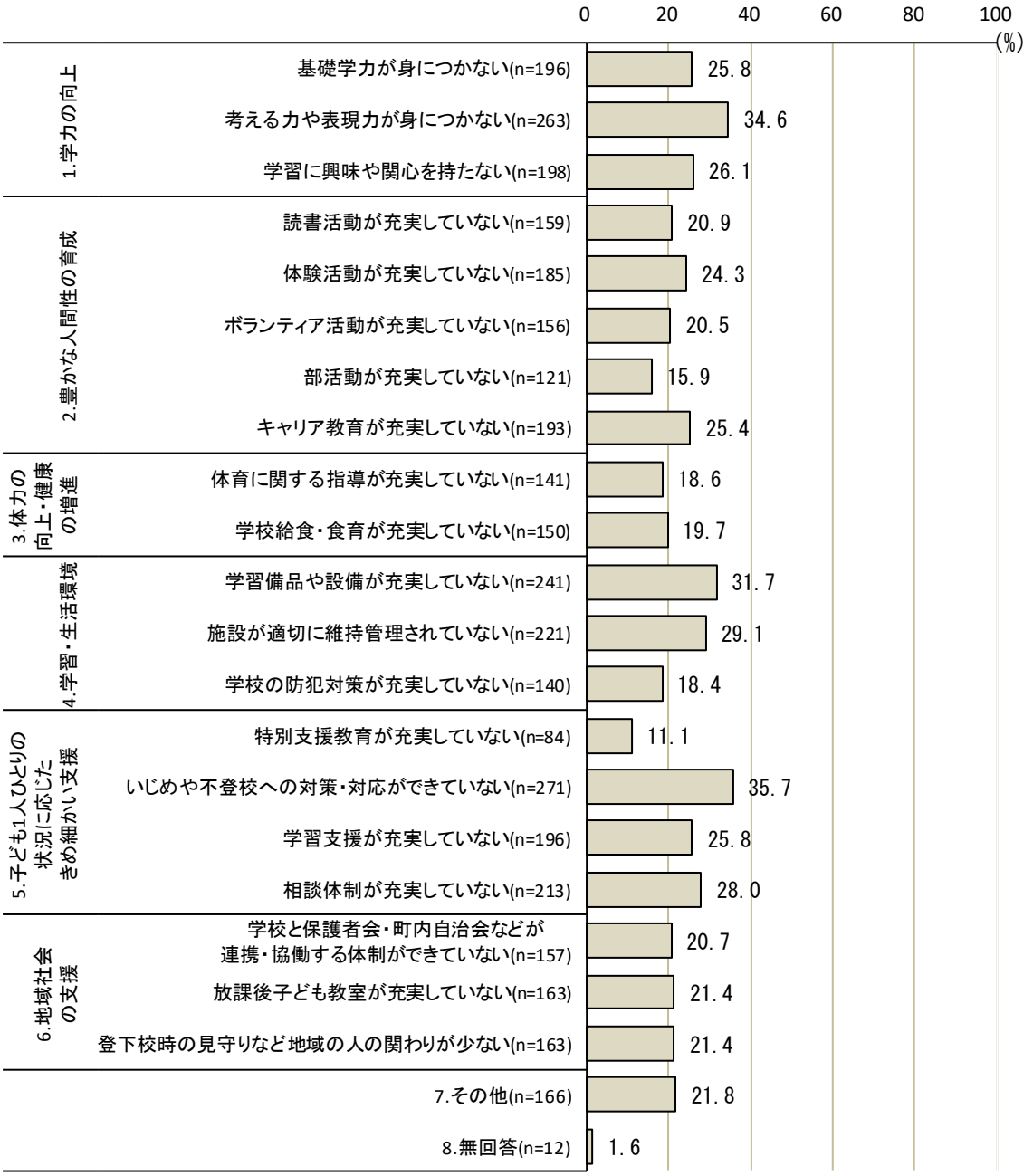


小学生のいる世帯では、「豊かな人間性の育成」（60.1%）の比率が最も高く、「学習・生活環境」（58.4%）、「学力の向上」（47.4%）、「子ども一人ひとりの状況に応じたきめ細かい支援」（45.7%）となっている。

中学生のいる世帯では、「豊かな人間性の育成」（56.0%）の比率が最も高く、「学習・生活環境」（54.1%）、「子ども一人ひとりの状況に応じたきめ細かい支援」（50.5%）、「学力の向上」（45.0%）となっている。

2) 個別の回答状況

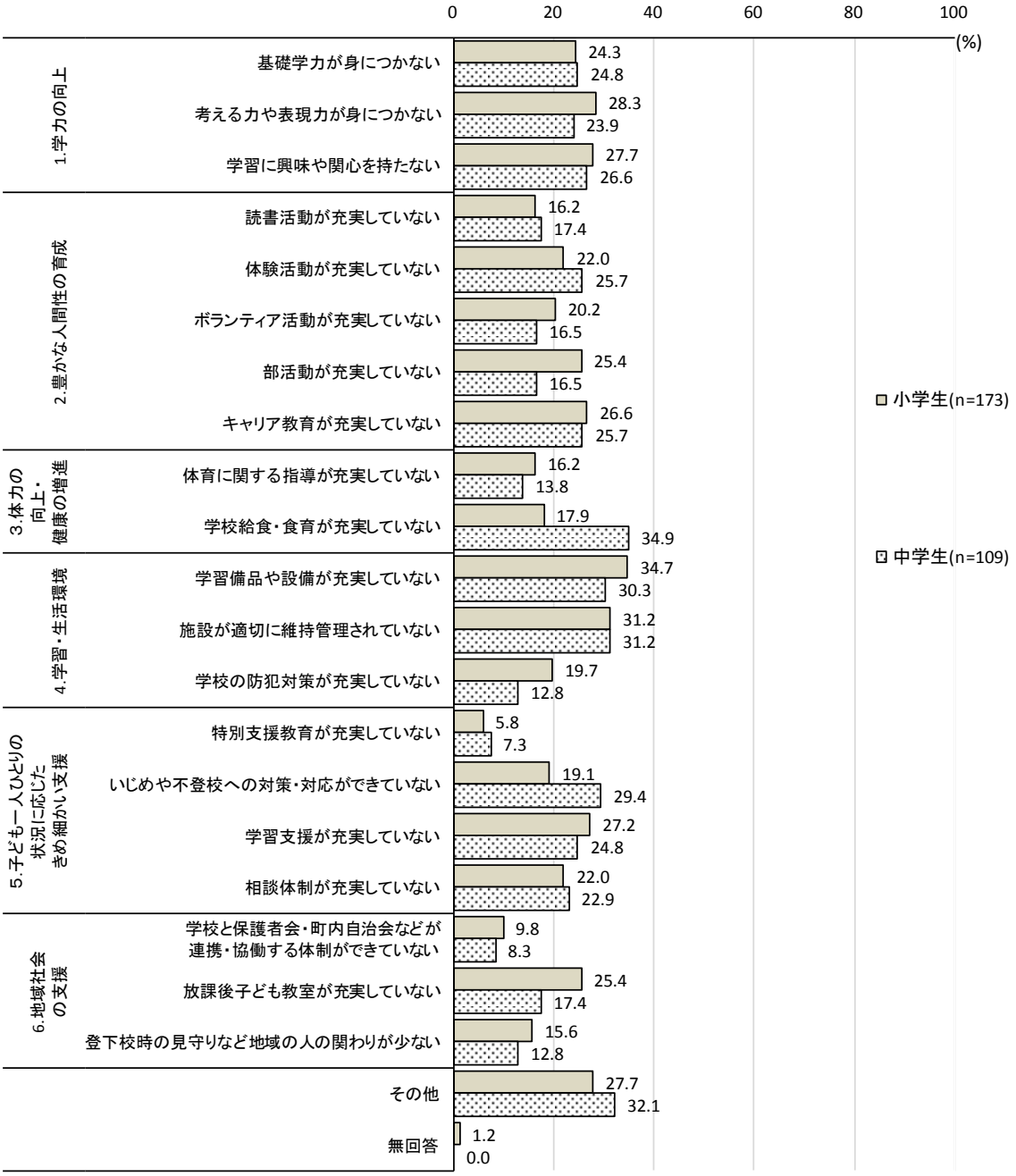
■回答者全員■



子どもが市内の小中学校で充実した教育を受けられると感じない理由としては、「いじめや不登校への対策・対応ができていない」（35.7%）の比率が最も高く、次に「考える力や表現力が身につかない」（34.6%）、「学習備品や設備が充実していない」（31.7%）となっている。

一方、「特別支援教育が充実してない」（11.1%）の比率が、最も低くなっている。

■小学生及び中学生のいる世帯■



小学生のいる世帯では、「学習備品や設備が充実していない」（31.7%）の比率が最も高く、次に、「施設が適切に維持管理されていない」（31.2%）、「考える力や表現力が身につかない」（28%）、」「学習や興味を持たない」（27.7%）となっている。

中学生のいる世帯では、「学校給食・食育が充実していない」（34.9%）の比率が最も高く、次に「施設が適切に維持管理されていない」（31.2%）、「学習備品や設備が充実していない」（31.7%）「いじめや不登校への対策・対応ができていない」（29.4%）となっている。

（6） 高齢者が生きがいや役割を持ち、安心して暮らすことが出来る環境について

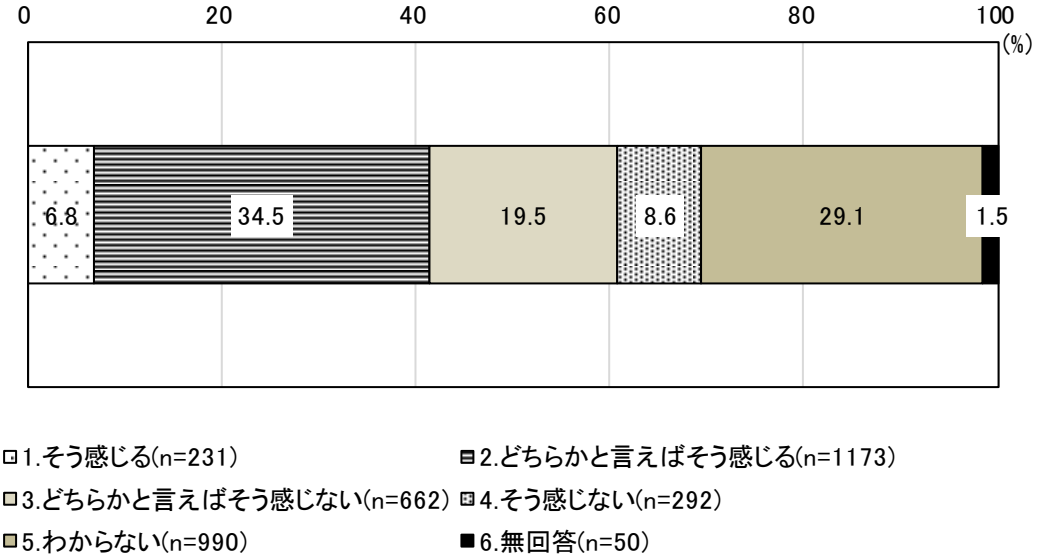
千葉市では、高齢者が心豊かに暮らせる社会をつくるため、地域における介護・福祉・健康・医療などの体制整備や生きがいづくりなどに取り組んでいます。

問６　あなたは、市内に高齢者が生きがいや役割を持ち、安心して暮らすことができる環境があると感じますか。（一つだけ○）

全体の回答状況

■回答者全員■

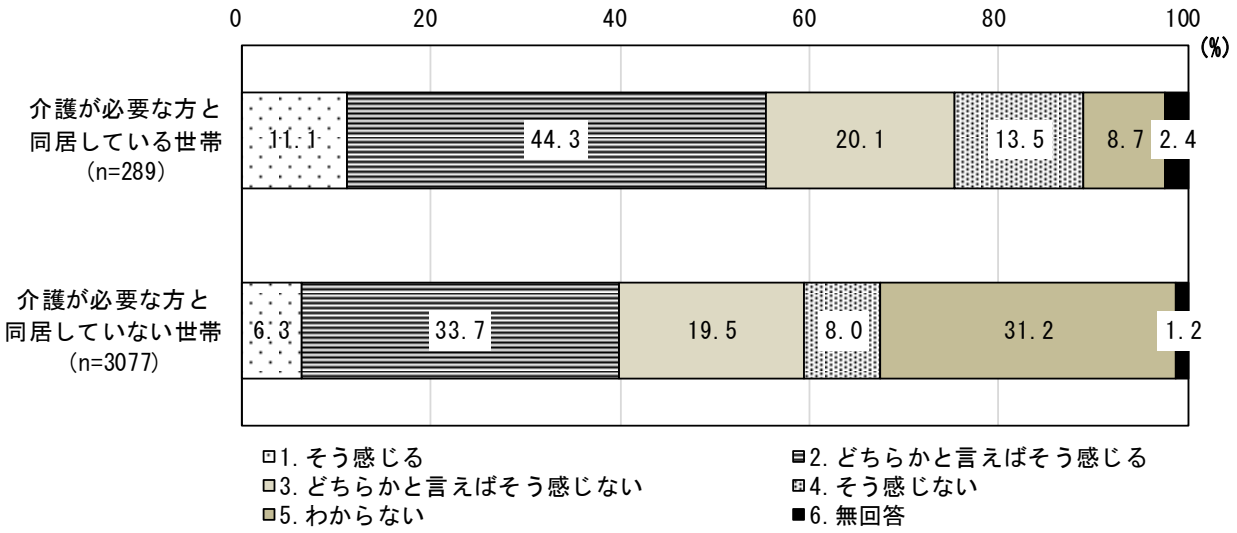
n =3,398



市内の高齢者が生きがいや役割を持ち、安心して暮らすことができる環境があると感じるかについては、「どちらかと言えばそう感じる」（34.5%）の比率が最も高く、「そう感じる」（6.8%）と合わせた「肯定的回答（計）」は、41.3%となっている。一方、「どちらかと言えばそう感じない」（19.5%）と「そう感じない」（8.6%）を合わせた「否定的回答（計）」は、28.1%となっている。

なお、「わからない」（29.1%）と、２番目に比率が高くなっている。

■介護が必要な方と同居している、または同居していない世帯■



介護が必要な方と同居している世帯については、「どちらかと言えばそう感じる」（44.3%）の比率が最も高く、「そう感じる」（11.1%）と合わせた「肯定的回答（計）」は、55.4%となっている。一方、「どちらかと言えばそう感じない」（20.1%）と「そう感じない」（13.5%）を合わせた「否定的回答（計）」は、33.6%となっている。

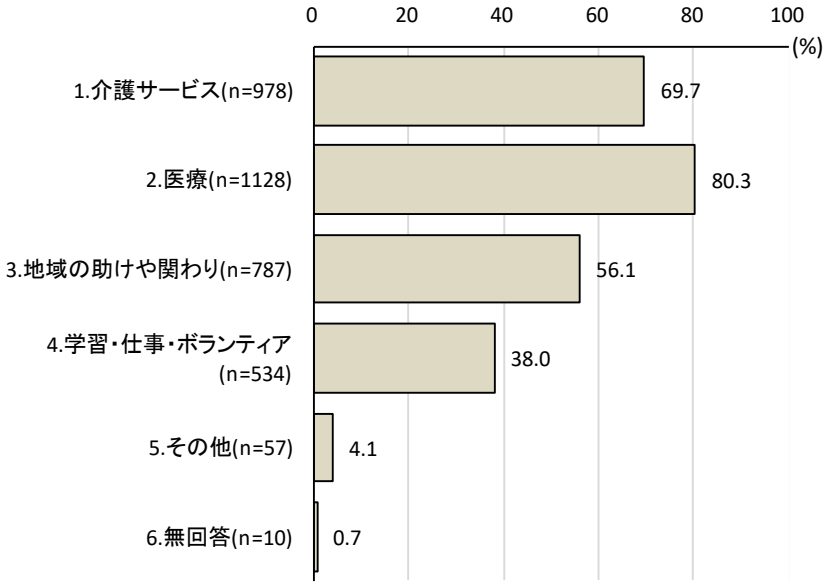
介護が必要な方と同居していない世帯については、「どちらかと言えばそう感じる」（33.7%）の比率が最も高く、「そう感じる」（6.3%）と合わせた「肯定的回答（計）」は、40.0%となっている。一方、「どちらかと言えばそう感じない」（19.5%）と「そう感じない」（8.0%）を合わせた「否定的回答（計）」は、27.5%となっている。なお、「わからない」（31.2%）と、２番目に比率が高くなっている。

千葉市内に高齢者が生きがいや役割を持ち、安心して暮らすことができる環境があると感じる理由

問６－１
　　【問６で「１　そう感じる」、「２　どちらかと言えばそう感じる」とお答えの方に】
その理由をすべてお選びください。（いくつでも○）

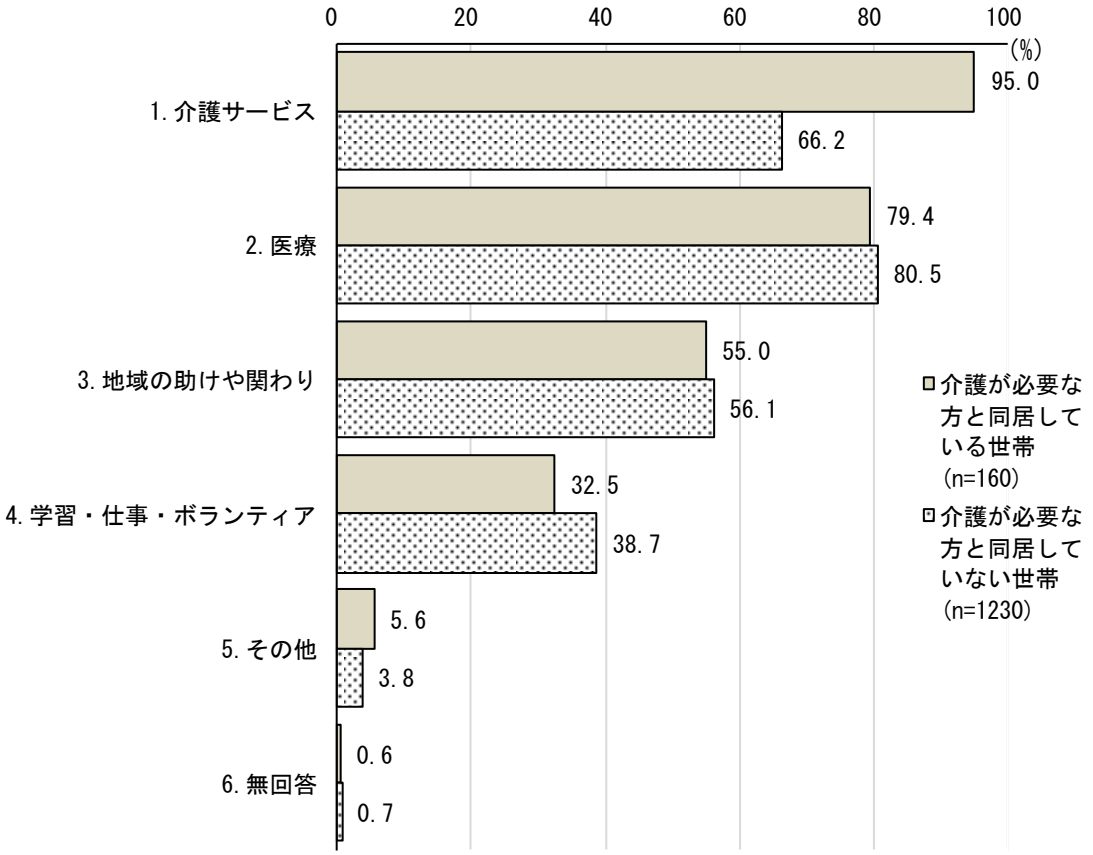
1）グループ別の回答状況

■回答者全員■



市内の高齢者が生きがいや役割を持ち、安心して暮らすことができる環境があると感じる理由としては、「医療」（80.3%）の比率が最も高く、次に「介護サービス」（69.7%）、「地域の助けや関わり」（56.1%）、「学習・仕事・ボランティア」（38.0%）となっている

■介護が必要な方と同居している、または同居していない世帯■

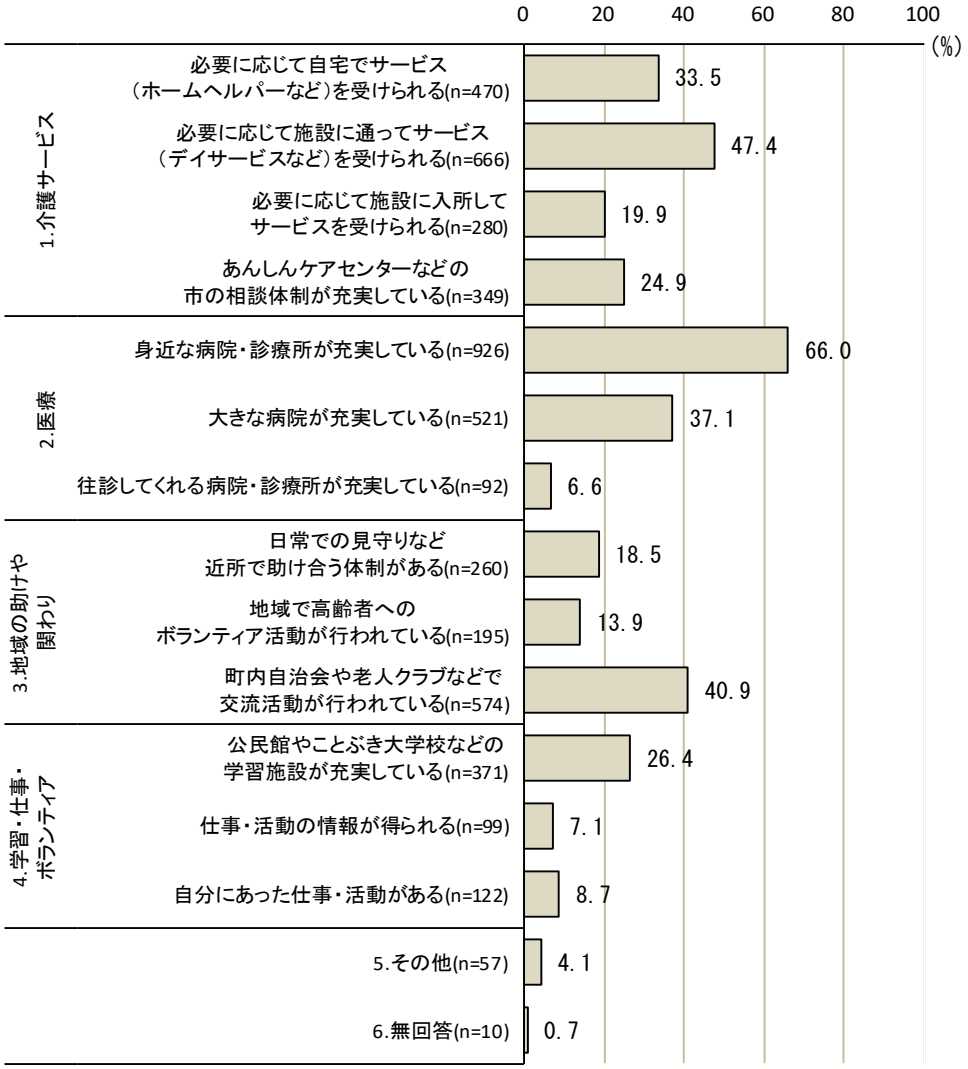


介護が必要な方と同居している世帯については、「介護サービス」（95.0%）の比率が最も高く、次に「医療」（79.4%）、「地域の助けや関わり」（55.0%）、「学習・仕事・ボランティア」（32.5%）となっている。

介護が必要な方と同居していない世帯については、「医療」（80.3%）の比率が最も高く、次に「介護サービス」（69.7%）、「地域の助けや関わり」（56.1%）、「学習・仕事・ボランティア」（38.7%）となっている。

2) 個別の回答状況

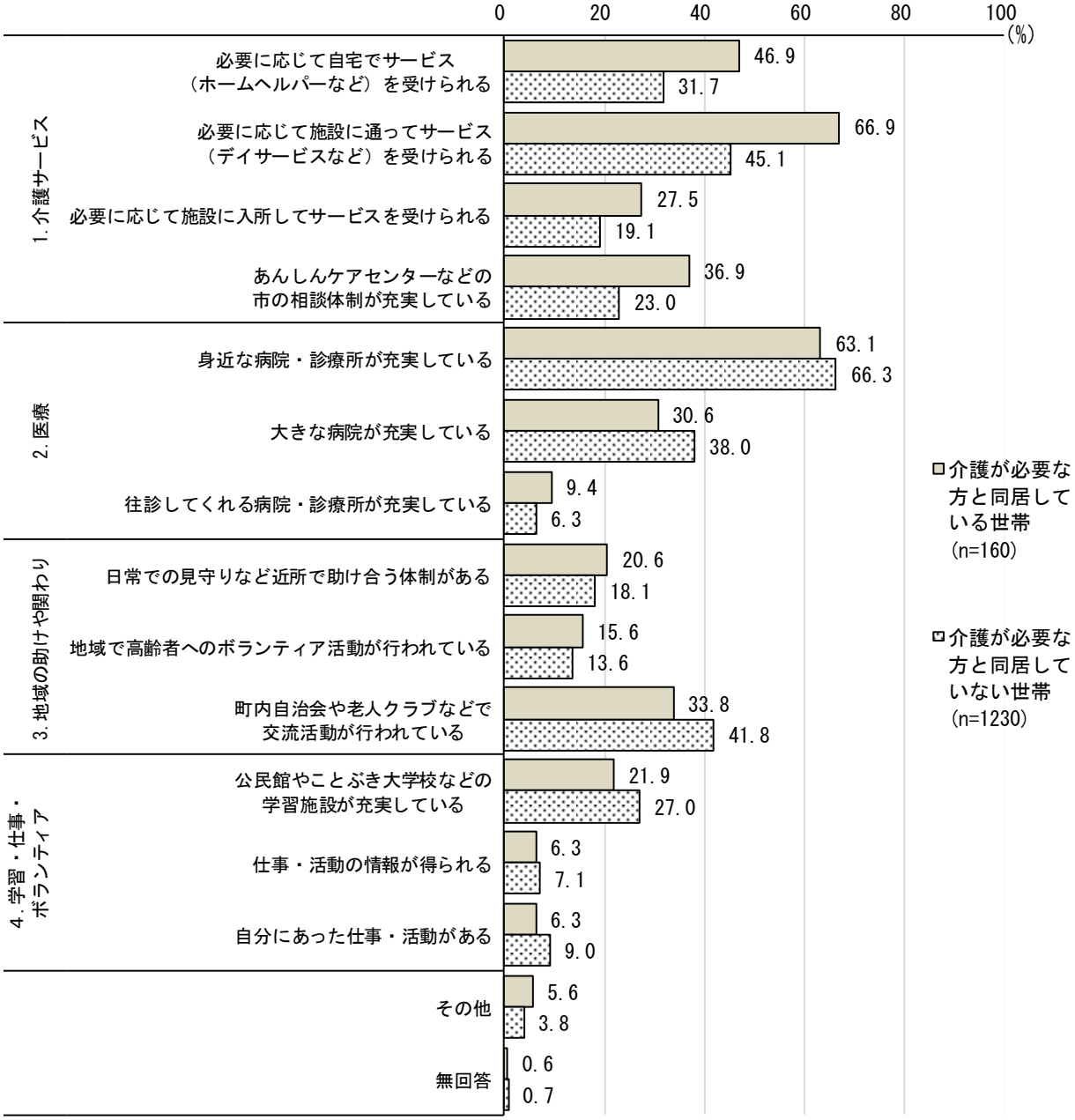
■回答者全員■



市内の高齢者が生きがいや役割を持ち、安心して暮らすことができる環境があると感じる理由としては、「身近な病院・診療所が充実している」（66.0%）の比率が最も高く、次に「必要に応じて施設に通ってサービス（デイサービスなど）を受けられる」（47.4%）、「町内自治会や老人クラブなどで交流活動が行われている」（40.9%）となっている。

一方、「往診してくれる病院・診療所が充実している」（6.6%）の比率が、最も低くなっている。

■介護が必要な方と同居している、または同居していない世帯■



介護が必要な方と同居している世帯については、「必要に応じて施設に通ってサービス（デイサービスなど）を受けられる」（66.9%）の比率が最も高く、次に「身近な病院・診療所が充実している」（63.1%）、「必要に応じて自宅でサービス（ホームヘルパーなど）を受けられる」（46.7%）となっている。一方、「仕事・活動の情報が得られる」及び「自分にあった仕事・活動がある」（6.3%）の比率が、最も低くなっている。

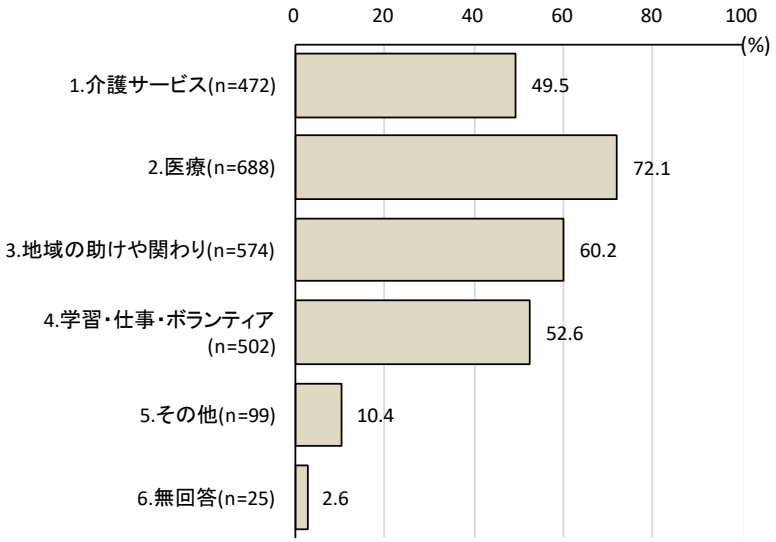
介護が必要な方と同居していない世帯については、「身近な病院・診療所が充実している」（66.3%）の比率が最も高く、次に「必要に応じて施設に通ってサービス（デイサービスなど）を受けられる」（66.9%）、「町内自治会や老人クラブなどで交流活動が行われている」（41.8%）となっている。

千葉市内に高齢者が生きがいや役割を持ち、安心して暮らすことができる環境があると感じない理由

問６－２
【問６で「３　どちらかと言えばそう感じない」、「４　そう感じない」とお答えの方に】
その理由をすべてお選びください。（いくつでも○）

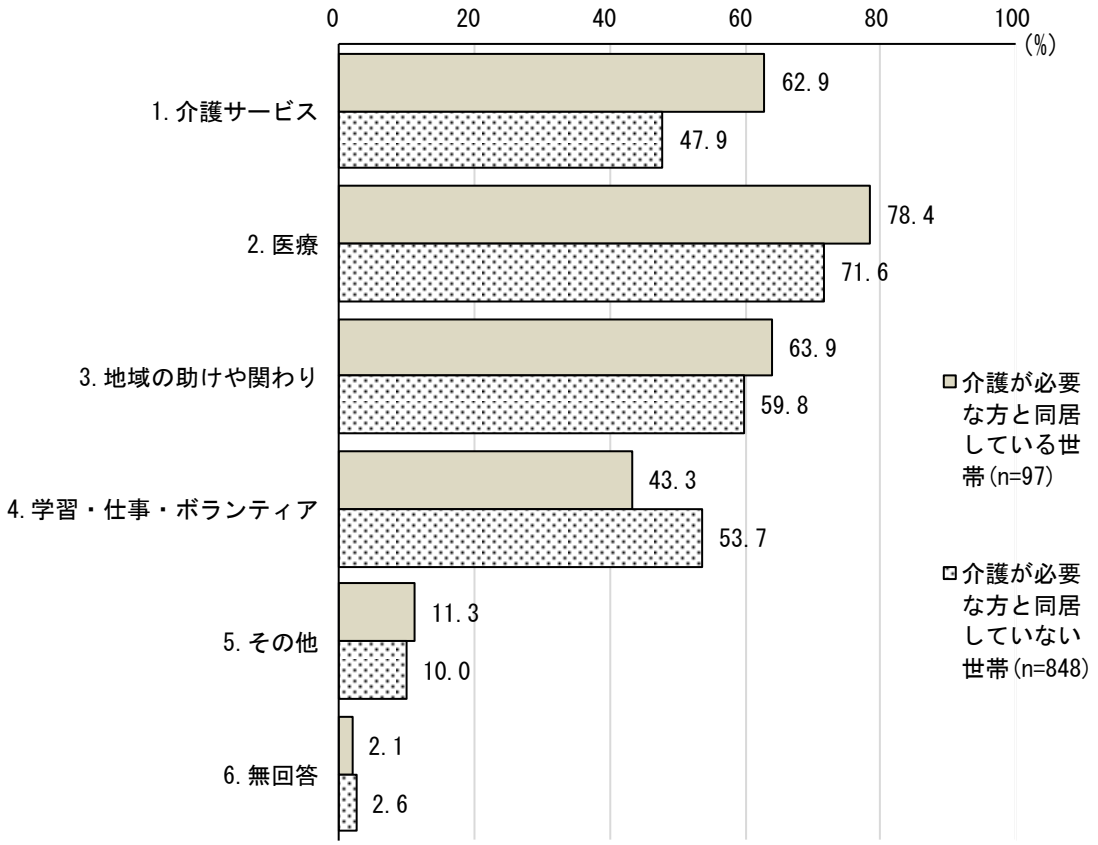
1）グループ別の回答状況

■回答者全員■



市内の高齢者が生きがいや役割を持ち、安心して暮らすことができる環境があると感じない理由としては、「医療」（72.1%）の比率が最も高く、次に「地域の助けや関わり」（60.2%）、「学習・仕事・ボランティア」（52.6%）、「介護サービス」（49.5%）となっている。

■介護が必要な方と同居している、または同居していない世帯■

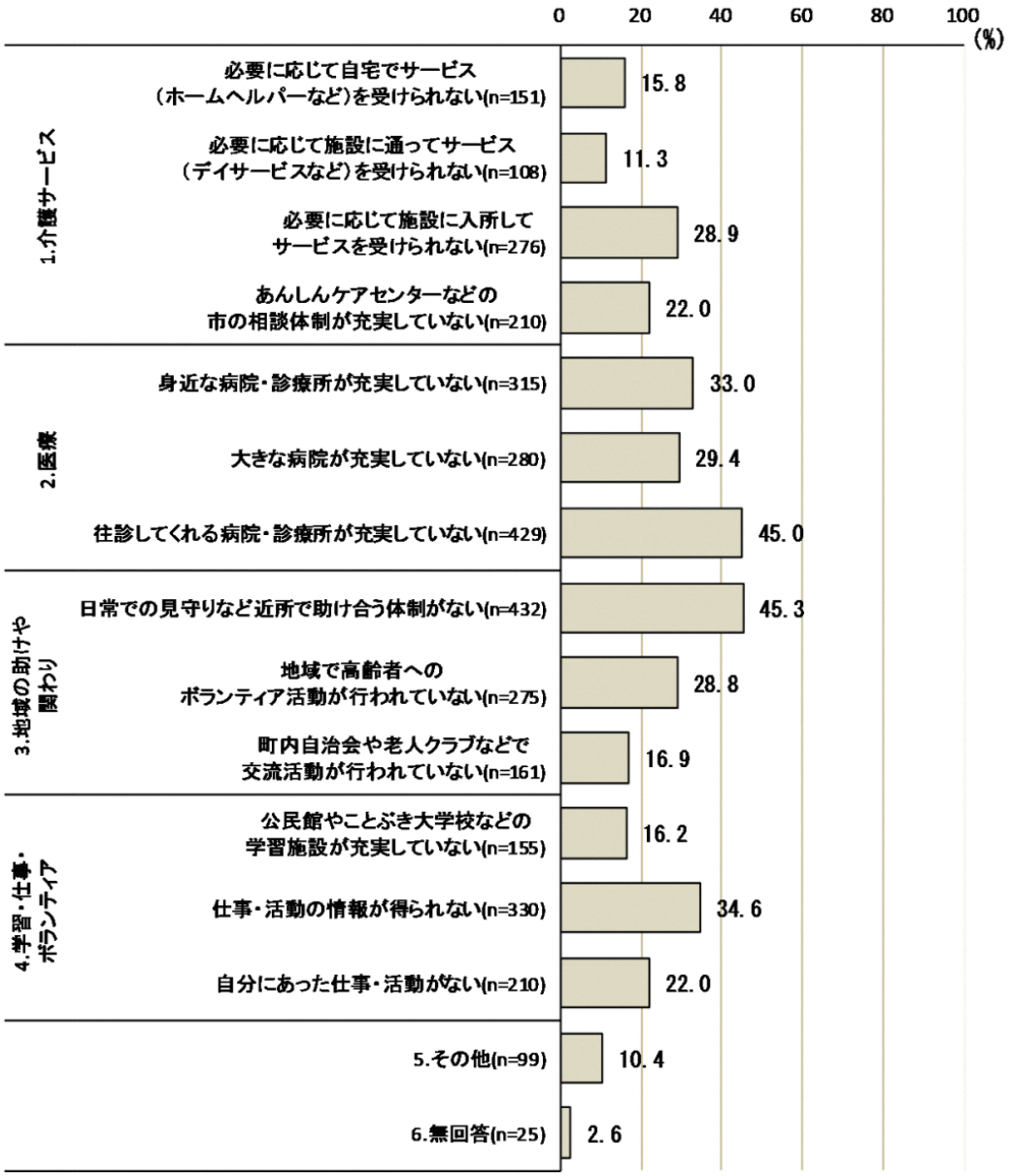


介護が必要な方と同居している世帯については、「医療」（78.4%）の比率が最も高く、次に「地域の助けや関わり」（63.9%）、「介護サービス」（62.9%）、「学習・仕事・ボランティア」（43.3%）となっている。

介護が必要な方と同居していない世帯については、「医療」（71.6%）の比率が最も高く、次に「地域の助けや関わり」（59.8%）、「学習・仕事・ボランティア」（53.7%）、「介護サービス」（47.9%）となっている。

2) 個別の回答状況

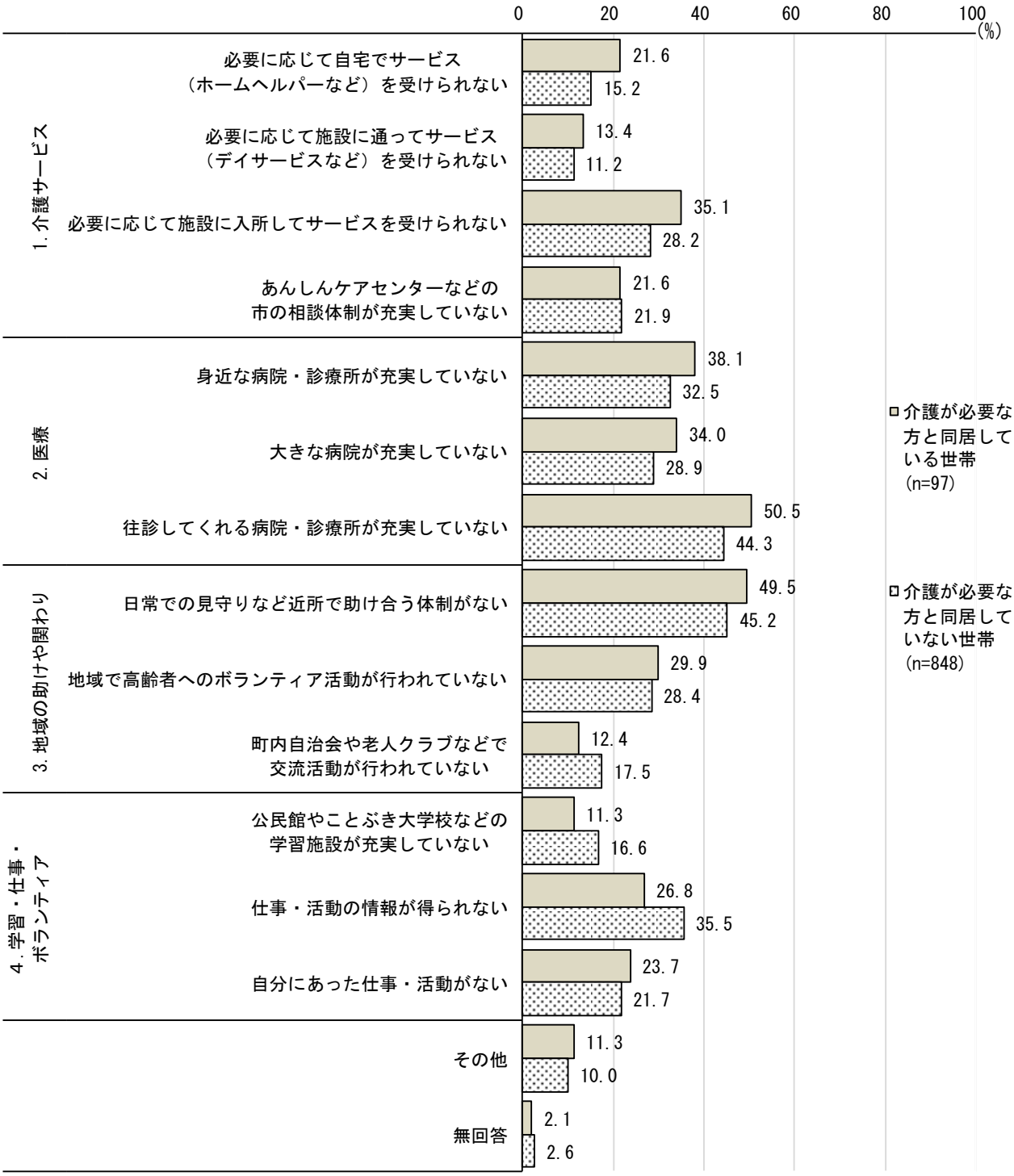
■回答者全員■



市内の高齢者が生きがいや役割を持ち、安心して暮らすことができる環境があると感じない理由としては、「日常での見守りなど近所で助け合う体制がない」（45.3%）の比率が最も高く、次に「往診してくれる病院・診療所が充実していない」（45.0%）、「仕事・活動の情報が得られない」（34.6%）となっている。

一方、「必要に応じて施設に通ってサービス（デイサービスなど）を受けられない」（11.3%）の比率が、最も低くなっている。

■介護が必要な方と同居している、または同居していない世帯■



介護が必要な方と同居している世帯については、「往診してくれる病院・診療所が充実していない」(50.5%)の比率が最も高く、次に「日常での見守りなど近所で助け合う体制がない」(45.3%)、「身近な病院・診療所が充実していない」（38.1%）となっている。

介護が必要な方と同居していない世帯については、「日常での見守りなど近所で助け合う体制がない」(45.3%)の比率が最も高く、次に「往診してくれる病院・診療所が充実していない」(44.3%)、「仕事・活動の情報が得られない」（35.5%）となっている。

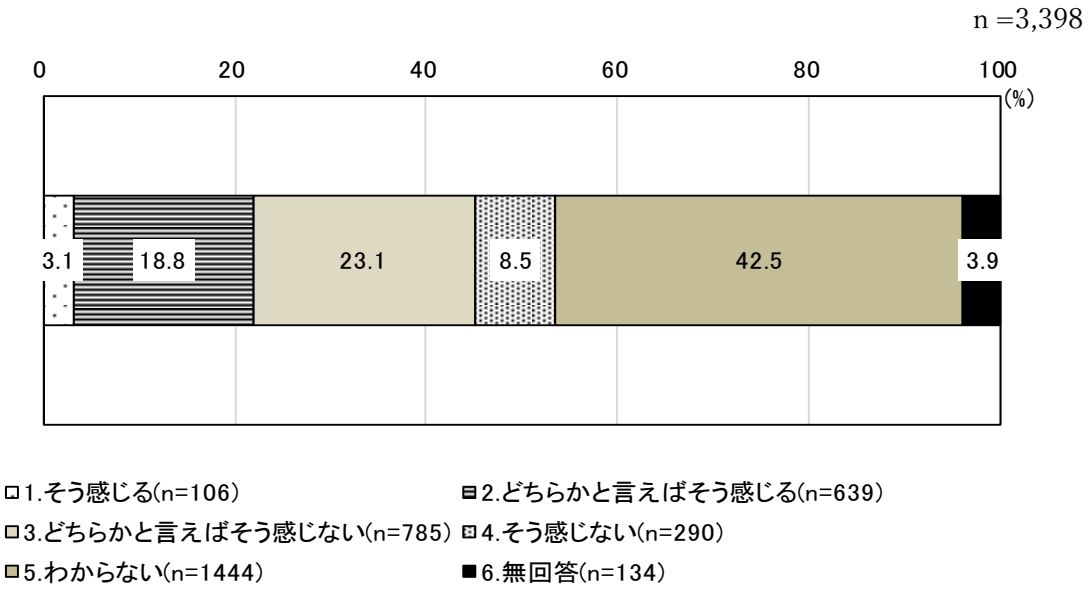
（7）障害のある人が暮らしやすい環境について

千葉市では、障害のある人もない人も、ともに安心して暮らせる社会をつくるため、障害のある人の生活支援や社会参加などを推進しています。

問7　あなたは、市内に障害のある人が暮らしやすい環境があると感じますか。（一つだけ○）

全体の回答状況

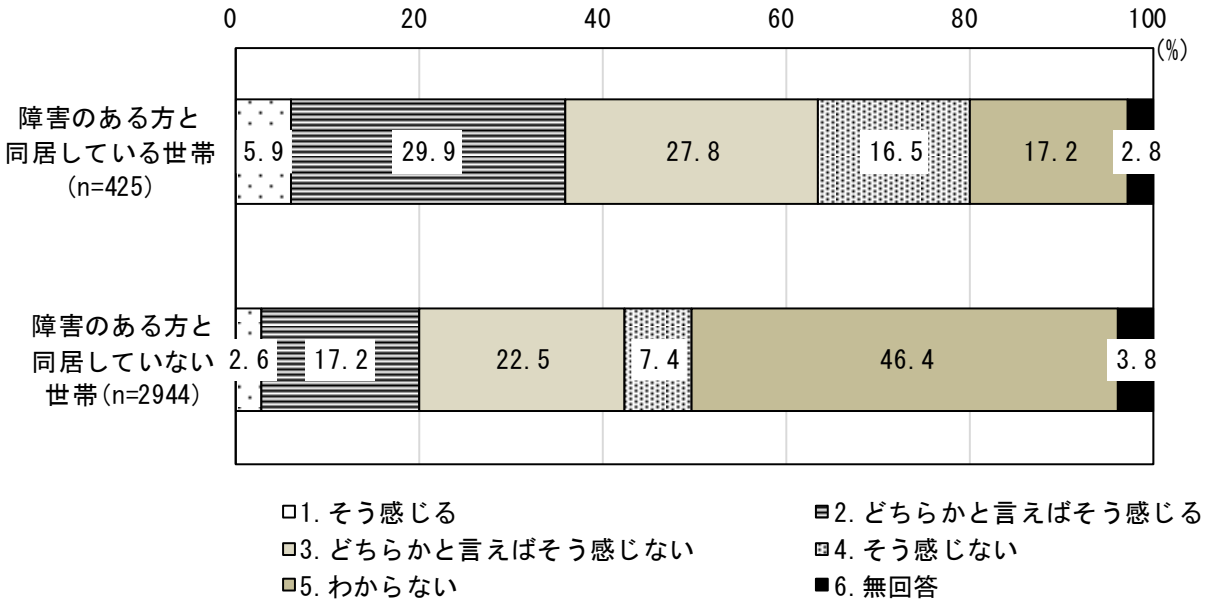
■回答者全員■



市内に障害のある人が暮らしやすい環境があると感じるかについては、「どちらかと言えばそう感じる」（18.8%）と「そう感じる」（3.1%）を合せた「肯定的回答（計）」は、21.9%だった。一方、「どちらかと言えばそう感じない」（23.1%）と「そう感じない」（8.5%）を合わせた「否定的回答（計）」は、31.6%であった。

なお、「わからない」（42.5%）の比率が最も高かった。

■障害のある方と同居している、または同居していない世帯■



障害のある方と同居している世帯については、「どちらかと言えばそう感じる」（29.9%）の比率が最も高く、「そう感じる」（5.9%）と合せた「肯定的回答（計）」は、35.8%だった。一方、「どちらかと言えばそう感じない」（27.8%）と「そう感じない」（16.5%）を合わせた「否定的回答（計）」は、44.3%であった。

障害のある方と同居していない世帯については、「どちらかと言えばそう感じる」（17.2%）と「そう感じる」（2.6%）と合せた「肯定的回答（計）」は、19.8%だった。一方、「どちらかと言えばそう感じない」（22.5%）と「そう感じない」（7.4%）を合わせた「否定的回答（計）」は、29.9%であった。

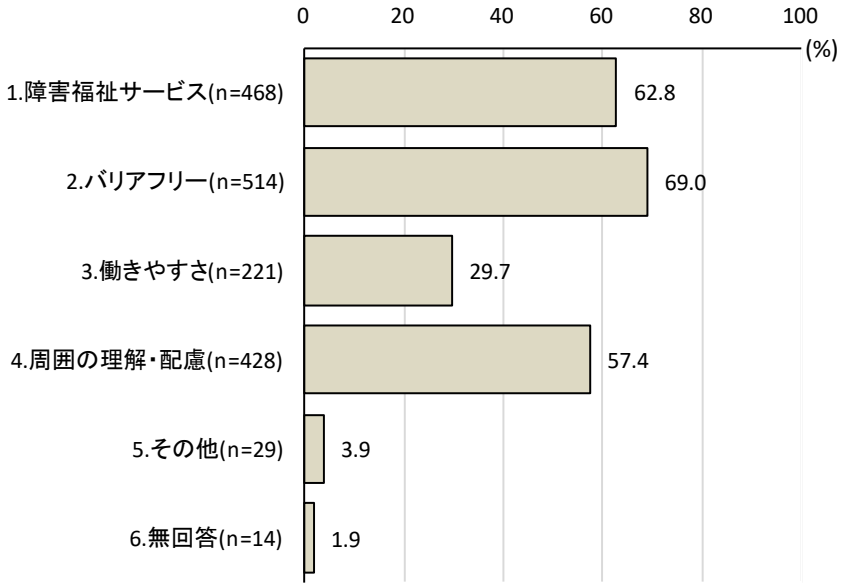
なお、「わからない」（46.4%）の比率が最も高かった。

千葉市内に障害のある人が暮らしやすい環境があると感じる理由

問７－１
　　【問７で「１　そう感じる」、「２　どちらかと言えばそう感じる」とお答えの方に】
その理由をすべてお選びください。（いくつでも○）

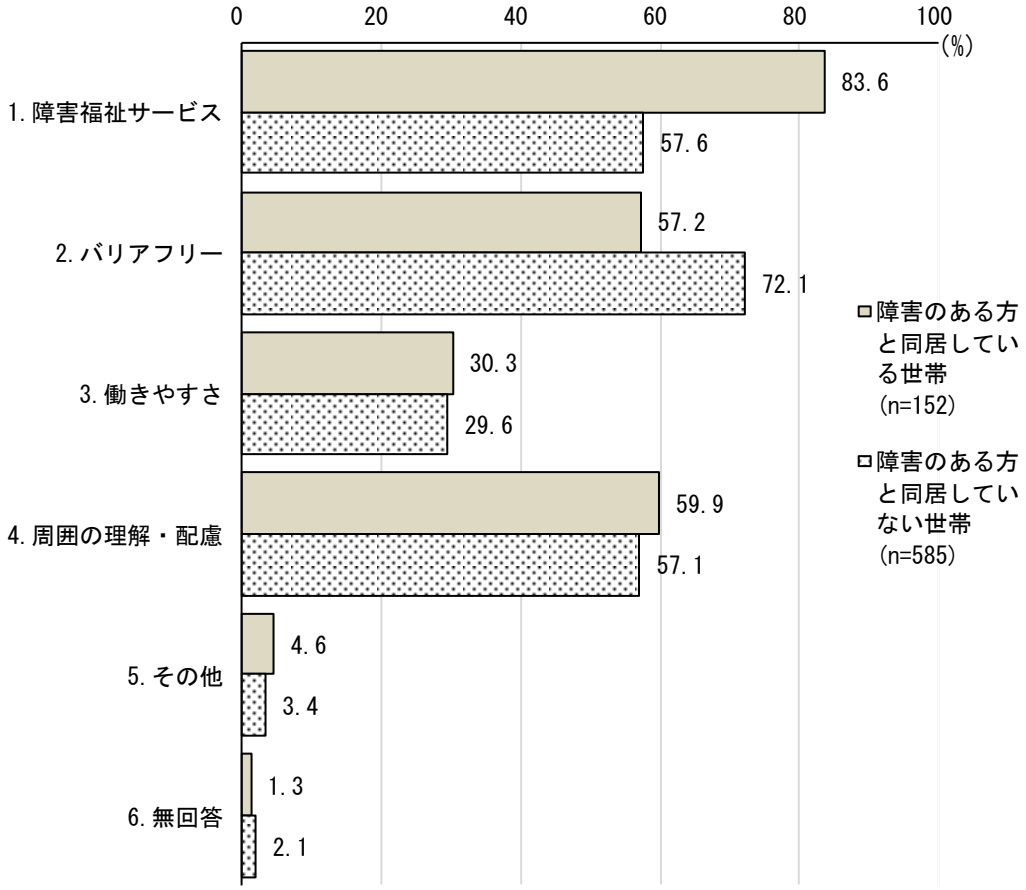
１）グループ別の回答状況

■回答者全員■



市内に障害のある人が暮らしやすい環境があると感じる理由としては、「バリアフリー」（69.0%）の比率が最も高く、次に「障害福祉サービス」（62.8%）、「周囲の理解・配慮」（57.4%）、「働きやすさ」（29.7%）となっている。

■障害のある方と同居している、または同居していない世帯■

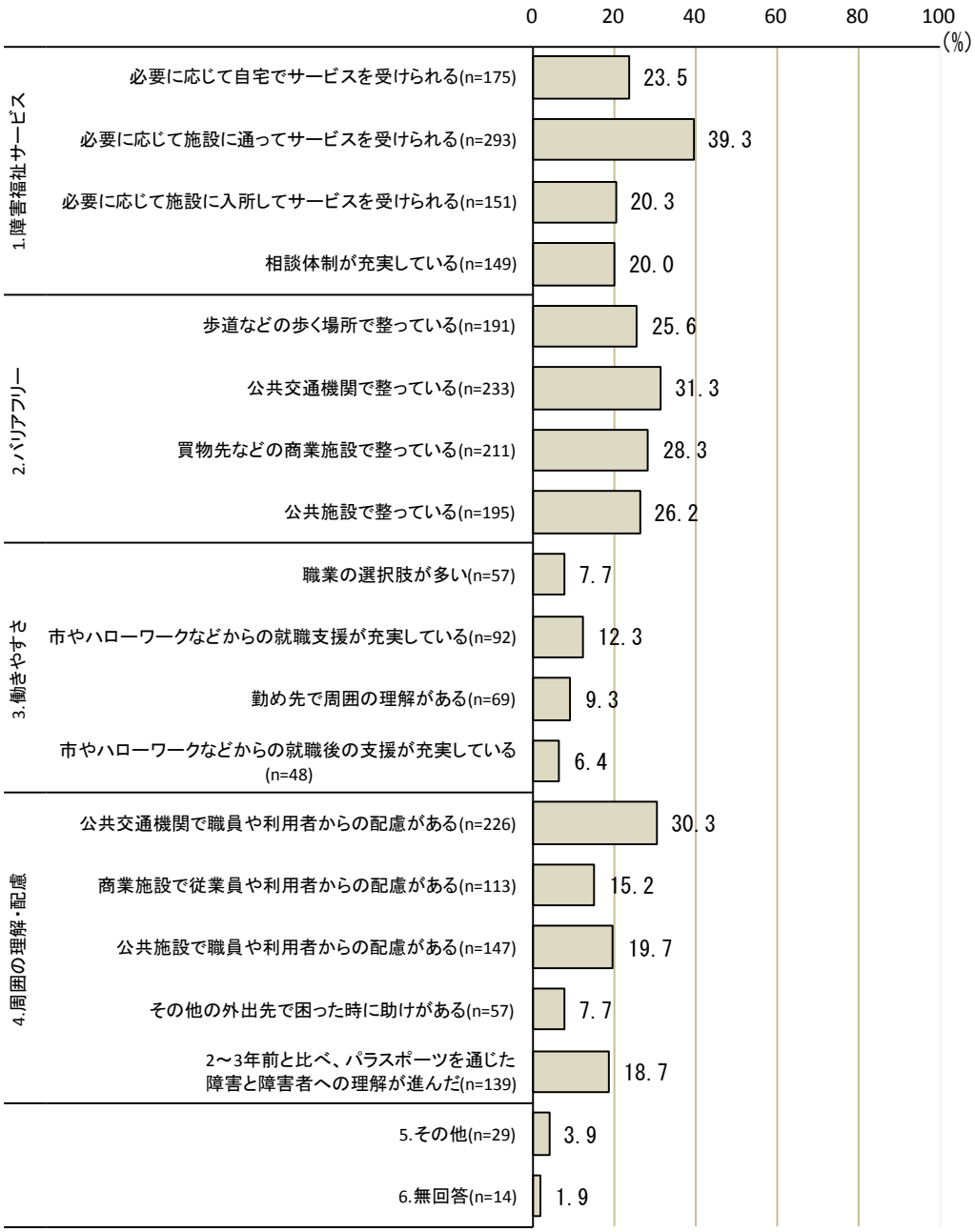


障害のある方と同居している世帯については、「障害福祉サービス」（83.6%）の比率が最も高く、次に「周囲の理解・配慮」（59.9%）、「バリアフリー」（57.2%）、「働きやすさ」（30.3%）となっている。

障害のある方と同居していない世帯については、「バリアフリー」（72.1%）の比率が最も高く、次に「障害福祉サービス」（57.6%）、「周囲の理解・配慮」（57.1%）、「働きやすさ」（29.6%）となっている。

2) 個別の回答状況

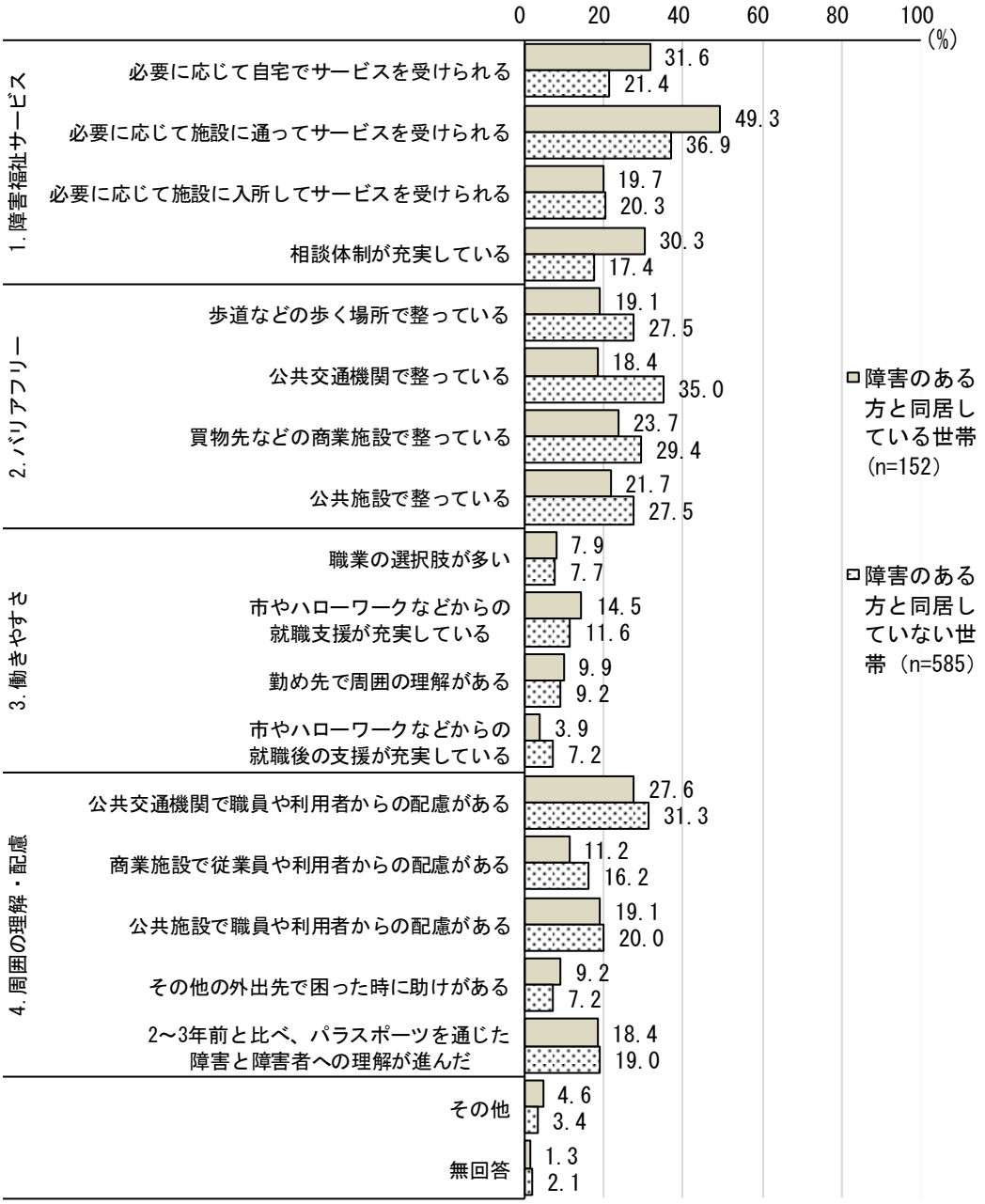
■回答者全員■



千葉市内に障害のある人が暮らしやすい環境があると感じる理由としては、「必要に応じて施設に通ってサービスを受けられる」（39.3%）の比率が最も高く、次に「（バリアフリーが）公共交通機関で整っている」（31.3%）、「公共交通機関で職員や利用者からの配慮がある」（30.3%）となっている。

一方、「市やハローワークなどからの集合後の支援が充実している」（6.4%）の比率が、最も低くなっている。

■障害のある方と同居している、または同居していない世帯■



障害のある方と同居している世帯については、「必要に応じて施設に通ってサービスを受けられる」（49.3%）の比率が最も高く、次に「必要に応じて自宅でサービスを受けられる」（31.6%）、「（障害福祉サービスの）相談体制が充実している」（30.3%）、「公共交通機関で職員や利用者からの配慮がある」（27.6%）となっている。

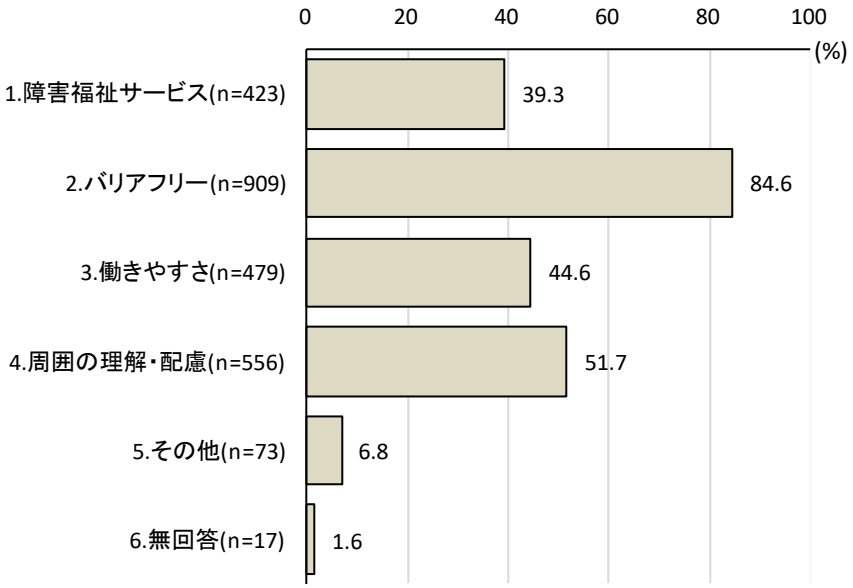
障害のある方と同居していない世帯については、「必要に応じて施設に通ってサービスを受けられる」（36.9%）の比率が最も高く、次に「（バリアフリーが）公共交通機関で整っている」（35.0%）、「公共交通機関で職員や利用者からの配慮がある」（31.3%）となっている。

千葉市内に障害のある人が暮らしやすい環境があると感じない理由

問７－２
　　【問７で「３　どちらかと言えばそう感じない」、「４　そう感じない」とお答えの方に】
その理由をすべてお選びください。（いくつでも○）

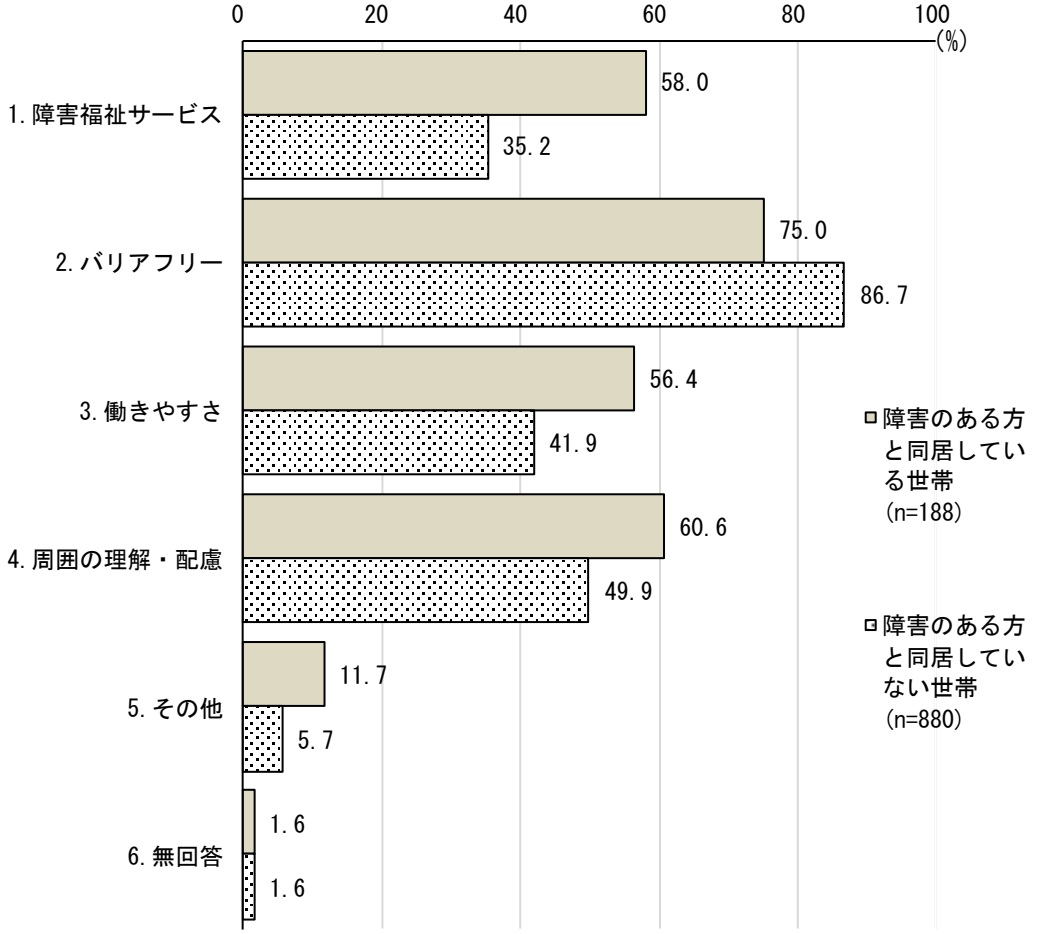
1）グループ別の回答状況

■回答者全員■



市内に障害のある人が暮らしやすい環境があると感じない理由としては、「バリアフリー」（84.6%）の比率が最も高く、次に「周囲の理解・配慮」（51.7%）、「働きやすさ」（44.6%）、「障害福祉サービス」（39.3%）となっている。

■障害のある方と同居している、または同居していない世帯■

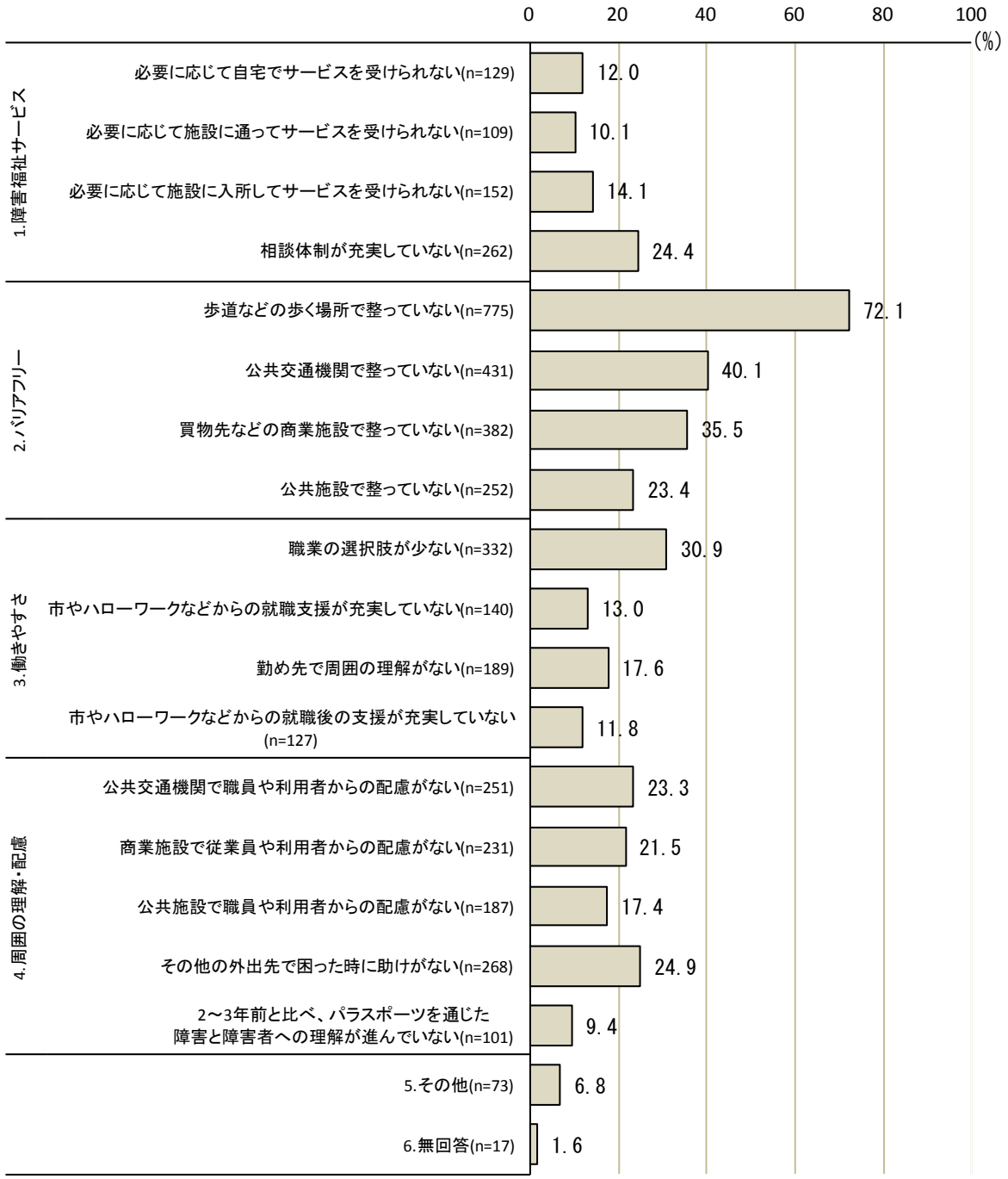


障害のある方と同居している世帯については、「バリアフリー」（75.0%）の比率が最も高く、次に「周囲の理解・配慮」（60.6%）、「障害福祉サービス」（58.0%）、「働きやすさ」（56.4%）となっている。

障害のある方と同居していない世帯については、「バリアフリー」（86.7%）の比率が最も高く、次に「周囲の理解・配慮」（49.9%）、「働きやすさ」（41.9%）、「障害福祉サービス」（35.2%）となっている。

2) 個別の回答状況

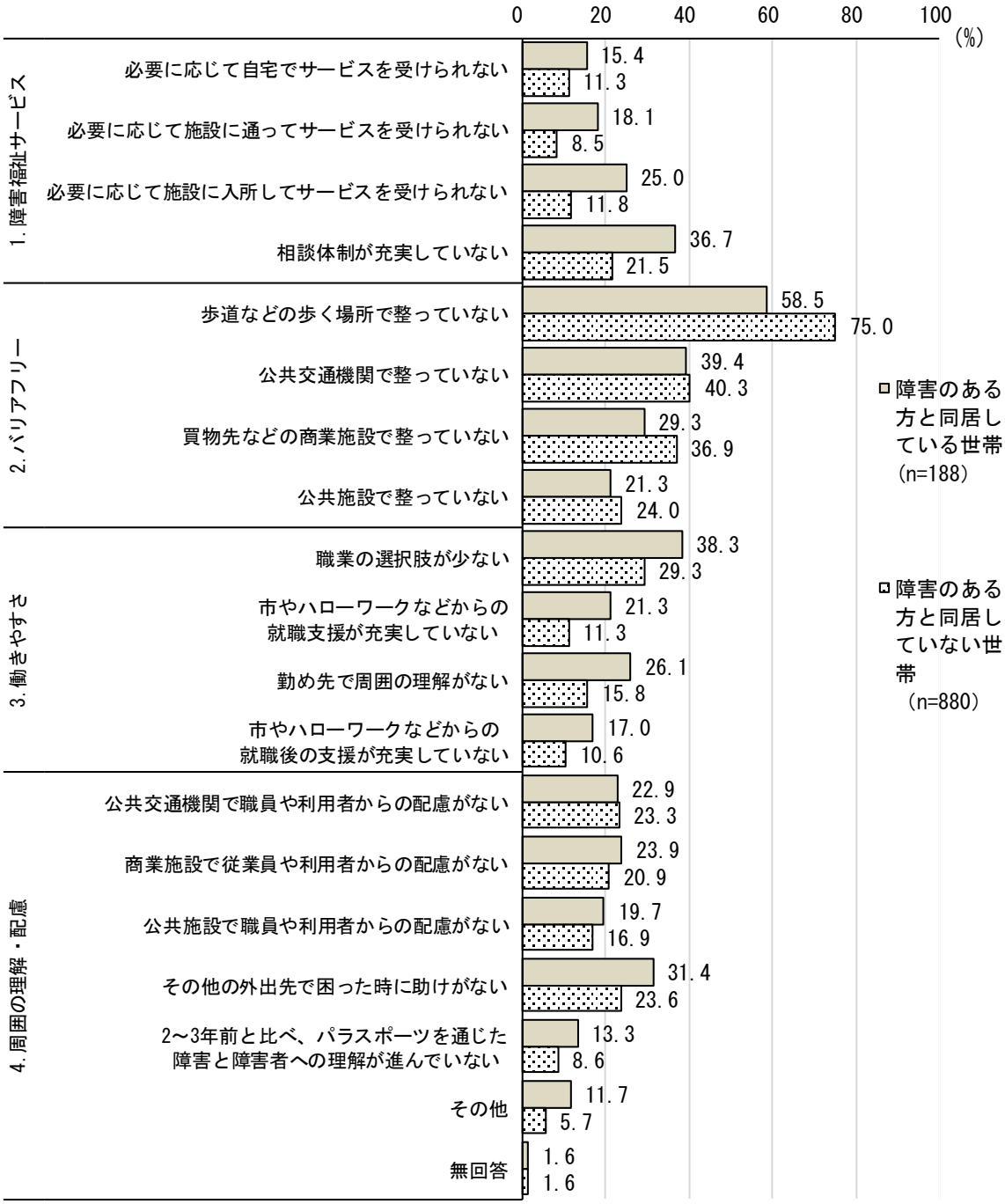
■回答者全員■



千葉市内に障害のある人が暮らしやすい環境があると感じない理由としては、「（バリアフリーが）歩道などの歩く場所で整っていない」（72.1%）の比率が最も高く、次に「（バリアフリーが）公共交通機関で整っていない」（40.1%）、「（バリアフリーが）買物先などの商業施設で整っていない」（35.5%）となっており、上位３つを、バリフリー関係の選択肢が占めた。

一方、「２～３年前と比べ、パラスポーツを通じた障害と障害者への理解が進んでいない」（9.4%）の比率が、最も低くなっている。

■障害のある方と同居している、または同居していない世帯■



障害のある方と同居している世帯については、「（バリアフリーが）歩道などの歩く場所で整っていない」（58.5%）の比率が最も高く、次に「（バリアフリーが）公共交通機関で整っていない」（39.4%）、「職業の選択肢が少ない」（38.3%）、「（障害福祉サービスの）相談体制が充実していない」（36.7%）となっている。

障害のある方と同居していない世帯については、「（バリアフリーが）歩道などの歩く場所で整っていない」（75.0%）の比率が最も高く、次に「（バリアフリーが）公共交通機関で整っていない」（40.3%）、「（バリアフリーが）買物先などの商業施設で整っていない」（36.9%）となっており、上位３つを、バリフリー関係の選択肢が占めた。

（8）男女共同参画の考え方の定着について

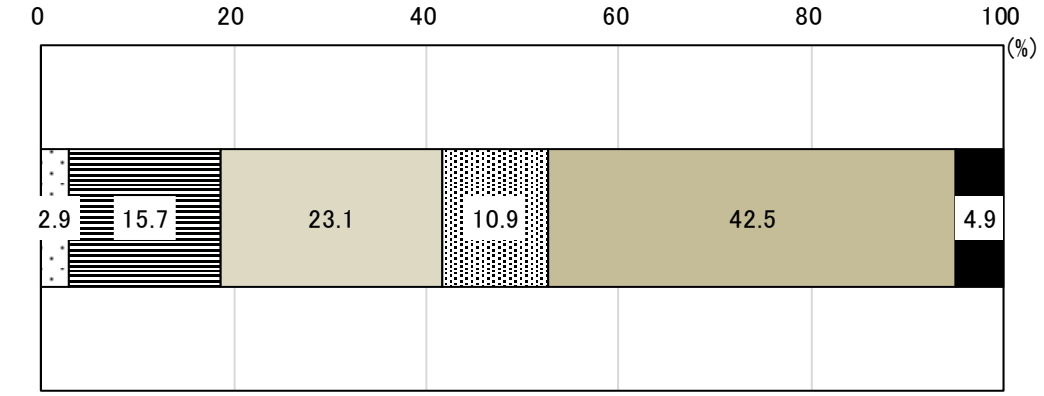
千葉市では、全ての人が性別に関わらず個性と能力を発揮できる社会をつくるため、女性の活躍や仕事と家庭の両立に向けた支援などを推進しています。

問8　あなたは、市内に男女共同参画の考え方が根付いていると感じますか。（一つだけ○）

全体の回答状況

■回答者全員■

n =3,398

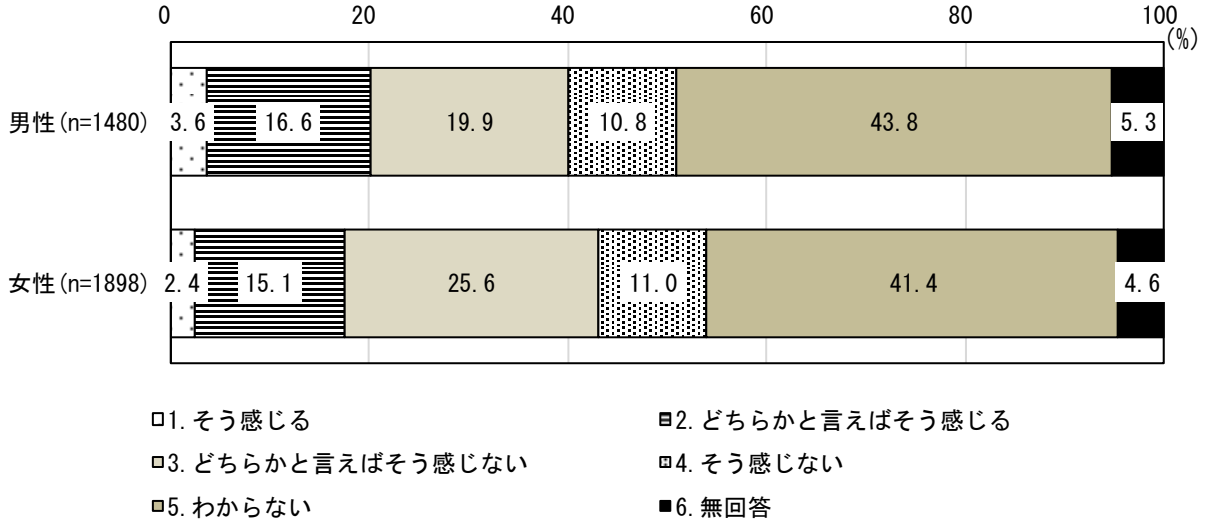


□1.そう感じる(n=98)　▤2.どちらかと言えばそう感じる(n=533)
□3.どちらかと言えばそう感じない(n=784)　▣4.そう感じない(n=372)
□5.わからない(n=1444)　■6.無回答(n=167)

市内に男女共同参画の考え方が根付いていると感じるかについては、「どちらかと言えばそう感じる」（15.7%）と「そう感じる」（2.9%）を合せた「肯定的回答（計）」は、18.6%だった。一方、「どちらかと言えばそう感じない」（23.1%）と「そう感じない」（10.9%）を合わせた「否定的回答（計）」は、34.0%であった。

なお、「わからない」（42.5%）の比率が最も高かった。

■男女別■



男性については、「どちらかと言えばそう感じる」（16.6%）と「そう感じる」（3.6%）を合せた「肯定的回答（計）」は、20.2%だった。一方、「どちらかと言えばそう感じない」（19.9%）と「そう感じない」（10.8%）を合わせた「否定的回答（計）」は、30.7%であった。なお、「わからない」（43.8%）の比率が最も高かった。

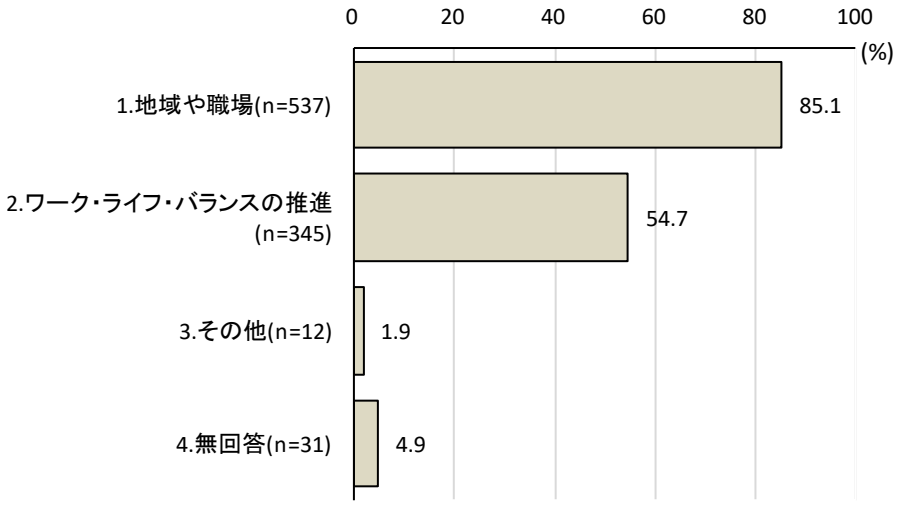
女性については、「どちらかと言えばそう感じる」（15.1%）と「そう感じる」（2.4%）を合せた「肯定的回答（計）」は、17.5%だった。一方、「どちらかと言えばそう感じない」（25.6%）と「そう感じない」（11.0%）を合わせた「否定的回答（計）」は、36.6%であった。なお、「わからない」（41.4%）の比率が最も高かった。

千葉市に男女共同参画の考え方が根付いていると感じる理由

問８－１
【問８で「１　そう感じる」、「２　どちらかと言えばそう感じる」とお答えの方に】
その理由をすべてお選びください。（いくつでも○）

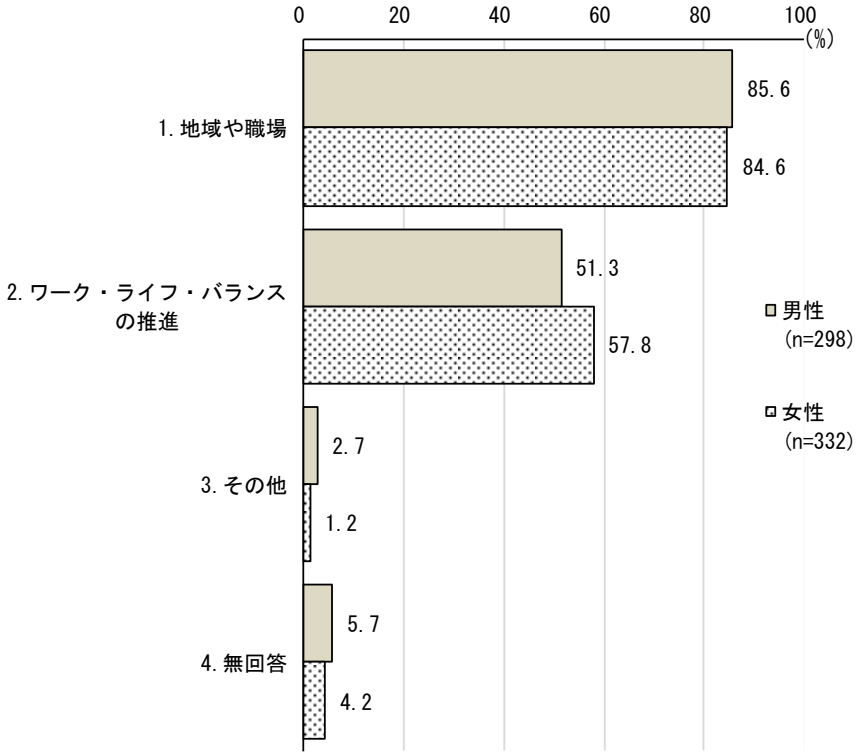
1）グループ別の回答状況

■回答者全員■



市内に男女共同参画の考え方が根付いていると感じる理由としては、「地域や職場」（85.1%）の比率が最も高く、次に「ワーク・ライフ・バランスの推進」（54.7%）となっている。

■男女別■

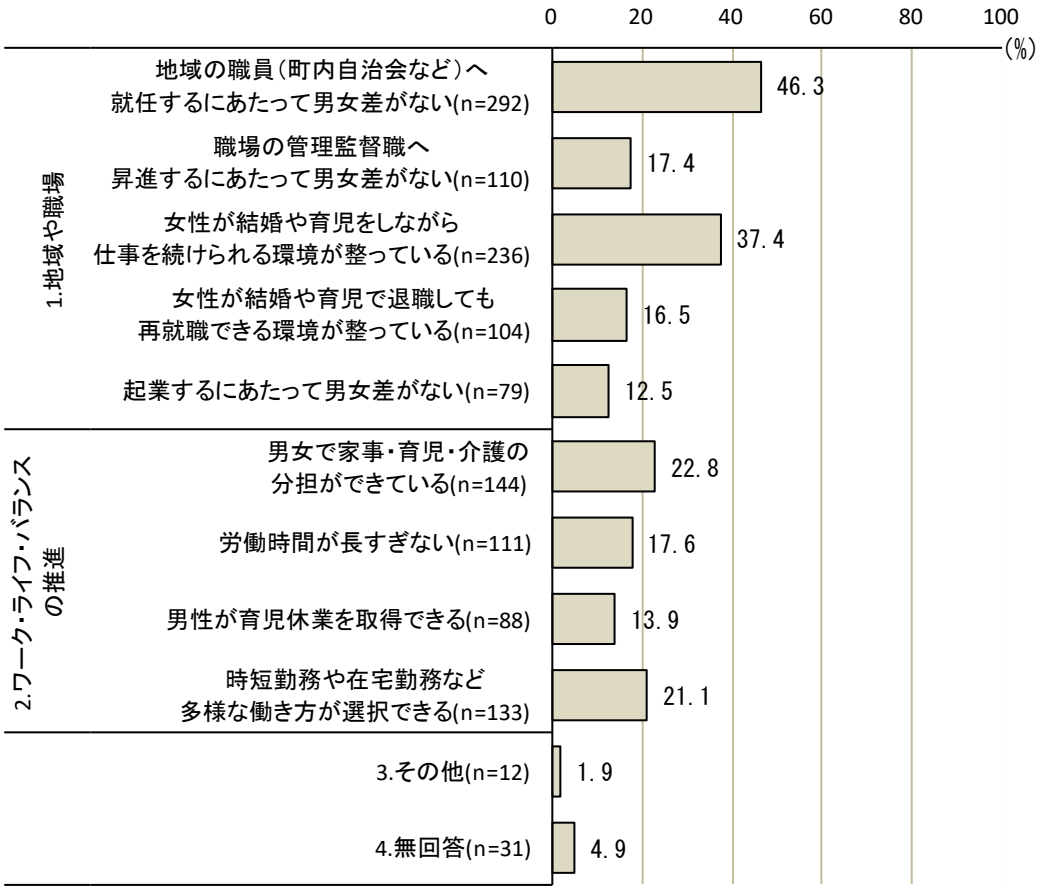


男性については、「地域や職場」（85.6%）の比率が最も高く、次に「ワーク・ライフ・バランスの推進」（51.3%）となっている。

女性についても、「地域や職場」（84.6%）の比率が最も高く、次に「ワーク・ライフ・バランスの推進」（57.8%）となっている。

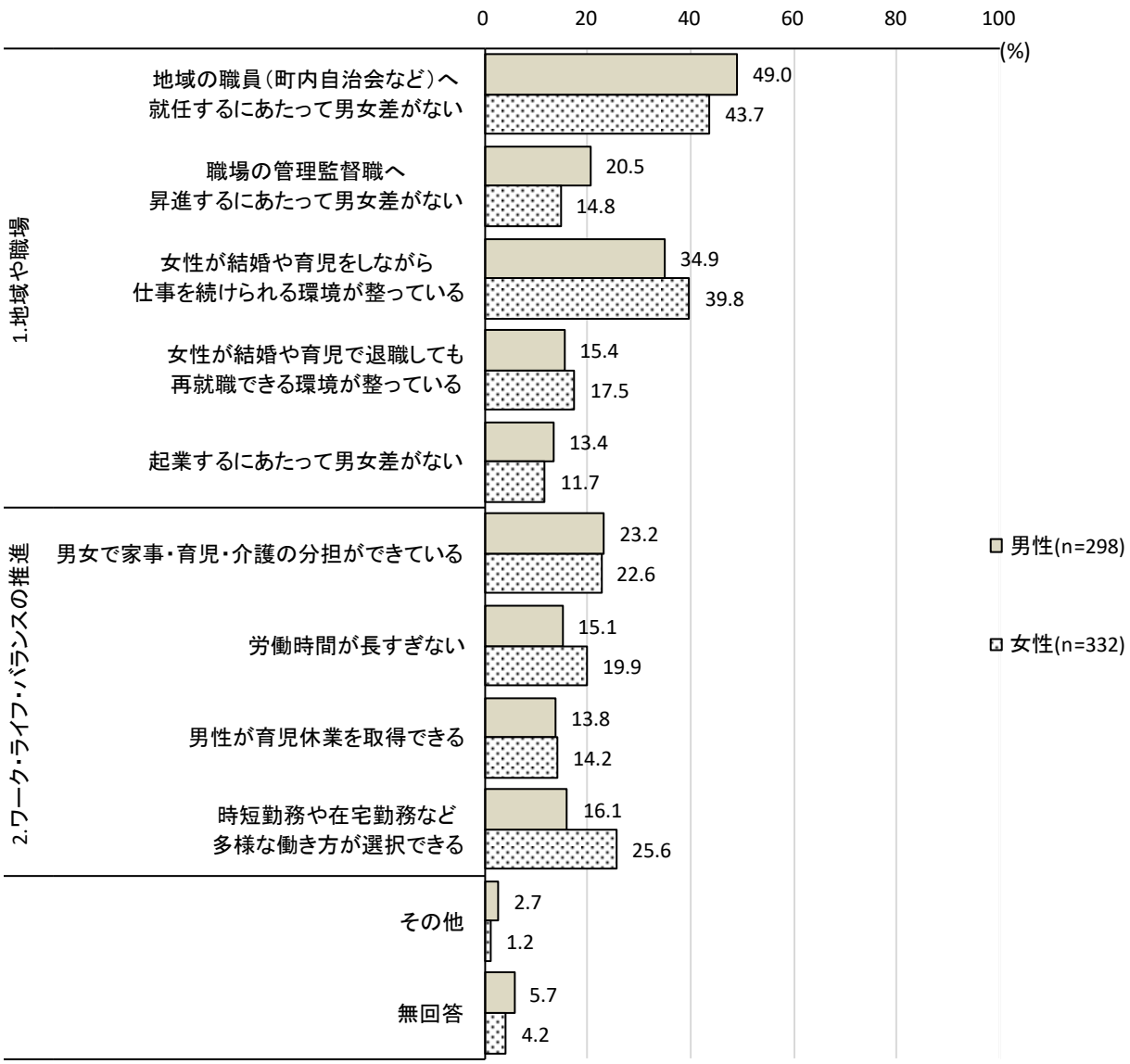
2) 個別の回答状況

■回答者全員■



市内に男女共同参画の考え方が根付いていると感じる理由としては、「地域の職員（町内自治会など）へ就任するにあたって男女差がない」（46.3%）の比率が最も高く、次に「女性が結婚や育児をしながら仕事を続けられる環境が整っている」（37.4%）、「男女で家事・育児・介護の分担ができている」（22.8%）となっている。

【男女別】



男性については、「地域の職員（町内自治会など）へ就任するにあたって男女差がない」（49.0%）の比率が最も高く、次に「女性が結婚や育児をしながら仕事を続けられる環境が整っている」（34.9%）、「男女で家事・育児・介護の分担ができている」（23.2%）となっている。

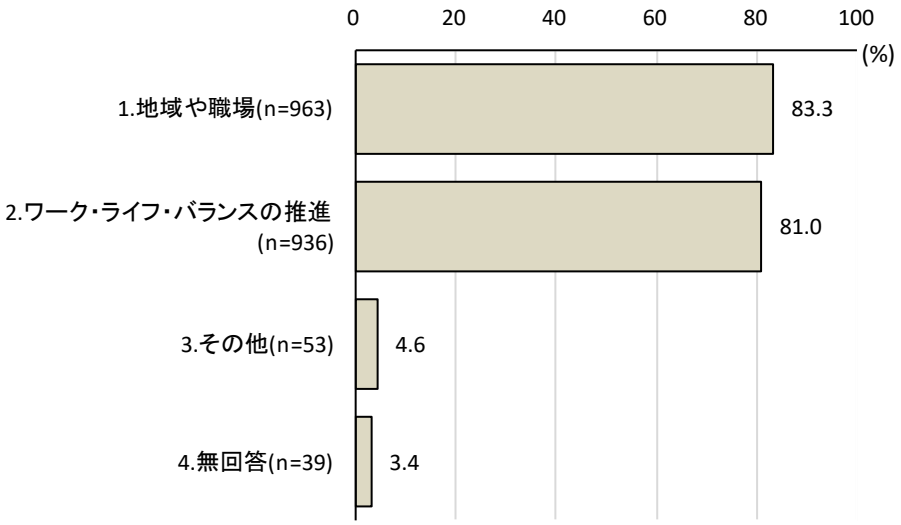
女性については、「地域の職員（町内自治会など）へ就任するにあたって男女差がない」（43.7%）の比率が最も高く、次に「女性が結婚や育児をしながら仕事を続けられる環境が整っている」（39.8%）、「時短勤務や在宅勤務など多様な働き方が選択できる」（25.6%）となっている。

千葉市に男女共同参画の考え方が根付いていると感じない理由

問８－２
【問８で「３　どちらかと言えばそう感じない」、「４　そう感じない」とお答えの方に】
その理由をすべてお選びください。（いくつでも○）

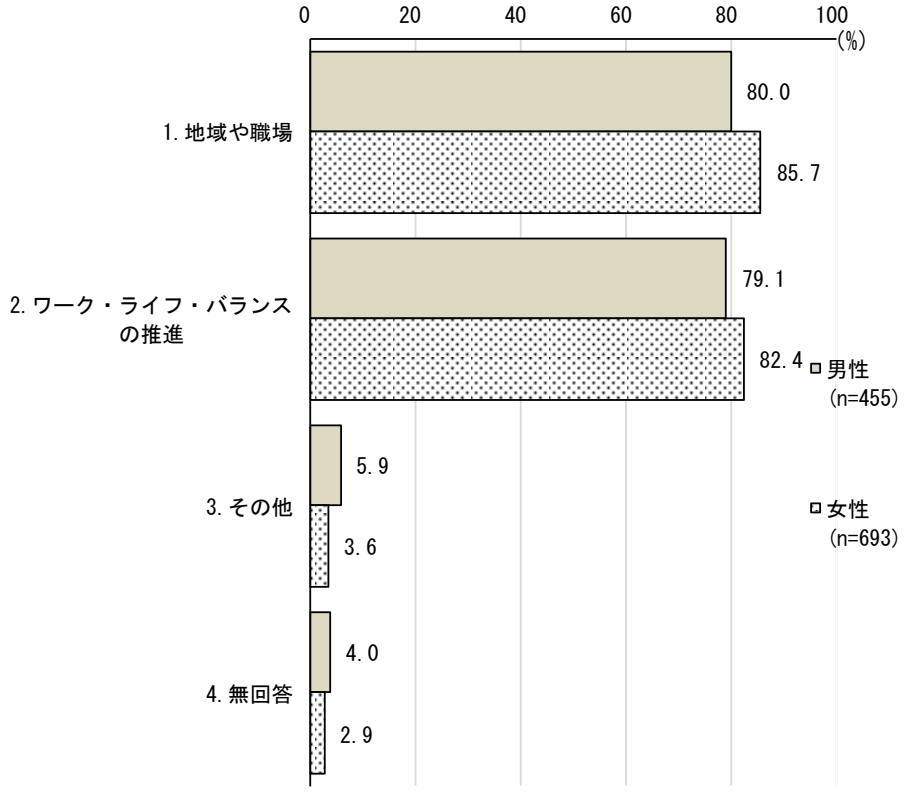
1）グループ別の回答状況

■回答者全員■



市内に男女共同参画の考え方が根付いていると感じない理由としては、「地域や職場」（83.3%）の比率が最も高く、次に「ワーク・ライフ・バランスの推進」（81.0%）となっている。

■男女別■

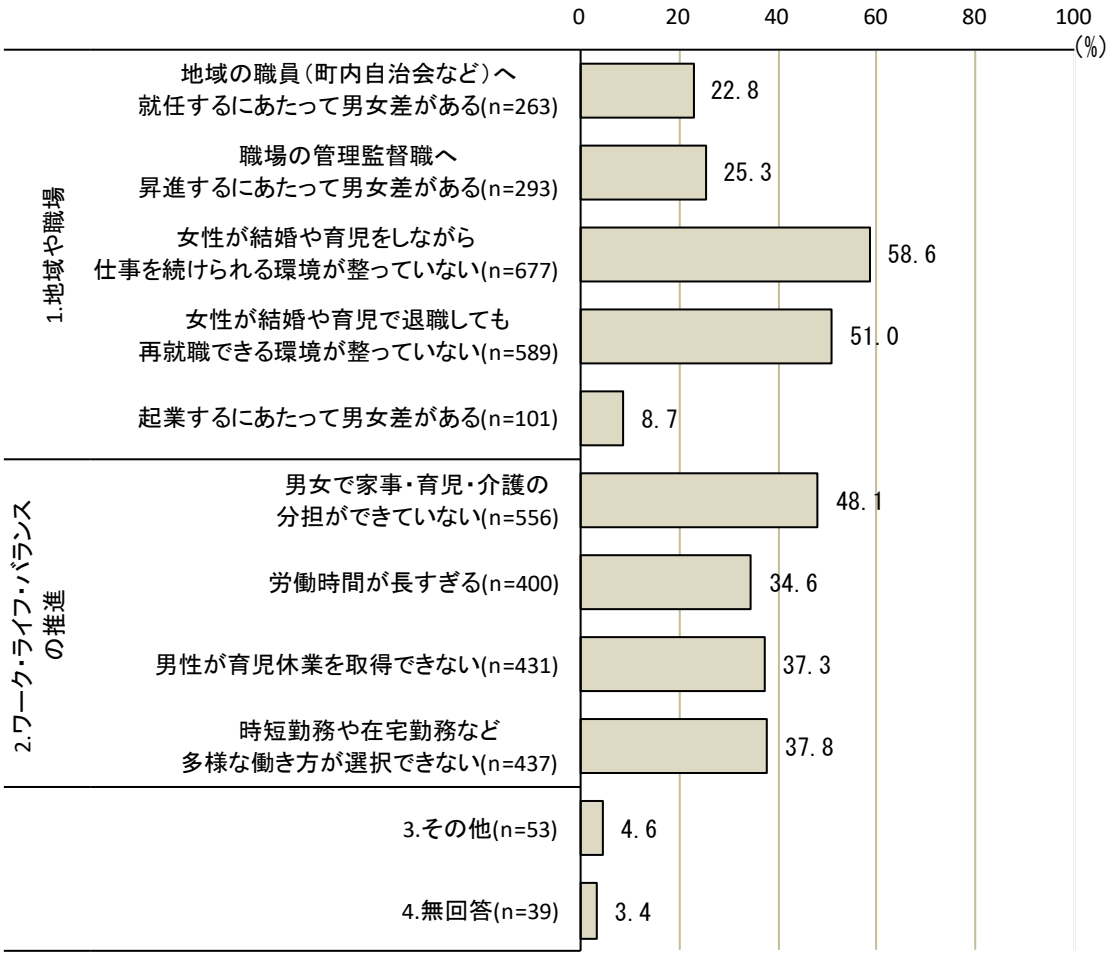


男性については、「地域や職場」（80.0%）の比率が最も高く、次に「ワーク・ライフ・バランスの推進」（79.1%）となっている。

女性についても、「地域や職場」（85.7%）の比率が最も高く、次に「ワーク・ライフ・バランスの推進」（82.4%）となっている。

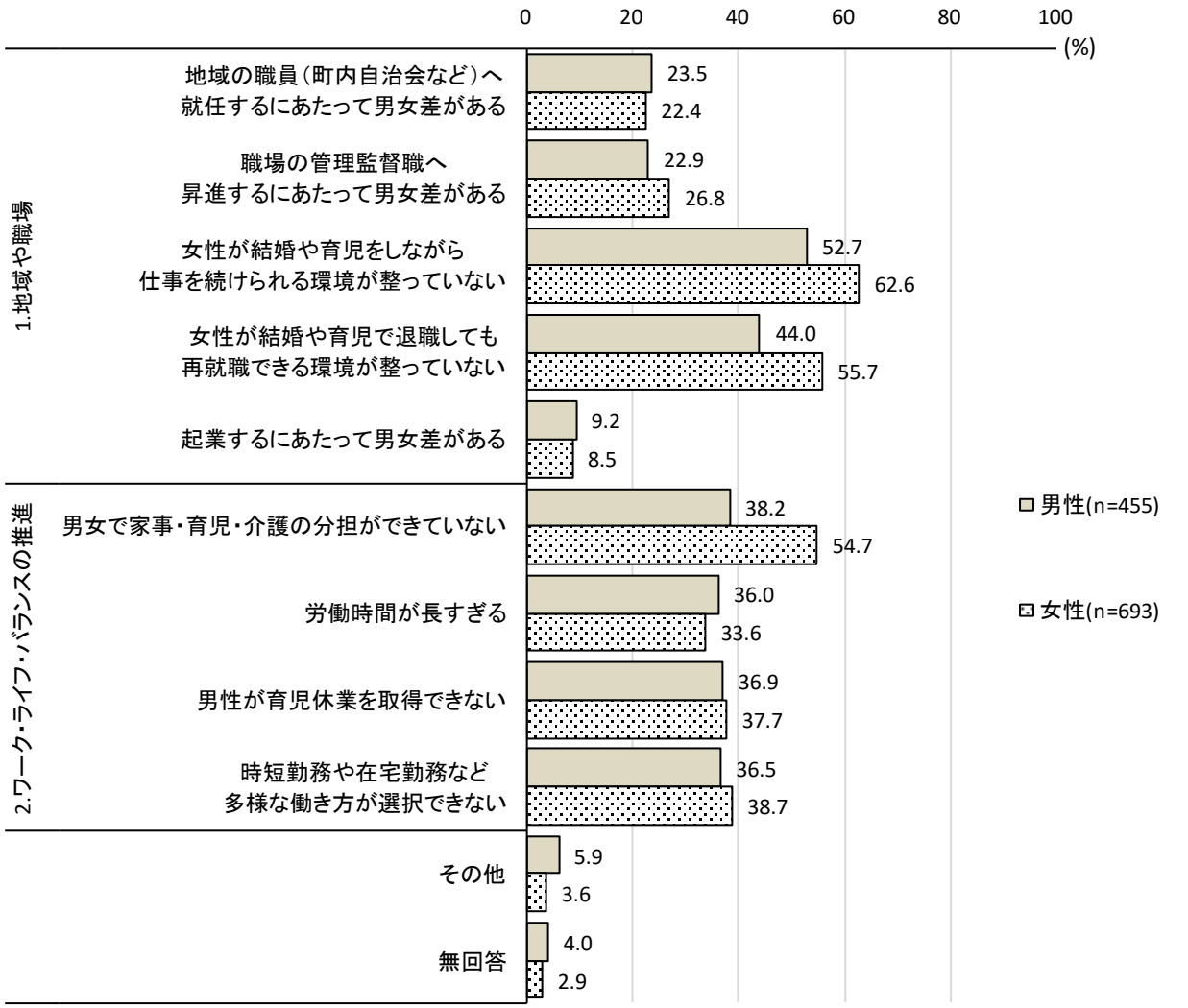
2) 個別の回答状況

■回答者全員■



市内に男女共同参画の考え方が根付いていると感じない理由としては、「女性が結婚や育児をしながら仕事を続けられる環境が整っていない」（58.6%）の比率が最も高く、次に「女性が結婚や育児で退職しても再就職できる環境が整っていない」（51.0%）、「男女で家事・育児・介護の分担ができていない」（48.1%）となっている。

■男女別■



男性については、「女性が結婚や育児をしながら仕事を続けられる環境が整っていない」（52.7%）の比率が最も高く、次に「女性が結婚や育児で退職しても再就職できる環境が整っていない」（44.0%）、「男女で家事・育児・介護の分担ができていない」（38.2%）となっている。

女性についても、「女性が結婚や育児をしながら仕事を続けられる環境が整っていない」（62.6%）の比率が最も高く、次に「女性が結婚や育児で退職しても再就職できる環境が整っていない」（55.7%）、「男女で家事・育児・介護の分担ができていない」（54.7%）となっている。

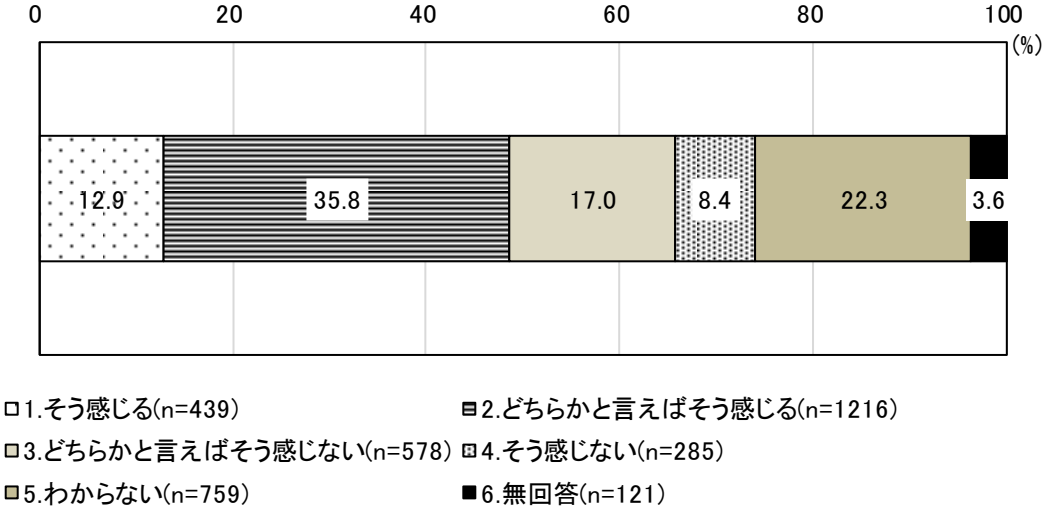
（9）スポーツを楽しめる機会について

千葉市では、市民が心身ともに健康で楽しい暮らしを送れるよう、市民のスポーツ活動やパラスポーツを推進しています。

問9　あなたは、市内でスポーツを楽しめる機会があると感じますか。（一つだけ○）

全体の回答状況

n =3,398



市内でスポーツを楽しめる機会があると感じるかについては、「どちらかと言えばそう感じる」（35.8%）の比率が最も高く、「そう感じる」（12.9%）と合せた「肯定的回答（計）」は、48.7%だった。

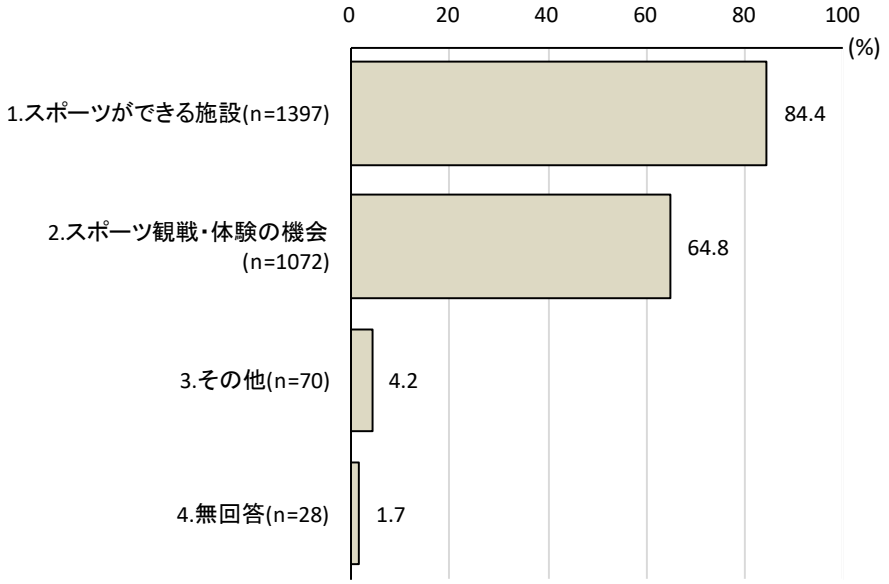
一方、「どちらかと言えばそう感じない」（17.0%）と「そう感じない」（8.4%）を合わせた「否定的回答（計）」は、25.4%であった。

なお、「わからない」の比率は、22.3%であった。

千葉市内でスポーツを楽しめる機会があると感じる理由

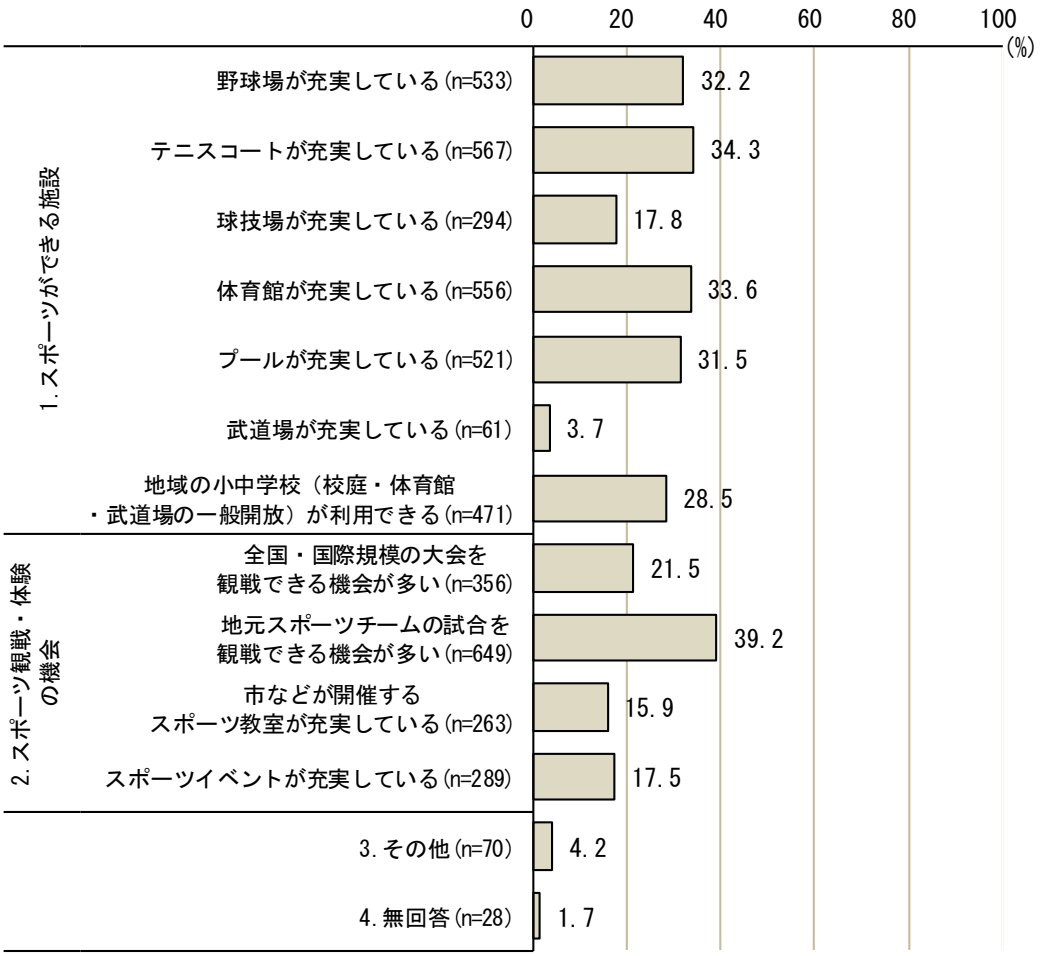
問９－１
　　【問９で「１　そう感じる」、「２　どちらかと言えばそう感じる」とお答えの方に】
その理由をすべてお選びください。（いくつでも○）

1）グループ別の回答状況



市内でスポーツを楽しめる機会があると感じる理由としては、「スポーツができる施設」（84.4%）の比率が最も高く、次に「スポーツ観戦・体験の機会」（64.8%）となっている。

2) 個別の回答状況

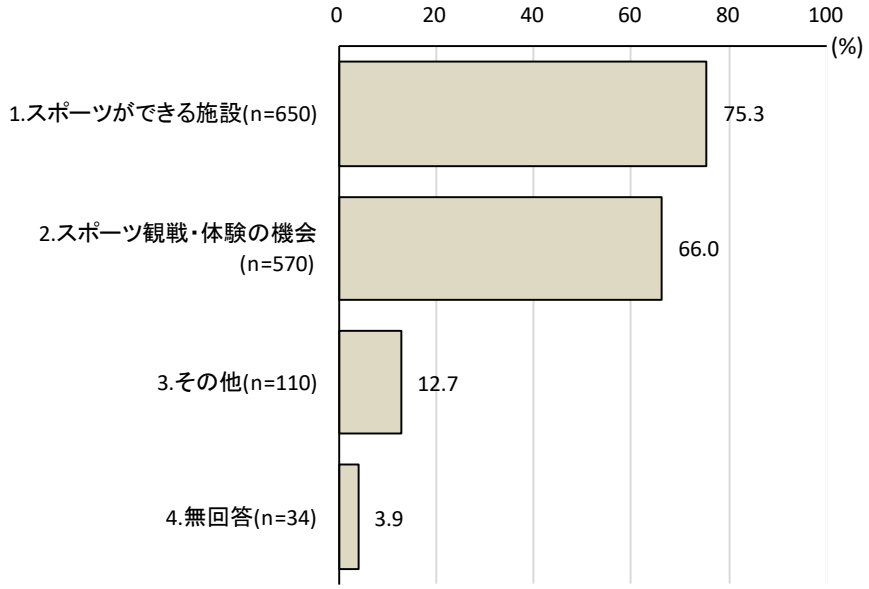


市内でスポーツを楽しめる機会があると感じる理由としては、「地元スポーツチームの試合を観戦できる機会が多い」（39.2%）の比率が最も高く、次に「テニスコートが充実している」（34.3%）、「体育館が充実している」（33.6%）となっている。

千葉市内でスポーツを楽しめる機会があると感じない理由

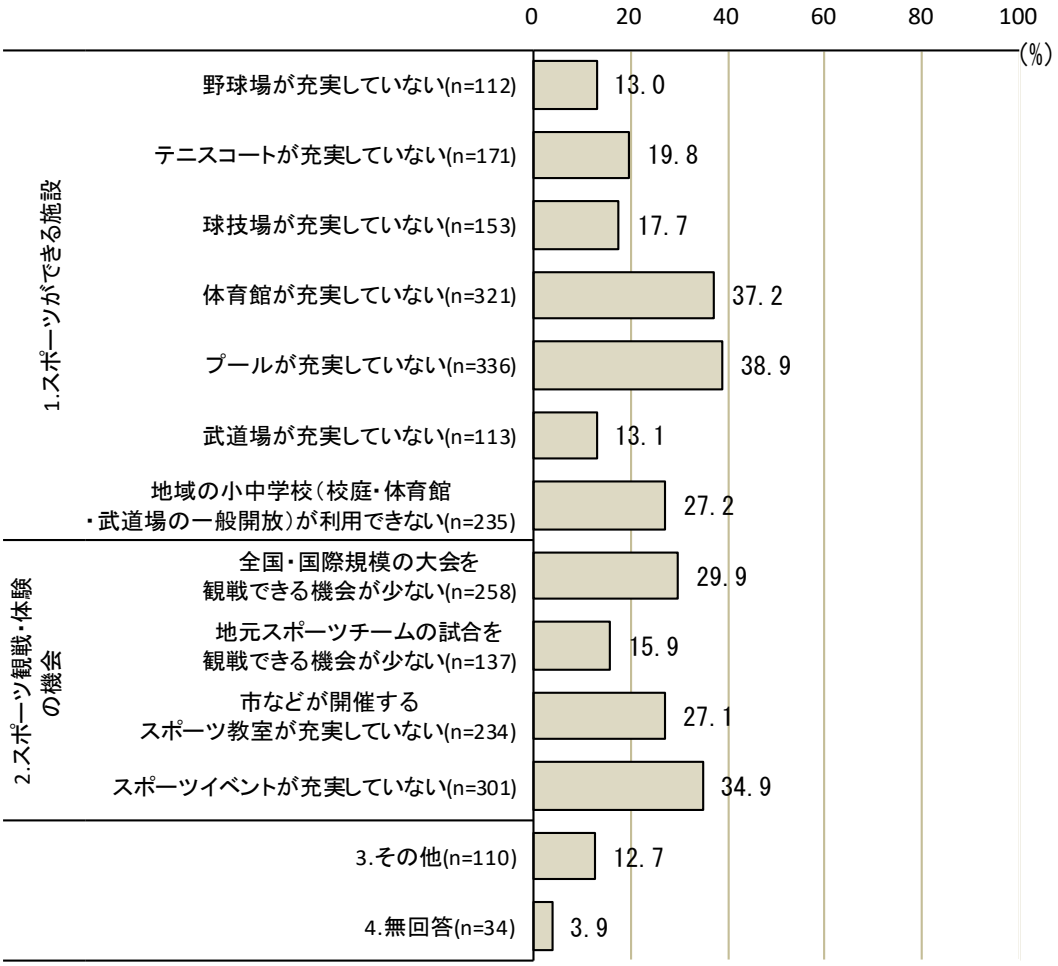
問９－２
【問９で「３　どちらかと言えばそう感じない」、「４　そう感じない」とお答えの方に】
その理由をすべてお選びください。（いくつでも○）

1）グループ別の回答状況



市内でスポーツを楽しめる機会があると感じない理由としては、「スポーツができる施設」（75.3%）の比率が最も高く、次に「スポーツ観戦・体験の機会」（66.0%）となっている。

2) 個別の回答状況



市内でスポーツを楽しめる機会があると感じない理由としては、「プールが充実していない」（38.9%）の比率が最も高く、次に「体育館が充実していない」（37.2%）、「スポーツイベントが充実していない」（34.9%）となっている。

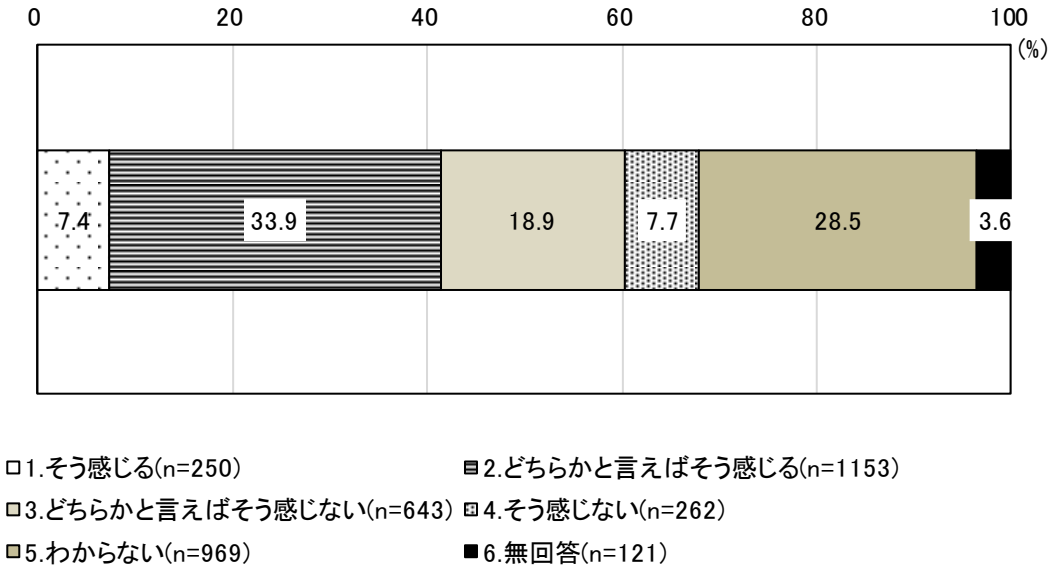
（１０）文化・芸術活動に親しめる環境について

千葉市では、ゆとりとうるおいのある生活が送れるよう、文化・芸術にふれられる機会の充実や、活動環境の維持・充実などに取り組んでいます。

問１０　あなたは、市内に文化・芸術活動に親しめる環境があると感じますか。（一つだけ○）

全体の回答状況

n =3,398



市内に文化・芸術活動に親しめる環境があると感じるかについては、「どちらかと言えばそう感じる」（33.9%）の比率が最も高く、「そう感じる」（7.4%）と合せた「肯定的回答（計）」は、41.3%だった。

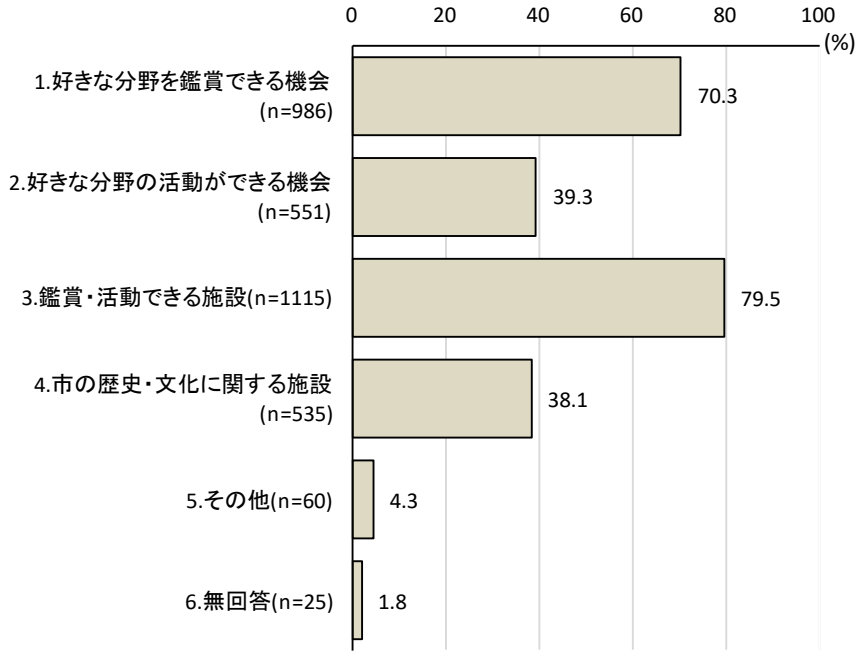
一方、「どちらかと言えばそう感じない」（18.9%）と「そう感じない」（7.7%）を合わせた「否定的回答（計）」は、26.6%であった。

なお、「わからない」の比率は、28.5%であった。

千葉市内に文化・芸術活動に親しめる環境があると感じる理由

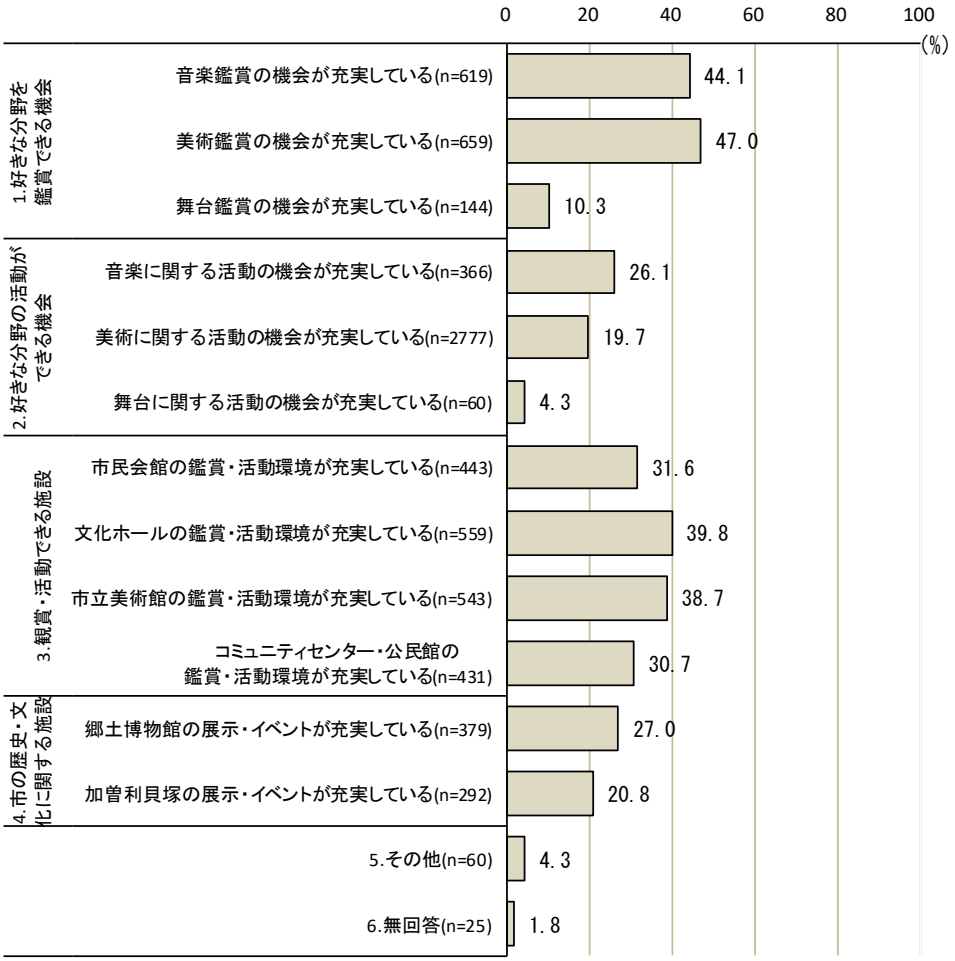
問１０－１
　　【問１０で「１　そう感じる」、「２　どちらかと言えばそう感じる」とお答えの方に】
その理由をすべてお選びください。（いくつでも○）

1）グループ別の回答状況



市内に文化・芸術活動に親しめる環境があると感じる理由としては、「鑑賞・活動できる施設」（79.5%）の比率が最も高く、次に「好きな分野を鑑賞できる機会」（70.3%）、「好きな分野の活動ができる機会」（39.3%）、「市の歴史・文化に関する施設」（38.1%）となっている。

2) 個別の回答状況

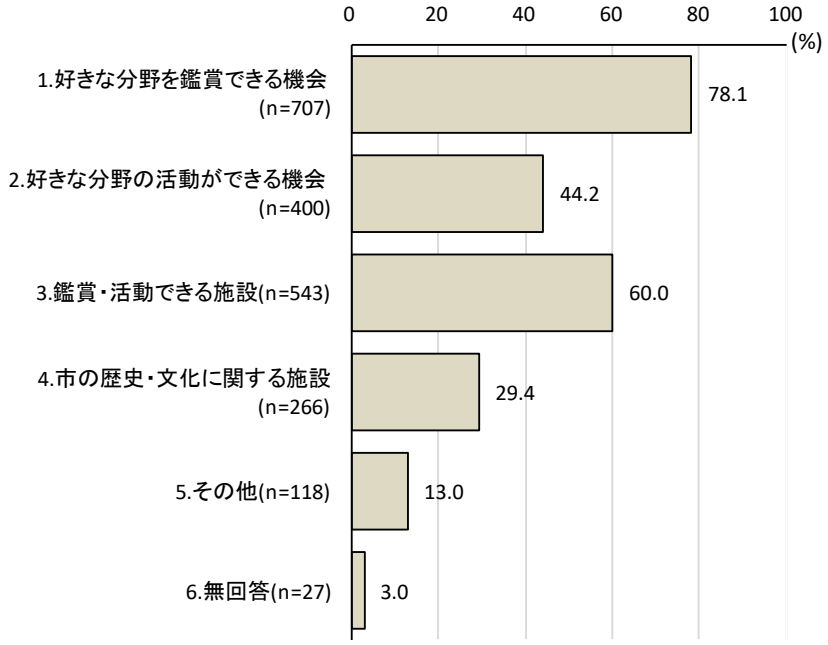


市内に文化・芸術活動に親しめる環境があると感じる理由としては、「美術鑑賞の機会が充実している」（47.0%）の比率が最も高く、次に「音楽鑑賞の機会が充実している」（44.1%）、「文化ホールの鑑賞・活動環境が充実している」（39.8%）、「市立美術館の鑑賞・活動環境が充実している」（38.7%）となっている。

千葉市内に文化・芸術活動に親しめる環境があると感じない理由

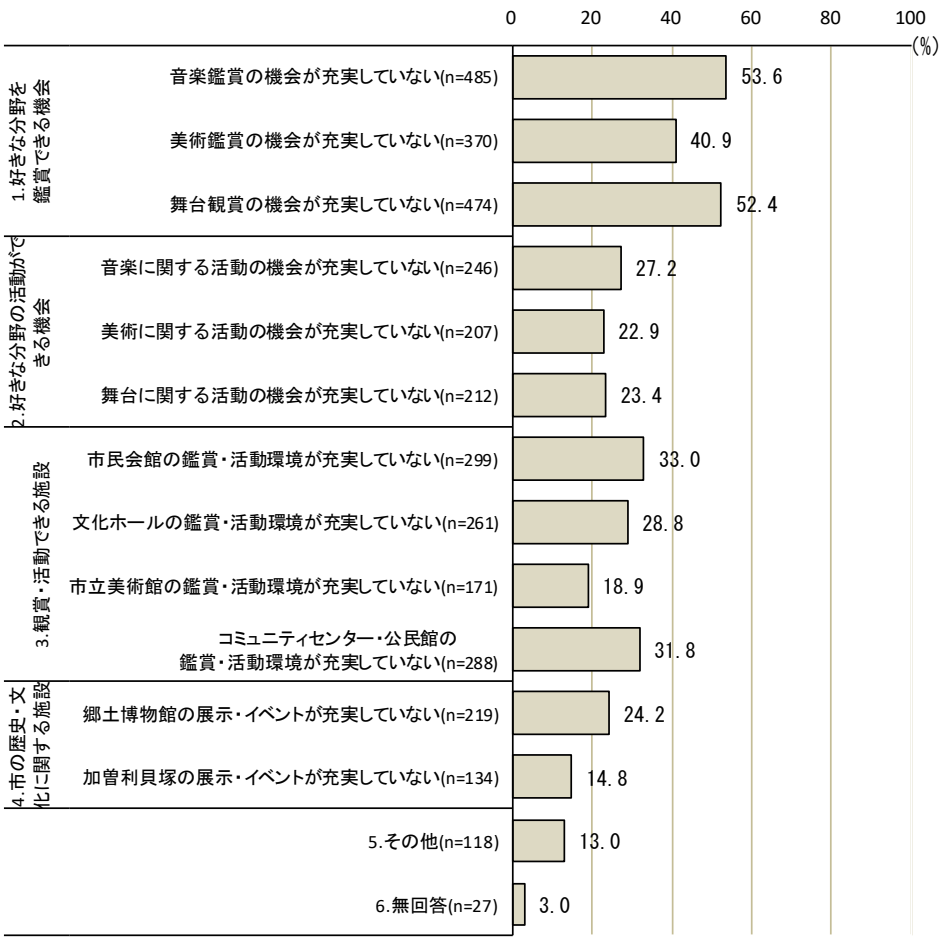
問１０－２
　　【問１０で「３　どちらかと言えばそう感じない」、「４　そう感じない」とお答えの方に】
その理由をすべてお選びください。（いくつでも○）

1）グループ別の回答状況



市内に文化・芸術活動に親しめる環境があると感じない理由としては、「好きな分野を鑑賞できる機会」（78.1%）の比率が最も高く、次に、「鑑賞・活動できる施設」（60.0%）「好きな分野の活動ができる機会」（44.2%）、「市の歴史・文化に関する施設」（29.4%）となっている。

2) 個別の回答状況



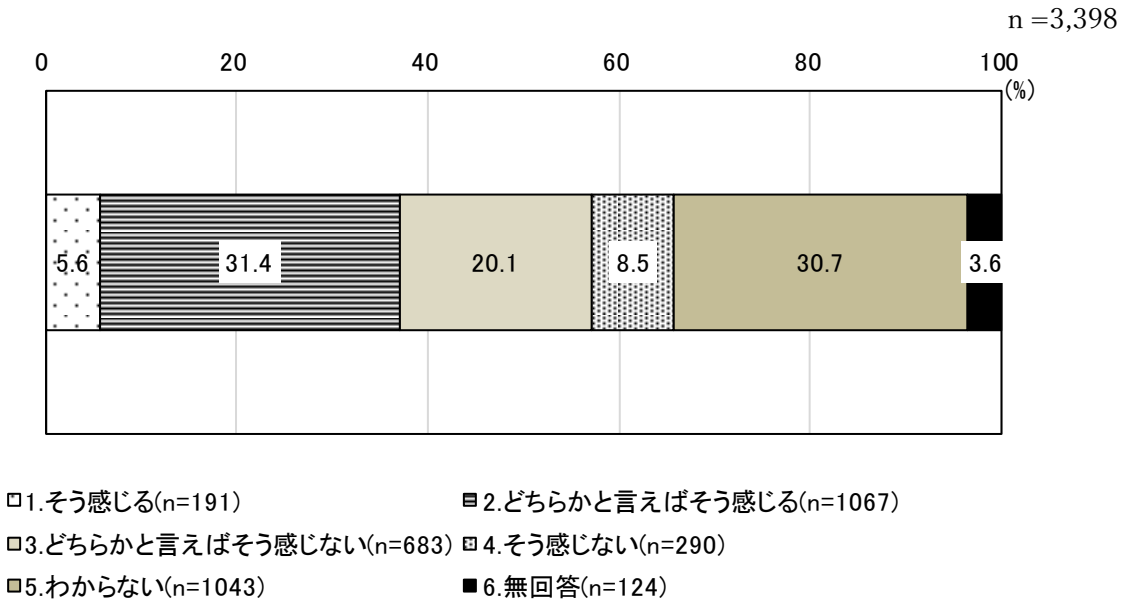
市内に文化・芸術活動に親しめる環境があると感じない理由としては、「音楽鑑賞の機会が充実していない」（53.6%）の比率が最も高く、次に「舞台鑑賞の機会が充実していない」（52.4%）、「美術鑑賞の機会が充実していない」（40.9%）、「市民会館の鑑賞・活動環境が充実していない」（33.0%）、「コミュニティセンター・公民館の鑑賞・活動環境が充実していない」（31.8%）となっている。

（１１）地域で市民が学べる環境について

千葉市では、市民が学んだ知識や経験を生かし、より豊かに生活できるよう、生涯にわたっていつでもどこでも学ぶことができる環境づくりなどを推進しています。

問１１　あなたは、市内に、地域で市民が学べる環境があると感じますか。（一つだけ○）

全体の回答状況



市内に地域で市民が学べる環境があると感じるかについては、「どちらかと言えばそう感じる」（31.4%）の比率が最も高く、「そう感じる」（5.6%）と合せた「肯定的回答（計）」は、37.0%だった。

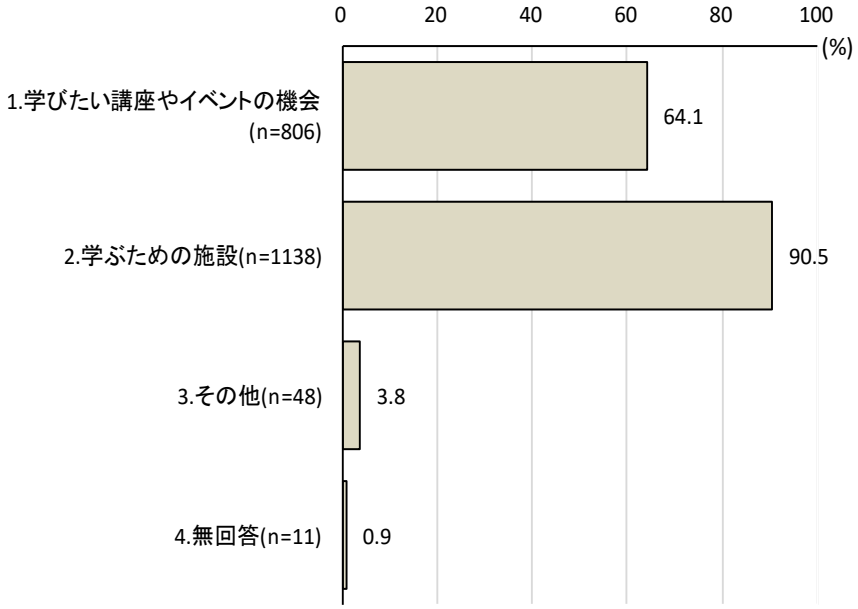
一方、「どちらかと言えばそう感じない」（20.1%）と「そう感じない」（8.5%）を合わせた「否定的回答（計）」は、28.6%であった。

なお、「わからない」の比率は、30.7%であった。

千葉市内に、地域で市民が学べる環境があると感じる理由

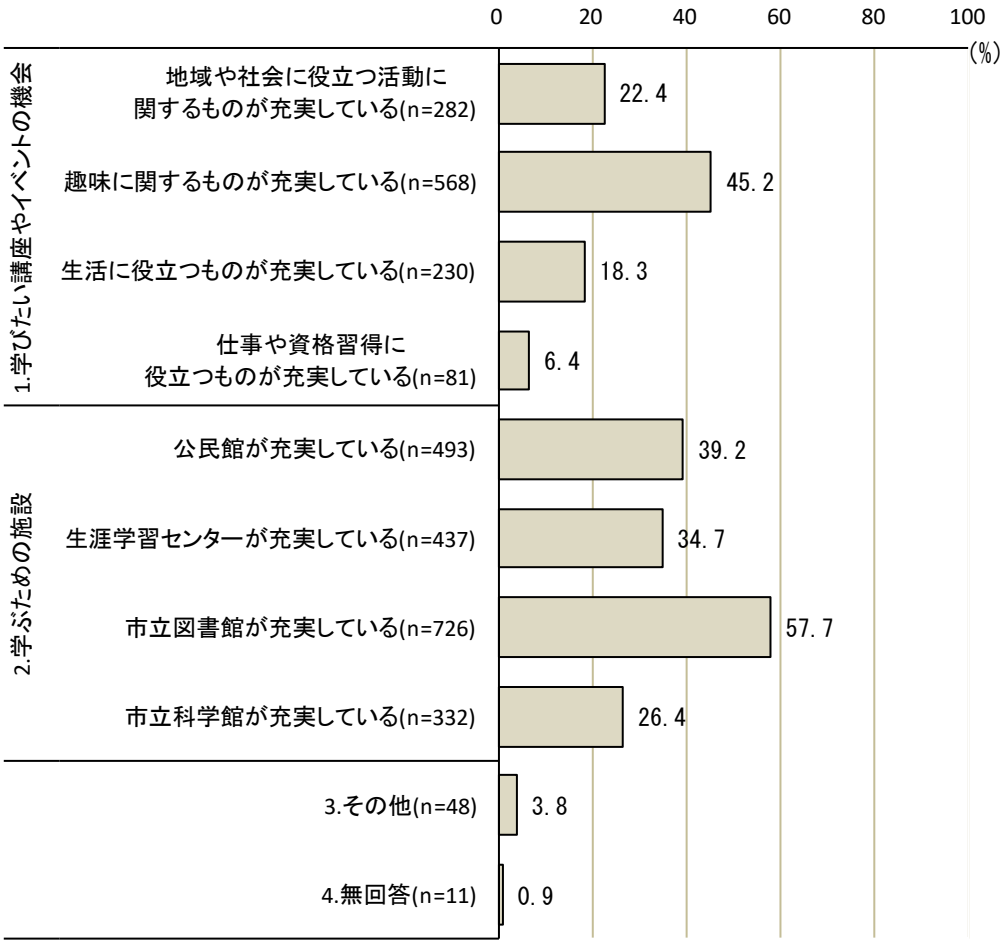
問１１－１
　　【問１１で「１　そう感じる」、「２　どちらかと言えばそう感じる」とお答えの方に】
その理由をすべてお選びください。（いくつでも○）

1）グループ別の回答状況



市内に、地域で市民が学べる環境があると感じる理由としては、「学ぶための施設」（90.5%）の比率が最も高く、次に「学びたい講座やイベントの機会」（64.1%）となっている。

2) 個別の回答状況

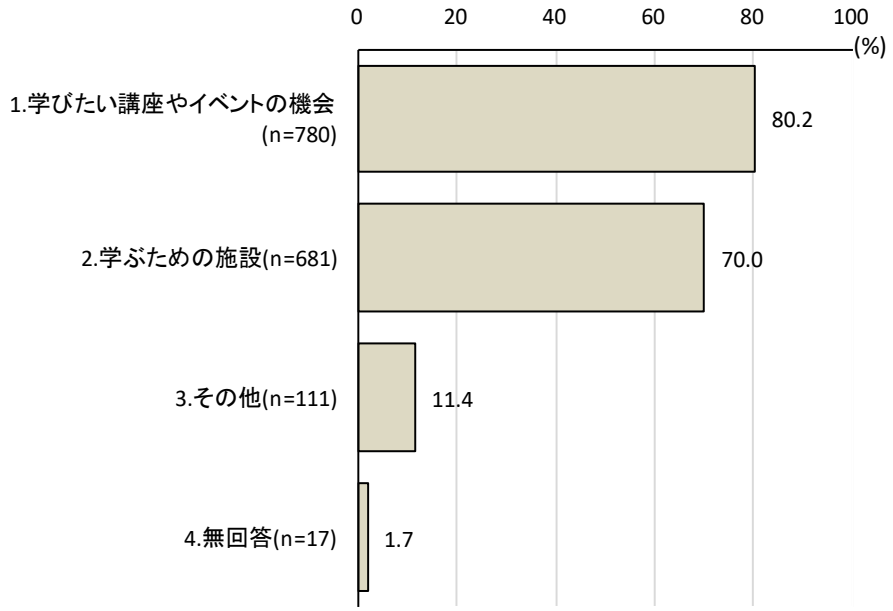


市内に地域で市民が学べる環境があると感じる理由としては、「市立図書館が充実している」（57.7%）の比率が最も高く、次に「趣味に関するものが充実している」（45.2%）、「公民館が充実している」（39.2%）、「生涯学習センターが充実している」（34.7%）となっている。

千葉市内に、地域で市民が学べる環境があると感じない理由

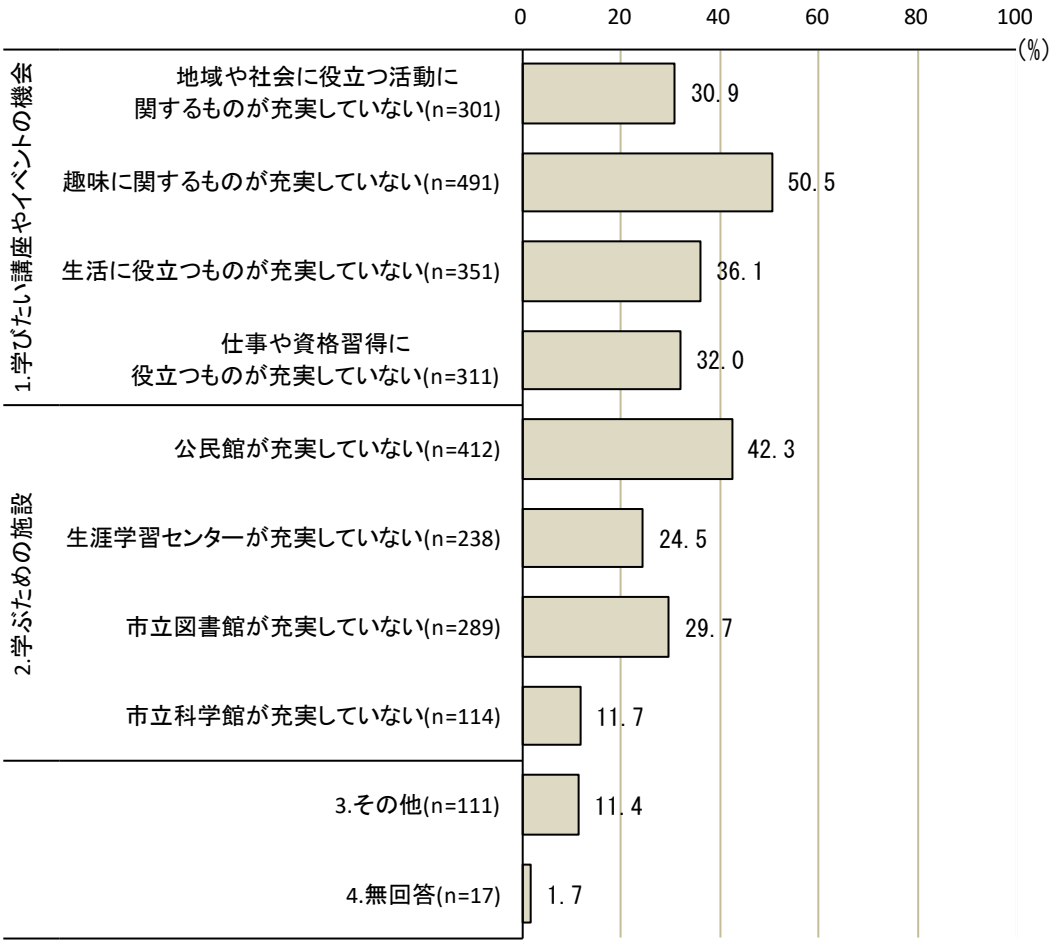
問１１－２
【問１１で「３　どちらかと言えばそう感じない」、「４　そう感じない」とお答えの方に】
その理由をすべてお選びください。（いくつでも○）

1）グループ別の回答状況



市内に、地域で市民が学べる環境があると感じない理由としては、「学びたい講座やイベントの機会」（80.2%）の比率が最も高く、次に「学ぶための施設」（70.0%）となっている。

2) 個別の回答状況



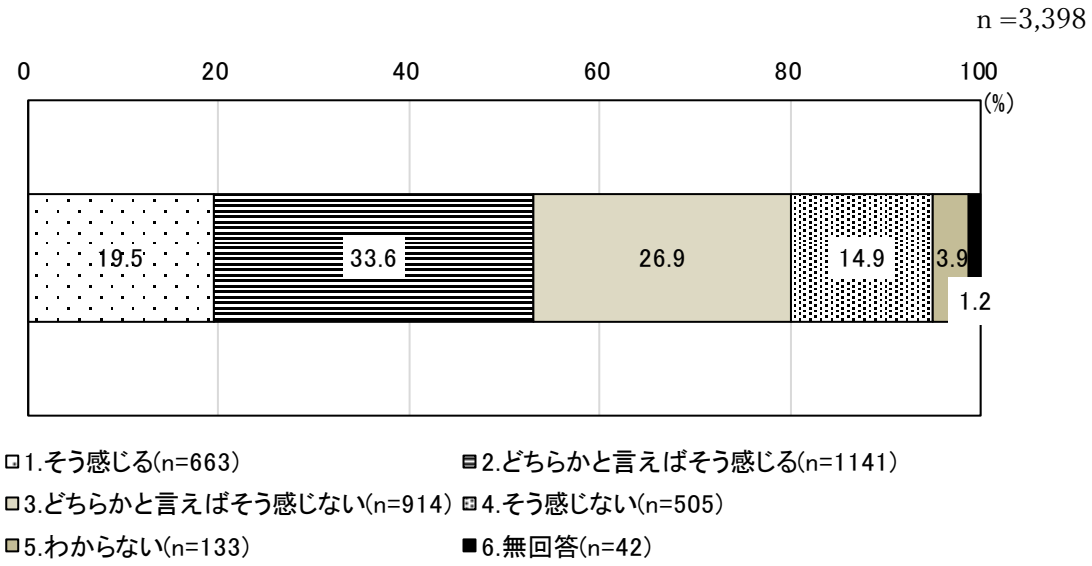
市内に地域で市民が学べる環境があると感じない理由としては、「趣味に関するものが充実していない」（50.5%）の比率が最も高く、次に「公民館が充実していない」（42.3%）、「生活に役立つものが充実していない」（36.1%）となっている。

（１２）公共交通の利便性について

千葉市では、誰もが安全・快適に移動できる環境を整えるため、公共交通の維持・確保などに取り組んでいます。

問１２　あなたは、市内の公共交通が便利だと感じますか。（一つだけ○）

全体の回答状況



市内の公共交通が便利だと感じるかについては、「どちらかと言えばそう感じる」（33.6%）の比率が最も高く、「そう感じる」（19.5%）と合せた「肯定的回答（計）」は、53.1%だった。

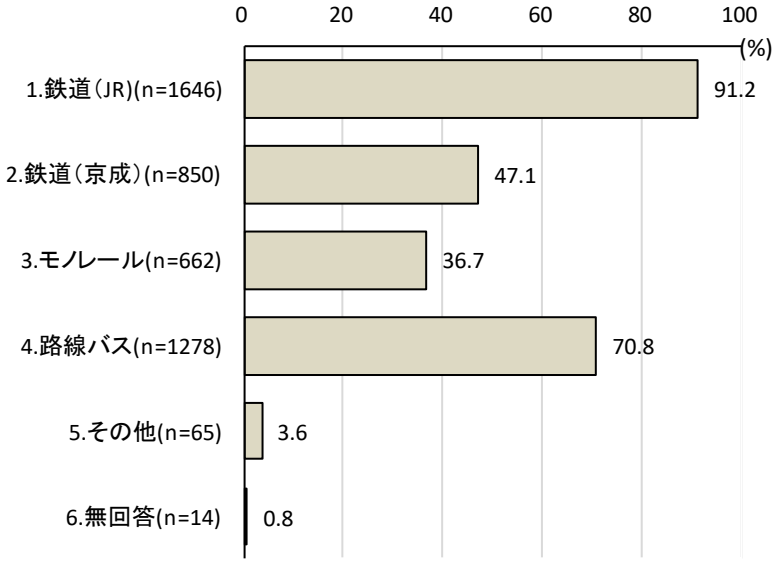
一方、「どちらかと言えばそう感じない」（26.9%）と「そう感じない」（14.9%）を合わせた「否定的回答（計）」は、41.8%であった。

なお、「わからない」の比率は、3.9%であった。

千葉市内の公共交通が便利だと感じる理由

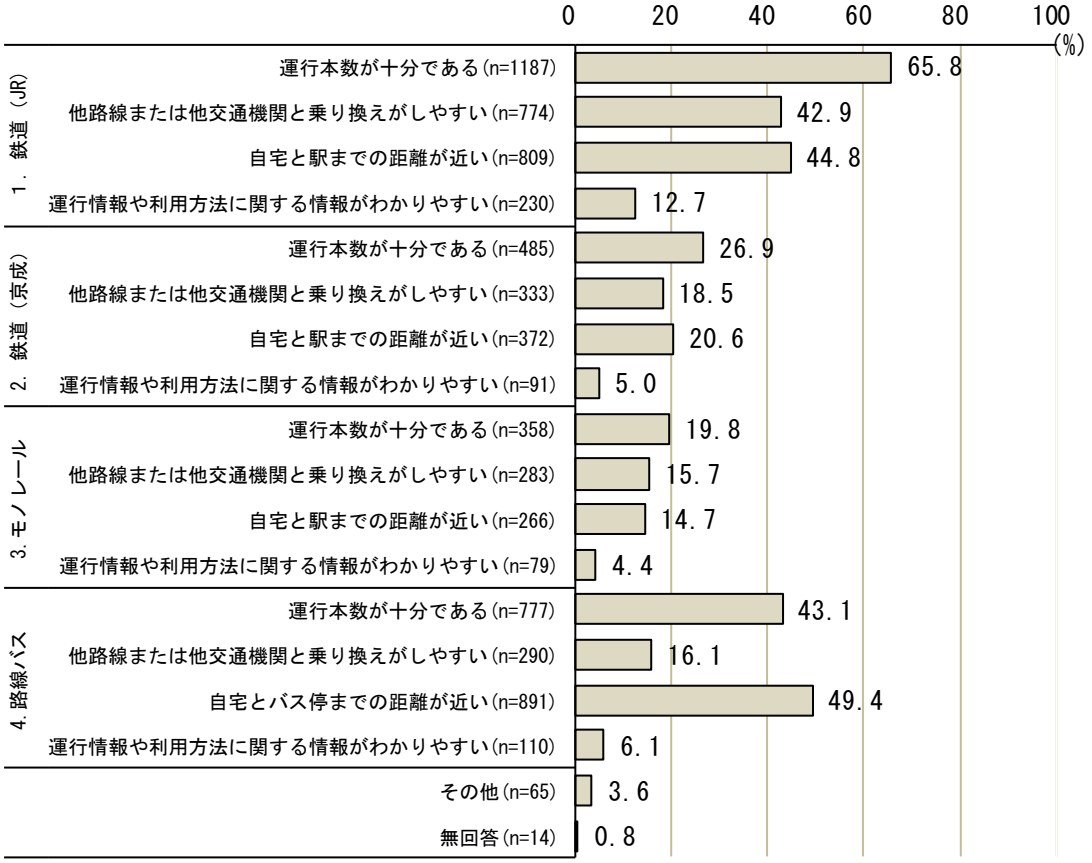
問１２－１
　　【問１２で「１　そう感じる」、「２　どちらかと言えばそう感じる」とお答えの方に】
その理由をすべてお選びください。（いくつでも○）

1）グループ別の回答状況



市内の公共交通が便利だと感じる理由としては、「鉄道（ＪＲ）」（91.2%）の比率が最も高く、次に「路線バス」（70.8%）、「鉄道（京成）」（47.1%）、「モノレール」（36.7%）となっている。

2) 個別の回答状況

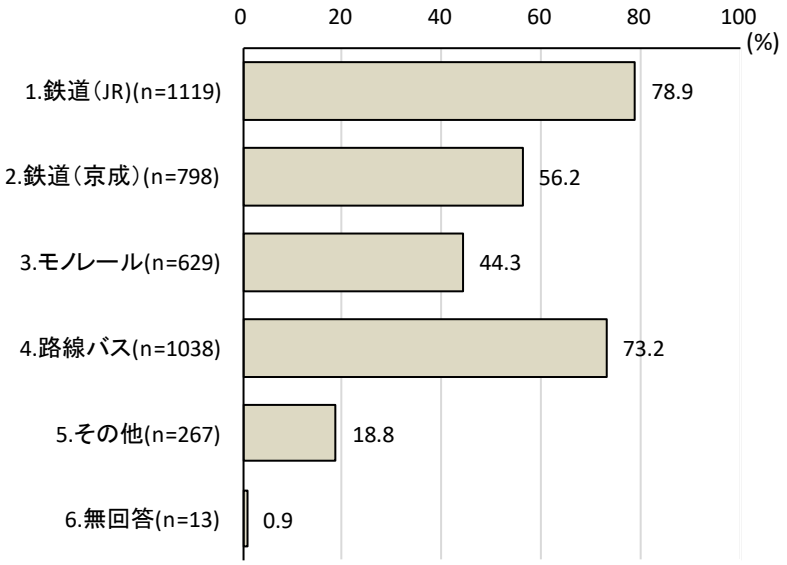


市内の公共交通が便利だと感じる理由としては、「（鉄道：ＪＲの）運行本数が十分である」（65.8%）の比率が最も高く、次に「（路線バスの）自宅とバス停までの距離が近い」（49.4%）、「（鉄道：ＪＲの）自宅と駅までの距離が近い」（44.8%）、「（路線バスの）運行本数が十分である」（43.1%）、「（鉄道：ＪＲの）他路線または他交通機関と乗り換えがしやすい」（42.9%）となっている。

千葉市内の公共交通が便利だと感じない理由

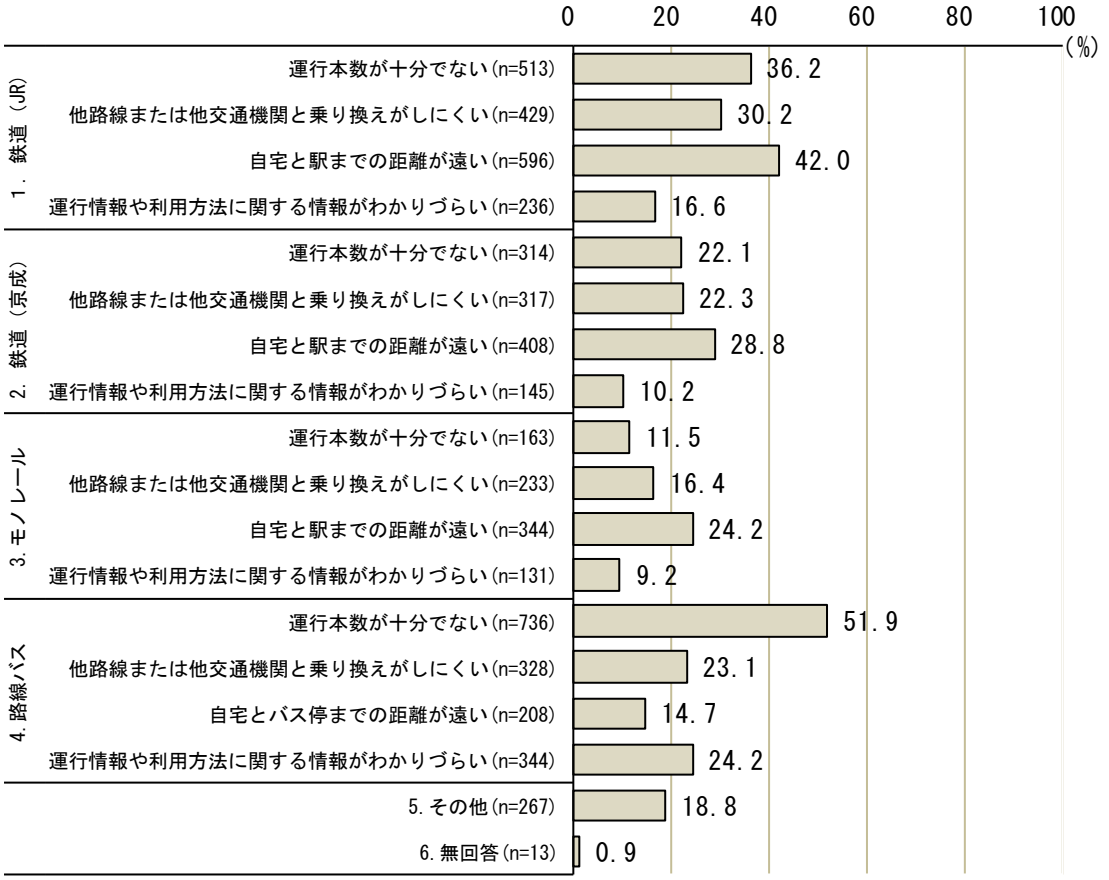
問１２－２
【問１２で「３　どちらかと言えばそう感じない」、「４　そう感じない」とお答えの方に】
その理由をすべてお選びください。（いくつでも○）

1）グループ別の回答状況



市内の公共交通が便利だと感じない理由としては、「鉄道（ＪＲ）」（78.9%）の比率が最も高く、次に「路線バス」（73.2%）、「鉄道（京成）」（56.2%）、「モノレール」（44.3%）となっている。

2) 個別の回答状況



市内の公共交通が便利だと感じない理由としては、「（路線バスの）運行本数が十分ではない」（51.9%）の比率が最も高く、次に「（鉄道：ＪＲの）自宅と駅までの距離が遠い」（42.0%）、「（鉄道：ＪＲの）運行本数が十分でない」（36.2%）、「（鉄道：ＪＲの）他路線または他交通機関と乗り換えがしにくい」（30.2%）となっている。

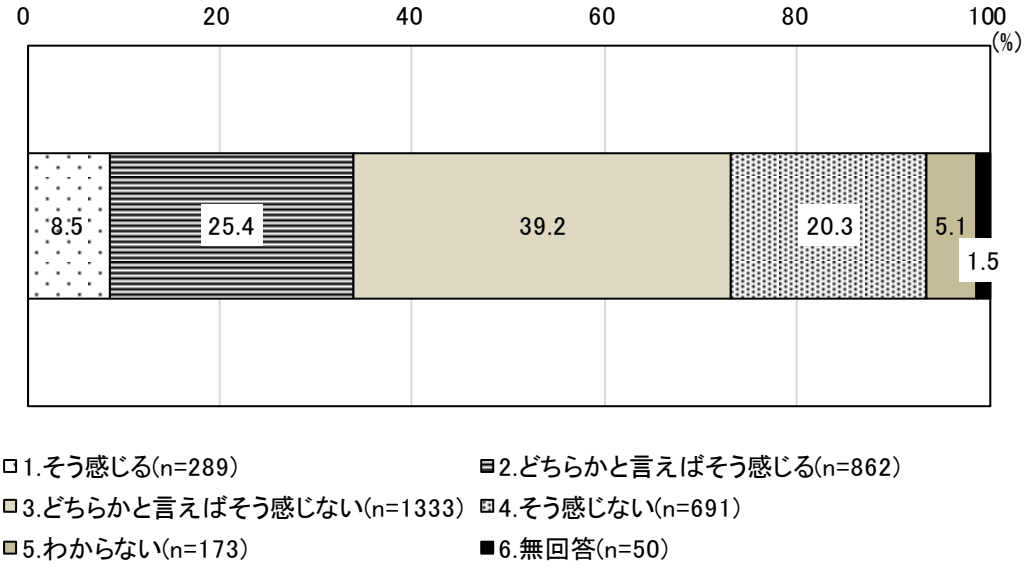
（１３）道路の移動のしやすさについて

千葉市では、誰もが安全・快適に移動できる環境を整えるため、歩道・道路・自転車走行空間の整備や維持・管理などを推進しています。

問１３　あなたは、市内の道路は移動しやすいと感じますか。（一つだけ○）

全体の回答状況

n =3,398



市内の道路は移動しやすいと感じるかについては、「どちらかと言えばそう感じ（25.4%）と「そう感じる」（8.5%）を合せた「肯定的回答（計）」は、33.9%だった。

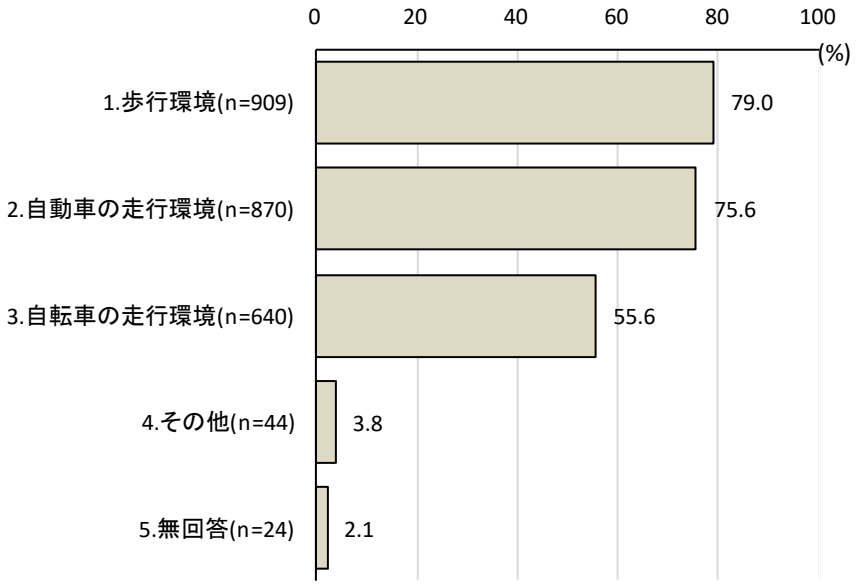
一方、「どちらかと言えばそう感じない」（39.2%）の比率が最も高く、「そう感じない」（20.3%）と合わせた「否定的回答（計）」は、59.5%であった。

なお、「わからない」の比率は、5.1%であった。

千葉市内の道路は移動しやすいと感じる理由

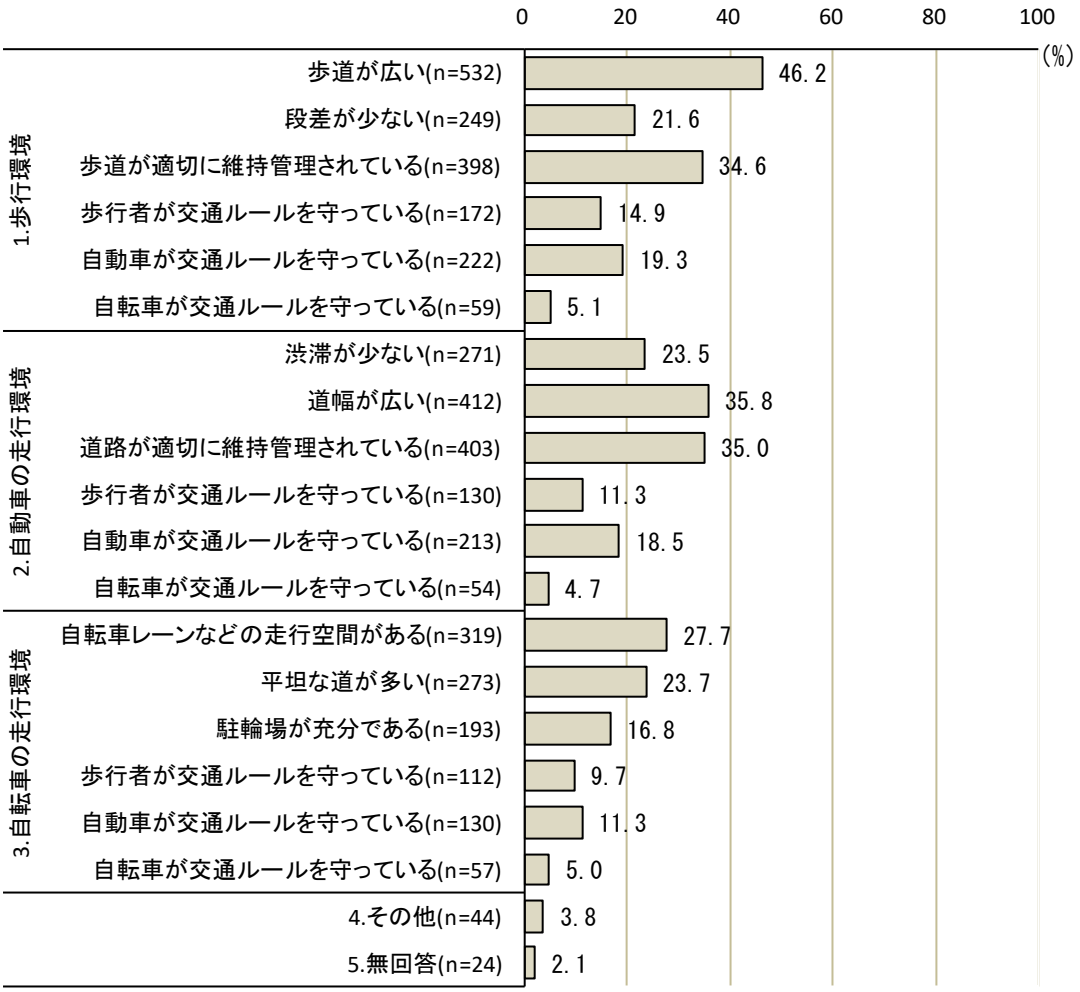
問１３－１
　　【問１３で「１　そう感じる」、「２　どちらかと言えばそう感じる」とお答えの方に】
その理由をすべてお選びください。（いくつでも○）

1）グループ別の回答状況



市内の道路は移動しやすいと感じる理由としては、「歩行環境」（79.0%）の比率が最も高く、次に「自動車の走行環境」（75.6%）、「自転車の走行環境」（55.6%）となっている。

2）個別の回答状況

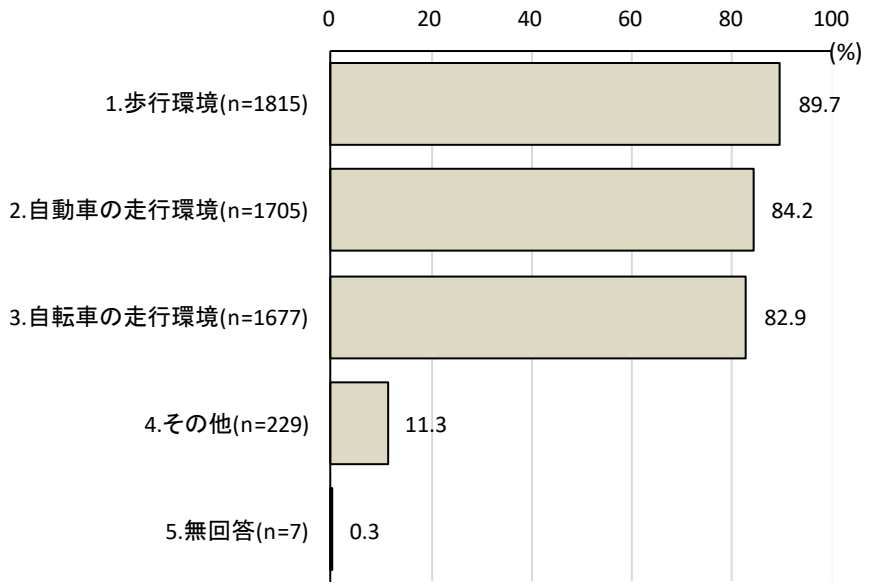


市内の道路は移動しやすいと感じる理由としては、「（歩行環境）歩道が広い」（46.2%）の比率が最も高く、次に「（自動車の走行環境）道幅が広い」（35.8%）、「（自動車の走行環境）道路が適切に維持管理されている」（35.0%）、「（歩行環境）歩道が適切に維持管理されている」（34.6%）となっている。

千葉市内の道路は移動しやすいと感じない理由

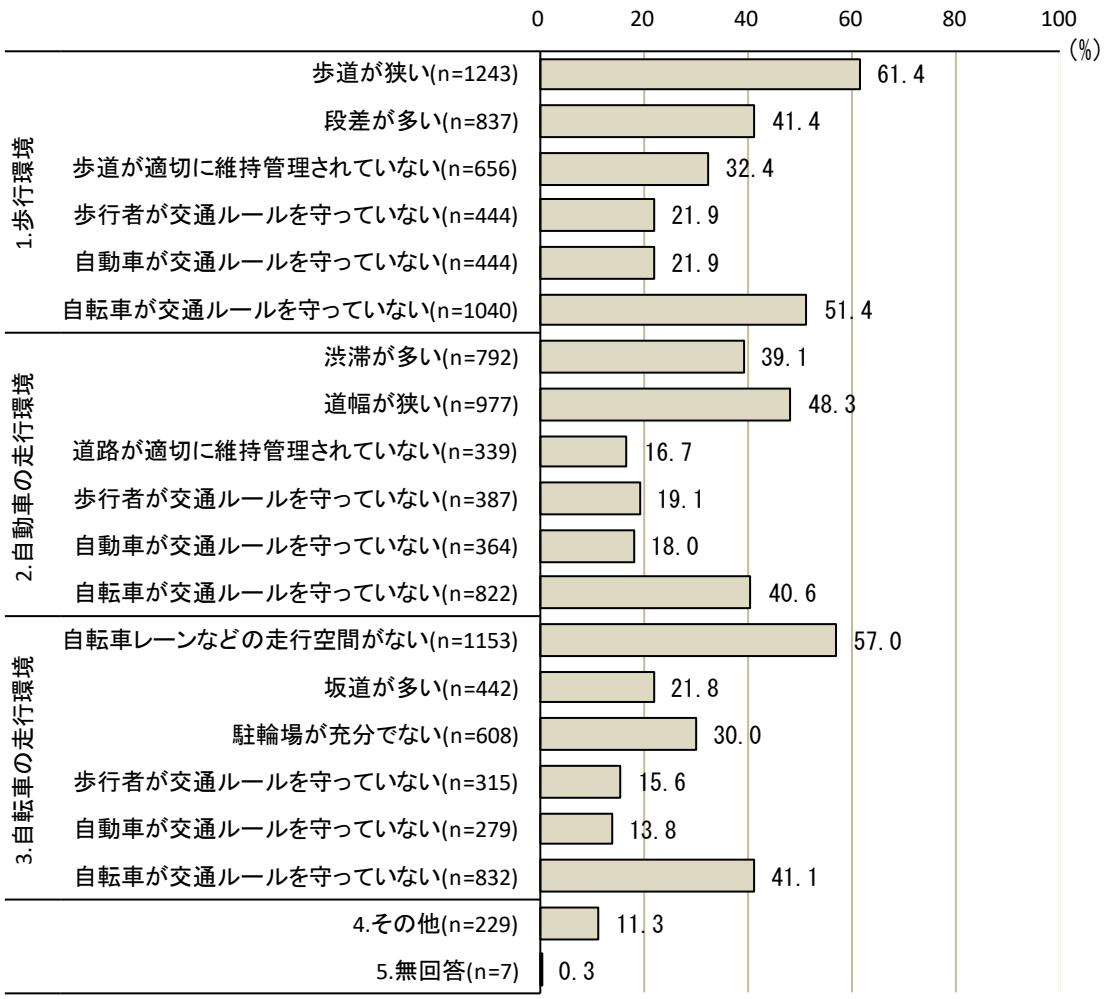
問１３－２
【問１３で「３　どちらかと言えばそう感じない」、「４　そう感じない」とお答えの方に】
その理由をすべてお選びください。（いくつでも○）

1）グループ別の回答状況



市内の道路は移動しやすいと感じない理由としては、「歩行環境」（89.7%）の比率が最も高く、次に「自動車の走行環境」（84.2%）、「自転車の走行環境」（82.9%）となっている。

2) 個別の回答状況



市内の道路は移動しやすいと感じない理由としては、「（歩行環境）歩道が狭い」（61.4%）の比率が最も高く、次に「自転車レーンなどの走行空間がない」（57.0%）、「（歩行環境）自転車が交通ルールを守っていない」（51.4%）、「（自動車の走行環境）道幅が狭い」（48.3%）、となっている。

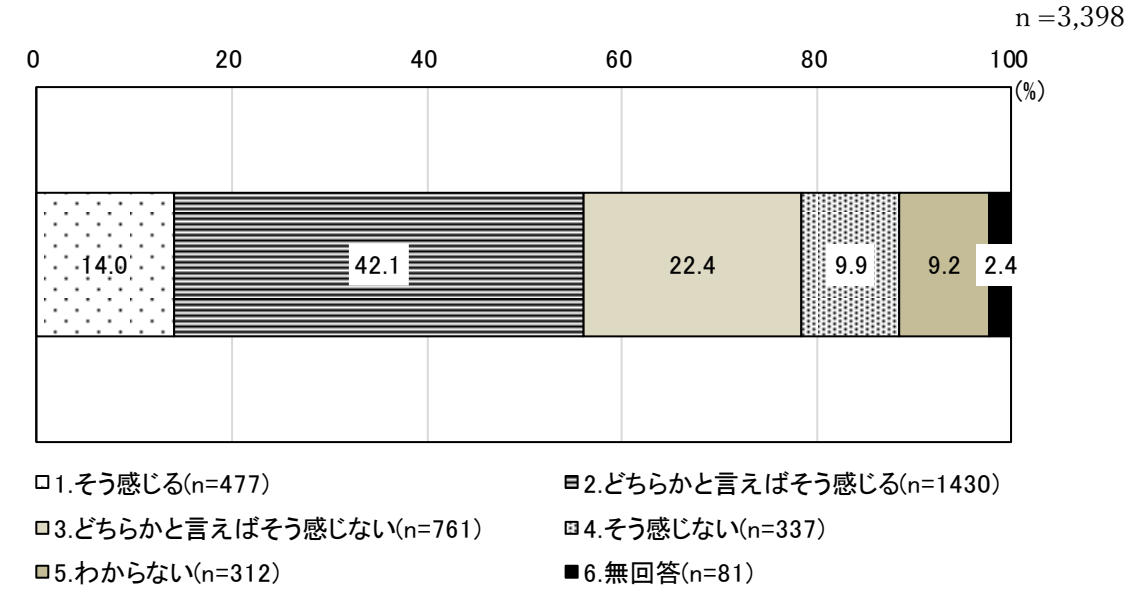
なお、交通ルールに関する選択肢については、「自転車が交通ルールを守っていない」が、「歩行環境」（51.4%）、「自動車の走行環境」（40.6%）、「自転車の走行環境」（41.1%）で、ともに、最も比率が高かった。

（１４）まちの魅力について

千葉市では、人が集まり、にぎわいがあるまちをつくるために、千葉・幕張・蘇我エリアの魅力向上や、地域経済の活性化などを推進しています。

問１４　あなたは、市内に魅力的なまちがあると感じますか。（一つだけ○）

全体の回答状況



市内に魅力的なまちがあると感じるかについては、「どちらかと言えばそう感じる」（42.1%）の比率が最も高く、「そう感じる」（14.0%）と合せた「肯定的回答（計）」は、56.1%だった。

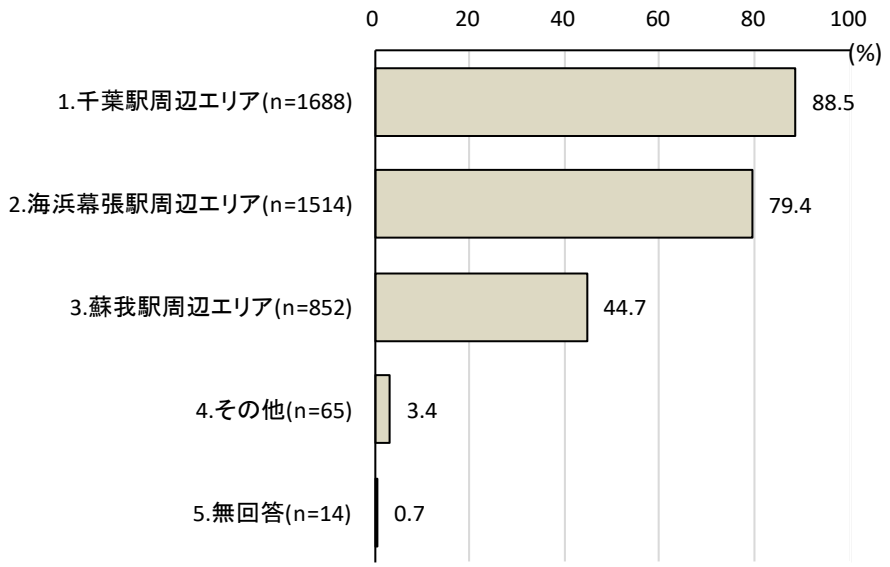
一方、「どちらかと言えばそう感じない」（22.4%）と、「そう感じない」（9.9%）を合わせた「否定的回答（計）」は、32.3%であった。

なお、「わからない」の比率は、9.2%であった。

千葉市内に魅力的なまちがあると感じる理由

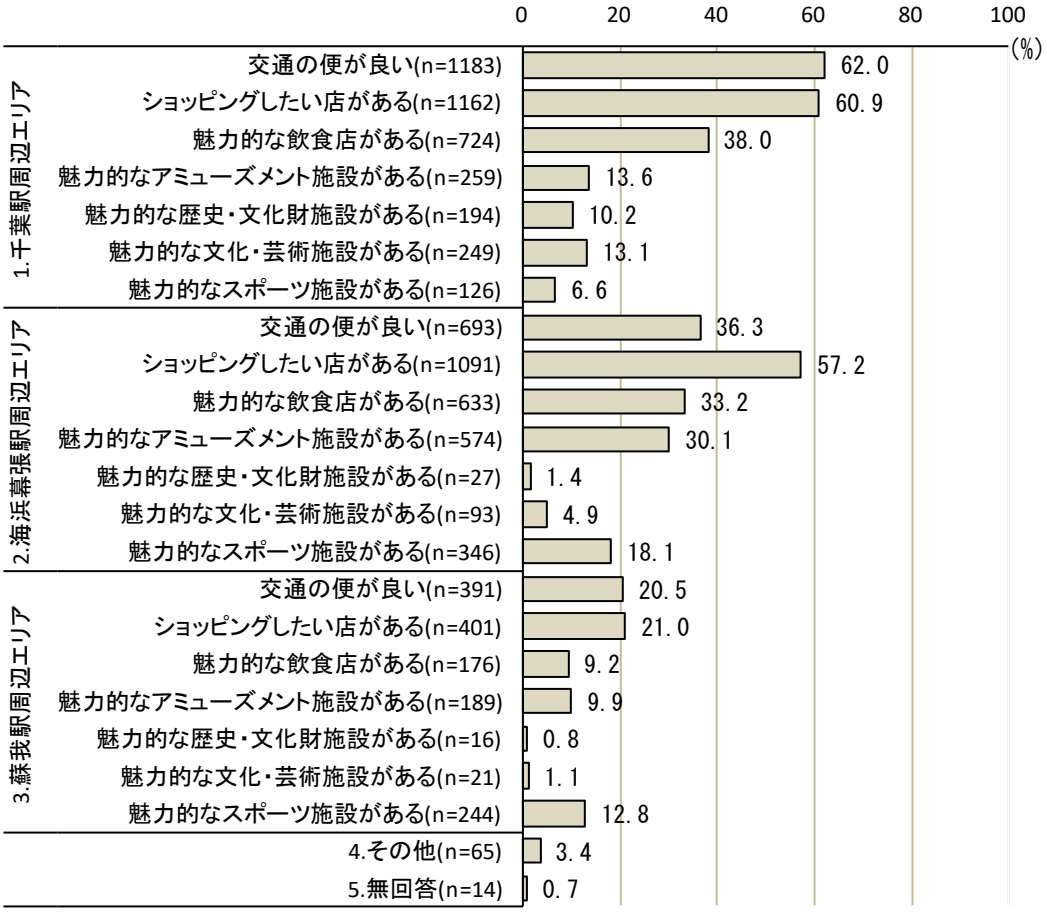
問１４－１
　　【問１４で「１　そう感じる」、「２　どちらかと言えばそう感じる」とお答えの方に】
その理由をすべてお選びください。（いくつでも○）

1）グループ別の回答状況



市内に魅力的なまちがあると感じる理由としては、「千葉駅周辺エリア」（88.5%）の比率が最も高く、次に「海浜幕張駅周辺エリア」（79.4%）、「蘇我駅周辺エリア」（44.7%）となっている。

2) 個別の回答状況

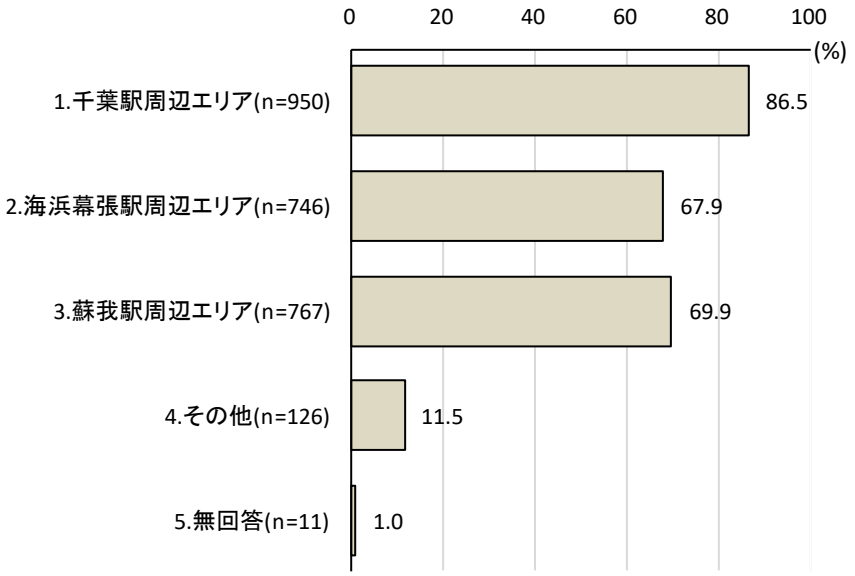


市内に魅力的なまちがあると感じる理由としては、「（千葉駅周辺エリア）交通の便が良い」（62.0%）の比率が最も高く、次に「（千葉駅周辺エリア）ショッピングしたい店がある」（60.9%）、「（海浜幕張駅周辺エリア）ショッピングしたい店がある」（57.2%）、となっている。

千葉市内に魅力的なまちがあると感じない理由

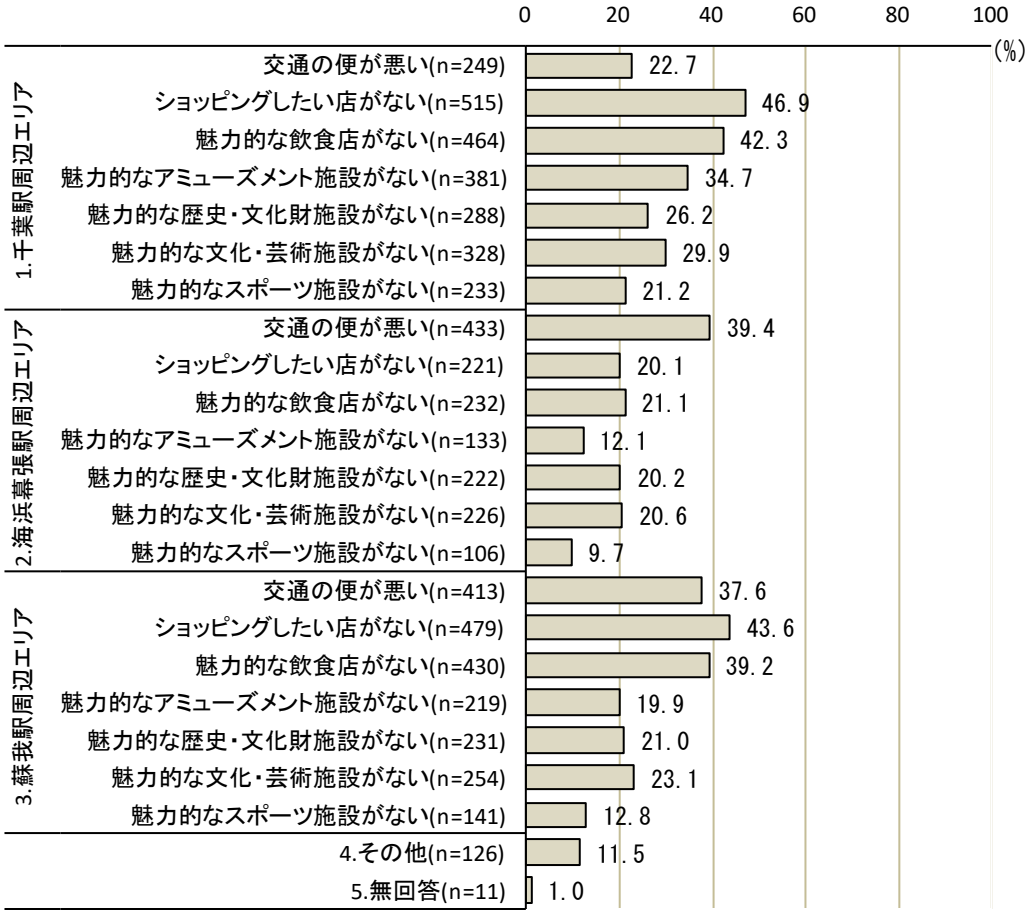
問１４－２
【問１４で「３　どちらかと言えばそう感じない」、「４　そう感じない」とお答えの方に】
その理由をすべてお選びください。（いくつでも○）

1）グループ別の回答状況



市内に魅力的なまちがあると感じない理由としては、「千葉駅周辺エリア」（86.5%）の比率が最も高く、次に「蘇我駅周辺エリア」（69.9%）、「海浜幕張駅周辺エリア」（67.9%）となっている。

2) 個別の回答状況

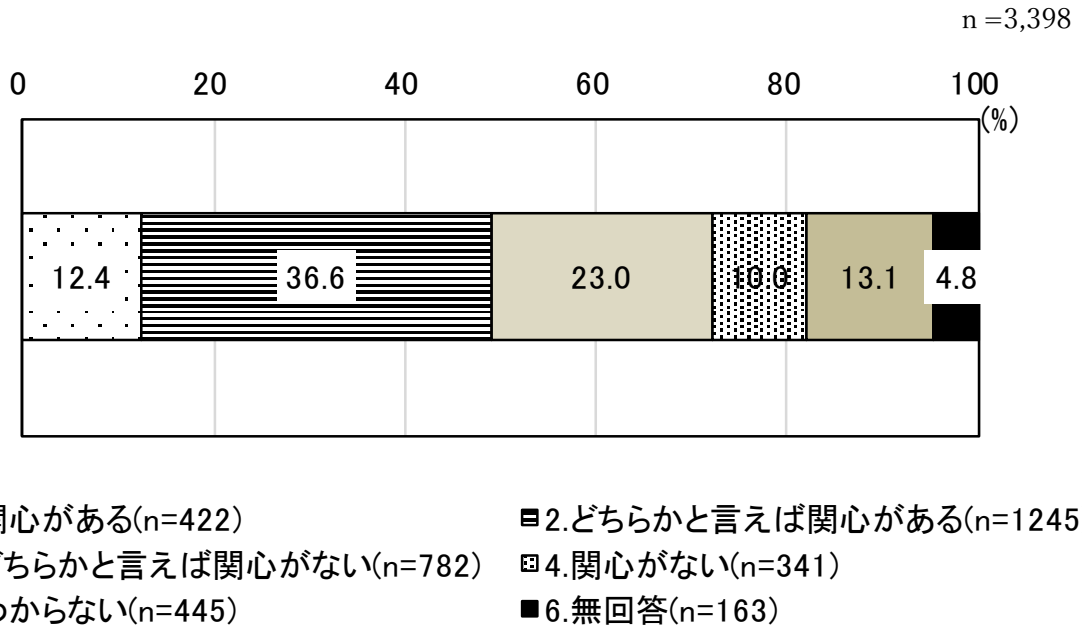


市内に魅力的なまちがあると感じない理由としては、「（千葉駅周辺エリア）ショッピングしたい店がない」（46.9%）の比率が最も高く、次に、「（蘇我駅周辺エリア）ショッピングしたい店がない」（43.6.%）、「（千葉駅周辺エリア）魅力的な飲食店がない」（42.3%）となっている。

２　行動実感について

（１５）地域や社会に役立つ活動について

問１５－１　あなたは、地域や社会に役立つ活動をすることに関心がありますか。（一つだけ○）



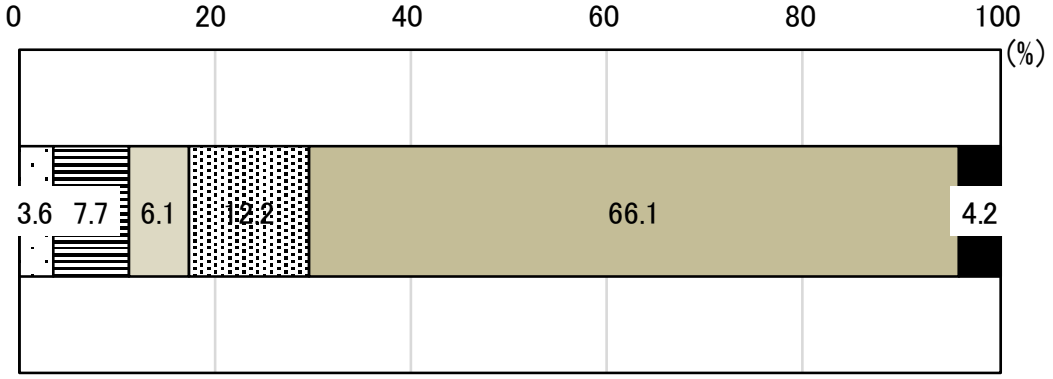
地域や社会に役立つ活動をすることに関心があるかについては、「どちらかと言えば関心がある」（36.6%）の比率が最も高く、「関心がある」（12.4%）と合せた「肯定的回答（計）」は、49.0%だった。

一方、「どちらかと言えば関心がない」（23.0%）と、「関心がない」（10.0%）を合わせた「否定的回答（計）」は、33.0%であった。

なお、「わからない」の比率は、13.1%であった。

問１５－２　あなたは、この１年間に地域や社会に役立つ活動に参加したことがありますか。
（一つだけ○）

n =3,398



□1.週1回以上参加した(n=123)　▤2.月1回以上参加した(n=262)
▨3.2～3か月に1回程度参加した(n=207)　▩4.4か月～1年に1回程度参加した(n=416)
▩5.参加しなかった(n=2247)　■6.無回答(n=143)

この１年間に地域や社会に役立つ活動に参加したことがあるかについては、「参加しなかった」（66.1%）の比率が最も高かった。

一方、「参加した（計）」は、29.6%であった。

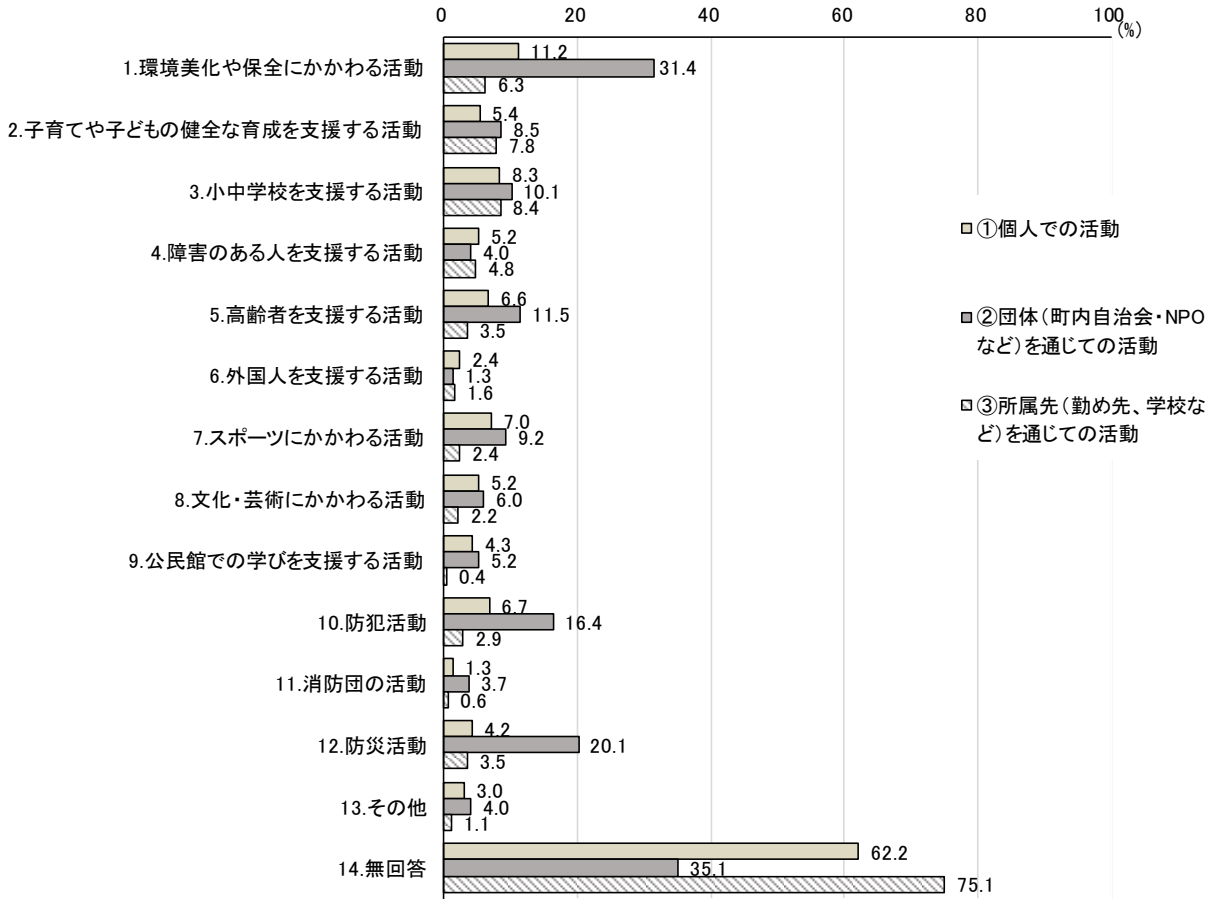
「参加した（計）」の内訳
- ４か月～１年に１回程度参加した（12.2%）
- ２～３か月に１回程度参加した（6.1%）
- 月１回以上参加した（7.7%）
- 週１回以上参加した（3.6%）

なお、「無回答」の比率は、4.2%であった。

問１５－３

【問１５－２で、この１年間に地域や社会に役立つ活動に参加したことがあると回答した方に】どのような活動をしましたか。①個人での活動、②団体（町内自治会・NPO など）を通じての活動、③所属先（勤め先、学校など）を通じての活動、それぞれについてあてはまる欄に○をつけてください。

n =1,008



この１年にどのような地域や社会に役立つ活動に参加したことがあるかについては、

（１）個人での活動の回答状況

- 「無回答」の比率が 62.2%と最も高かった。
- 次に、「環境美化や保全にかかわる活動」（11.2%）、「スポーツにかかわる活動」（7.0%）となっている。
- 一方、「消防団の活動」（1.3%）の比率が最も低くかった。

（２）団体（町内自治会・NPO など）を通じての活動の回答状況

- 「無回答」の比率が 35.1%と最も高かった。
- 次に、「環境美化や保全にかかわる活動」（31.4%）と「防災活動」（20.1%）、「防犯活動」（16.4%）となっている。
- 一方、「外国人を支援する活動」（1.3%）の比率が最も低くかった。

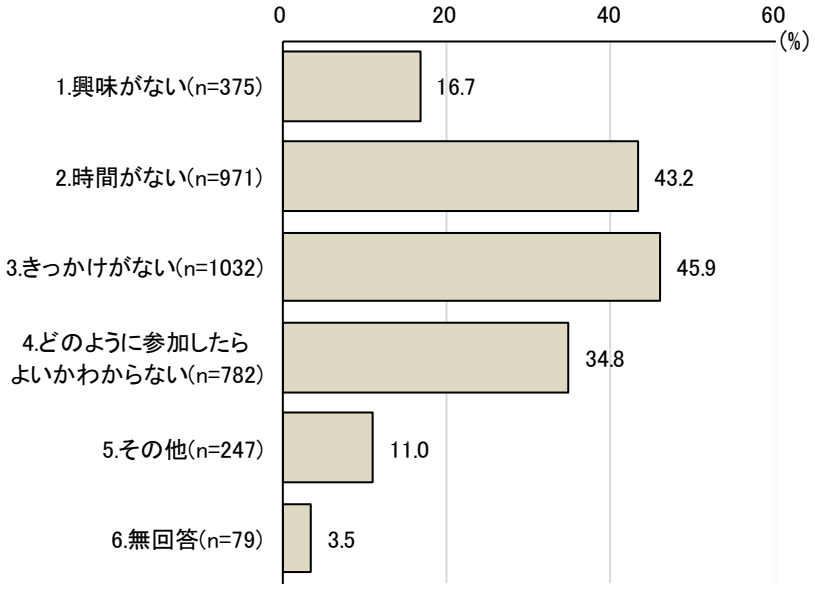
（３）所属先（勤め先、学校など）を通じての活動の回答状況

- 「無回答」の比率が 75.1%と最も高かった。
- 次に、「小中学校を支援する活動」（8.4%）、「子育てや子どもの健全な育成を支援する活動」（7.8%）となっている。
- 一方、「公民館での学びを支援する活動」（0.4%）の比率が最も低かった。

問１５－４

【問１５－２で、この１年間に地域や社会に役立つ活動に参加しなかったと回答した方に】
参加しなかった理由をすべてお選びください。（いくつでも○）

n =2,247



この１年間に地域や社会に役立つ活動に参加しなかった理由については、「きっかけがない」（45.9%）の比率が最も高かった。

次に、「時間がない」（43.2%）、「どのように参加したらよいかわからない」（34.8%）、「興味がない（16.7%）となっている。

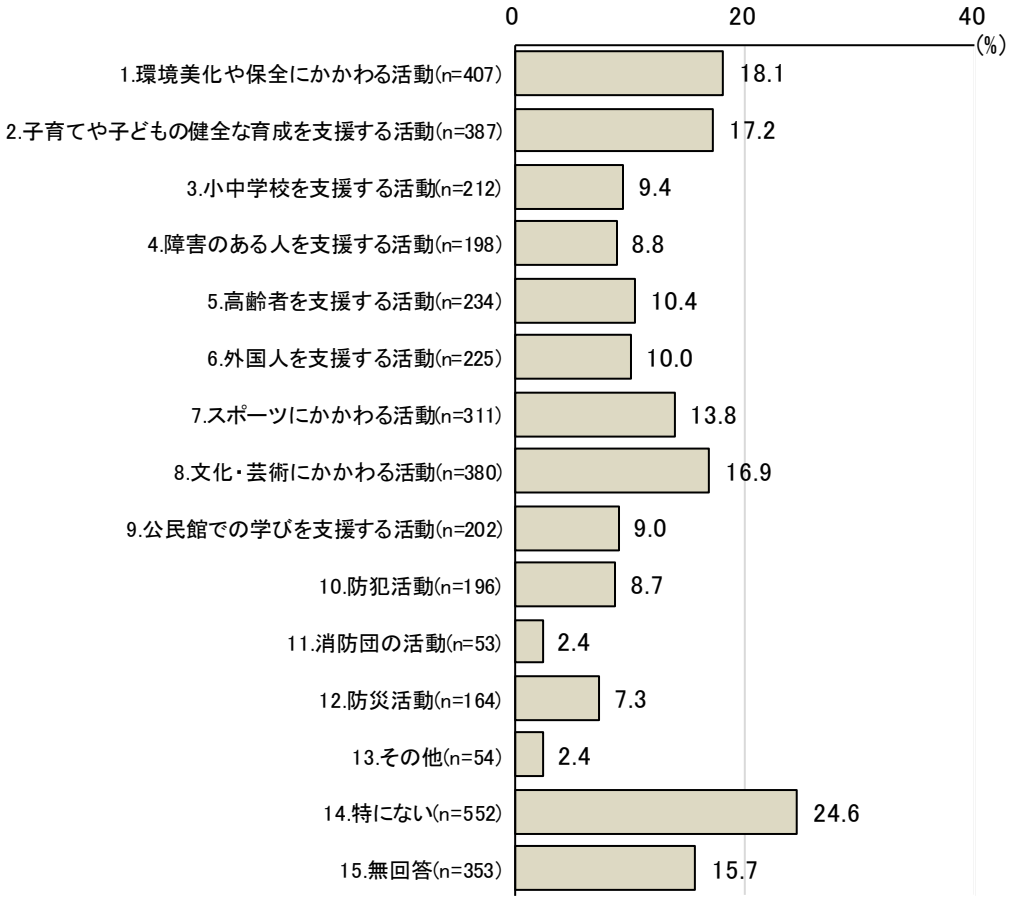
問１５－５

【問１５－２で、この１年間に地域や社会に役立つ活動に参加しなかったと回答した方に】

今後、やってみたい活動は何ですか。あてはまるものをすべてお選びください。

（いくつでも○）

n =2,247



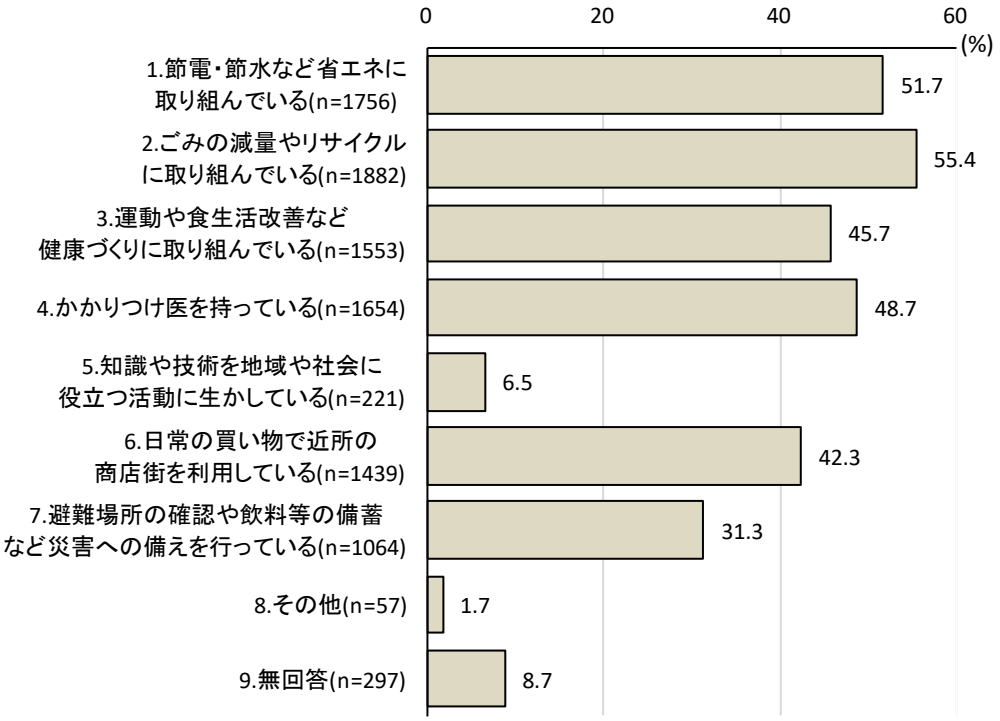
今後、やってみたい地域や社会に役立つ活動については、「特にない」（24.6%）の比率が最も高かった。

次に、「環境美化や保全にかかわる活動」（18.1%）、「子育てや子どもの健全な育成を支援する活動」（17.2%）、「文化・芸術にかかわる活動」（16.9%）となっている。

一方、「消防団の活動」（2.4%）の比率が最も低かった。

（１６）ふだん行っていることなどについて

問１６　この１年間で、あなたが普段行っていることとして、あてはまるものをすべてお選びください。
（いくつでも○）



この１年で、あなたが普段おこなっていることについては、「ごみの減量やリサイクルに取り組んでいる」（55.4%）の比率が最も高かった。

次に、「節電・節水など省エネに取り組んでいる」（51.7%）、「かかりつけ医を持っている」（48.7%）、「運動や食生活改善など健康づくりに取り組んでいる」（45.7.%）となっている。

一方、「知識や技術を地域や社会に役立つ活動に生かしている」（6.5%）の比率が最も低かった。

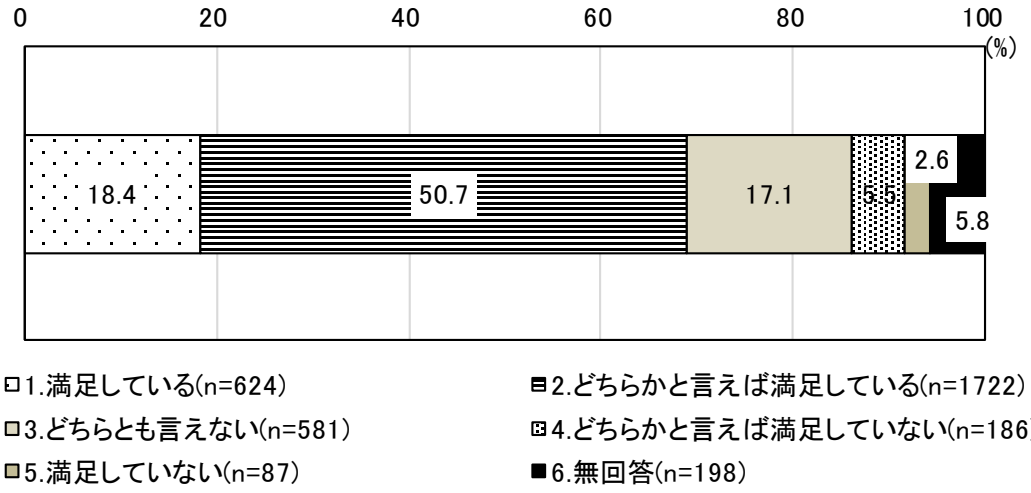
３　千葉市での生活の満足度及び定住意向について

（１７）千葉市での生活の満足度について

問１７　あなたは、千葉市での生活に満足していますか。（一つだけ○）

■回答者全員■

n =3,398



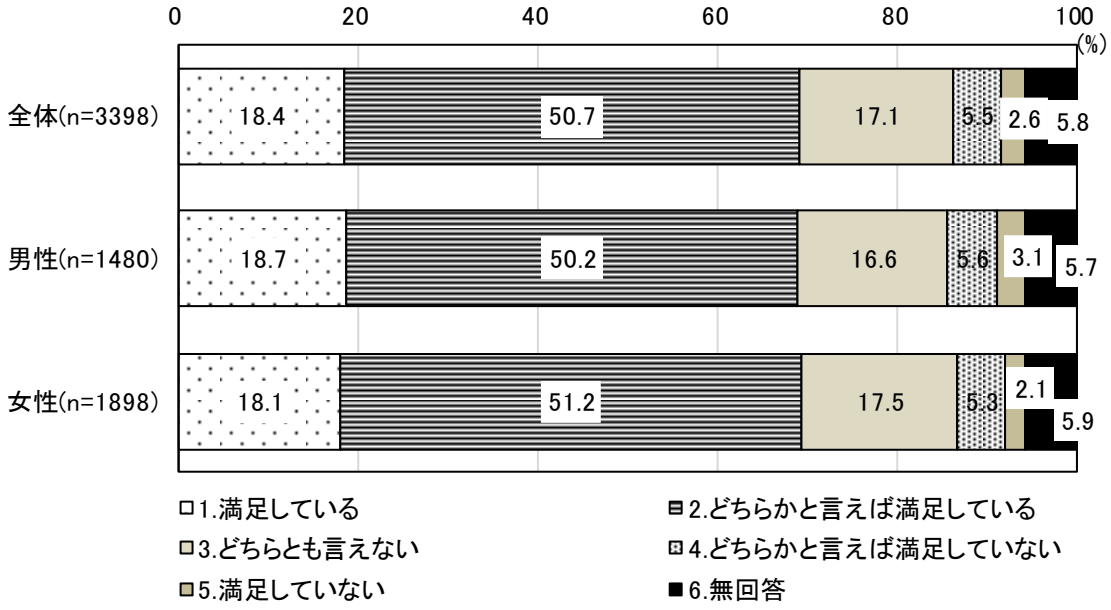
千葉市での生活に満足しているかについては、「どちらかと言えば満足している」（50.7%）の比率が最も高く、「満足している」（18.4%）と合せた「肯定的回答（計）」は、69.1%だった。

一方、「どちらかと言えば満足していない」（5.5%）と「満足していない」（2.6%）を合せた「否定的回答（計）」は、8.1%であった。

なお、「どちらとも言えない」が 17.1%、「無回答」が 5.8%であった。

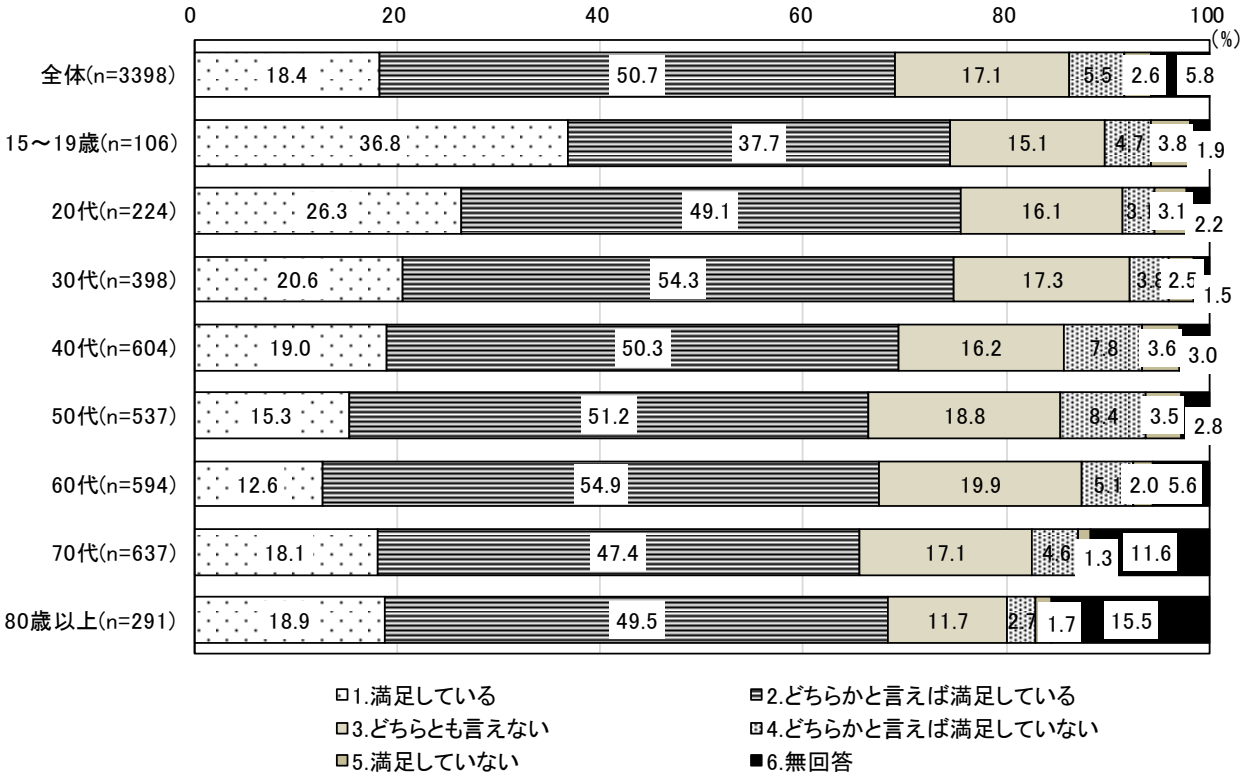
■属性別の回答状況■

【性別】



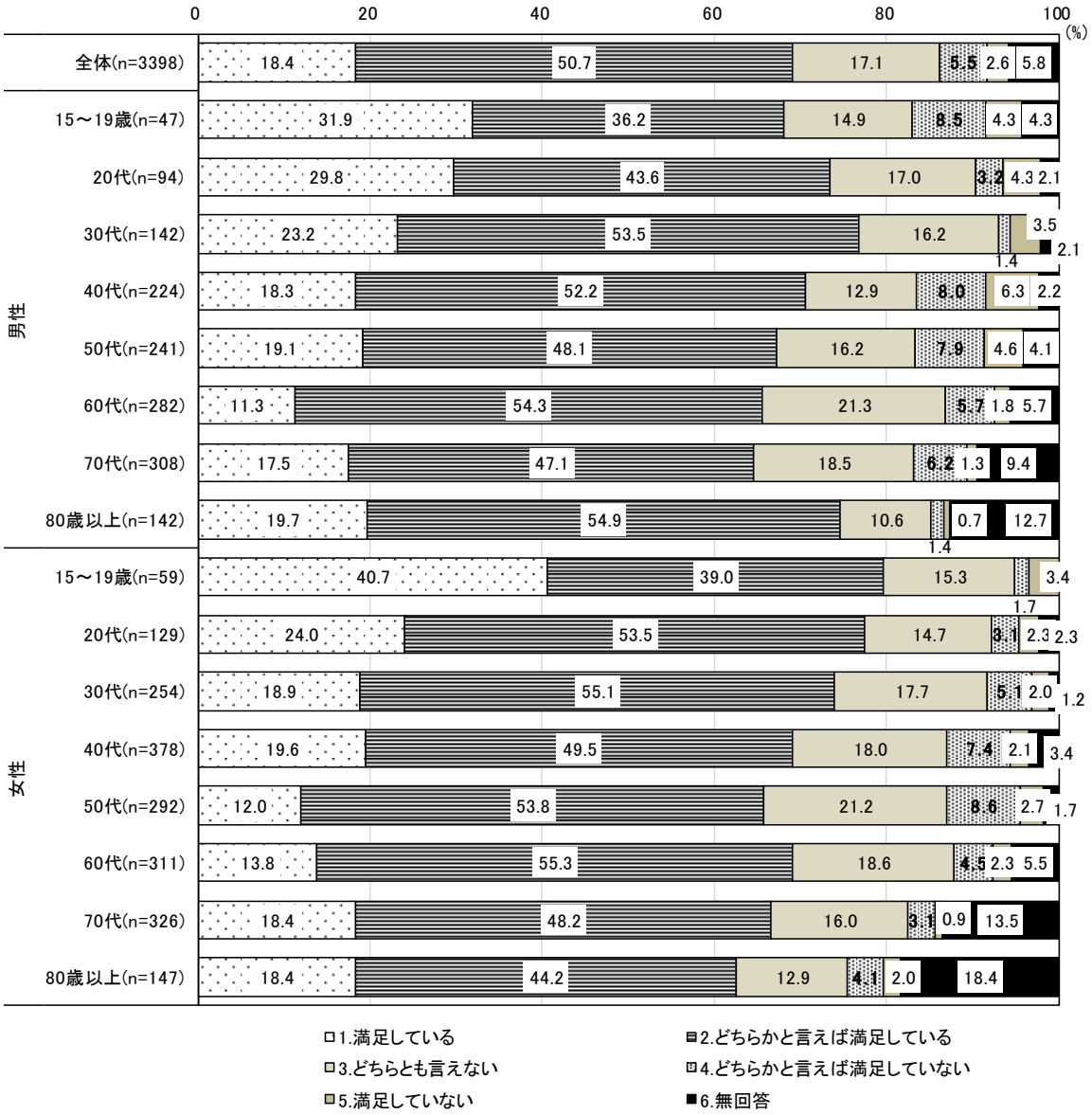
・全体及び男女で回答状況に大きな違いは見られなかった。

【年代別】



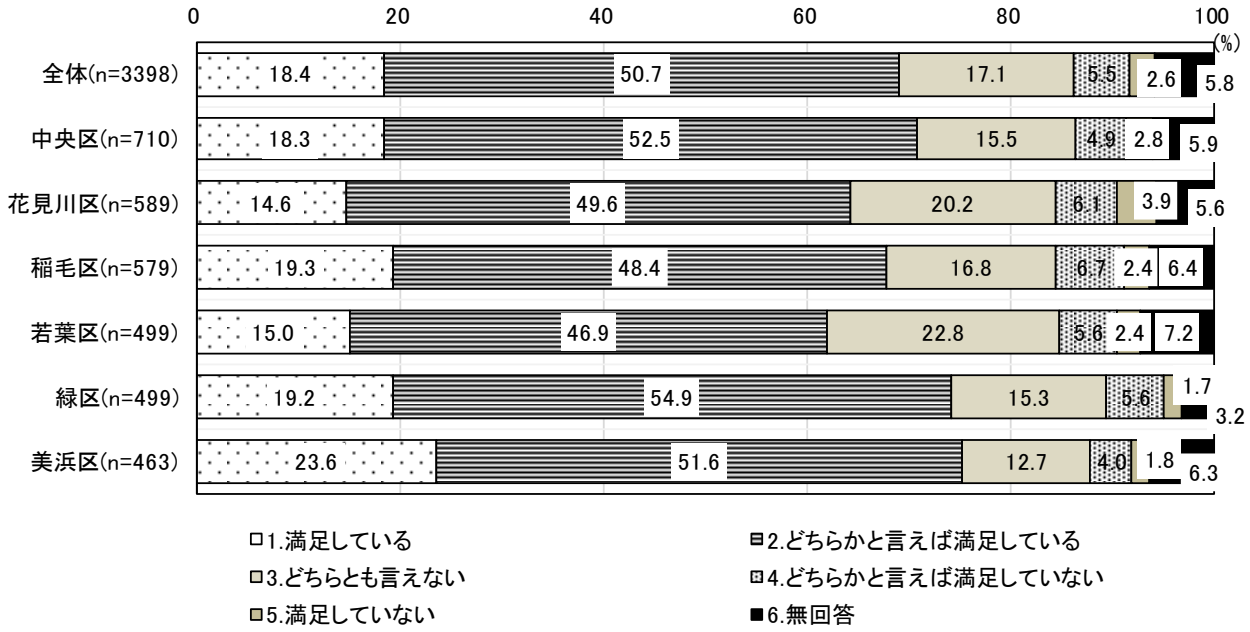
- 「肯定的回答（計）」の比率が最も高かったのは、２０代で、75.4%であった。
- 「肯定的回答（計）」の比率が「全体」（69.1%）よりも高かったのは、１０代から４０代の年代であった。
- 「満足している」の比率が最も高かったのは、10 代（36.8%）であった。
- 一方、「否定的回答（計）」の比率が最も高かったのは、５０代で、11.9%であった。
- 「否定的回答（計）」が「全体」（8.1%）を超えたのは、１０代、４０代及び５０代の年代であった。

【性年代別】



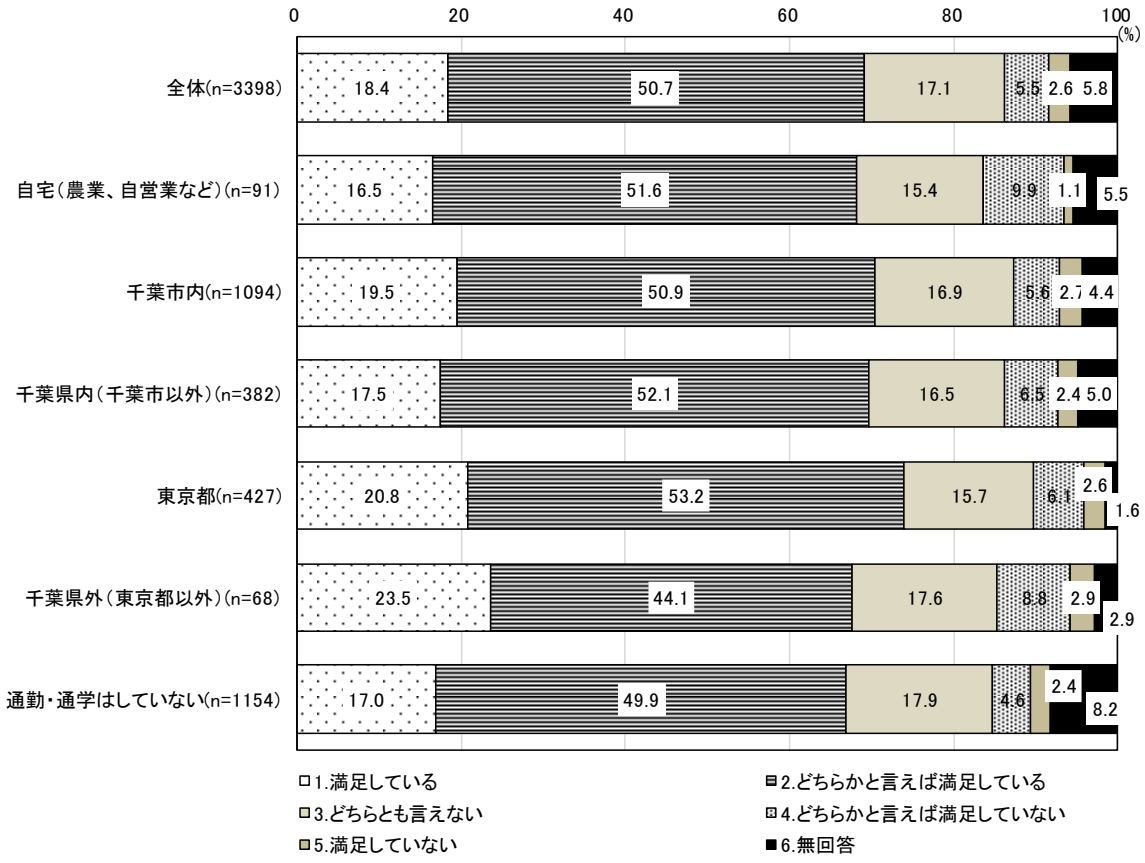
- 「肯定的回答（計）」の比率が最も高かったのは、１０代女性（79.7%）で、次に、２０代女性（77.5%）、３０代男性（76.7%）であった。
- 「肯定的回答（計）」の比率が「全体」（69.1%）よりも高かったのは、男性では、２０代（73.4%）、３０代（76.7%）、４０代（70.5%）であった。一方女性では、１０代（79.7%）、２０代（77.5%）、３０代（74.0%）であった。
- 一方、「否定的回答（計）」の比率が最も高かったのは、４０代男性で 14.3%であった。次に、１０代男性（12.8%）、５０代男性（12.5%）であった。
- 「どちらとも言えない」の比率が最も高かったのは、男性では、６０代（21.3%）で、女性では、５０代（21.2%）であった。

【居住区別】



- 「肯定的回答（計）」の比率が最も高かったのは、美浜区で、75.2%であった。次に、緑区（74.1%）、中央区（70.8%）となっている。
- 一方、「肯定的回答（計）」の比率が最も低かったのは、若葉区で、61.9%であった。
- 「肯定的回答（計）」が「全体」（69.1%）を上回っていたのは、美浜区（75.2%）、緑区（74.1%）、中央区（70.8%）であった。
- 「否定的回答（計）」が最も高かったのは、花見川区で10.0%であった。次に、稲毛区（9.1%）となっている。
- 「どちらとも言えない」の比率が最も高かったのは、若葉区で、22.8%であった。次に、花見川区（20.2%）となっている。

【通勤・通学先別】



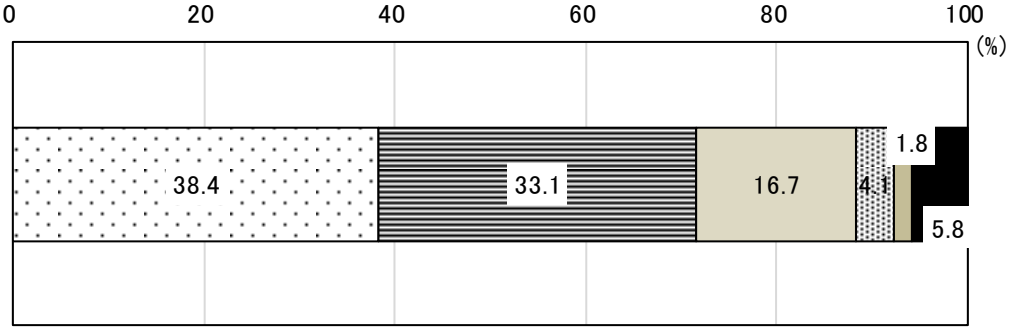
- 「肯定的回答（計）」の比率が最も高かったのは、「東京都」（74.0%）であった。次に「千葉市内」（70.4%）、「千葉県内（千葉市以外）」（69.6%）となっている。
- 「肯定的回答（計）」の比率が「全体」（69.1%）より高かったのは、東京都（74.0%）、千葉市内（70.4%）、千葉県内（千葉市以外）（69.6%）となっている。
- 「肯定的回答（計）」の比率が最も低かったのは、「通勤・通学はしていない」（66.9%）であった。

（１８）今後の定住意向について

問１８-1　あなたは、これからも千葉市に住み続けたいと思いますか。（一つだけ○）

■回答者全員■

n =3,398



□1.住み続けたい(n=1304)　▤2.どちらかと言えば住み続けたい(n=1126)
□3.どちらとも言えない(n=569)　▣4.どちらかと言えば他の地域に転居したい(n=140)
▩5.他の地域に転居したい(n=61)　■6.無回答(n=198)

これからも千葉市に住み続けたいと思うかについては、「住み続けたい」（38.4%）の比率が最も高く、「どちらかと言えば住み続けたい」（33.1%）と合せた「肯定的回答（計）」は、71.5%だった。

一方、「どちらかと言えば転居したい」（4.1%）と「他の地域に転居したい」（1.8%）を合せた「否定的回答（計）」は、5.9%であった。

なお、「どちらとも言えない」が16.7%、「無回答」が5.8%であった。

（参考）「あなたは、これからも千葉市に住み続けたいと思いますか」回答状況推移

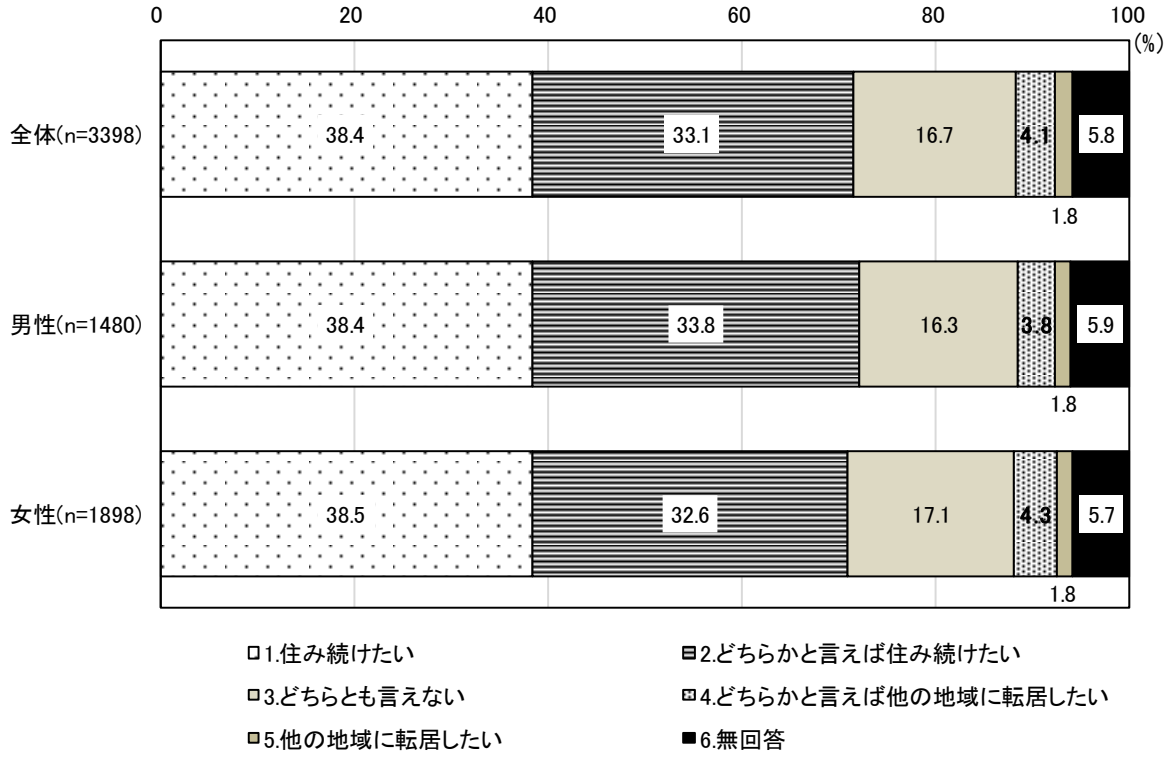
区分	H21	H24	H27	H30
住み続けたい	36.2	51.8	53	38.4
どちらかと言えば住み続けたい	34.5	33.7	34	33.1
どちらとも言えない	19.7	―	―	16.7
どちらかと言えば他の地域に転居したい	3.9	8.2	7.5	4.1
他の地域に転居したい	4.2	2.6	2.3	1.8
無回答	1.5	3.8	3.1	5.8

※H21 について、無回答に「しらない」を含む。

・平成21年に比べ、「住み続けたい」と回答した人の割合は、2.2ポイント増加した。
また、「他の地域に転居したい」と回答した人の割合が、2.4ポイント減少した。

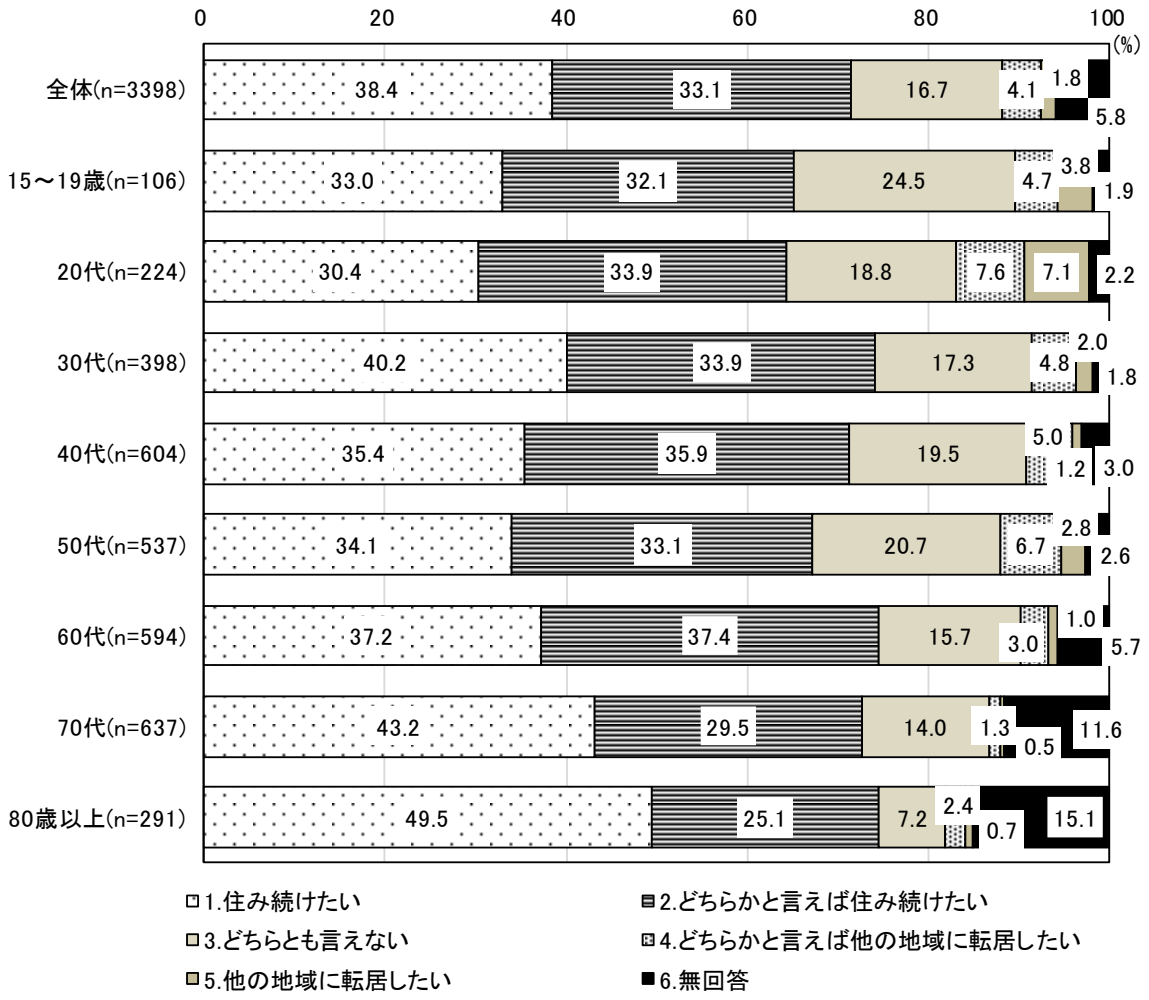
■属性別の回答状況■

【性別】



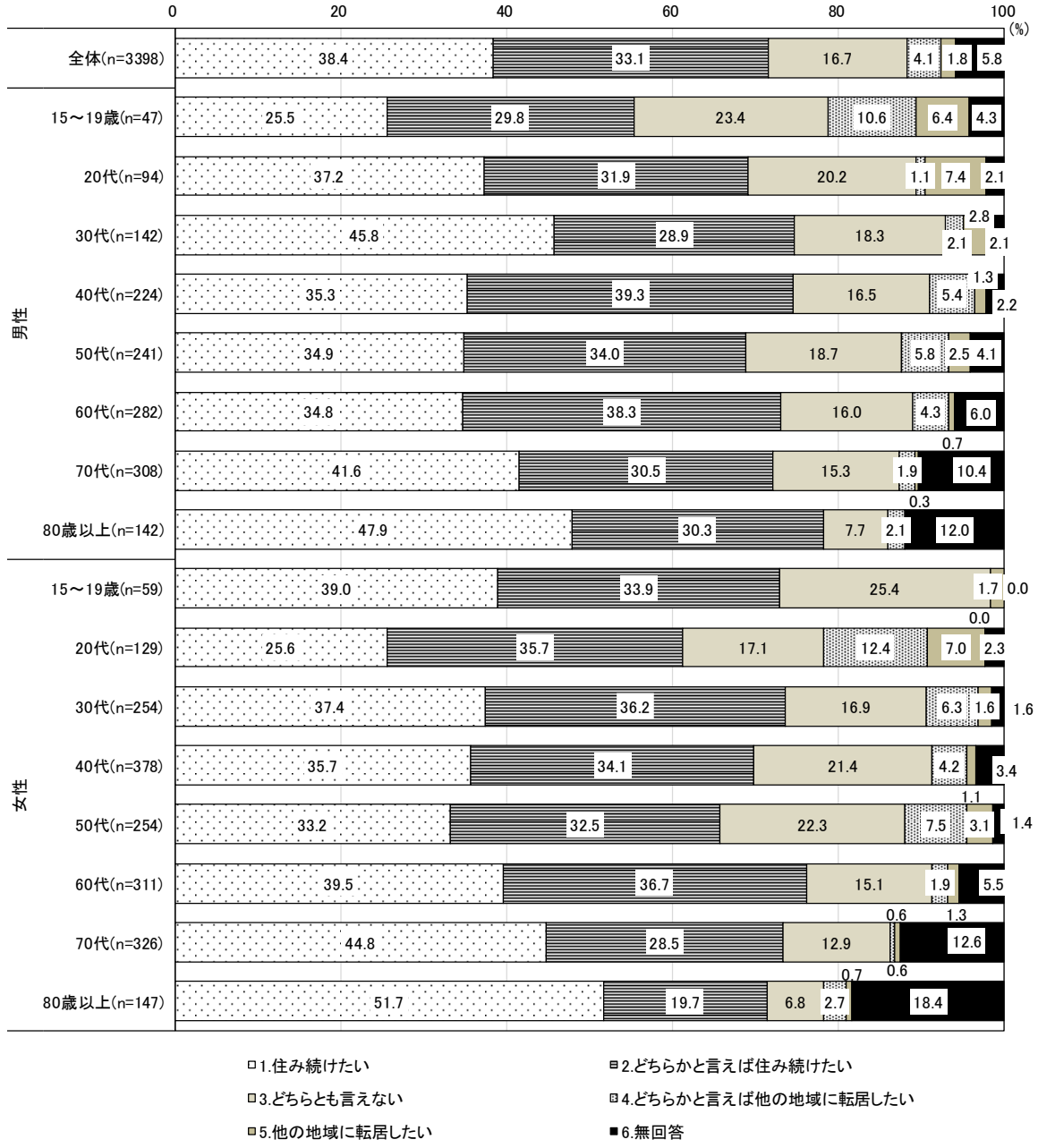
・全体及び男女で回答状況に大きな違いは見られなかった。

【年代別】



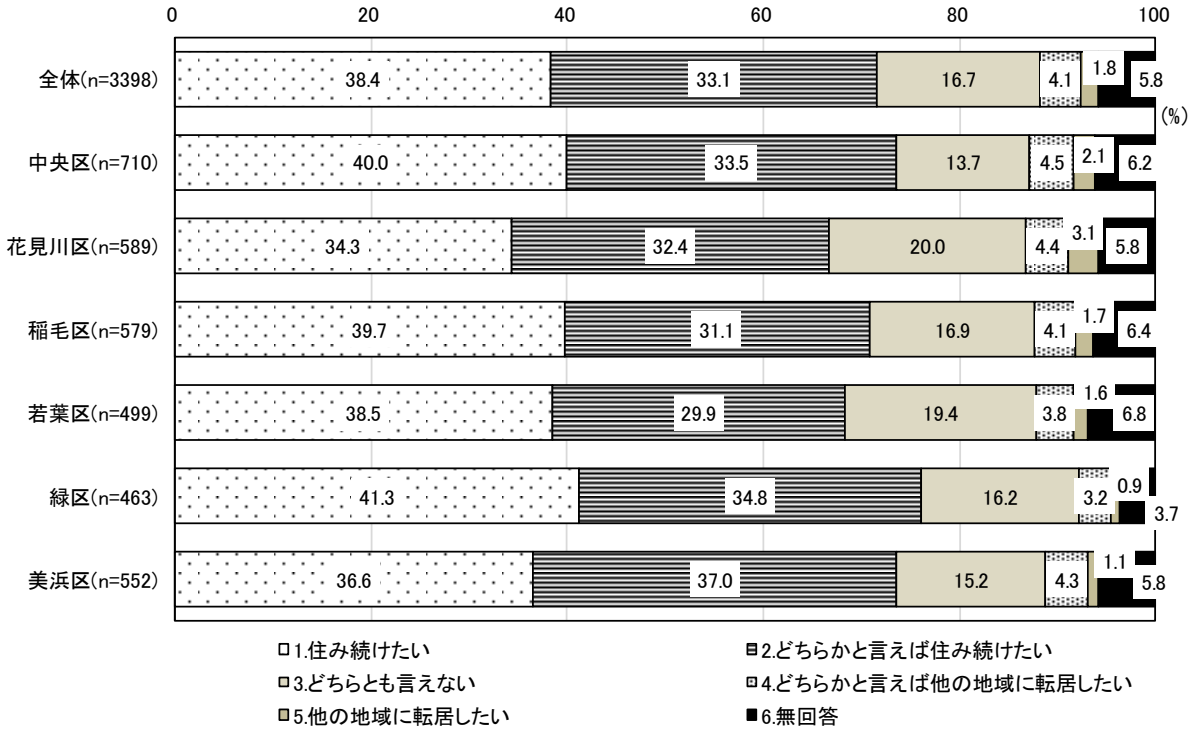
- 「肯定的回答（計）」の比率が最も高かったのは、６０代及び８０歳以上（74.6%）であった。次に、３０代（74.1%）となっている。
- 「肯定的回答（計）」の比率が「全体」（71.5%）より高かったのは、３０代（74.1%）、６０代（74.6%）、７０代（72.7%）、８０歳以上（74.6%）となっている。
- 「肯定的回答（計）」の比率が最も低かったのは、２０代（64.3%）であった。次に、１０代（65.1%）、５０代（67.2%）となっている。
- 「否定的回答（計）」の比率が最も高かったのは、２０代（14.7%）であった。
- 「どちらとも言えない」の比率が最も高かったのは、１０代（24.5%）であった。

【性年代別】



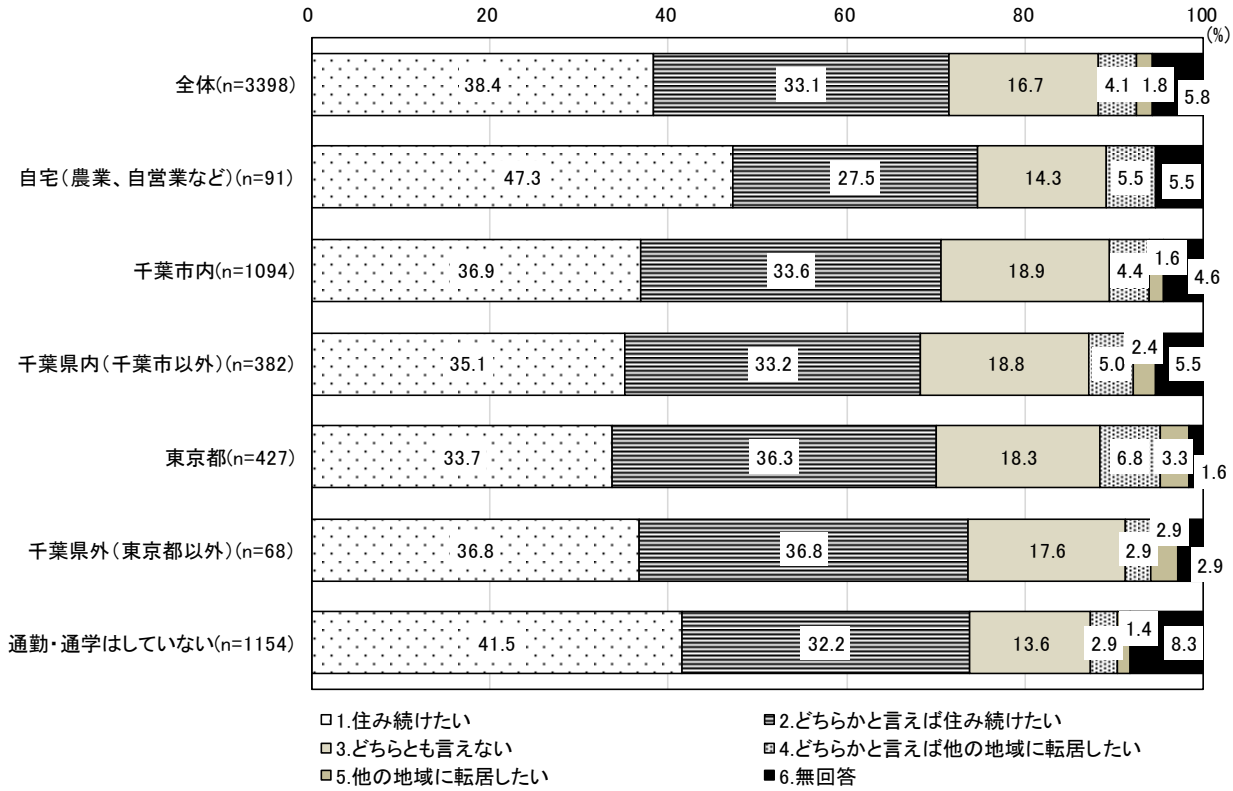
- 「肯定的回答（計）の比率が最も高かったのは、「80 歳以上男性」（78.2%）であった。次に、「60 代女性（76.2%）、30 代男性（74.7%）であった。
- 「肯定的回答（計）の比率が最も低かったのは、「10 代男性」（55.3%）であった。次に「20 代女性」（61.3%）、「50 代女性」（65.7%）であった。
- 「肯定的回答（計）」の比率が「全体」（71.5%）より高かったのは、
  男性：30 代（74.7%）、40 代（74.6%）、60 代（73.1%）、70 代（72.1%）、80 代以上（78.2%）
  女性：10 代（72.9%）、30 代（73.6%）、60 代（76.2%）、70 代（73.3%）
  であった。
- 「否定的回答（計）」の比率が最も高かったのは、男性は 10 代（17.0%）、女性は２０代（19.4%）であった。

【居住区別】



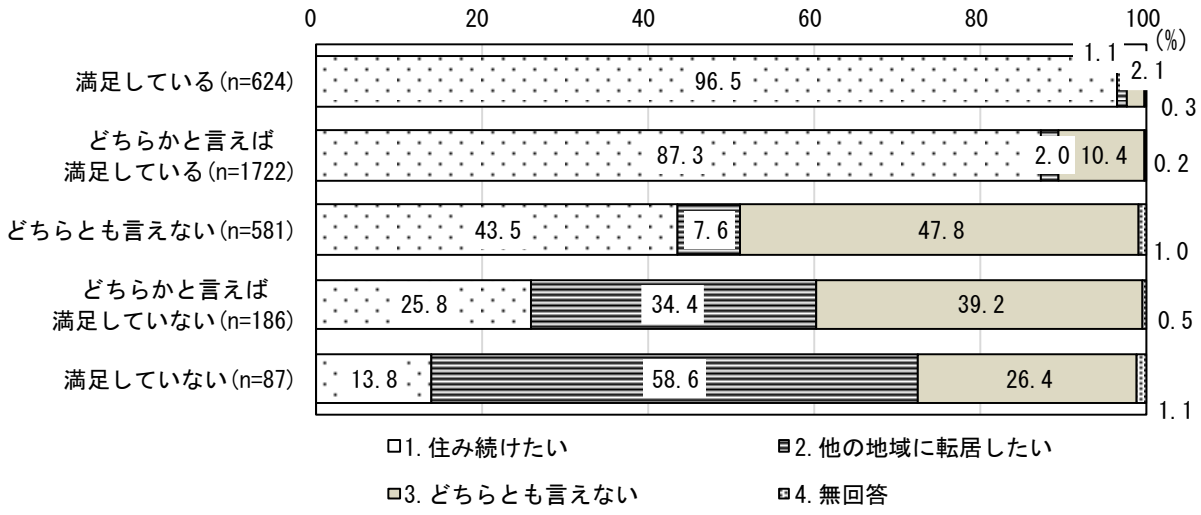
- 「肯定的回答（計）」の比率が最も高かったのは、緑区（76.1%）であった。次に美浜区（73.6%）、中央区（73.5%）となっている。
- 「肯定的回答（計）」の比率が「全体」（71.5%）より高かったのは、緑区（76.1%）、美浜区（73.6%）、中央区（73.5%）の３区であった。
- 「肯定的回答（計）」の比率が最も低かったのは、花見川区（66.7%）であった。
- 「どちらとも言えない」の比率が最も高かったのは、花見川区（20.0%）であった。次に若葉区（19.4%）となっている。

【通勤・通学先別】



- 「肯定的回答（計）」の比率が最も高かったのは、「自宅（農業、自営業など）」（74.8%）であった。次に、「通勤・通学はしていない」（73.7%）、「千葉県外（東京都以外）（73.6%）」となっている。
- 「肯定的回答（計）」の比率が「全体」（71.5%）より高かったのは、「自宅（農業、自営業など）」（74.8%）、「通勤・通学はしていない」（73.7%）、「千葉県外（東京都以外）（73.6%）」であった。
- 「肯定的回答（計）」の比率が最も低かったのは、「千葉県内（千葉市以外）」（68.3%）であった。

■問１７「満足度」×問１８「定住意向」■



- 千葉市での生活に「満足している」と回答した人の 96.5%が千葉市に「住み続けたい」と回答した。
- 千葉市での生活に「どちらかと言えば満足している」と回答した人の 87.3%が千葉市に「住み続けたい」と回答した。
- 千葉市での生活に満足しているかの問いに「どちらとも言えない」と回答した人の 43.5%は、「住み続けたい」と回答し、47.8%は「どちらとも言えない」と回答した。「住み続けたくない」と回答した人の割合は 7.6%だった。
- 千葉市での生活に「どちらかと言えば満足していない」と回答した人の 34.4%の人が「他の地域に転居をしたい」と回答した。また、「どちらとも言えない」と回答した人は 39.2%だった。
  一方、25.8%の人は、「住み続けたい」と回答した。
- 千葉市での生活に「満足していない」と回答した人の 58.6%は、「他の地域に転居したい」と回答した。また、「どちらとも言えない」と回答した人は、26.4%だった。一方、13.8%の人は、「住み続けたい」と回答した。

問 18-2　問 18-1 で回答した理由についてご記入ください。

定住意向に関する意見については、合計で2,049件の意見が寄せられました。今後、定住者の拡大に向け千葉市のPRを行うにあたり参考となる千葉市に住み続けたい理由、また、改善すべき主な意見などについては、以下の通りである。

	稲毛区	美浜区	花見川区	中央区	緑区	若葉区	全体
意見数(件)	337	433	341	299	340	299	2,049
割合	16.4%	21.1%	16.6%	14.6%	16.6%	14.6%	100.0%

（1） 主な意見

①成長への期待
・市政をみていると成長を感じるので見届けたい。

②自然環境
・自然が豊かでほどよく田舎と都会が混在していてよい。
・都心に比べ渋滞が少なく、ほどよく自然があるので落ち着いて生活ができるから。
・気候も安定して食材が豊富で、生活しやすい。

③交通
・交通の便が良いため。
・成田空港まで電車ですぐに行けるため旅行に行きやすいため。
・駅にもっと機能を集約した方がよい。

④医療
・もう少し医療機関や介護サービス、介護施設が充実すれば住み続けたい。
・政令指定都市であるにも関わらず、他市・他県よりも子供への支援（学校設備・医療費補助等）が手薄である。

⑤教育
・保育料も他県に比べると高かったり、公立学校のクーラー未設置、子供ルームの少なさなど（再来年導入になったと聞いていますが）子育てにおいて他県他市に比べ優位性はありません。
・教育政策にお金と時間をかけて、子ども達が、毎日、充実した学校生活を送れるよう、サポートしていただけたら嬉しいです。

⑥文化・スポーツ

・文化施設が整っている。
・文化が少ない。
・芸術文化･スポーツが気軽に楽しめる､少し足を伸ばせば､観光農園等あり､良い。
・千葉市は、マリンスタジアム招待などイベントを沢山やってくれるから､野球好きの子供を持つ親としてはとてもありがたい｡ジェフ千葉やジェンツの試合も招待や割引があって､スポーツに親しみやすい良い環境。

⑦まちの魅力

・千葉と言ってこれといったものがない。
・街自体の魅力があるかどうかは難しい。観光客が呼び込めるような売りがなく、ベッドタウンになっているにすぎない気がします。

⑧地域コミュニティ

・近所の人々の人情がすばらしい。（おせっかいすぎず、かと言って無関心ではない）
・子育ても生活もしやすいから。
・地域住民との交流ができている。
・隣に外国の方(特に中国人)が､増えたせいで環境が悪くなり住みづらくなったので転居したいという思いも出ている。

４　自由意見回答の結果

（１）分類一覧表

自由意見については、1,882件の意見が寄せられました。それぞれの意見を分野別に集計した結果は以下の通りである。（１つの意見の中に、複数跨る意見についても分類）

どの区においても　９．教育、こどもの参画、15．市街地整備、住環境、生活基盤、16.交通ネットワークの分野に対して高い関心が寄せられている。

		意見数(件)							割合
		稲毛区	美浜区	花見川区	中央区	緑区	若葉区	全体	
1	緑と水辺	19	18	5	20	6	6	**74**	**3.9%**
2	公園・都市緑化	12	12	12	27	16	8	**87**	**4.6%**
3	環境	16	21	20	38	17	20	**132**	**7.0%**
4	保健衛生・医療	11	19	13	15	17	6	**81**	**4.3%**
5	子育て・健全育成	13	13	18	22	14	14	**94**	**5.0%**
6	地域福祉	8	5	4	4	3	2	**26**	**1.4%**
7	高齢者福祉	21	19	15	19	12	16	**102**	**5.4%**
8	障害福祉	8	8	8	6	8	5	**43**	**2.3%**
9	**教育、こどもの参画**	31	21	41	39	25	24	**181**	**9.6%**
10	生涯学習、スポーツ・レクリエーション	13	13	14	12	14	10	**76**	**4.0%**
11	文化・芸術	13	10	9	7	5	10	**54**	**2.9%**
12	国際化、大学や企業等との連携	3	6	1	0	0	0	**10**	**0.5%**
13	市民参加・協働、男女共同参画	7	4	5	4	10	1	**31**	**1.6%**
14	安全・安心	20	16	12	21	10	9	**88**	**4.7%**
15	**市街地整備、住環境、生活基盤**	35	34	27	42	26	30	**194**	**10.3%**
16	**交通ネットワーク**	44	27	36	39	20	39	**205**	**10.9%**
17	都市の魅力、観光	11	17	6	8	9	11	**62**	**3.3%**
18	産業・商業、雇用	17	17	13	22	10	14	**93**	**4.9%**
19	農林業	1	2	1	0	2	1	**7**	**0.4%**
20	市政全般	18	16	20	22	25	20	**121**	**6.4%**
21	ブランド	3	3	3	3	1	1	**14**	**0.7%**
22	その他	12	9	13	21	19	11	**85**	**4.5%**
23	その他（わからない・特にない）	3	4	5	5	3	2	**22**	**1.2%**
	全体	**339**	**314**	**301**	**396**	**272**	**260**	**1,882**	**100.0%**
	区ごとの回答割合	**18.0%**	**16.7%**	**16.0%**	**21.0%**	**14.5%**	**13.8%**	**100.0%**	

カテゴリーの中の上位3位まで

区の中の上位3位まで

（2）主な意見

①緑と水辺
・草刈りをもっと頻繁にお願いしたい。
・海や緑地等のせっかくの環境があるので、もっと利用しやすいものに活用して欲しい。
・緑化や海岸、川の周辺などの環境整備など、自然との共生をもっと推進してほしい。

②公園・都市緑化
・子ども達が安心して遊べる場所がもっとあるといいと思う。
・都心に近く千葉県の中では都会だけど海や緑の自然もありのびのび子育てするにはいい所となってほしい。
・花の街ちば、と言いながら街の中には、ほとんど花が見られない。

③環境
・何となく街にゴミが落ちている。街路樹の手入れが少ない。
・不燃ゴミについて、もう少し柔軟に考えてほしい。
・プラスチックのリサイクル強化をお願い致します。 多くが捨てられていると感じます。

④保健衛生・医療
・子育て支援の為に医療費無料の期間を延ばしてほしい。
・色んな控除が受けられる手続きの方法等を市民全員にパンフレットなどで配布して欲しい。
・健康診断など、もっと簡単・お手軽に受けられるようにしていただきたい。

⑤子育て・健全育成
・子供が住みやすい街にしてほしい。
・子どもルームの預かり時間が短い（土曜日）、安心して働ける環境にしてほしい。
・経済的に困難な家庭の子供達に対する学習支援や、問題のある親に対する子育て指導が必要。

⑥地域福祉
・公民館単位で高齢者の体操、他集いの場所、出かける機会を作ってほしい。
・地域の介護の担い手が困った時に相談できるような窓口やケア会議での取り組みがあるといい。
・行政と民間（法人・町内会・個人）が同じ方向を見ながら全員に利益を感じられる様なシステムを作ってもらいたい。

⑦高齢者福祉
・趣味や特技のある方々の出会いの機会があれば高齢者でも交友の場が広がり楽しめる。
・高齢者がバスに乗る時、シルバーパスなどの安くなるようなシステムを作って欲しい。
・高齢者と子供たちとの融合化のための対策をしてほしい。

⑧障害福祉

・１人で生きていくことが困難な知的障害者にやさしい市を目指してほしい。
・大きな持病、軽度の障害があるが、千葉市、県内では対応できず都内まで行っている。
・もう少し支援教育の充実（教員の数的充実）を推し進めてほしい。

⑨教育、こども参画

・保育所、学童保育で働く方々の待遇改善と保育の中身の充実に力を入れて頂きたい。
・子供たちに寄り添った教育現場の整備を期待します。

⑩生涯学習、スポーツ・レクリエーション

・土日に40代、50代が気軽に参加できるようなボランティアやセミナーがあればよい。
・もう少し、子供が街中で遊べる空間がほしい。
・広い土地、会場があるのでライブやイベントなど多くして、県外から遊びに来る人を増やして欲しい。

⑪文化・芸術

・大きなショッピングセンターは建設されても図書館、博物館、音楽施設など、文化施設が少ない。
・親子三代夏祭りが変わってしまった事には本当に残念に思う。
・美術館の企画展が毎回とんがっていて面白いと思います。

⑫国際化、大学や企業等との連携

・居住する外国人の方が増えているので、日本語教室や日本文化を学ぶ機会を増やし、地元に馴染めるような仕組みを作って頂きたい。

⑬市民参加・協働、男女共同参画

・中高大学生などの若い力を学校や行政や自治会など含め、つながりを持ち助け合いの教育を子供の時から学べる環境を作っていただきたい。
・ボランティア活動をしたいと思うが、方法がわからない。

⑭安全・安心

・千葉市は地震に対する不安が大きい、もっと市民に災害に対する意識づけをしてほしい。
・暗すぎる道があるので街灯の設置をしてほしい。
・防災無線の音声が小さいので音量を上げてほしい。

⑮市街地整備、住環境、生活基盤

・空き家・空きビル対策を進めてほしい。
・歩道の整備や道路が途切れているところは開通させて欲しい。
・緑豊かなコンパクトな街づくりの実現。

⑯交通ネットワーク

・バス車線とマイカー車線を区分し、交通渋滞を解消して欲しい。
・モノレールをもっと延伸して市内のアクセスが良くなれば良い。
・JR千葉駅周辺の再整備は非常に良いと思う。

⑰都市の魅力、観光

・千葉市中心街に魅力的な施設がなく、さびれた街となっている。
・幕張の湾の近くに横浜のようなもっと充実した施設ができると住んでいたい街になりそう。
・就職支援より活性化し、正社員として活躍できるチャンスを増やして欲しい。

⑱産業・商業、雇用

・もっと多くの起業家にオフィスを安く提供するとか、開業３年間は減税とかして若い人の仕事を増やしてほしい。
・千葉県で採れた物をもっとスーパーなどに置いて欲しいです。（農産物、水産物など）

⑲農林業

・有害鳥獣が多くて困っています。駆除をお願いします。
・ふるさと農園のようなところが増えるとよい。

⑳市政全般

・千葉市内で差をつけないでほしい。
・案が出てから、実際動きに出すまで時間がかかりすぎ。
・引っ越ししてきた際、役所の窓口の対応の悪さに驚きました。

㉑ブランド

・海辺、川辺をもっと整備して、横浜のような魅力ある街になってほしい。
・東京のゴミゴミした都会と違って、別の固有のセンス文化を持ったハイセンスな市にして欲しい。
・いいところが沢山あるのに千葉市=何がすぐに思いつかず他県の人にも話題になることが少ないように思う。

㉒その他

・高齢者、子育て支援だけでなく、中間の世代への支援など取り入れて頂きたい。
・市民モラルの向上。
・情報の発信の充実。

平成 30 年度千葉市まちづくりアンケート

～わたしから！未来へつなぐ　まちづくり～

千葉市のまちづくりについて
あなたのご意見をおきかせください！

日頃から、千葉市政に深いご理解とご協力をいただき、厚くお礼を申しあげます。

さて、このたび千葉市では、市民の皆様の、生活についての実感や日頃の行動などについておきかせいただき、今後の市政運営に反映させるために、「千葉市まちづくりアンケート」を行うこととしました。

お忙しいところ誠に恐縮ですが、これまでの取組みに対する市民の皆様の実感をしっかりと把握し、今後の取組みや、まちづくりに生かしていくためにも、ぜひ、アンケートにご協力くださいますようお願い申しあげます。

なお、このアンケート票は、市内にお住まいの満１５歳以上の方の中から無作為に選んだ１万人の方にお送りしています。

結果については、市のホームページなどで公表しますが、統計的に処理しますので、個人の考え方が公表されることはありません。

また、他の目的に使用することは一切ありませんので、率直なご意見をおきかせください。

ご多忙のところ大変恐れ入りますが、なにとぞご協力をお願い申しあげます。

平成３０年９月　千葉市長　熊谷俊人

アンケート回答のしかた

アンケートには、①アンケート票（この冊子）を郵送するか、②パソコン・タブレット・スマートフォンでオンライン回答するか、どちらか１つの方法を選択して、回答してください。

①アンケート票（この冊子）に直接記入し、郵送	②パソコン・タブレット スマートフォンでオンライン回答
アンケート票に回答を 直接記入する。 ↓ 同封の返信用封筒に入れて ポストに投かんする。	回答ページにアクセスし オンラインで回答する。 ↓ 最終ページで「送信」ボタンを押し 回答終了。 ※アンケート票の返送は不要です

※回答期限はいずれも１０月２９日（月）です

①アンケート票（この冊子）で回答する場合

１．アンケート票や返信用封筒に、住所・氏名を記入する必要はありません。

２．記入は、あて名のご本人が行ってください。ご本人による記入が難しい場合は、ご家族などの方が、ご本人の意見を聞きながら記入いただきますよう、ご協力をお願いいたします。

３．ご回答は、黒色のボールペン・鉛筆などで記入してください。

４．各質問に対して、あなたが感じていることや行っていることを選び、（**１つだけ○**）や（**いくつでも○**）にしたがって、あてはまる番号を○で囲んで回答してください。

５．あなたが感じていることについて回答する際に、１つのテーマに対して、良い点・悪い点どちらも考えつく場合があると思いますが、総合的に判断して、どちらにあてはまるかをお答えください。

６．「その他」を選択した場合は、（　）内に具体的な内容をご記入ください。

７．**【すべての方に】**や**【問○で「1」「2」とお答えの方に】**などの指示にしたがって進んでください。

８．ご記入いただいたアンケート票は、同封の返信用封筒（切手は不要）に入れ、**平成３０年１０月２９日（月）**までに、郵便ポストに投かんしてください。

※返信用封筒に印刷されているバーコードは、郵便局の仕分け業務に必要なもので、住所・氏名等を特定するものではありません。

②パソコン・タブレット・スマートフォンでオンライン回答する場合

同封の「オンライン回答のご案内」をご覧いただき、ご回答ください。

【回答ページ】 https://rdc.dstyleweb.com/wkmf/yhce4x/

１．ブラウザのＵＲＬ欄に上記ＵＲＬを入力して画面を開いてください。

２．スマートフォンからは、右上のＱＲコードを読み取ってアクセスできます。

３．**平成３０年１０月２９日（月）**までに回答してください。

４．オンラインでの回答は１回限りです。回答を送信されると、その後の修正はできませんのでご注意ください。

５．回答の際は、上記の専用ウェブサイトからＩＤ・パスワードをご入力の上、ご回答いただけます。**別紙の「ＩＤ」と「パスワード」をログイン画面に入力して回答を開始してください。**

お問合せについて

本アンケートについて、ご不明な点がございましたら、下記までお問い合わせください。

千葉市役所 政策企画課　企画班

電話：０４３－２４５－５０４６　ＦＡＸ：０４３－２４５－５５３４

※お電話でのご連絡は、平日の午前９時～午後５時にお願いいたします。

あなた自身のことについて

まずは、あなた自身のことについてお伺いします。

【すべての方に】

Q1　あなたの性別をお選びください。**（1 つだけ○）**

1　男性
2　女性
3　その他・答えたくない

Q2　あなたの年齢をお選びください。**（1 つだけ○）**

1　15～19 歳
2　20～24 歳
3　25～29 歳
4　30～34 歳
5　35～39 歳
6　40～44 歳
7　45～49 歳
8　50～54 歳
9　55～59 歳
10　60～64 歳
11　65～69 歳
12　70～74 歳
13　75～79 歳
14　80～84 歳
15　85歳以上

Q3　あなたがお住まいの区をお選びください。**（1 つだけ○）**

1　中央区
2　花見川区
3　稲毛区
4　若葉区
5　緑区
6　美浜区

Q4　あなたの千葉市の居住年数をお選びください。**（1 つだけ○）**

1　3年未満
2　3年以上5年未満
3　5年以上10年未満
4　10年以上15年未満
5　15年以上20年未満
6　20年以上

Q5　あなたのご職業をお選びください。**(1 つだけ○)**

1　農・林・漁業	6　高校生
2　自営業・家族従業者	7　専業主婦・主夫
3　会社員・公務員等	8　パート・アルバイトなど
4　自由業	9　無職
5　大学・短大・専門学校生	10　その他(具体的に:　　)

Q6　あなたの通勤・通学先をお選びください。**(1 つだけ○)**

1　自宅(農業、自営業など)	4　東京都
2　千葉市内	5　千葉県外(東京都以外)
3　千葉県内(千葉市以外)	6　通勤・通学はしていない

Q7　あなたがお住まいの住宅をお選びください。**(1 つだけ○)**

1　持ち家	2　賃貸	3　その他

Q8　現在、あなたはひとり暮らしですか。**(1つだけ○)**

1　はい(ひとり暮らし)　→Q10へ	2　いいえ

【Q8で「2」とお答えの方に】

Q9　現在、あなたと同居している方の年代にあてはまるものをすべてお選びください。**(いくつでも○)**

1　小学校入学前の乳幼児	6　65～74 歳
2　小学生	7　75～84 歳
3　中学生	8　85 歳以上
4　高校生	9　その他の年代
5　大学・短大・専門学校生	

次に、障害のある方や高齢者の福祉に関する市民の皆様のご意見を把握し、改善に生かすため、あなたとご家族等の状況についてお伺いします。

【すべての方に】

Q10　現在、あなたや同居しているご家族等に障害のある方はいらっしゃいますか。**(1 つだけ○)**

1　はい	2　いいえ

Q11　現在、あなたや同居しているご家族等に介護が必要な方はいらっしゃいますか。**(1 つだけ○)**

1　はい	2　いいえ

次のページからは、様々な分野について、あなたがどのように感じるかをお伺いします。

テーマ１　緑の豊かさについて

千葉市では、次の世代に豊かな環境をひきつぐため、緑と花のあふれるまちづくりなどを推進しています。

【すべての方に】

問1　あなたは、市内の緑が豊かだと感じますか。**（1 つだけ○）**

1　そう感じる

2　どちらかと言えばそう感じる

3　どちらかと言えばそう感じない

4　そう感じない

5　わからない　**→テーマ2へ**

問1－1 【問1で「1」「2」とお答えの方に】

その理由をすべてお選びください。**（いくつでも○）**

郊外の緑

1　田園風景が見られる

2　里山（森林）が多い

公園の緑

3　身近な公園の緑が充実している

4　大規模な公園の緑が充実している

まちなかの緑

5　住宅地に身近な森林が多い

6　道路沿いの街路樹が整っている

7　屋上・壁面が緑化された建物が多い

その他

8　（具体的に:　　）

問1－2 【問1で「3」「4」とお答えの方に】

その理由をすべてお選びください。**（いくつでも○）**

郊外の緑

1　田園風景が見られない

2　里山（森林）が少ない

公園の緑

3　身近な公園の緑が充実していない

4　大規模な公園の緑が充実していない

まちなかの緑

5　住宅地に身近な森林が少ない

6　道路沿いの街路樹が整っていない

7　屋上・壁面が緑化された建物が少ない

その他

8　（具体的に:　　）

テーマ２　水辺の魅力について

千葉市では、やすらぎとにぎわいのある水辺の空間づくりのため、海辺の活性化などを推進しています。

【すべての方に】

問2　あなたは、市内の水辺が魅力的だと感じますか。**（1 つだけ○）**

1　そう感じる

2　どちらかと言えばそう感じる

3　どちらかと言えばそう感じない

4　そう感じない

5　わからない　**→テーマ3へ**

問2－1 【問2で「1」「2」とお答えの方に】

その理由をすべてお選びください。**（いくつでも○）**

海や海辺

1　マリンスポーツ(*)を楽しめる

2　水遊びや海水浴、散策を楽しめる

3　景観がよい

4　釣り・潮干狩りを楽しめる

5　海を見ながら食事を楽しめる

6　稲毛海浜公園プールを楽しめる

7　三陽メディアフラワーミュージアムを楽しめる

8　イベントが充実している

9　観光遊覧船が充実している

川や川辺

10　水がきれい

11　色々な生き物が生息している

12　川辺に緑が多い

13　散策できる川辺がある

その他

14　（具体的に:　　）

問2－2 【問2で「3」「4」とお答えの方に】

その理由をすべてお選びください。**（いくつでも○）**

海や海辺

1　マリンスポーツ(*)を楽しめない

2　水遊びや海水浴、散策を楽しめない

3　景観が悪い

4　釣り・潮干狩りを楽しめない

5　海を見ながら食事を楽しめない

6　稲毛海浜公園プールを楽しめない

7　三陽メディアフラワーミュージアムを楽しめない

8　イベントが充実していない

9　観光遊覧船が充実していない

川や川辺

10　水が汚い

11　色々な生き物が生息していない

12　川辺に緑が少ない

13　散策できる川辺がない

その他

14　（具体的に:　　）

(*) ヨットやウィンドサーフィンなど

テーマ３　農業や農村に親しめる環境について

千葉市では、市民が農業や市内産農産物に親しみを感じられるよう、農業を体験できる環境の整備や地産地消の推進などに取り組んでいます。

【すべての方に】

問3　あなたは、市内に農業・農村に親しめる環境があると感じますか。**（1 つだけ○）**

1　そう感じる
2　どちらかと言えばそう感じる
3　どちらかと言えばそう感じない
4　そう感じない
5　わからない　**→テーマ4へ**

問3－1　**【問3で「1」「2」とお答えの方に】**
その理由をすべてお選びください。**（いくつでも○）**

市内産農産物を購入・飲食する機会

1　農産物直売店（しょいか～ごなど）が充実している
2　近所のスーパー・八百屋などで市内産農産物が充実している
3　飲食店で食べられる

遊べる・体験できる場

4　いずみグリーンビレッジ（富田さとにわ耕園）が充実している
5　いずみグリーンビレッジ（下田農業ふれあい館）が充実している
6　いずみグリーンビレッジ（中田やつ耕園）が充実している
7　ふるさと農園（*1）が充実している
8　市民農園（*2）が充実している
9　観光農園（果物狩りなど）が充実している

その他

10　（具体的に：　　）

問3－2　**【問3で「3」「4」とお答えの方に】**
その理由をすべてお選びください。**（いくつでも○）**

市内産農産物を購入・飲食する機会

1　農産物直売店（しょいか～ごなど）が充実していない
2　近所のスーパー・八百屋などで市内産農産物が充実していない
3　飲食店で食べられない

遊べる・体験できる場

4　いずみグリーンビレッジ（富田さとにわ耕園）が充実していない
5　いずみグリーンビレッジ（下田農業ふれあい館）が充実していない
6　いずみグリーンビレッジ（中田やつ耕園）が充実していない
7　ふるさと農園（*1）が充実していない
8　市民農園（*2）が充実していない
9　観光農園（果物狩りなど）が充実していない

その他

10　（具体的に：　　）

（*1）花見川区三角町にある、農業講習や実習などの体験を通して農業への理解を深めるための施設
（*2）市民が個人で農地の一部を借り、その区画内で自由に栽培を楽しむことができる農園

テーマ４　安心して出産・育児ができる環境について

千葉市では子どもを産み、育てやすい環境づくりのため、多様な保育サービスの提供など、子育て支援の充実に取り組んでいます。

【すべての方に】

問4　あなたは、市内に安心して出産・育児ができる環境があると感じますか。**（1 つだけ○）**

1　そう感じる
2　どちらかと言えばそう感じる
3　どちらかと言えばそう感じない
4　そう感じない
5　わからない　**→テーマ5へ**

問4－1 【問4で「1」「2」とお答えの方に】
その理由をすべてお選びください。**（いくつでも○）**

出産や育児について学ぶ場
1　出産に関する講座が充実している
2　育児に関する講座が充実している
3　子育てサークルが充実している

子どもを預ける場や制度
4　保育所・保育園、認定こども園、幼稚園が充実している
5　一時預かりができる保育所が充実している
6　子どもルームが充実している
7　必要に応じてファミリー・サポート・センター制度（*1）を利用できる

出産や育児の不安を相談できる場
8　市の子育て関連施設（*2）での相談体制が充実している
9　各区保健福祉センターや保健所での相談体制が充実している
10　保育所・保育園、認定こども園、幼稚園での相談体制が充実している
11　相談できる近所の人・仲間がいる

子どもの遊び場
12　身近な公園が充実している
13　大規模な公園が充実している
14　動物公園が充実している
15　子ども交流館、子育てリラックス館が充実している
16　商業施設などの遊び場が充実している

子育てに対する理解
17　勤め先の出産・育児休業制度が充実している
18　男性の積極的な育児への関わりがある
19　公共の場で困った時に周囲からの助けがある
20　近所で困った時に周囲からの助けがある

その他
21（具体的に:　　）

問4－2 【問4で「3」「4」とお答えの方に】
その理由をすべてお選びください。**（いくつでも○）**

出産や育児について学ぶ場
1　出産に関する講座が充実していない
2　育児に関する講座が充実していない
3　子育てサークルが充実していない

子どもを預ける場や制度
4　保育所・保育園、認定こども園、幼稚園が充実していない
5　一時預かりができる保育所が充実していない
6　子どもルームが充実していない
7　必要に応じてファミリー・サポート・センター制度（*1）を利用できない

出産や育児の不安を相談できる場
8　市の子育て関連施設（*2）での相談体制が充実していない
9　各区保健福祉センターや保健所での相談体制が充実していない
10　保育所・保育園、認定こども園、幼稚園での相談体制が充実していない
11　相談できる近所の人・仲間がいない

子どもの遊び場
12　身近な公園が充実していない
13　大規模な公園が充実していない
14　動物公園が充実していない
15　子ども交流館、子育てリラックス館が充実していない
16　商業施設などの遊び場が充実していない

子育てに対する理解
17　勤め先の出産・育児休業制度が充実していない
18　男性の積極的な育児への関わりがない
19　公共の場で困った時に周囲からの助けがない
20　近所で困った時に周囲からの助けがない

その他
21（具体的に:　　）

（*1）子育てのお手伝いをしたい人、子育ての手助けをして欲しい人がそれぞれ会員として登録し、会員同士で助け合う子育て支援のしくみのこと
（*2）子育て支援館（きぼーる）、子育てリラックス館、地域子育て支援センターのこと

テーマ５　小中学校における教育環境の充実について

千葉市では、未来を担う人材を育てるため、学校教育の充実や、学校と地域が一体となって子どもを守り育む体制づくりなどを推進しています。

【すべての方に】

問5　あなたは、子どもが市内の小中学校で充実した教育を受けられると感じますか。**（1 つだけ○）**

1　そう感じる

2　どちらかと言えばそう感じる

3　どちらかと言えばそう感じない

4　そう感じない

5　わからない　**→テーマ6へ**

問5－1　【問5で「1」「2」とお答えの方に】

その理由をすべてお選びください。**（いくつでも○）**

学力の向上

1　基礎学力が身につく

2　考える力や表現力が身につく

3　学習に興味や関心を持たせてくれる

豊かな人間性の育成

4　読書活動が充実している

5　体験活動が充実している

6　ボランティア活動が充実している

7　部活動が充実している

8　キャリア教育(*1)が充実している

体力の向上・健康の増進

9　体育に関する指導が充実している

10　学校給食・食育が充実している

学習・生活環境

11　学習備品や設備が充実している

12　施設が適切に維持管理されている

13　学校の防犯対策が充実している

子ども一人ひとりの状況に応じたきめ細かい支援

14　特別支援教育が充実している

15　いじめや不登校への対策・対応ができている

16　学習支援が充実している

17　相談体制が充実している

地域社会の支援

18　学校と保護者会・町内自治会などが連携・協働する体制ができている

19　放課後子ども教室(*2)が充実している

20　登下校時の見守りなど地域の人の関わりが多い

その他

21　（具体的に:　　）

問5－2　【問5で「3」「4」とお答えの方に】

その理由をすべてお選びください。**（いくつでも○）**

学力の向上

1　基礎学力が身につかない

2　考える力や表現力が身につかない

3　学習に興味や関心を持たない

豊かな人間性の育成

4　読書活動が充実していない

5　体験活動が充実していない

6　ボランティア活動が充実していない

7　部活動が充実していない

8　キャリア教育(*1)が充実していない

体力の向上・健康の増進

9　体育に関する指導が充実していない

10　学校給食・食育が充実していない

学習・生活環境

11　学習備品や設備が充実していない

12　施設が適切に維持管理されていない

13　学校の防犯対策が充実していない

子ども一人ひとりの状況に応じたきめ細かい支援

14　特別支援教育が充実していない

15　いじめや不登校への対策・対応ができていない

16　学習支援が充実していない

17　相談体制が充実していない

地域社会の支援

18　学校と保護者会・町内自治会などが連携・協働する体制ができていない

19　放課後子ども教室(*2)が充実していない

20　登下校時の見守りなど地域の人の関わりが少ない

その他

21　（具体的に:　　）

(*1)子どもたちが将来、個性を生かしながら、社会人として自立して生きていくために必要な能力や態度を育てる教育

(*2)放課後、小学校の空き教室などで、子どもたちが保護者や地域住民の協力を得ながら学習やスポーツ・文化活動、交流活動などを行うプログラム

テーマ６　高齢者が生きがいや役割を持ち、安心して暮らすことができる環境について

千葉市では、高齢者が心豊かに暮らせる社会をつくるため、地域における介護・福祉・健康・医療などの体制整備や生きがいづくりなどに取り組んでいます。

【すべての方に】

問6　あなたは、市内に高齢者が生きがいや役割を持ち、安心して暮らすことができる環境があると感じますか。**（1 つだけ○）**

1　そう感じる
2　どちらかと言えばそう感じる
3　どちらかと言えばそう感じない
4　そう感じない
5　わからない　**→テーマ7へ**

問6－1　**【問6で「1」「2」とお答えの方に】**
その理由をすべてお選びください。**（いくつでも○）**

介護サービス

1　必要に応じて自宅でサービス（ホームヘルパーなど）を受けられる
2　必要に応じて施設に通ってサービス（デイサービスなど）を受けられる
3　必要に応じて施設に入所してサービスを受けられる
4　あんしんケアセンターなどの市の相談体制が充実している

医療

5　身近な病院・診療所が充実している
6　大きな病院が充実している
7　往診してくれる病院・診療所が充実している

地域の助けや関わり

8　日常での見守りなど近所で助け合う体制がある
9　地域で高齢者へのボランティア活動が行われている
10　町内自治会や老人クラブなどで交流活動が行われている

学習・仕事・ボランティア

11　公民館やことぶき大学校などの学習施設が充実している
12　仕事・活動の情報が得られる
13　自分にあった仕事・活動がある

その他

14（具体的に：　　）

問6－2　**【問6で「3」「4」とお答えの方に】**
その理由をすべてお選びください。**（いくつでも○）**

介護サービス

1　必要に応じて自宅でサービス（ホームヘルパーなど）を受けられない
2　必要に応じて施設に通ってサービス（デイサービスなど）を受けられない
3　必要に応じて施設に入所してサービスを受けられない
4　あんしんケアセンターなどの市の相談体制が充実していない

医療

5　身近な病院・診療所が充実していない
6　大きな病院が充実していない
7　往診してくれる病院・診療所が充実していない

地域の助けや関わり

8　日常での見守りなど近所で助け合う体制がない
9　地域で高齢者へのボランティア活動が行われていない
10　町内自治会や老人クラブなどで交流活動が行われていない

学習・仕事・ボランティア

11　公民館やことぶき大学校などの学習施設が充実していない
12　仕事・活動の情報が得られない
13　自分にあった仕事・活動がない

その他

14（具体的に：　　）

テーマ７　障害のある人が暮らしやすい環境について

千葉市では、障害のある人もない人も、ともに安心して暮らせる社会をつくるため、障害のある人の生活支援や社会参加などを推進しています。

【すべての方に】

問7　あなたは、市内に障害のある人が暮らしやすい環境があると感じますか。**（1 つだけ○）**

1　そう感じる
2　どちらかと言えばそう感じる
3　どちらかと言えばそう感じない
4　そう感じない
5　わからない　**→テーマ8へ**

問7－1　**【問7で「1」「2」とお答えの方に】**
その理由をすべてお選びください。**（いくつでも○）**

障害福祉サービス
1　必要に応じて自宅でサービスを受けられる
2　必要に応じて施設に通ってサービスを受けられる
3　必要に応じて施設に入所してサービスを受けられる
4　相談体制が充実している

バリアフリー
5　歩道などの歩く場所で整っている
6　公共交通機関で整っている
7　買物先などの商業施設で整っている
8　公共施設で整っている

働きやすさ
9　職業の選択肢が多い
10　市やハローワークなどからの就職支援が充実している
11　勤め先で周囲の理解がある
12　市やハローワークなどからの就職後の支援が充実している

周囲の理解・配慮
13　公共交通機関で職員や利用者からの配慮がある
14　商業施設で従業員や利用者からの配慮がある
15　公共施設で職員や利用者からの配慮がある
16　その他の外出先で困ったときに助けがある
17　2～3年前と比べ、パラスポーツを通じた障害と障害者への理解が進んだ

その他
18　（具体的に:　　）

問7－2　**【問7で「3」「4」とお答えの方に】**
その理由をすべてお選びください。**（いくつでも○）**

障害福祉サービス
1　必要に応じて自宅でサービスを受けられない
2　必要に応じて施設に通ってサービスを受けられない
3　必要に応じて施設に入所してサービスを受けられない
4　相談体制が充実していない

バリアフリー
5　歩道などの歩く場所で整っていない
6　公共交通機関で整っていない
7　買物先などの商業施設で整っていない
8　公共施設で整っていない

働きやすさ
9　職業の選択肢が少ない
10　市やハローワークなどからの就職支援が充実していない
11　勤め先で周囲の理解がない
12　市やハローワークなどからの就職後の支援が充実していない

周囲の理解・配慮
13　公共交通機関で職員や利用者からの配慮がない
14　商業施設で従業員や利用者からの配慮がない
15　公共施設で職員や利用者からの配慮がない
16　その他の外出先で困ったときに助けがない
17　2～3年前と比べ、パラスポーツを通じた障害と障害者への理解が進んでいない

その他
18　（具体的に:　　）

テーマ８　男女共同参画の考え方(*1)の定着について

千葉市では、全ての人が性別に関わらず個性と能力を発揮できる社会をつくるため、女性の活躍や仕事と家庭の両立に向けた支援などを推進しています。

【すべての方に】

問8　あなたは、市内に男女共同参画の考え方(*1)が根付いていると感じますか。**(1 つだけ○)**

1　そう感じる
2　どちらかと言えばそう感じる
3　どちらかと言えばそう感じない
4　そう感じない
5　わからない　**→テーマ9へ**

問8－1　【問8で「1」「2」とお答えの方に】
その理由をすべてお選びください。**(いくつでも○)**

地域や職場

1　地域の役員(町内自治会など)へ就任するにあたって男女差がない
2　職場の管理監督職へ昇進するにあたって男女差がない
3　女性が結婚や育児をしながら仕事を続けられる環境が整っている
4　女性が結婚や育児で退職しても再就職できる環境が整っている
5　起業するにあたって男女差がない

ワーク・ライフ・バランス(*2)の推進

6　男女で家事・育児・介護の分担ができている
7　労働時間が長すぎない
8　男性が育児休業を取得できる
9　時短勤務や在宅勤務など多様な働き方が選択できる

その他

10（具体的に:　　）

問8－2　【問8で「3」「4」とお答えの方に】
その理由をすべてお選びください。**(いくつでも○)**

地域や職場

1　地域の役員(町内自治会など)へ就任するにあたって男女差がある
2　職場の管理監督職へ昇進するにあたって男女差がある
3　女性が結婚や育児をしながら仕事を続けられる環境が整っていない
4　女性が結婚や育児で退職しても再就職できる環境が整っていない
5　起業するにあたって男女差がある

ワーク・ライフ・バランス(*2)の推進

6　男女で家事・育児・介護の分担ができていない
7　労働時間が長すぎる
8　男性が育児休業を取得できない
9　時短勤務や在宅勤務など多様な働き方が選択できない

その他

10（具体的に:　　）

(*1) すべての市民が、男女の別なく個人として尊重され、お互いに対等な立場であらゆる分野に参画する機会が確保され、責任を分かちあう、という考え方
(*2)「仕事」と育児や介護、地域活動、趣味や学習、休養といった「仕事以外の生活」との調和

テーマ９　スポーツを楽しめる機会について

千葉市では、市民が心身ともに健康で楽しい暮らしを送れるよう、市民のスポーツ活動やパラスポーツ（*1）を推進しています。

【すべての方に】

問9　あなたは、市内でスポーツを楽しめる機会があると感じますか。**（1 つだけ○）**

1　そう感じる

2　どちらかと言えばそう感じる

3　どちらかと言えばそう感じない

4　そう感じない

5　わからない　**→テーマ10へ**

問9－1　【問9で「1」「2」とお答えの方に】

その理由をすべてお選びください。**（いくつでも○）**

スポーツができる施設

1　野球場が充実している

2　テニスコートが充実している

3　球技場が充実している

4　体育館が充実している

5　プールが充実している

6　武道場が充実している

7　地域の小中学校（校庭・体育館・武道場の一般開放）が利用できる

スポーツ観戦・体験の機会

8　全国・国際規模の大会を観戦できる機会が多い

9　地元スポーツチーム(*2)の試合を観戦できる機会が多い

10　市などが開催するスポーツ教室が充実している

11　スポーツイベントが充実している

その他

12（具体的に:　　）

問9－2　【問9で「3」「4」とお答えの方に】

その理由をすべてお選びください。**（いくつでも○）**

スポーツができる施設

1　野球場が充実していない

2　テニスコートが充実していない

3　球技場が充実していない

4　体育館が充実していない

5　プールが充実していない

6　武道場が充実していない

7　地域の小中学校（校庭・体育館・武道場の一般開放）が利用できない

スポーツ観戦・体験の機会

8　全国・国際規模の大会を観戦できる機会が少ない

9　地元スポーツチーム(*2)の試合を観戦できる機会が少ない

10　市などが開催するスポーツ教室が充実していない

11　スポーツイベントが充実していない

その他

12（具体的に:　　）

(*1)車いすフェンシングやゴールボールなどのパラリンピック競技を含む、障害者スポーツのこと
(*2)マリーンズ・ジェフ・ジェッツなど地元のプロ・実業団スポーツチーム

テーマ１０　文化･芸術活動に親しめる環境について

千葉市では、ゆとりとうるおいのある生活が送れるよう、文化・芸術にふれられる機会の充実や、活動環境の維持・充実などに取り組んでいます。

【すべての方に】

問10　あなたは、市内に文化･芸術活動に親しめる環境があると感じますか。**（1 つだけ○）**

1　そう感じる

2　どちらかと言えばそう感じる

3　どちらかと言えばそう感じない

4　そう感じない

5　わからない　**→テーマ11へ**

問10－1【問10で「1」「2」とお答えの方に】
その理由をすべてお選びください。**（いくつでも○）**

好きな分野を鑑賞できる機会

1　音楽鑑賞の機会が充実している

2　美術鑑賞の機会が充実している

3　舞台鑑賞の機会が充実している

好きな分野の活動ができる機会

4　音楽に関する活動の機会が充実している

5　美術に関する活動の機会が充実している

6　舞台に関する活動の機会が充実している

鑑賞・活動できる施設

7　市民会館の鑑賞･活動環境が充実している

8　文化ホールの鑑賞･活動環境が充実している

9　市立美術館の鑑賞･活動環境が充実している

10　コミュニティセンター･公民館の鑑賞･活動環境が充実している

市の歴史・文化に関する施設

11　郷土博物館の展示･イベントが充実している

12　加曽利貝塚の展示･イベントが充実している

その他

13（具体的に:　　）

問10－2【問10で「3」「4」とお答えの方に】
その理由をすべてお選びください。**（いくつでも○）**

好きな分野を鑑賞できる機会

1　音楽鑑賞の機会が充実していない

2　美術鑑賞の機会が充実していない

3　舞台鑑賞の機会が充実していない

好きな分野の活動ができる機会

4　音楽に関する活動の機会が充実していない

5　美術に関する活動の機会が充実していない

6　舞台に関する活動の機会が充実していない

鑑賞・活動できる施設

7　市民会館の鑑賞･活動環境が充実していない

8　文化ホールの鑑賞･活動環境が充実していない

9　市立美術館の鑑賞･活動環境が充実していない

10　コミュニティセンター･公民館の鑑賞･活動環境が充実していない

市の歴史・文化に関する施設

11　郷土博物館の展示･イベントが充実していない

12　加曽利貝塚の展示･イベントが充実していない

その他

13（具体的に:　　）

テーマ１１　地域で市民が学べる環境について

千葉市では、市民が学んだ知識や経験を生かし、より豊かに生活できるよう、生涯にわたっていつでもどこでも学ぶことができる環境づくりなどを推進しています。

【すべての方に】

問11　あなたは、市内に、地域で市民が学べる環境があると感じますか。**（1 つだけ○）**

1　そう感じる

2　どちらかと言えばそう感じる

3　どちらかと言えばそう感じない

4　そう感じない

5　わからない　**→テーマ12へ**

問11－1　【問11で「1」「2」とお答えの方に】

その理由をすべてお選びください。**（いくつでも○）**

学びたい講座やイベントの機会

1　地域や社会に役立つ活動に関するものが充実している

2　趣味に関するものが充実している

3　生活に役立つものが充実している

4　仕事や資格取得に役立つものが充実している

学ぶための施設

5　公民館が充実している

6　生涯学習センターが充実している

7　市立図書館が充実している

8　市立科学館が充実している

その他

9　（具体的に:　　）

問11－2　【問11で「3」「4」とお答えの方に】

その理由をすべてお選びください。**（いくつでも○）**

学びたい講座やイベントの機会

1　地域や社会に役立つ活動に関するものが充実していない

2　趣味に関するものが充実していない

3　生活に役立つものが充実していない

4　仕事や資格取得に役立つものが充実していない

学ぶための施設

5　公民館が充実していない

6　生涯学習センターが充実していない

7　市立図書館が充実していない

8　市立科学館が充実していない

その他

9　（具体的に:　　）

テーマ１２　公共交通の利便性について

千葉市では、誰もが安全・快適に移動できる環境を整えるため、公共交通の維持・確保などに取り組んでいます。

【すべての方に】

問12　あなたは、市内の公共交通が便利だと感じますか。**（1 つだけ○）**

1　そう感じる

2　どちらかと言えばそう感じる

3　どちらかと言えばそう感じない

4　そう感じない

5　わからない　**→テーマ13へ**

問12－1　【問12で「1」「2」とお答えの方に】

その理由をすべてお選びください。**（いくつでも○）**

鉄道（ＪＲ）

1　運行本数が十分である

2　他路線または他交通機関と乗り換えがしやすい

3　自宅と駅までの距離が近い

4　運行情報や利用方法に関する情報がわかりやすい

鉄道（京成）

5　運行本数が十分である

6　他路線または他交通機関と乗り換えがしやすい

7　自宅と駅までの距離が近い

8　運行情報や利用方法に関する情報がわかりやすい

モノレール

9　運行本数が十分である

10　他路線または他交通機関と乗り換えがしやすい

11　自宅と駅までの距離が近い

12　運行情報や利用方法に関する情報がわかりやすい

路線バス

13　運行本数が十分である

14　他路線または他交通機関と乗り換えがしやすい

15　自宅とバス停までの距離が近い

16　運行情報や利用方法に関する情報がわかりやすい

その他

17　（具体的に：　　）

問12－2　【問12で「3」「4」とお答えの方に】

その理由をすべてお選びください。**（いくつでも○）**

鉄道（ＪＲ）

1　運行本数が十分でない

2　他路線または他交通機関と乗り換えがしにくい

3　自宅と駅までの距離が遠い

4　運行情報や利用方法に関する情報がわかりづらい

鉄道（京成）

5　運行本数が十分でない

6　他路線または他交通機関と乗り換えがしにくい

7　自宅と駅までの距離が遠い

8　運行情報や利用方法に関する情報がわかりづらい

モノレール

9　運行本数が十分でない

10　他路線または他交通機関と乗り換えがしにくい

11　自宅と駅までの距離が遠い

12　運行情報や利用方法に関する情報がわかりづらい

路線バス

13　運行本数が十分でない

14　他路線または他交通機関と乗り換えがしにくい

15　自宅とバス停までの距離が遠い

16　運行情報や利用方法に関する情報がわかりづらい

その他

17　（具体的に：　　）

テーマ１３　道路の移動のしやすさについて

千葉市では、誰もが安全・快適に移動できる環境を整えるため、歩道・道路・自転車走行空間の整備や維持・管理などを推進しています。

【すべての方に】

問13　あなたは、市内の道路は移動がしやすいと感じますか。**（1 つだけ○）**

1　そう感じる
2　どちらかと言えばそう感じる
3　どちらかと言えばそう感じない
4　そう感じない
5　わからない　**→テーマ14へ**

問13－1【問13で「1」「2」とお答えの方に】
その理由をすべてお選びください。**（いくつでも○）**

歩行環境
1　歩道が広い
2　段差が少ない
3　歩道が適切に維持管理されている
4　歩行者が交通ルールを守っている
5　自動車が交通ルールを守っている
6　自転車が交通ルールを守っている

自動車の走行環境
7　渋滞が少ない
8　道幅が広い
9　道路が適切に維持管理されている
10　歩行者が交通ルールを守っている
11　自動車が交通ルールを守っている
12　自転車が交通ルールを守っている

自転車の走行環境
13　自転車レーンなどの走行空間がある
14　平坦な道が多い
15　駐輪場が十分である
16　歩行者が交通ルールを守っている
17　自動車が交通ルールを守っている
18　自転車が交通ルールを守っている

その他
19　（具体的に:　　）

問13－2【問13で「3」「4」とお答えの方に】
その理由をすべてお選びください。**（いくつでも○）**

歩行環境
1　歩道が狭い
2　段差が多い
3　歩道が適切に維持管理されていない
4　歩行者が交通ルールを守っていない
5　自動車が交通ルールを守っていない
6　自転車が交通ルールを守っていない

自動車の走行環境
7　渋滞が多い
8　道幅が狭い
9　道路が適切に維持管理されていない
10　歩行者が交通ルールを守っていない
11　自動車が交通ルールを守っていない
12　自転車が交通ルールを守っていない

自転車の走行環境
13　自転車レーンなどの走行空間がない
14　坂道が多い
15　駐輪場が十分でない
16　歩行者が交通ルールを守っていない
17　自動車が交通ルールを守っていない
18　自転車が交通ルールを守っていない

その他
19　（具体的に:　　）

テーマ１４　まちの魅力について

千葉市では、人が集まり、にぎわいがあるまちをつくるために、千葉・幕張・蘇我エリアの魅力向上や、地域経済の活性化などを推進しています。

【すべての方に】

問14　あなたは、市内に魅力的なまちがあると感じますか。**（1 つだけ○）**

1　そう感じる
2　どちらかと言えばそう感じる
3　どちらかと言えばそう感じない
4　そう感じない
5　わからない　**→テーマ15へ**

問14－1　**【問14で「1」「2」とお答えの方に】**
その理由をすべてお選びください。**（いくつでも○）**

千葉駅周辺エリア
1　交通の便が良い
2　ショッピングしたい店がある
3　魅力的な飲食店がある
4　魅力的なアミューズメント施設(*)がある
5　魅力的な歴史・文化財施設がある
6　魅力的な文化・芸術施設がある
7　魅力的なスポーツ施設がある

海浜幕張駅周辺エリア
8　交通の便が良い
9　ショッピングしたい店がある
10　魅力的な飲食店がある
11　魅力的なアミューズメント施設(*)がある
12　魅力的な歴史・文化財施設がある
13　魅力的な文化・芸術施設がある
14　魅力的なスポーツ施設がある

蘇我駅周辺エリア
15　交通の便が良い
16　ショッピングしたい店がある
17　魅力的な飲食店がある
18　魅力的なアミューズメント施設(*)がある
19　魅力的な歴史・文化財施設がある
20　魅力的な文化・芸術施設がある
21　魅力的なスポーツ施設がある

その他
22　（具体的なエリア：　　）
　　（具体的な理由：　　）

問14－2　**【問14で「3」「4」とお答えの方に】**
その理由をすべてお選びください。**（いくつでも○）**

千葉駅周辺エリア
1　交通の便が悪い
2　ショッピングしたい店がない
3　魅力的な飲食店がない
4　魅力的なアミューズメント施設(*)がない
5　魅力的な歴史・文化財施設がない
6　魅力的な文化・芸術施設がない
7　魅力的なスポーツ施設がない

海浜幕張駅周辺エリア
8　交通の便が悪い
9　ショッピングしたい店がない
10　魅力的な飲食店がない
11　魅力的なアミューズメント施設(*)がない
12　魅力的な歴史・文化財施設がない
13　魅力的な文化・芸術施設がない
14　魅力的なスポーツ施設がない

蘇我駅周辺エリア
15　交通の便が悪い
16　ショッピングしたい店がない
17　魅力的な飲食店がない
18　魅力的なアミューズメント施設(*)がない
19　魅力的な歴史・文化財施設がない
20　魅力的な文化・芸術施設がない
21　魅力的なスポーツ施設がない

その他
22　（具体的なエリア：　　）
　　（具体的な理由：　　）

(*)映画館・ゲームセンター・カラオケなど

テーマ１５　地域や社会に役立つ活動について

ここからは、地域や社会に役立つ活動に関してお伺いします。

【すべての方に】

問15－1　あなたは、地域や社会に役立つ活動をすることに関心がありますか。**（1 つだけ○）**

1　関心がある
2　どちらかと言えば関心がある
3　どちらかと言えば関心がない
4　関心がない
5　わからない

【すべての方に】

問15－2　あなたは、この 1 年間に地域や社会に役立つ活動に参加したことがありますか。**（1 つだけ○）**

1　週1回以上参加した
2　月1回以上参加した
3　2～3 か月に 1 回程度参加した
4　4か月～1年に 1 回程度参加した
5　参加しなかった　**→次ページの問15－4・5へ**

【問15－2で「1」～「4」とお答えの方に】

問15－3　どのような活動をしましたか。①個人での活動、②団体（町内自治会・NPO など）を通じての活動、③所属先（勤め先、学校など）を通じての活動、それぞれについてあてはまる欄に○をつけてください。

	①個人での活動（いくつでも○）	②団体（町内自治会・NPO など）を通じての活動（いくつでも○）	③所属先（勤め先、学校など）を通じての活動（いくつでも○）
1　環境美化や保全にかかわる活動			
2　子育てや子どもの健全な育成を支援する活動			
3　小中学校を支援する活動			
4　障害のある人を支援する活動			
5　高齢者を支援する活動			
6　外国人を支援する活動			
7　スポーツにかかわる活動			
8　文化・芸術にかかわる活動			
9　公民館での学びを支援する活動			
10　防犯活動			
11　消防団の活動			
12　防災活動			
13　その他（具体的に:　　）			

→テーマ16へ

【問15－2で「5」とお答えの方に】

問15－4　参加しなかった理由をすべてお選びください。**（いくつでも○）**

1 興味がない	4 どのように参加したらよいかわからない
2 時間がない	5 その他（具体的に:　　）
3 きっかけがない	

【問15－2で「5」とお答えの方に】

問15－5　今後、やってみたい活動は何ですか。あてはまるものをすべてお選びください。**（いくつでも○）**

1 環境美化や保全にかかわる活動	8 文化・芸術にかかわる活動
2 子育てや子どもの健全な育成を支援する活動	9 公民館での学びを支援する活動
3 小中学校を支援する活動	10 防犯活動
4 障害のある人を支援する活動	11 消防団の活動
5 高齢者を支援する活動	12 防災活動
6 外国人を支援する活動	13 その他（具体的に:　　）
7 スポーツにかかわる活動	14 特にない

テーマ１６　ふだん行っていることなどについて

ここからは、あなたがふだん行っていることなどに関してお伺いします。

【すべての方に】

問16　この１年間で、あなたがふだん行っていることとしてあてはまるものをすべてお選びください。
（いくつでも○）

1　節電・節水など省エネに取り組んでいる

2　ごみの減量やリサイクルに取り組んでいる

3　運動や食生活改善など健康づくりに取り組んでいる

4　かかりつけ医を持っている

5　知識や技術を地域や社会に役立つ活動に生かしている

6　日常の買い物で近所の商店街を利用している

7　避難場所の確認や食料等の備蓄など、災害への備えを行っている

8　その他（具体的に:　　）

千葉市での生活全体について

これまでご回答いただきありがとうございました。ここからは、千葉市での生活全般についてお伺いします。

【すべての方に】

問17　あなたは、千葉市での生活に満足していますか。**(1 つだけ○)**

1　満足している	4　どちらかと言えば満足していない
2　どちらかと言えば満足している	5　満足していない
3　どちらとも言えない	

【すべての方に】

問18－1　あなたは、これからも千葉市に住み続けたいと思いますか。**(1 つだけ○)**

1　住み続けたい	4　どちらかと言えば他の地域に転居したい
2　どちらかと言えば住み続けたい	5　他の地域に転居したい
3　どちらとも言えない	

問18－2　問18－1で回答した理由についてご記入ください。

その他　自由意見

これでアンケートは終わりです。最後に、千葉市をより良くするために、ご提案等がございましたらご自由にお書きください。なお、いただきましたご意見やご提案につきましては、個別の対応はいたしかねますので、ご了承ください。

（千葉市をこんなまちにしたい、こんな施策に取り組んでほしいなど、あなたのお考えをお書きください。）

お忙しいところ、アンケートにご協力くださいまして誠にありがとうございました。

恐れ入りますが記入もれがないかご確認の上、同封の返信用封筒に入れて、

平成３０年１０月２９日（月）までにご投かんをお願いいたします。

平成３０年度千葉市まちづくりアンケート
～わたしから！未来へつなぐ　まちづくり～
報告書

平成 31 年３月
編集・発行：千葉市　政策企画課
〒260-8722　千葉市中央区千葉港１番１号
電話番号：043-245-5046
Ｆ　Ａ　Ｘ：043-245-5534
メールアドレス：kikaku.POC@city.chiba.lg.jp